
協働のまちづくりに関する 区民意識調査 報告書

令和元年 11 月
(令和元年 6 月実施)

豊 島 区

I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 調査内容	3
4. 回収結果	3
5. 報告書を見る際の注意事項	3
6. 回答者の基本属性	4

II 調査結果

第1章 豊島区の印象について	11
1. 住み心地	11
(1) 住み心地〔問1〕	11
(2) 住み心地の変化〔問2〕	14
(3) 住み心地の変化の理由〔問2-1〕	17
2. 居住の経緯	20
(1) 居住の経緯〔問3〕	20
(2) 転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか〔問3-1〕	22
(3) 豊島区を選んだ理由〔問3-2〕	25
3. 定住意向	29
(1) 定住意向〔問4〕	29
(2) 住み続けたい理由〔問4-1〕	32
(3) 転居せざるをえない、転居したい理由〔問4-2〕	36
4. 地域への愛着	39
(1) 地域への愛着〔問5〕	39
第2章 地域の生活環境について	45
<<設問設定の考え方>>	45
1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」〔問6〕	48
(1) 参画・協働	48
(2) 平和・人権	49
(3) 福祉	50
(4) 健康・保健	51
(5) 子育て	52
(6) 教育	53
(7) みどり・環境	54
(8) 都市再生・交通	55
(9) 防災・治安	56
(10) 商工・観光	57
(11) 文化	58

目 次

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問6〕	60
(1) 参画・協働	60
(2) 平和・人権	61
(3) 福祉	62
(4) 健康・保健	63
(5) 子育て	64
(6) 教育	65
(7) みどり・環境	66
(8) 都市再生・交通	67
(9) 防災・治安	68
(10) 商工・観光	69
(11) 文化	70
3. 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析〔問6〕	71
(1) 参画・協働	72
(2) 平和・人権	74
(3) 福祉	76
(4) 健康・保健	78
(5) 子育て	80
(6) 教育	82
(7) みどり・環境	84
(8) 都市再生・交通	86
(9) 防災・治安	88
(10) 商工・観光	90
(11) 文化	92
4. 総合分析の経年比較〔問6〕	94
(1) 参画・協働	94
(2) 平和・人権	95
(3) 福祉	96
(4) 健康・保健	97
(5) 子育て	98
(6) 教育	99
(7) みどり・環境	100
(8) 都市再生・交通	101
(9) 防災・治安	102
(10) 商工・観光	103
(11) 文化	104

第3章 区の情報・区の政策等について	107
1. 区の情報・区政への参加について	107
（1）区に関する情報の入手方法〔問7〕	107
（2）欲しいと思う区の情報〔問8〕	110
（3）区政への関心〔問9〕	113
（4）区の政策に区民の意見が反映されているか〔問10〕	115
（5）区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度〔問11〕	117
2. 地域との関わりについて	119
（1）地域のために何か役に立ちたいか〔問12〕	119
（2）町会、自治会などの地域活動への参加状況〔問13〕	121
3. 女性にやさしいまちづくりについて	123
（1）女性にやさしいと感じるまちに大切だと思うこと〔問14〕	123
4. セーフコミュニティについて	128
（1）セーフコミュニティ活動の認知度〔問15〕	128
（2）交通事故発生場所等の認知度〔問16〕	130
（3）自転車の運転ルール遵守状況の実感〔問17〕	132
（4）池袋駅周辺の体感治安〔問18〕	134
（5）地震に備えた家具等の転倒防止対策〔問19〕	136
（6）大地震により公共交通機関が停止した場合の行動〔問20〕	138
（7）防災訓練や避難訓練への参加〔問21〕	140
（8）「救援センター」の認知度〔問22〕	144
（9）心配な状況を発見した際の通告・通報制度、連絡・相談先の認知度〔問23〕	148
5. 高齢者にやさしいまちづくりについて	155
（1）高齢者が暮らしやすいまちだと思うか〔問24〕	155
（2）高齢者が暮らしやすいまちだと思う理由〔問24-1〕	157
（3）高齢者が暮らしやすいまちだと思わない理由〔問24-2〕	159
（4）高齢になっても住み続けられるまちづくりにおいて大切だと思うこと〔問25〕	161
6. 東アジア文化都市について	163
（1）豊島区が2019年「東アジア文化都市」を実施していることの認知度〔問26〕	163
（2）「東アジア文化都市」事業への鑑賞・参加状況〔問26-1〕	165
（3）中国、韓国の文化への興味関心〔問27〕	167
7. 東京2020オリンピック・パラリンピックについて	169
（1）東京2020大会へ向けて区が力を入れるべきこと〔問28〕	169
（2）スポーツの実施頻度〔問29〕	172
（3）スポーツをしない理由〔問29-1〕	174

目 次

8. 区政全般への要望	176
(1) 現在、区が力を入れていると思う施策〔問 30〕	176
(2) 特に力を入れてほしいと思う施策〔問 30〕	180
(3) 総合分析〔問 30〕	184
9. 自由意見	185
Ⅲ 調査票	189

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、多様な主体との協働によるまちづくりを推進するにあたり、地域の生活環境や身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等について、区民の意見や要望を把握し、基本計画が設定する成果指標・重点施策の確認とともに、これからの行政サービスのあり方の検討等に資するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の設計

- (1) 調査区域 豊島区全域
- (2) 調査対象 区内に2年以上在住する18歳以上の区民
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から区内を5地域に分割し、各地域より1,000人を無作為抽出
- (5) 調査方法 自記式調査票による郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期 令和元年6月12日(水)～7月5日(金)
- (7) 調査機関 株式会社エスピー研

3. 調査内容

- (1) 豊島区の印象について
- (2) 地域の生活環境の評価と今後の優先度について
- (3) 区の情報・区の政策等について
- (4) 調査対象者の基本属性について

4. 回収結果

発送数	回収数	回収率
5,000件	1,825件	36.5%

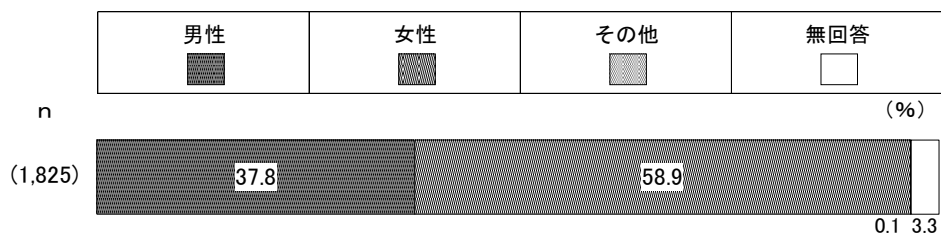
5. 報告書を見る際の注意事項

- (1) 図表中の「n」は、設問への回答者数を示している。
- (2) 回答は百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を100%としている。
- (3) 複数選択ができる設問では、設問該当者を基数として比率を算出している。したがって、回答者比率の合計が100%を超えることがある。
- (4) 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中において簡略化した表現を用いている場合がある。
- (5) 回答者数が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

6. 回答者の基本属性

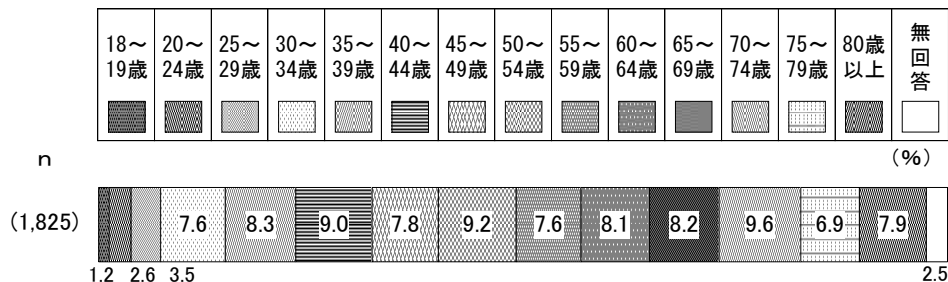
(1) 性別（自認する性）

「女性」(58.9%)が6割近く、「男性」(37.8%)が4割近くとなっている。



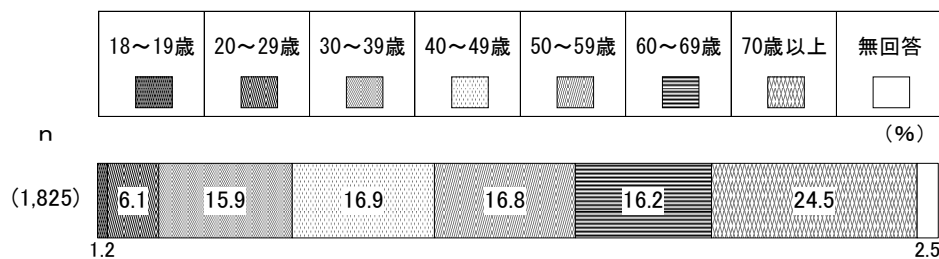
(2) 年齢

「40～44歳」(9.0%)、「50～54歳」(9.2%)、「70～74歳」(9.6%)が約1割となっている。



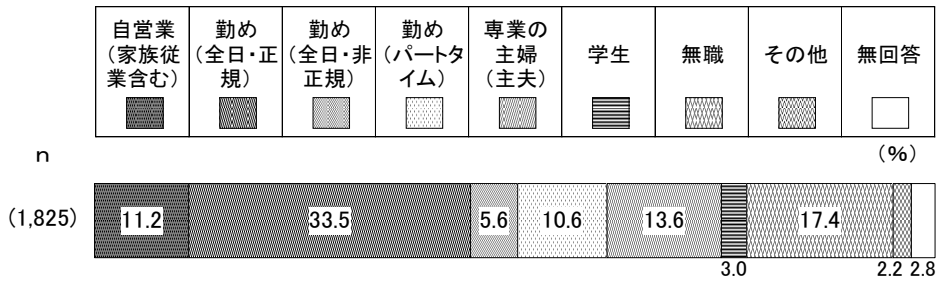
【10歳区分】

「70歳以上」(24.5%)が2割半ば、「40～49歳」(16.9%)と「50～59歳」(16.8%)が2割近くとなっている。



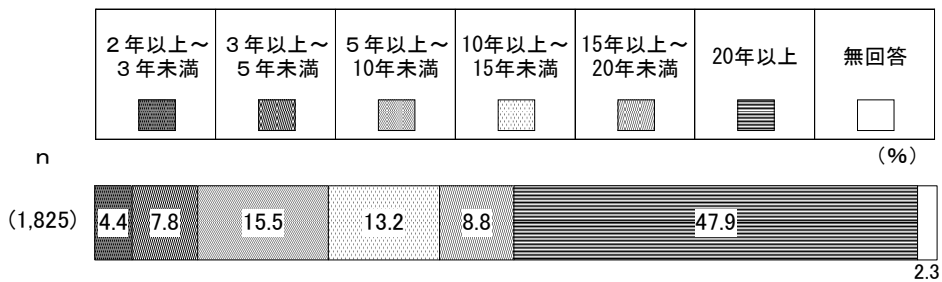
(3) 職業

「勤め（全日・正規）」（33.5%）が3割を超えて最も高く、次いで「無職」（17.4%）、「専業の主婦（主夫）」（13.6%）となっている。



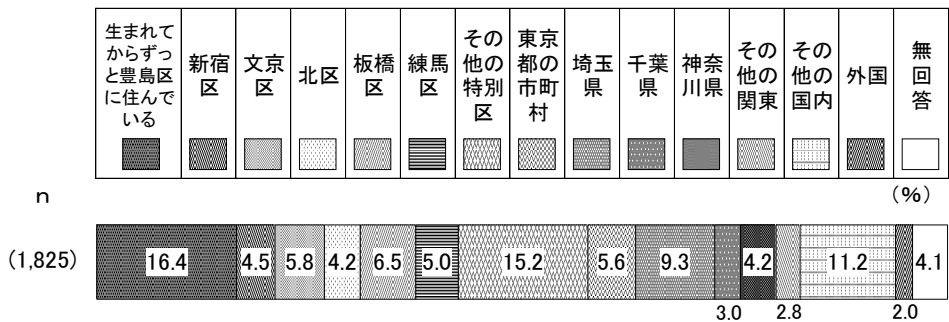
(4) 居住年数

「20年以上」（47.9%）が5割近くで最も高く、次いで「5年以上～10年未満」（15.5%）、「10年以上～15年未満」（13.2%）となっている。



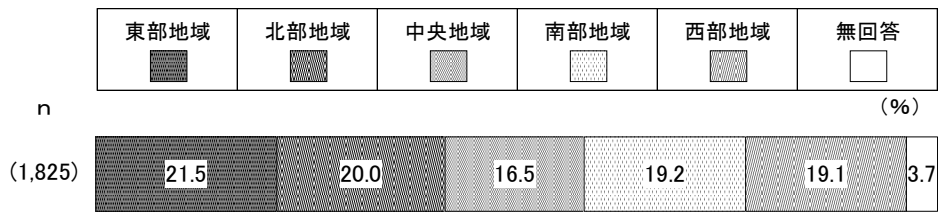
(5) 豊島区に住む前に住んでいた地域

「生まれてからずっと豊島区に住んでいる」（16.4%）と「その他の特別区」（15.2%）が1割半ば、「その他の国内」（11.2%）が1割を超えている。



(6) 居住地域

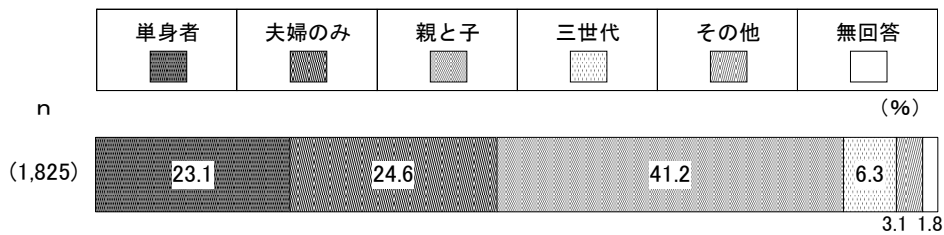
5 地区区分では、「東部地域」(21.5%)と「北部地域」(20.0%)が2割台となっている。



注) 5地区の町丁構成
 東部地域 (駒込、巣鴨、北大塚1・2丁目、南大塚)
 北部地域 (西巣鴨、北大塚3丁目、上池袋、池袋本町)
 中央地域 (東池袋、南池袋1・2丁目、西池袋1・3・5丁目、池袋)
 南部地域 (南池袋3・4丁目、西池袋2・4丁目、雑司が谷、高田、目白)
 西部地域 (南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川)

(7) 世帯構成

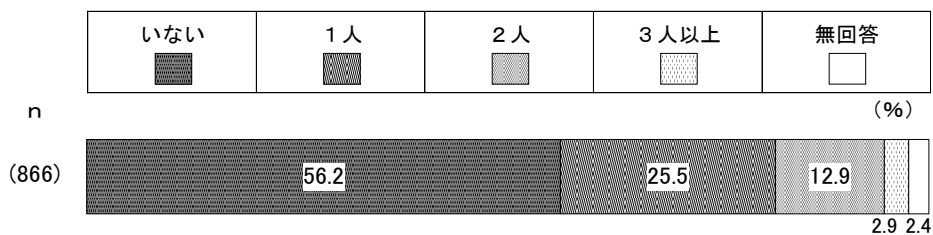
「親と子」(41.2%)が4割を超えて最も高く、次いで「夫婦のみ」(24.6%)、「単身者」(23.1%)、「三世代」(6.3%)となっている。



(8) 中学生以下の子どもの有無

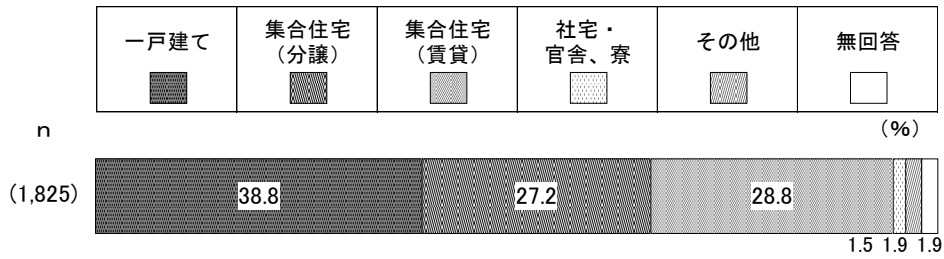
「親と子」及び「三世代」の世帯構成のうち、「(中学生以下の子どもは) いない」(56.2%)が5割半ばとなっている。

中学生以下の子どもがいる場合の子どもの数は、「1人」(25.5%)が2割半ばで最も高く、次いで「2人」(12.9%)、「3人以上」(2.9%)となっている。



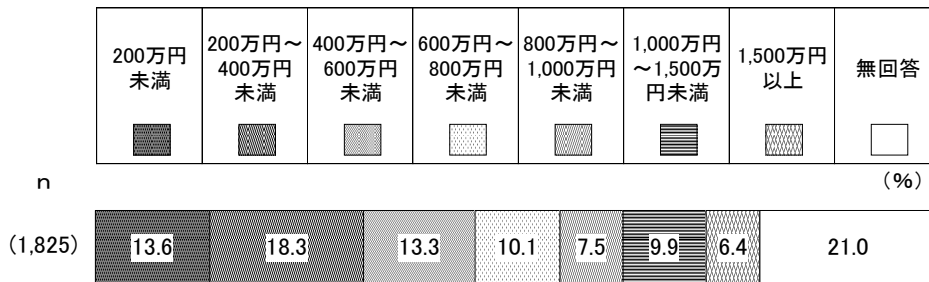
(9) 住まい形態

「一戸建て」(38.8%)が4割近くで最も高く、次いで「集合住宅(賃貸)」(28.8%)、「集合住宅(分譲)」(27.2%)となっている。



(10) 世帯年収

「200万円～400万円未満」(18.3%)が2割近くで最も高く、次いで「200万円未満」(13.6%)、「400万円～600万円未満」(13.3%)となっている。



《今回調査と過去調査（平成30年度、平成29年度、平成28年度）の回答者の基本属性比較》

		(%)			
		令和元年度 調査（今回） (n=1,825)	平成30年度 調査（前回） (n=1,841)	平成29年度 調査（前々回） (n=1,913)	平成28年度 調査（3回前） (n=1,967)
①性別	男性	37.8	38.4	39.5	39.5
	女性	58.9	57.0	56.6	57.1
	その他	0.1	-	-	-
	無回答	3.3	4.6	3.9	3.5
②年齢	18～19歳	1.2	1.0	0.7	0.7
	20～29歳	6.1	5.8	7.0	7.1
	30～39歳	15.9	13.6	13.1	13.3
	40～49歳	16.9	18.7	18.7	20.9
	50～59歳	16.8	16.2	15.6	15.7
	60～69歳	16.2	19.1	19.0	18.6
	70歳以上	24.5	23.1	23.7	21.7
	無回答	2.5	2.4	2.3	2.0
③職業	自営業（家族従業員含む）	11.2	12.4	12.5	11.7
	勤め（全日・正規）	33.5	33.0	29.4	30.5
	勤め（全日・非正規）	5.6	5.3	5.5	6.7
	勤め（パートタイム）	10.6	10.5	11.4	10.2
	専業主婦（主夫）	13.6	14.6	14.2	16.1
	学生	3.0	2.8	2.8	3.5
	無職	17.4	17.7	20.4	16.9
	その他	2.2	1.0	1.0	1.0
④居住年数	2年以上～3年未満	4.4	3.7	4.7	3.8
	3年以上～5年未満	7.8	6.6	6.3	6.0
	5年以上～10年未満	15.5	15.7	14.6	15.0
	10年以上～15年未満	13.2	11.2	10.8	11.5
	15年以上～20年未満	8.8	7.9	7.5	8.9
	20年以上	47.9	52.4	53.9	52.2
	無回答	2.3	2.5	2.2	2.5
⑤居住歴	ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）	24.7	26.9	26.2	27.6
	他の地域からきた	74.8	70.0	71.3	71.7
	無回答	0.5	3.0	2.5	0.7
⑥居住地域	東部地域	21.5	20.2	20.7	21.2
	北部地域	20.0	18.6	18.0	17.2
	中央地域	16.5	18.0	17.7	20.0
	南部地域	19.2	20.9	20.9	20.4
	西部地域	19.1	18.8	19.6	18.2
	無回答	3.7	3.5	3.1	2.9
⑦世帯構成	単身者	23.1	22.9	21.4	21.7
	夫婦のみ	24.6	23.3	23.6	24.3
	親と子	41.2	43.4	43.8	43.6
	三世帯	6.3	6.2	7.2	5.9
	その他	3.1	1.8	1.3	1.5
	無回答	1.8	2.4	2.7	3.0
⑧中学生以下の子どもの有無	いない	56.2	57.9	61.7	61.3
	1人	25.5	22.8	20.0	21.5
	2人	12.9	13.1	12.5	11.3
	3人以上	2.9	3.0	4.1	3.6
	無回答	2.4	3.3	1.6	2.4
⑨住まい形態	一戸建て	38.8	41.6	43.0	42.1
	集合住宅（分譲）	27.2	25.0	26.1	26.3
	集合住宅（賃貸）	28.8	28.5	26.7	25.9
	社宅・官舎、寮	1.5	1.9	1.4	1.6
	その他	1.9	0.9	0.8	0.8
	無回答	1.9	2.1	2.0	3.2
⑩世帯年収	200万円未満	13.6	12.1	12.4	12.1
	200万円～400万円未満	18.3	20.4	21.7	19.6
	400万円～600万円未満	13.3	14.5	14.4	16.6
	600万円～800万円未満	10.1	9.3	9.1	9.7
	800万円～1,000万円未満	7.5	8.4	7.8	7.9
	1,000万円～1,500万円未満	9.9	9.3	9.4	8.7
	1,500万円以上	6.4	6.4	5.0	5.4
	無回答	21.0	19.6	20.2	20.0

注) 平成30年度調査は、平成30年6月実施の「協働のまちづくりに関する区民意識調査」の回答結果である。

注) 平成29年度調査は、平成29年6月実施の「協働のまちづくりに関する区民意識調査」の回答結果である。

注) 平成28年度調査は、平成28年9月実施の「協働のまちづくりに関する区民意識調査」の回答結果である。

注) ⑧中学生以下の子どもの有無は、⑦世帯構成で「親と子」「三世帯」に回答した人のみが回答。

(該当する回答者数は、令和元年度が866人、平成30年度が914人、平成29年度が974人、平成28年度が974人)

Ⅱ 調査結果

第1章 豊島区の印象について

II 調査結果

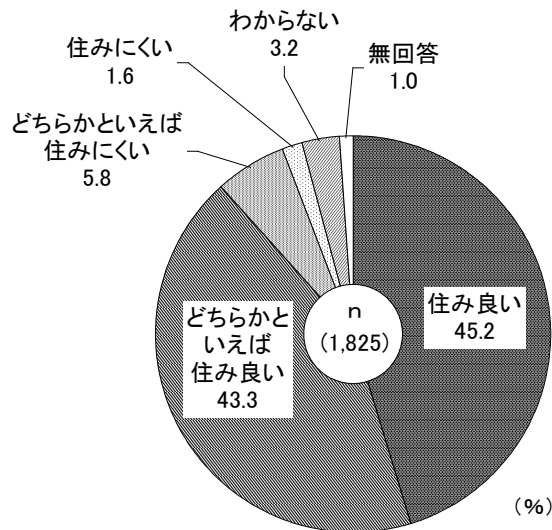
第1章 豊島区の印象について

1. 住み心地

(1) 住み心地

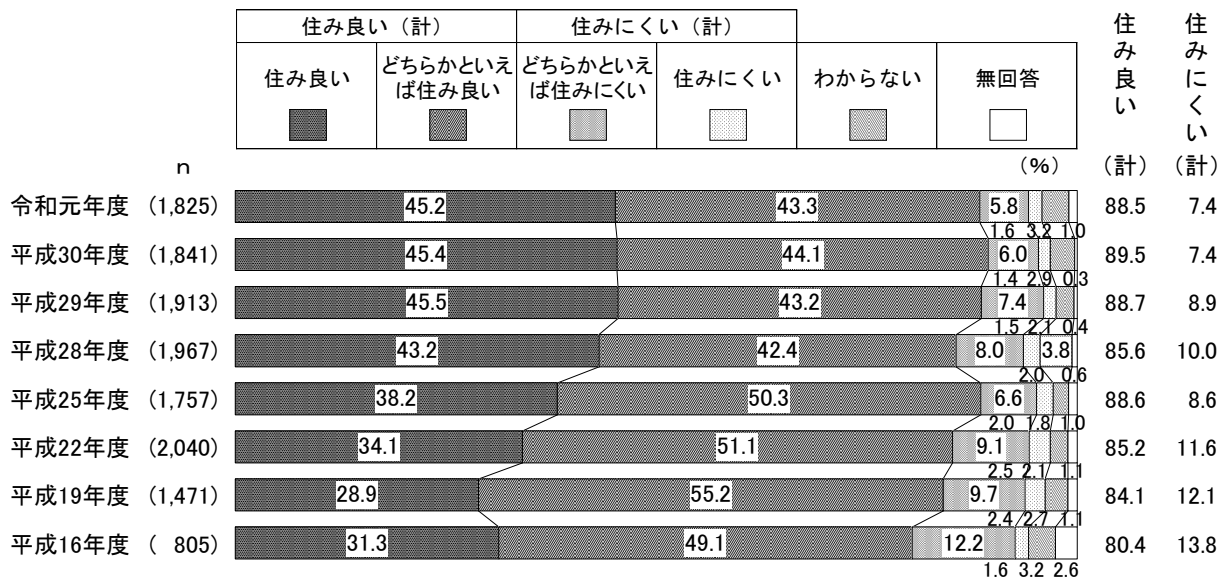
問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地ごちはどうですか。(1つに○)

豊島区の住み心地を聞いたところ、「住み良い」(45.2%)と「どちらかといえば住み良い」(43.3%)を合わせた『住み良い(計)』(88.5%)は9割近くとなっている。一方、「どちらかといえば住みにくい」(5.8%)と「住みにくい」(1.6%)を合わせた『住みにくい(計)』(7.4%)は1割未満となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『住み良い(計)』は平成16年度以降、8割台で推移している。

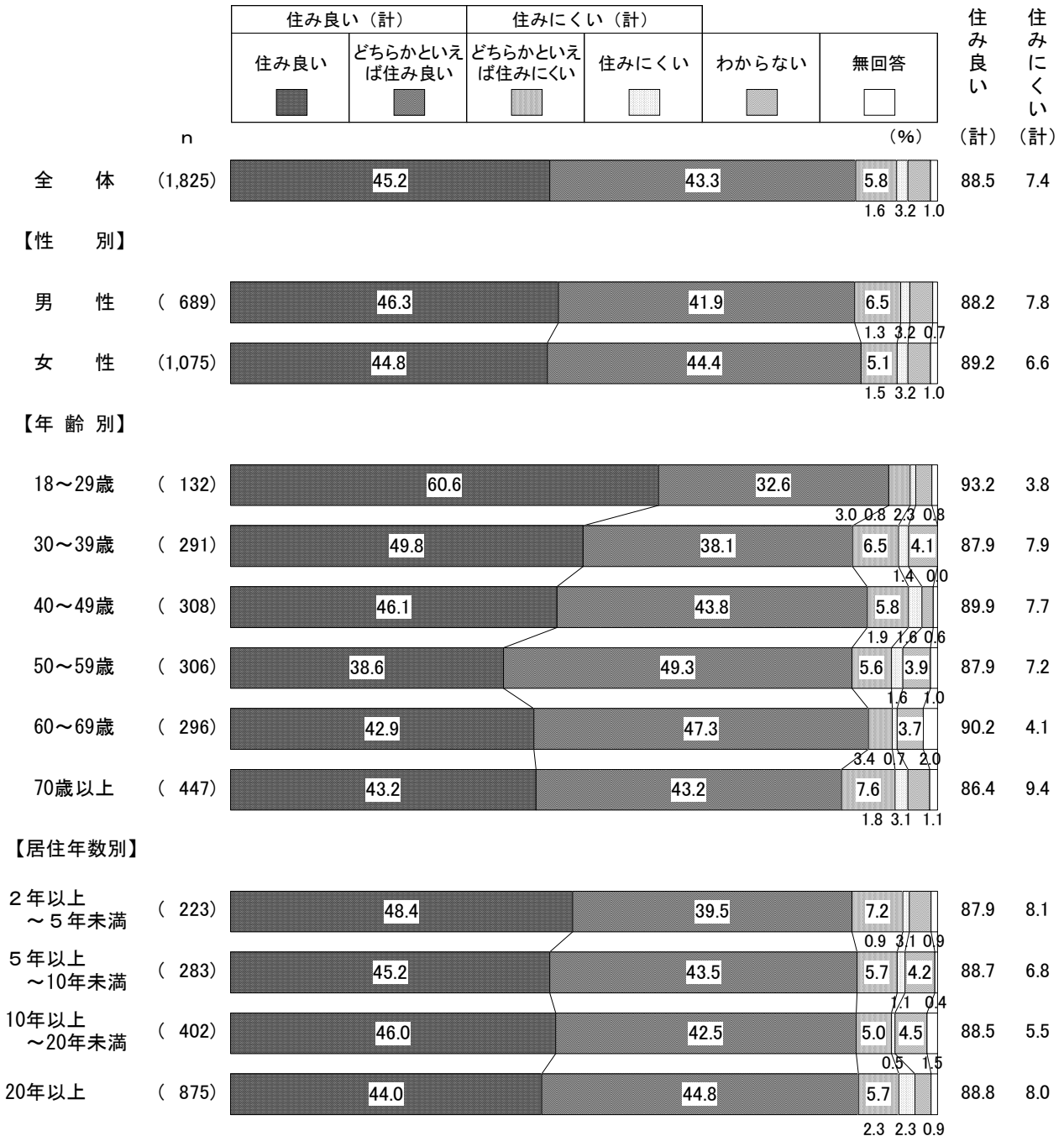


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『住み良い（計）』は18～29歳（93.2%）と60～69歳（90.2%）で9割台と高くなっている。

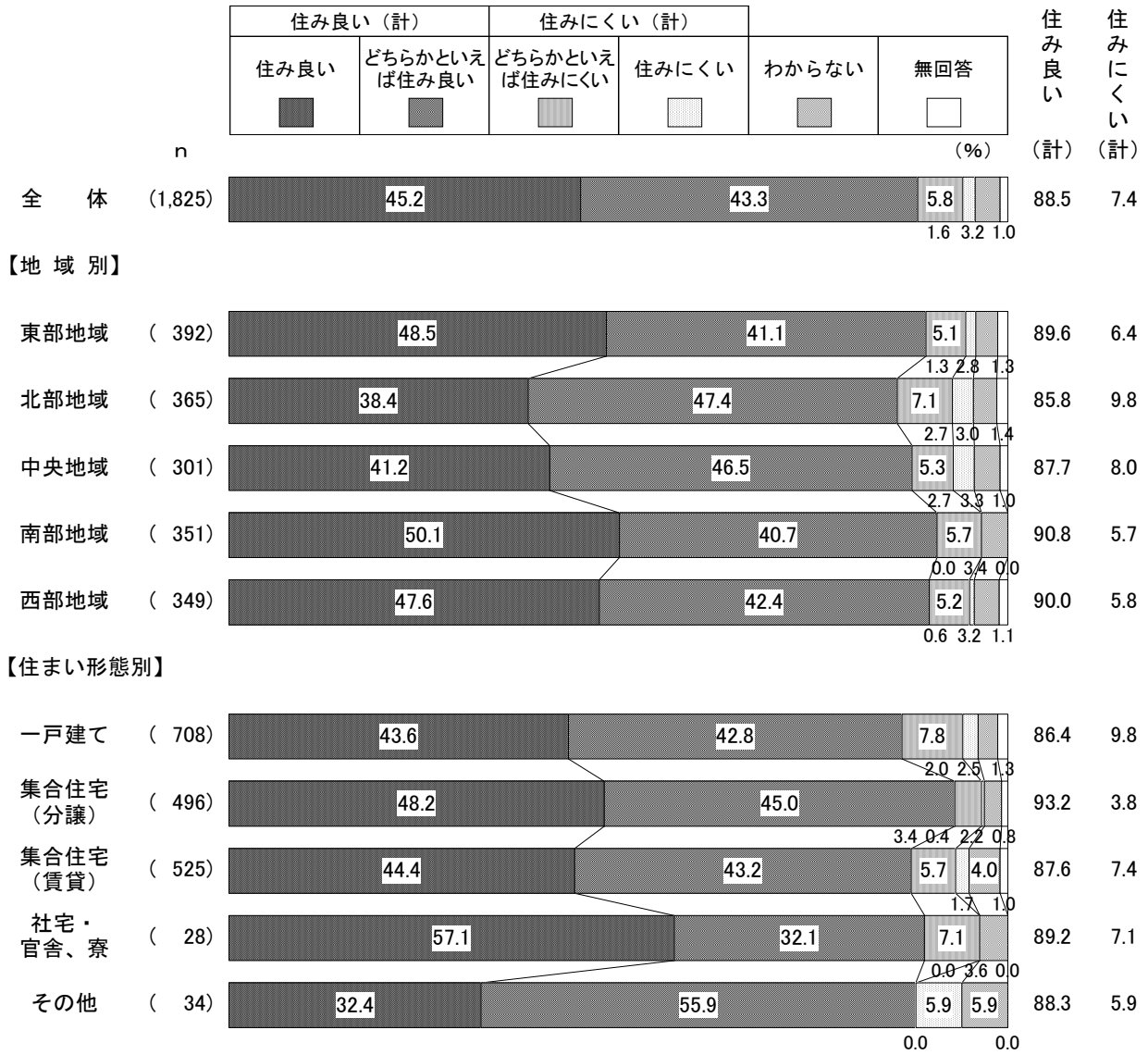
居住年数別でみると、大きな違いはみられない。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、『住み良い（計）』は南部地域（90.8%）、西部地域（90.0%）、東部地域（89.6%）で約9割と高くなっている。

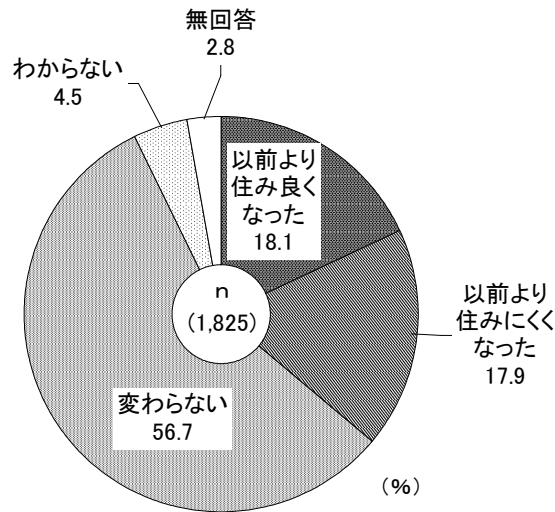
住まい形態別でみると、『住み良い（計）』は集合住宅（分譲）（93.2%）で9割を超えて高くなっている。



(2) 住み心地の変化

問2 以前と比べて住み心地ごこちに変化はありますか。(1つに○)

以前と比べて住み心地の変化を聞いたところ、「変わらない」(56.7%)が6割近くとなっている。「以前より住み良くなった」(18.1%)と「以前より住みにくくなった」(17.9%)はともに2割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「以前より住み良くなった」は平成30年度より4.6ポイント減少している。

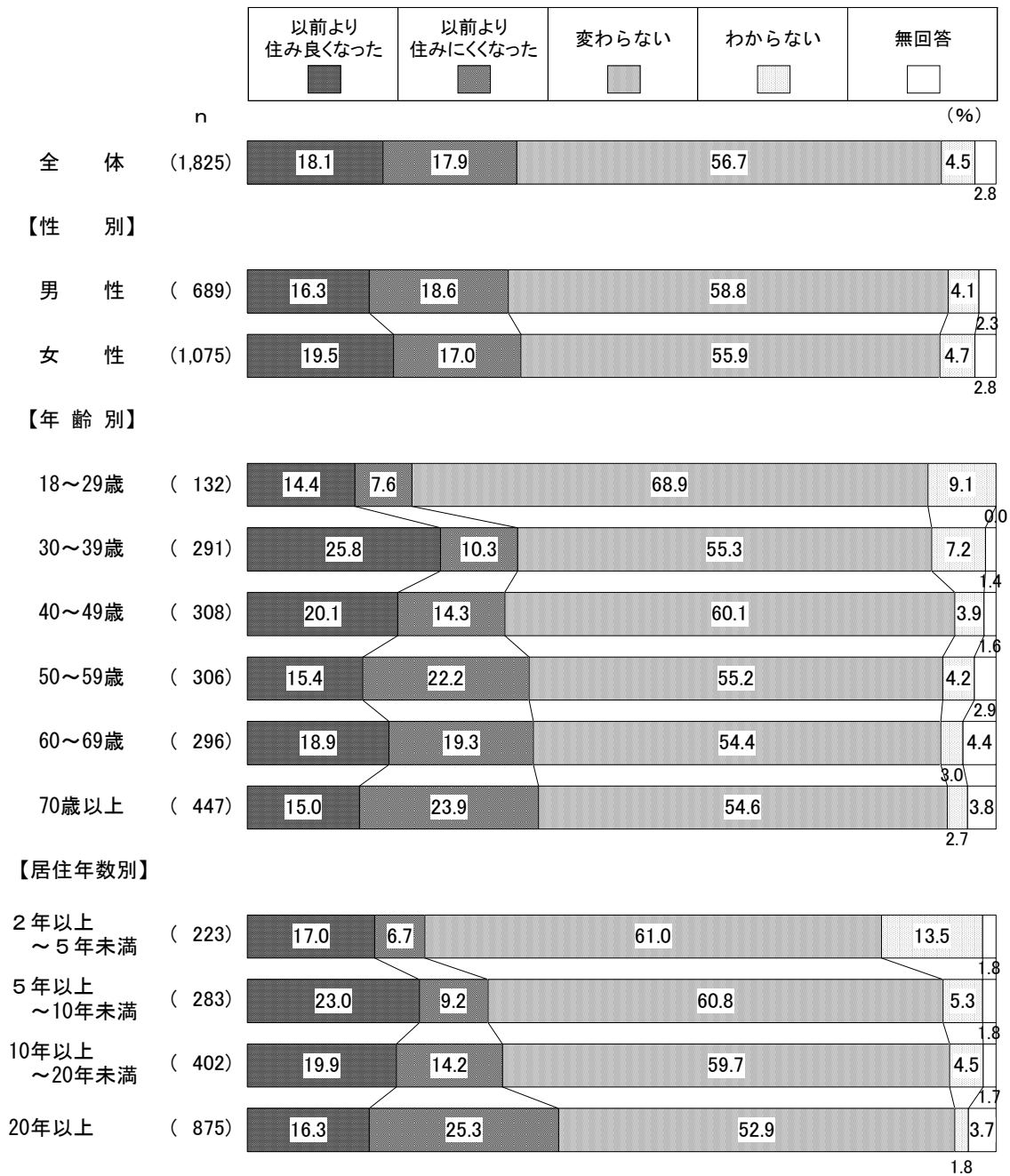
n	割合 (%)				
	以前より住み良くなった	以前より住みにくくなった	変わらない	わからない	無回答
令和元年度 (1,825)	18.1	17.9	56.7	4.5	2.8
平成30年度 (1,841)	22.7	17.1	55.9	3.9	0.4
平成29年度 (1,913)	21.3	18.6	54.9	4.6	0.7
平成28年度 (1,967)	17.9	18.7	56.1	4.1	3.3
平成25年度 (1,757)	15.8	18.4	58.6	3.9	3.4
平成22年度 (2,040)	15.0	22.0	56.7	3.8	2.5
平成19年度 (1,471)	11.6	25.8	55.5	4.2	2.9

【性別、年齢別、居住年数別】

性別で見ると、「以前より住み良くなった」は女性（19.5%）が男性（16.3%）より3.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「以前より住み良くなった」は30～39歳（25.8%）で2割半ばと高くなっている。「変わらない」は18～29歳（68.9%）で7割近くと高くなっている。

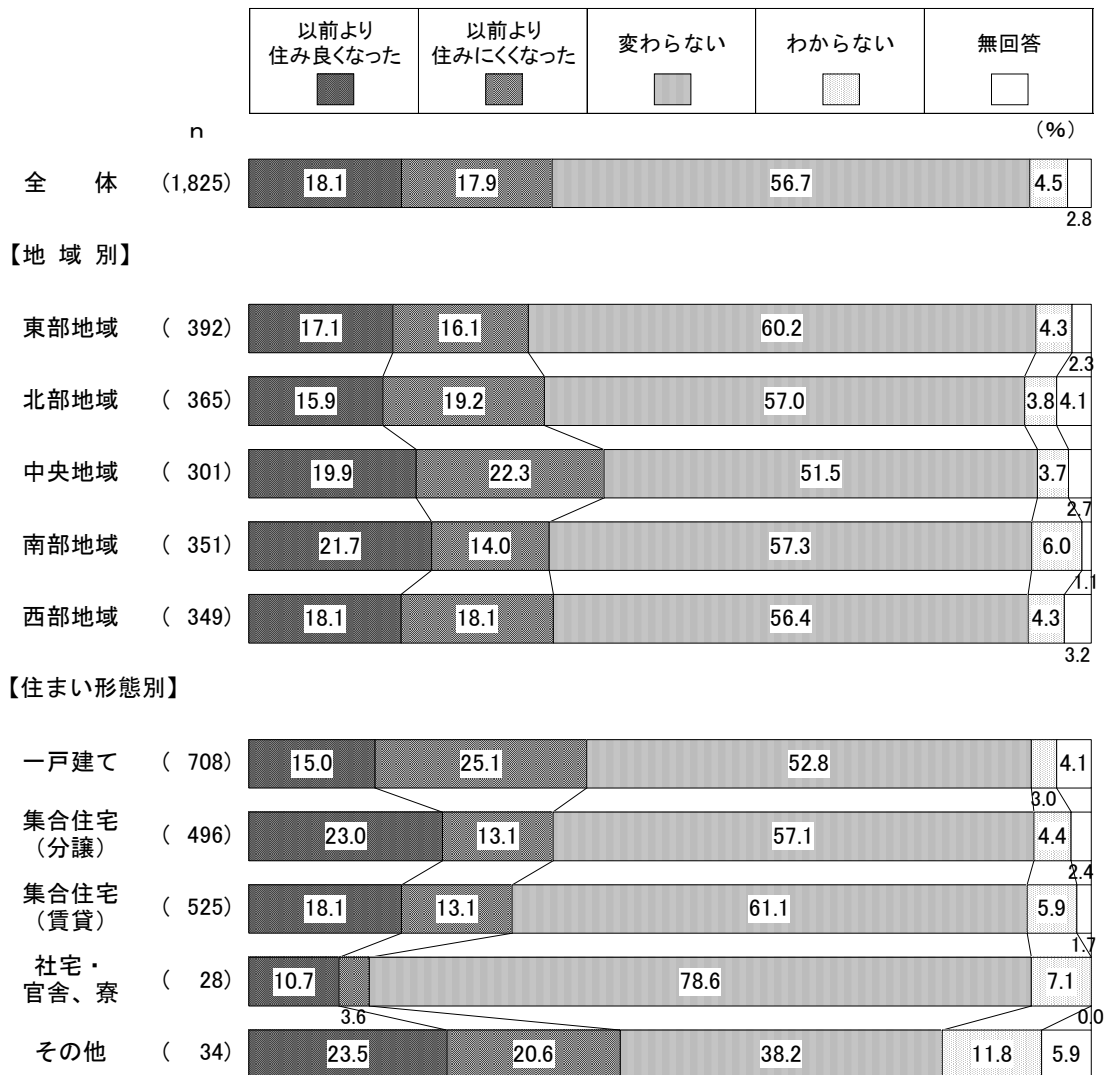
居住年数別で見ると、「以前より住み良くなった」は5年以上～10年未満（23.0%）で2割を超えて高くなっている。「以前より住みにくくなった」は居住年数が長くなるにつれて割合が高くなっており、「変わらない」は居住年数が短くなるにつれて割合が高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、「以前より住み良くなった」は南部地域（21.7%）で2割を超えて高くなっている。「以前より住みにくくなった」は中央地域（22.3%）で2割を超えて高くなっている。「変わらない」は東部地域（60.2%）で6割と高くなっている。

住まい形態別でみると、「以前より住み良くなった」は集合住宅（分譲）（23.0%）で2割を超えて高くなっている。「以前より住みにくくなった」は一戸建て（25.1%）で2割半ばと高くなっている。「変わらない」は社宅・官舎、寮（78.6%）で8割近くと高くなっている。



(3) 住み心地の変化の理由

《問2で、「以前より住み良くなった」または「以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします》

問2-1 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。代表的なことについて1つお答えください。(自由回答)

以前と比べた住み心地の変化で、「以前より住み良くなった」または「以前より住みにくくなった」と答えた方に、その代表的な理由を尋ねた。自由回答形式の回答を分類すると、下表のとおりとなった。

【以前より住み良くなった主な理由】

分類項目	件数	主な意見(要旨)
街づくり	86	池袋周辺が整備され利用しやすくなった
		駅周辺の環境(特に駐輪対策)が良くなった
		町全体が明るくなった、古い建物がなくなり綺麗になった
		道路を綺麗にする工事が進んでいて歩きやすくなった
		開発されてきれいになった
		大塚駅の南北が通行できるようになり、駅ビルや駅周辺の開発が進んで、非常に便利で美しくなった
交通について	57	交通の便がよい
		地下鉄ができた、町がきれいになった
		都バスの行き先が増えた(サンシャイン行きができた)
		駅が近い
		都市計画道路(西池袋通り)が開通した
買い物について	42	スーパー、コンビニが増えた
		買い物するのに近くですむ
		駅も近く買い物も近いから
各種施設について	37	南池袋公園の整備など、安全に清潔に楽しめる場所が増えた
		子どもの成長に対して良い環境
		公園などがキレイになった
安全・治安について	31	治安が良くなった
		夜出歩いても変な人に会わなくなった
		ホームレスの人がいなくなった
生活環境が改善された	29	以前より静かだ
		駅までの道にあった風俗店やラブホテルがなくなった
		ゴミ出しのルールを守っているので環境が良い
		禁煙の公園が増えた
		街全体が綺麗になってきた
飲食店や商業施設について	28	商業施設が増えた
		駅前にお店や商業施設が増えたから

分類項目	件数	主な意見(要旨)
福祉・医療が充実している	24	子育て支援が充実してきた
		保育園に入りやすくなった
		駅の回りにエレベーターがついて車イスの移動が楽になった
行政がよくなった	10	区役所が土日も開庁するようになり、手続きが楽になった
		区役所が新しくなったこと
人間関係がよくなった	6	知り合いが増えたから
		近隣とのつき合いが適度で良い
その他	21	長く住んでいるから
		地域のイメージUP
		地盤が強固である
		芸術施設・イベントの充実
		パートナーシップ制度など、LGBTに配慮があるため

【以前より住みにくくなった主な理由】

分類項目	件数	主な意見(要旨)
外国人との関係	113	高層ビルが増え外国人が増加、町が騒がしくなった
		ゴミ出しルールなどが守られない(外国人のマナーが良くない)
		民泊が増えた
		外国人(マナーの悪い)の増加
買い物が不便になった	47	商店(街)の店が少なくなった
		近所のお店が次々と閉店している
		自宅付近の区域は店舗に偏りがある
		シャッター通りが多くなった
治安・マナー	43	自転(動)車に乗る人のマナーの悪さ
		若い人(大学生)のマナーが悪い
		喫煙マナーの悪い人が多くなった印象(路上やマンション内)
		民泊施設があるのか夜騒がしい時がある
		ゴミ収集のルールを守らない人がいて、不法投棄的にゴミがある日がある
新しくマンションや住宅が建設され住環境が悪化した	30	高いビル(マンション)が建つようになった
		周囲に高いマンションが建ち並び、日照が悪くビル風による被害も多くなった
		次々と一軒屋が取り壊されマンションとなり、住民同士が知らない間柄になると共にゴミ出しや騒音、駅の乗降客増加など生活しづらくなった
		近くにタワーマンションが増えたため景観が悪くなった
コミュニティ・近隣関係	24	少子高齢化で交流がだんだんなくなってきていると思う
		近所に知り合いが少なくなった
		人が増えた

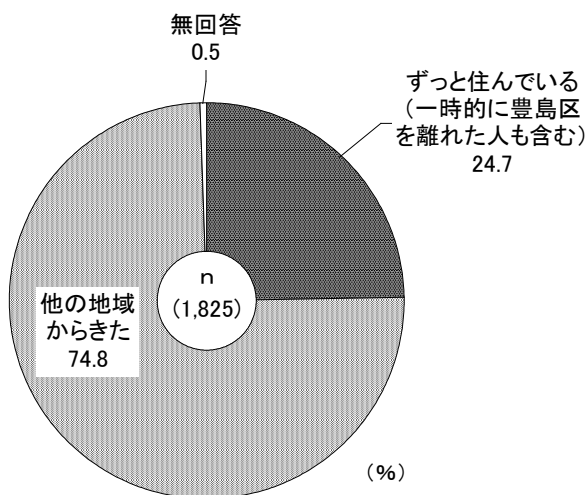
分類項目	件数	主な意見(要旨)
道路・交通	20	自転車が多く、交通ルールがない
		近くに豊島区役所ができ、家の前の生活道路が抜け道となり、車の通行が激しくなった
		高い建物が多くなり、道幅が狭く感じる様になった
騒音	15	飛行機の音が気になる
		周囲の騒音が以前より気になってきた
		建設工事が多くなり、空気が大変悪く、騒音もひどい
緑・オープンスペース	12	公園が少ない
		緑が周りになくなった
街づくり、都市開発	9	裏通りに商業施設ができ、今後、人通りが多くなりそう
		住宅地の土地が細分化し、小規模住宅やアパートが増え、都市防災上、危険が増大している
行政	9	障害者支援が充分ではない、本当に困っている人にサービスが届かない、役所の職員たちも知識不足であったり、親切とは言えない対応
		区役所が遠くなった
各種施設	7	近くにあった銭湯がすべてなくなった
		総合病院がない
その他	15	カラス、ハトの被害がある
		自分自身の高齢化
		家賃が高い
		日当たりが悪い

2. 居住の経緯

(1) 居住の経緯

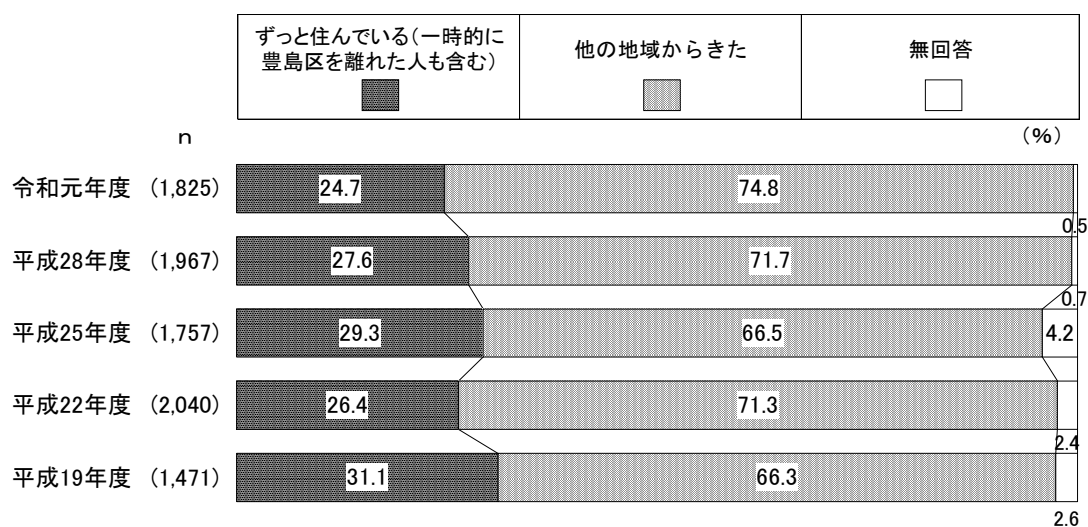
問3 あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

生まれてからずっと豊島区に住んでいるか聞いたところ、「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」(24.7%)が2割半ば、「他の地域からきた」(74.8%)は7割半ばとなっている。



【経年比較】

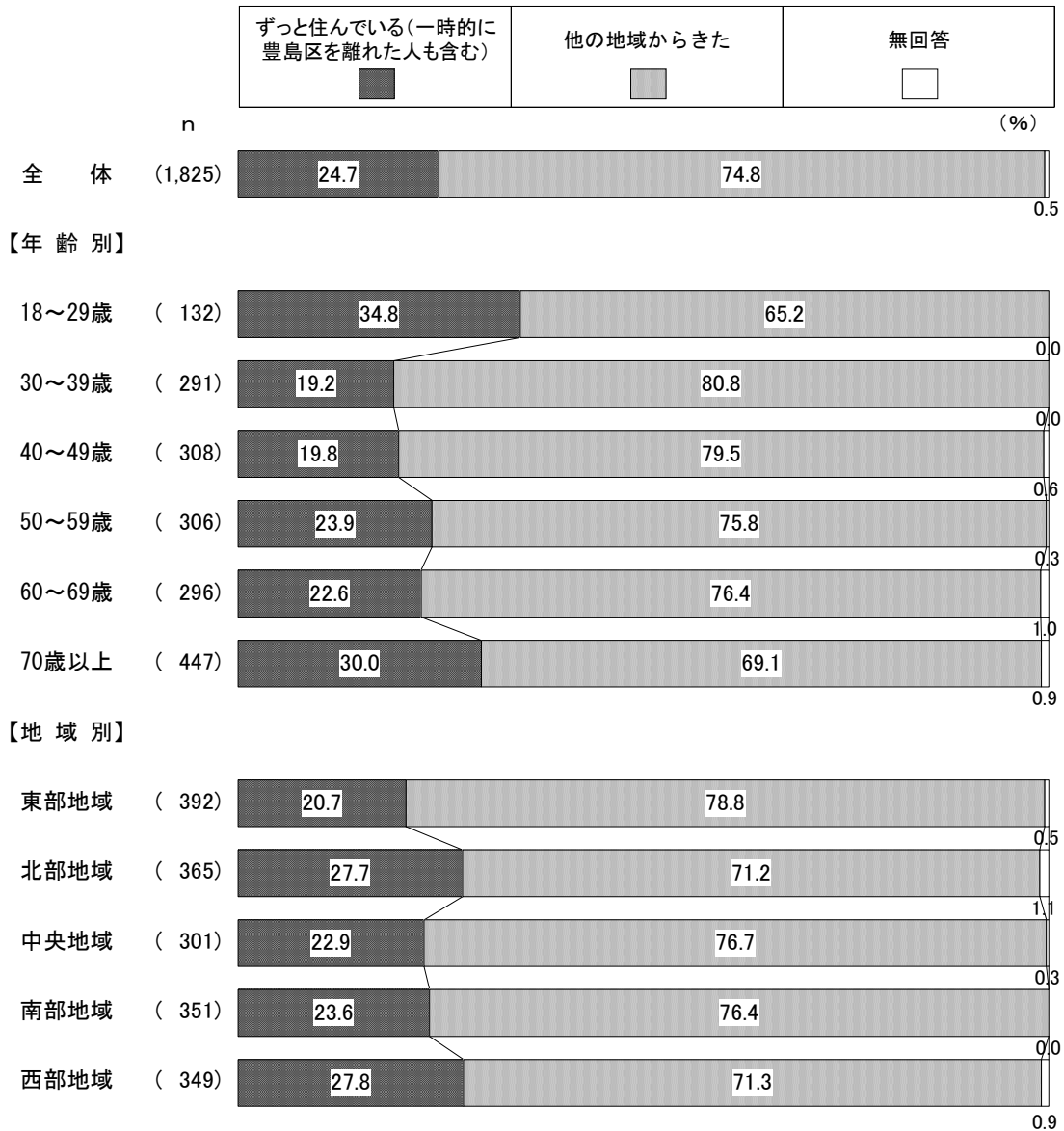
過去の調査結果と比較すると、「他の地域からきた」は平成25年度以降増加傾向にあり、平成28年度より3.1ポイント増加している。



【年齢別、地域別】

年齢別でみると、「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」は18～29歳（34.8%）で3割半ばと高くなっている。一方、「他の地域からきた」は30～39歳（80.8%）と40～49歳（79.5%）で約8割と高くなっている。

地域別でみると、「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」は西部地域（27.8%）と北部地域（27.7%）で3割近くと高くなっている。一方、「他の地域からきた」は東部地域（78.8%）と中央地域（76.7%）で8割近くと高くなっている。



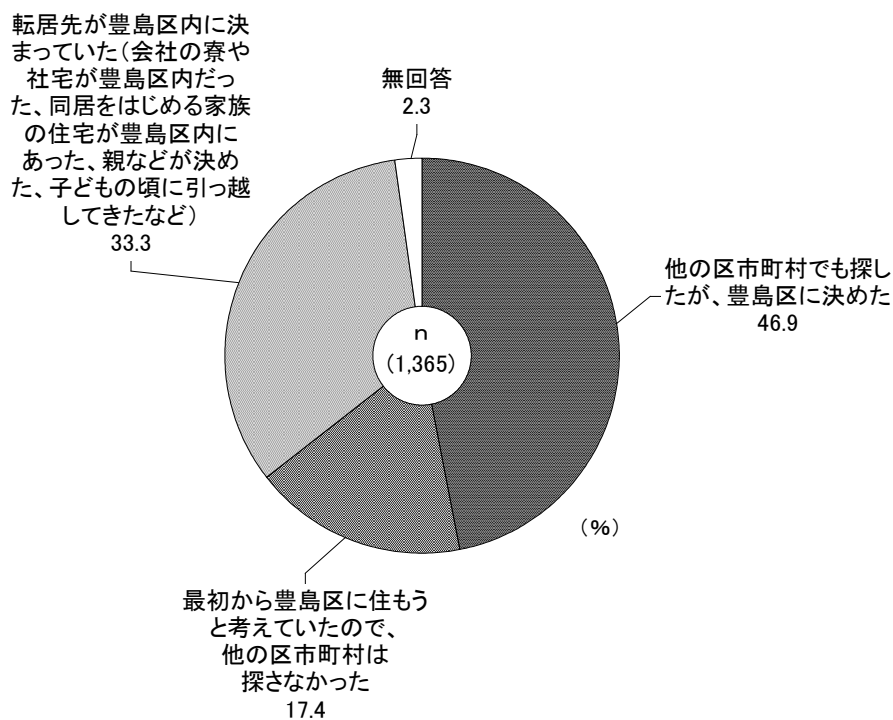
(2) 転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか

《問3で、「他の地域からきた」とお答えの方におたずねします》

問3-1 転入するにあたって、豊島区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。

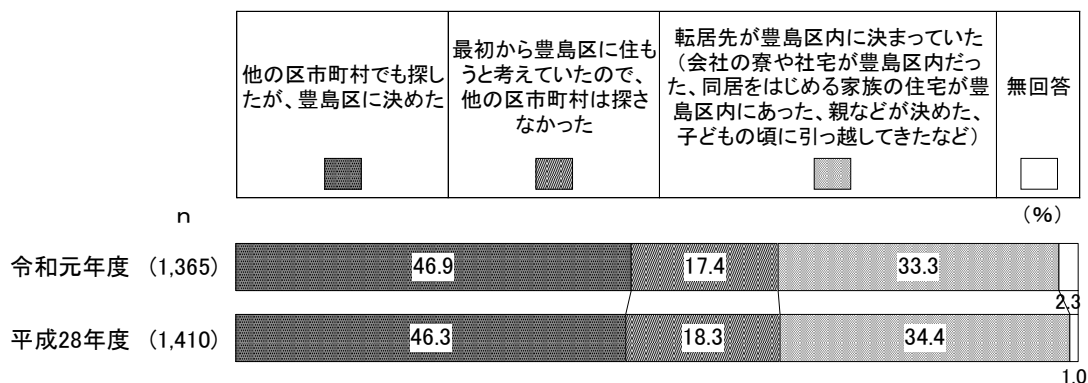
(1つに〇)

居住の経緯で、「他の地域からきた」と答えた方に、転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか聞いたところ、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」(46.9%)が5割近くで最も高く、次いで「転居先が豊島区内に決まっていた(会社の寮や社宅が豊島区内だった、同居をはじめ家族の住宅が豊島区内にあった、親などが決めた、子どもの頃に引っ越してきたなど)」(33.3%)、「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」(17.4%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成28年度と比べて大きな違いはみられない。

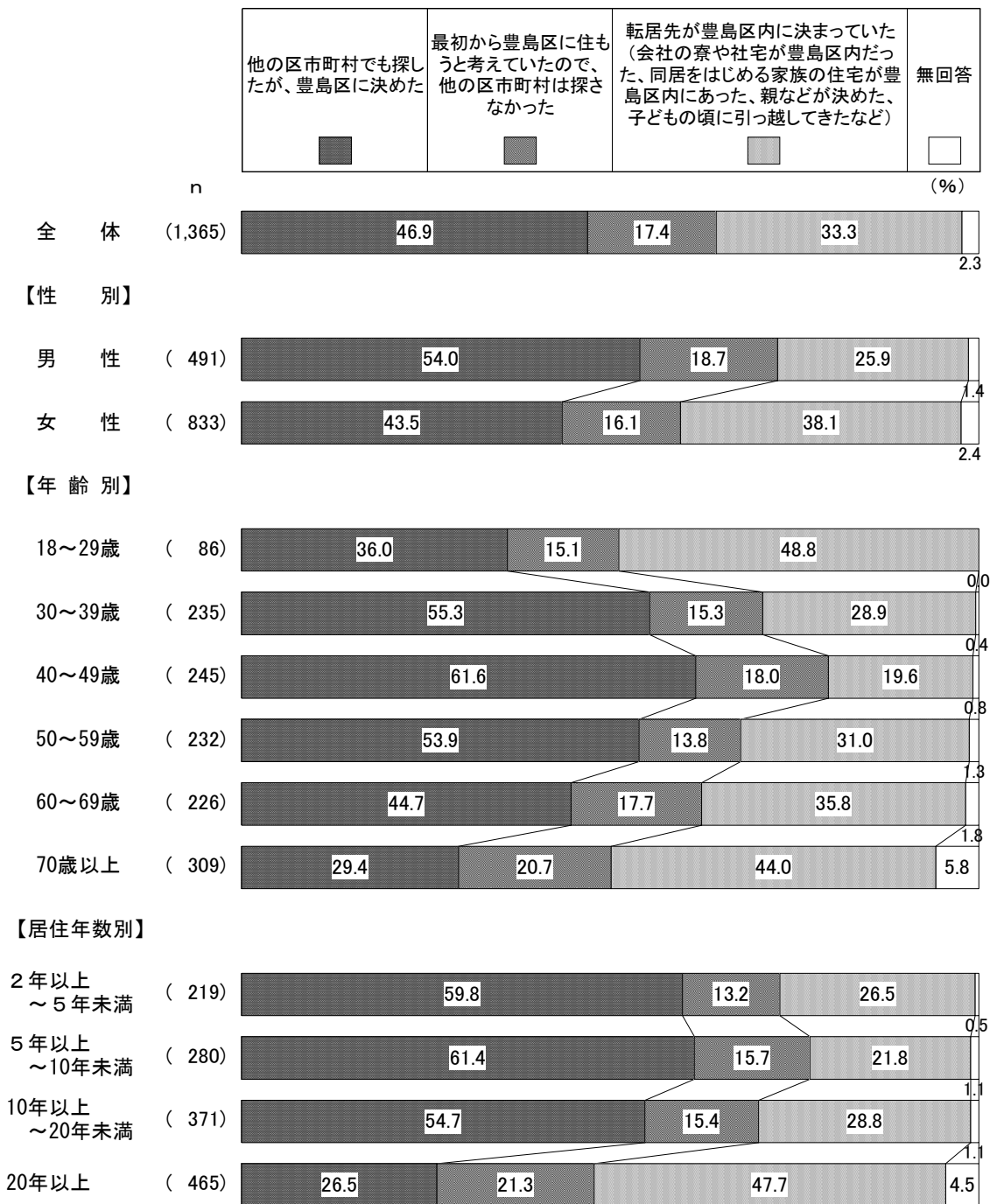


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「転居先が豊島区内に決まっていた」は女性（38.1%）が男性（25.9%）より12.2ポイント高くなっている。一方、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は男性（54.0%）が女性（43.5%）より10.5ポイント高くなっている。

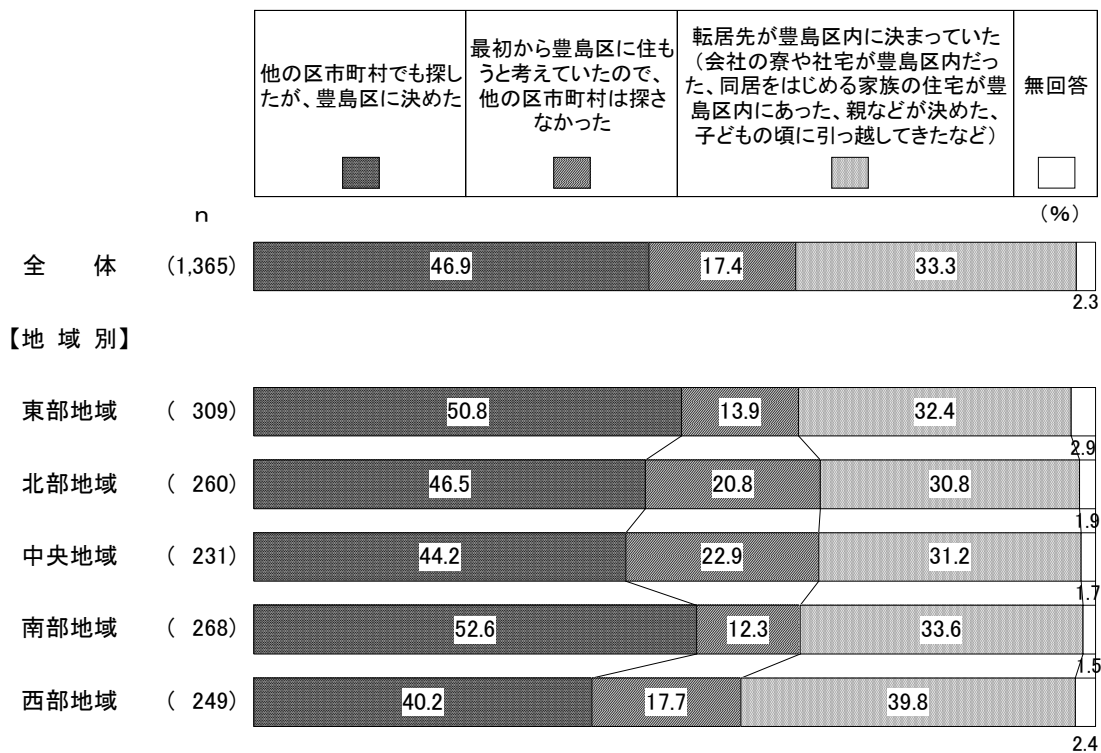
年齢別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は40～49歳（61.6%）で6割を超えて高くなっている。「転居先が豊島区内に決まっていた」は18～29歳（48.8%）で5割近くと高くなっている。

居住年数別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は5年以上～10年未満（61.4%）で6割を超えて高くなっている。「転居先が豊島区内に決まっていた」は20年以上（47.7%）で5割近くと高くなっている。



【地域別】

地域別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は南部地域（52.6%）と東部地域（50.8%）で5割台と高くなっている。「転居先が豊島区内に決まっていた」は西部地域（39.8%）で4割と高くなっている。

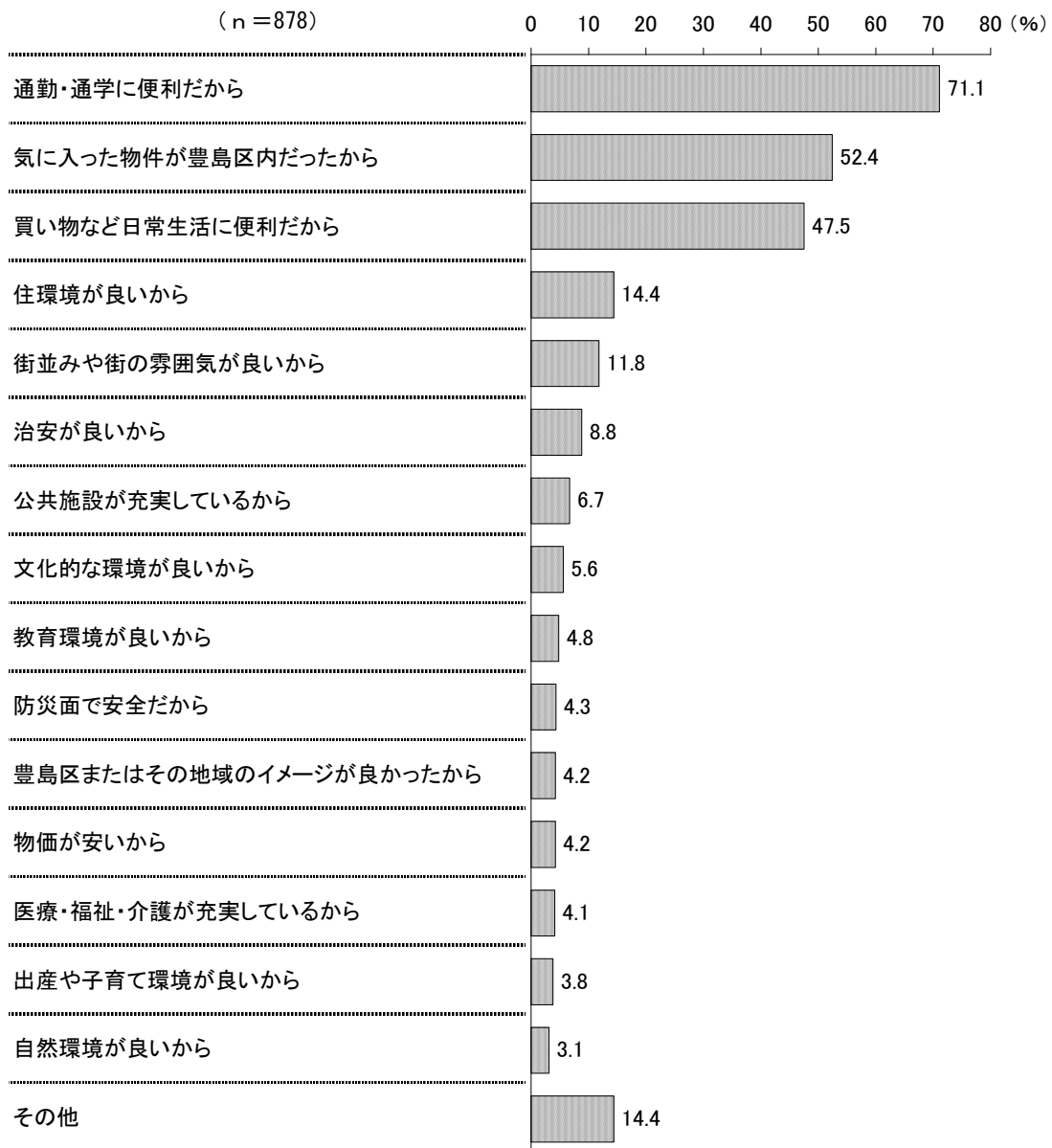


(3) 豊島区を選んだ理由

《問3-1で、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」または「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」とお答えの方におたずねします》

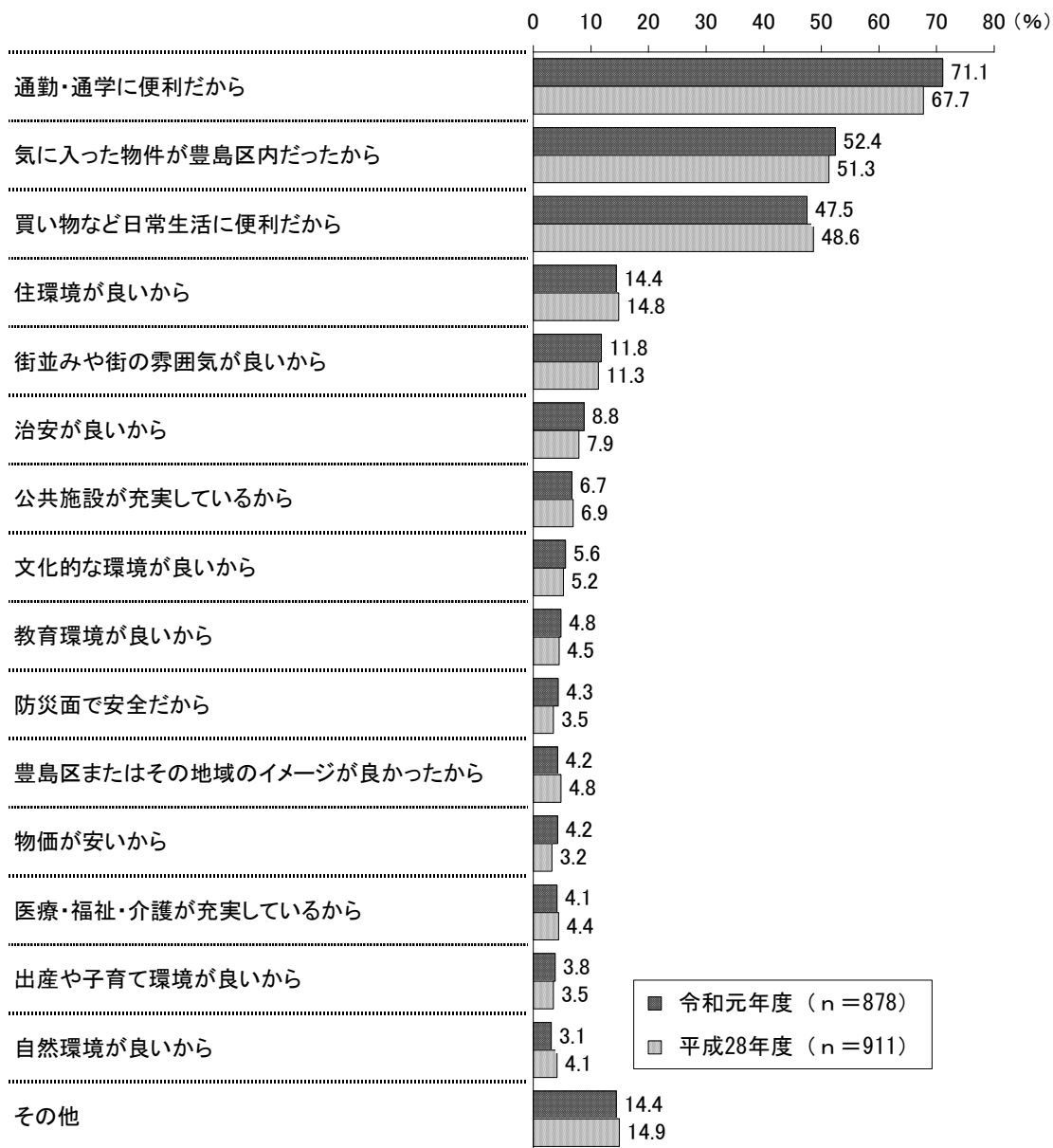
問3-2 住む場所として豊島区を選んだ理由は何ですか。(いくつでも○)

転入するにあたり、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」または「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」と答えた方に、豊島区を選んだ理由を聞いたところ、「通勤・通学に便利だから」(71.1%)が7割を超えて最も高く、次いで「気に入った物件が豊島区内だったから」(52.4%)、「買い物など日常生活に便利だから」(47.5%)、「住環境が良いから」(14.4%)となっている。



【経年比較】

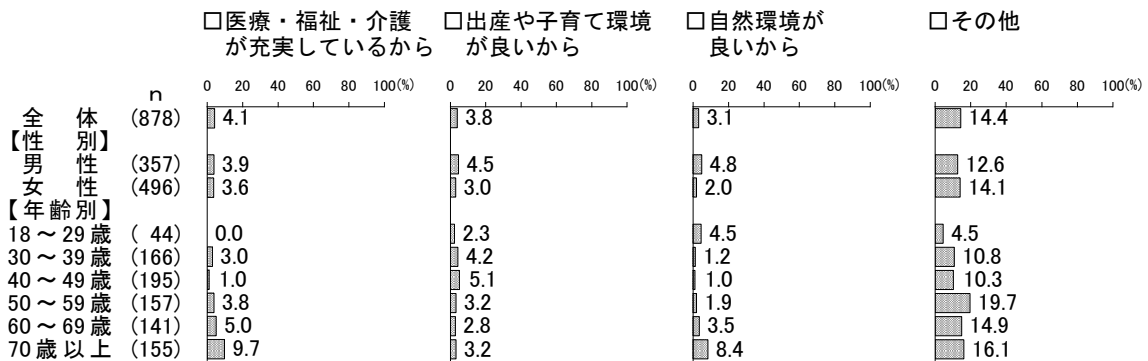
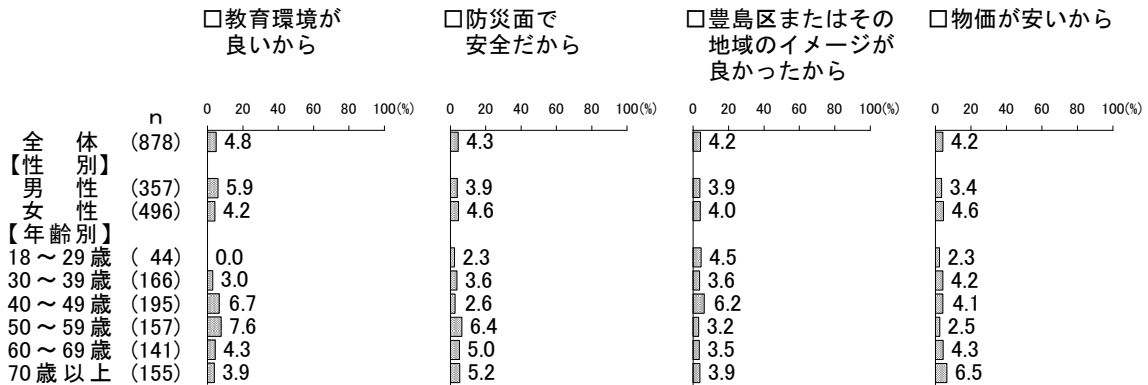
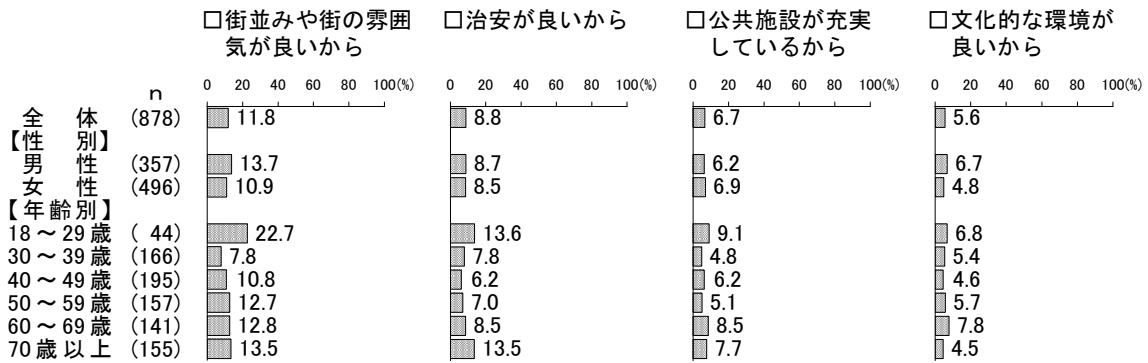
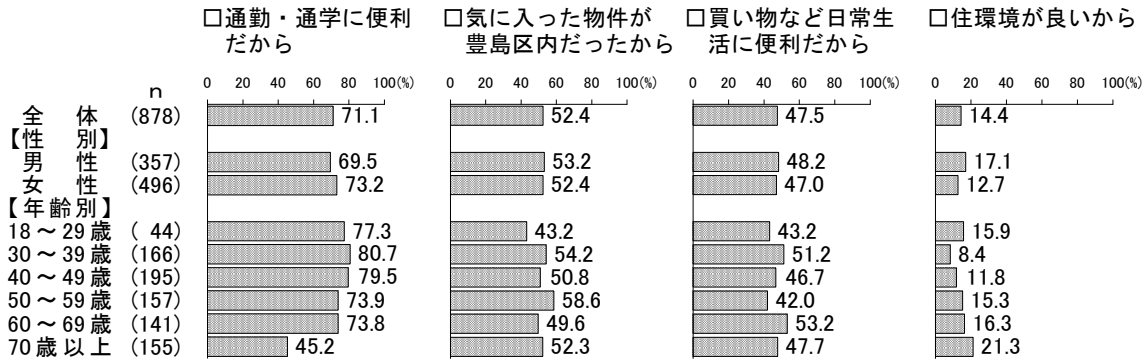
過去の調査結果と比較すると、「通勤・通学に便利だから」は平成28年度より3.4ポイント増加している。



【性別、年齢別】

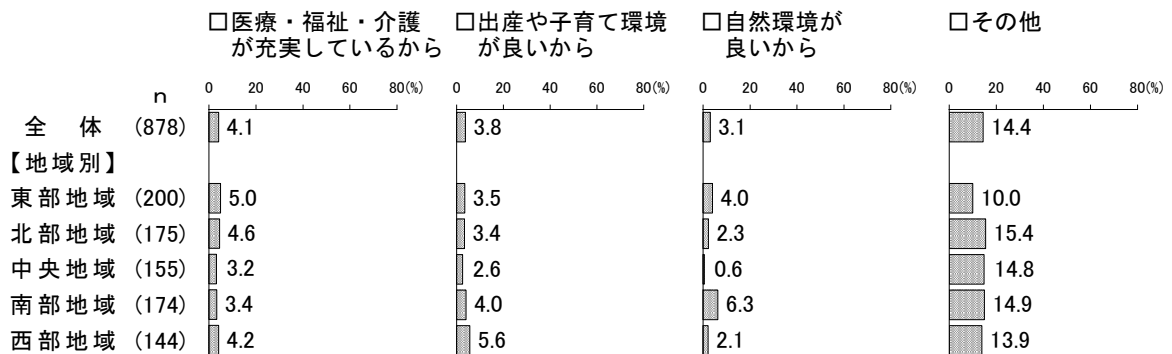
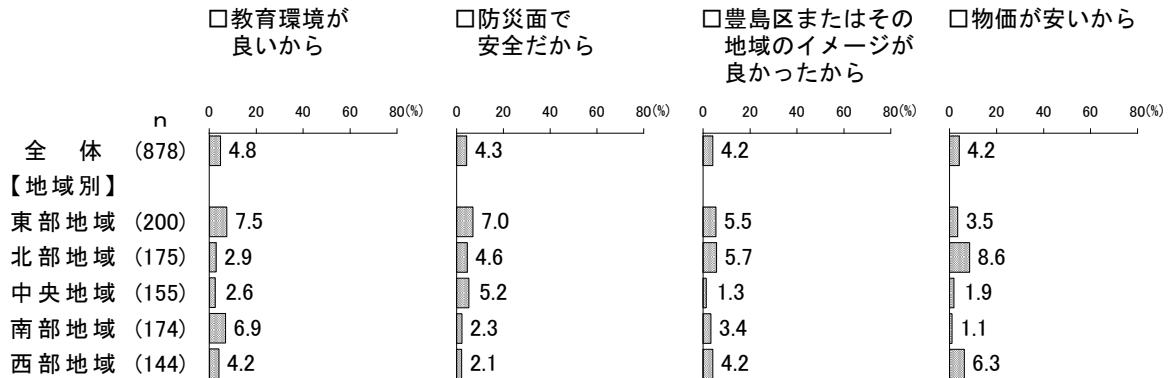
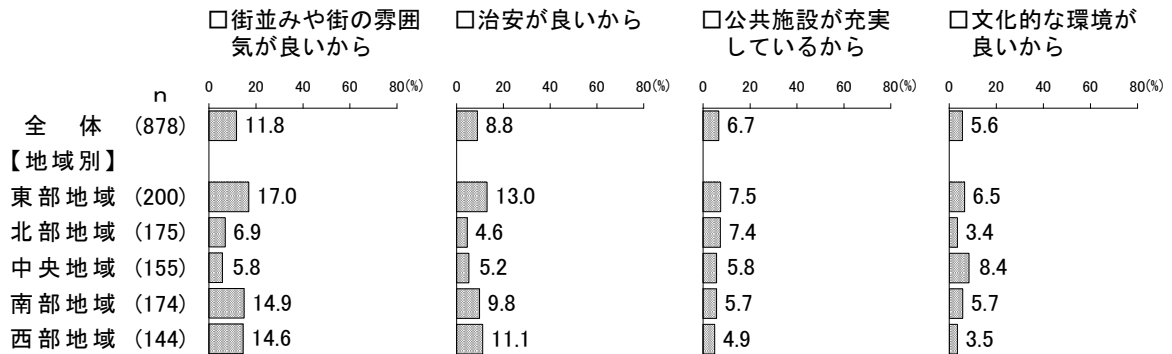
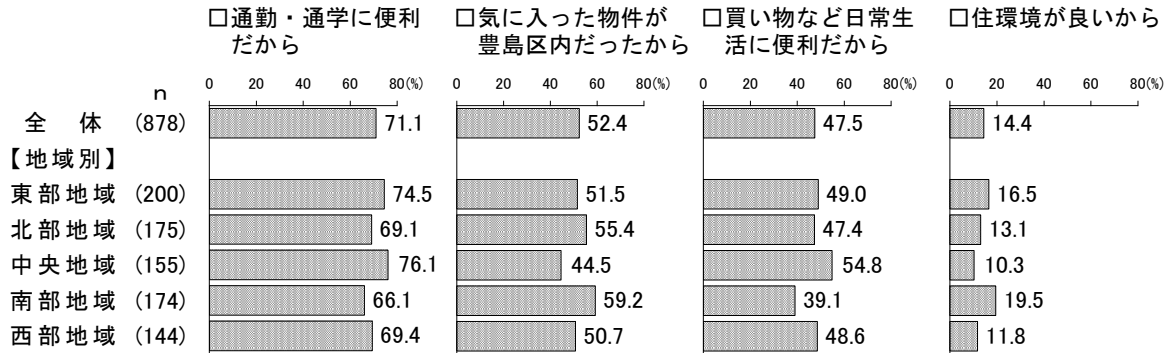
性別で見ると、「住環境が良いから」は男性（17.1%）が女性（12.7%）より4.4ポイント高くなっている。一方、「通勤・通学に便利だから」は女性（73.2%）が男性（69.5%）より3.7ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「通勤・通学に便利だから」は30～39歳（80.7%）と40～49歳（79.5%）で約8割と高くなっている。「気に入った物件が豊島区内だったから」は50～59歳（58.6%）で6割近くと高くなっている。「買い物など日常生活に便利だから」は30～39歳（51.2%）と60～69歳（53.2%）で5割を超えて高くなっている。



【地域別】

地域別でみると、「通勤・通学に便利だから」は中央地域（76.1%）と東部地域（74.5%）で7割半ばと高くなっている。「気に入った物件が豊島区内だったから」は南部地域（59.2%）で約6割と高くなっている。「買い物など日常生活に便利だから」は中央地域（54.8%）で5割半ばと高くなっている。

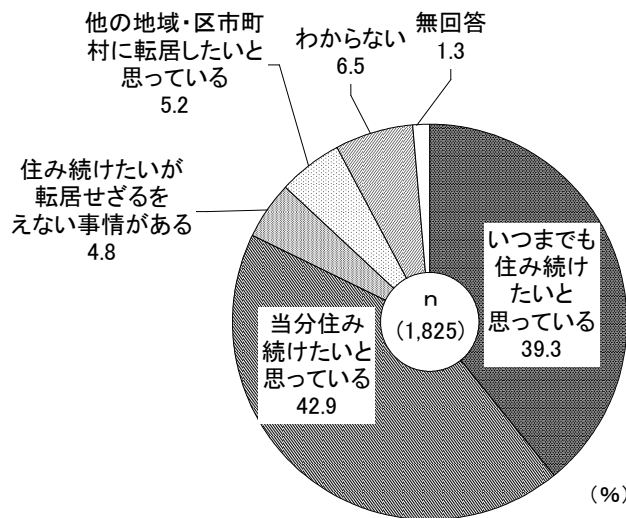


3. 定住意向

(1) 定住意向

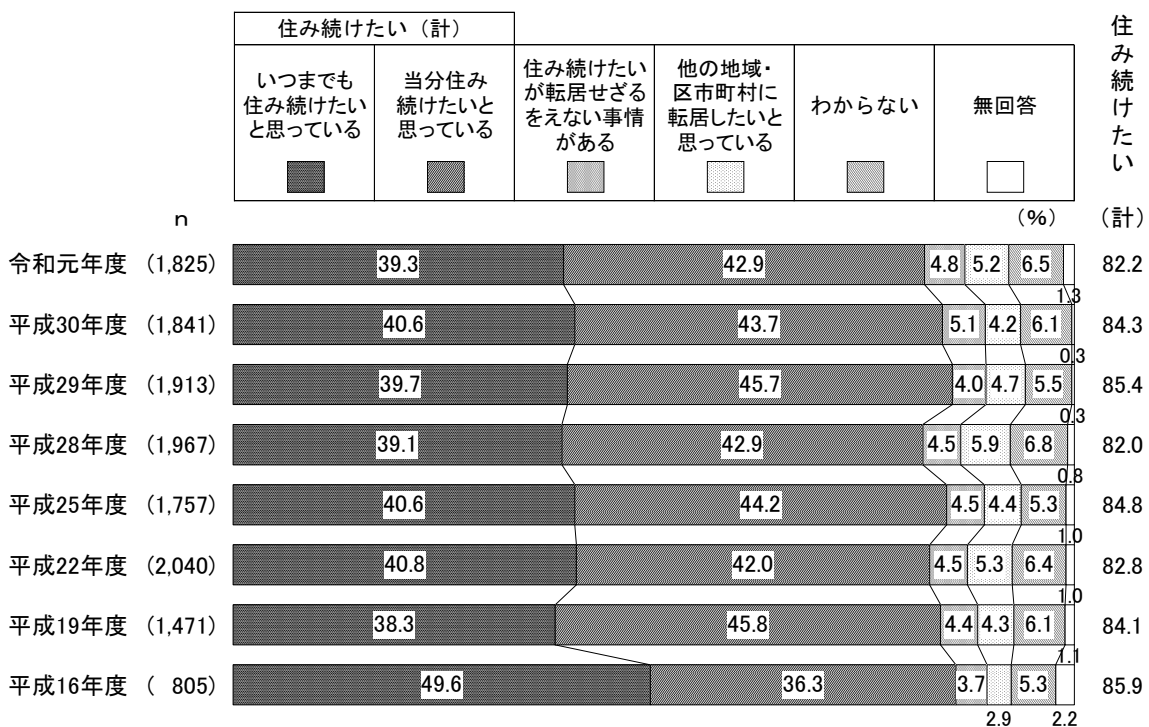
問4 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

これからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思うか聞いたところ、「いつまでも住み続けたいと思っている」(39.3%)と「当分住み続けたいと思っている」(42.9%)を合わせた『住み続けたい(計)』(82.2%)は8割を超えている。一方、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」(4.8%)と「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」(5.2%)はともに1割未満となっている。



【経年比較】

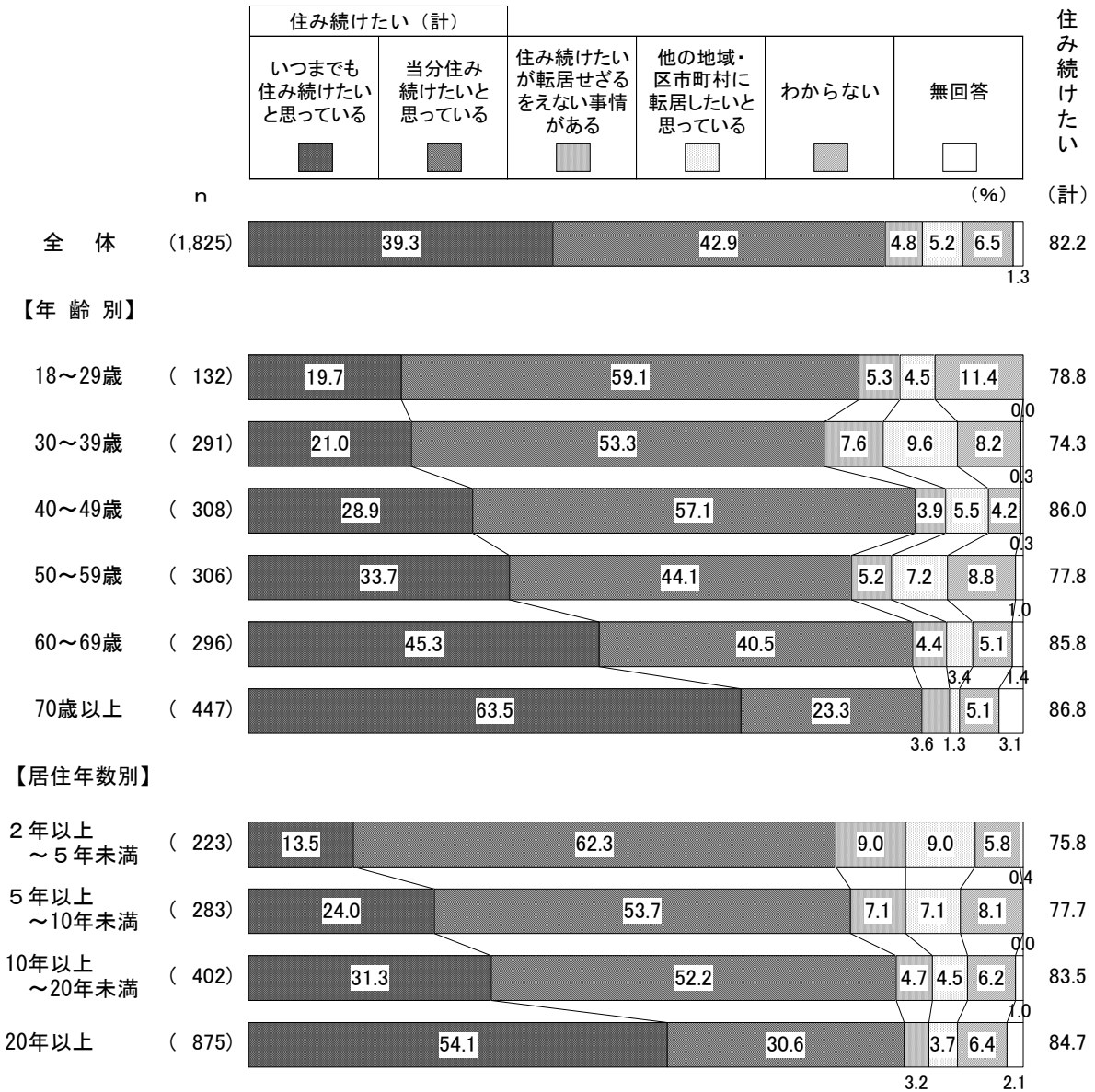
過去の調査結果と比較すると、『住み続けたい(計)』は平成29年度以降減少傾向にある。



【年齢別、居住年数別】

年齢別でみると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（63.5%）で6割を超えて高くなっている。『住み続けたい（計）』は70歳以上（86.8%）で9割近くと高くなっている。

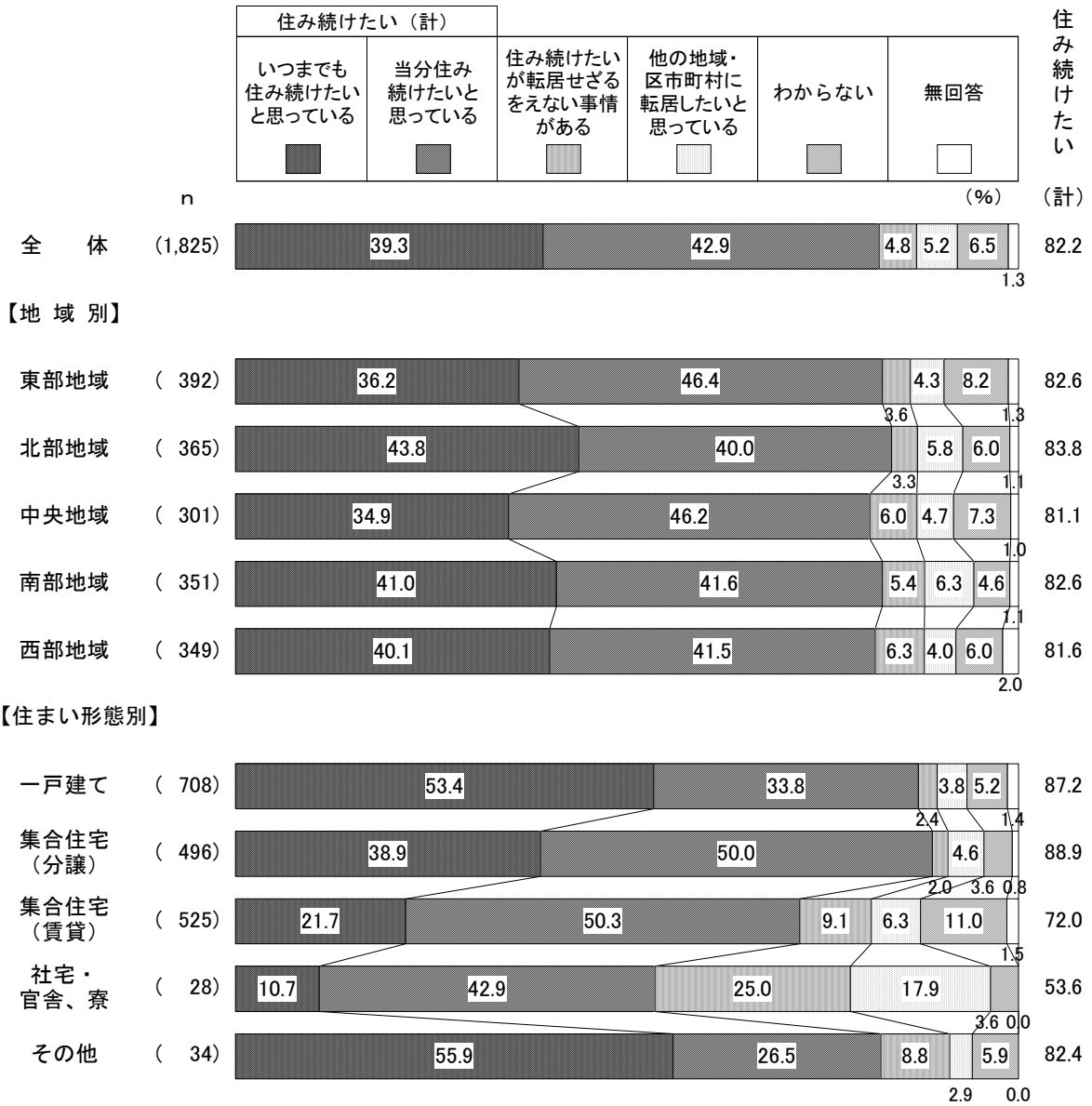
居住年数別でみると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は居住年数が長くなるにつれて割合が高く、20年以上（54.1%）で5割半ばと高くなっている。『住み続けたい（計）』は20年以上（84.7%）で8割半ばと高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、『住み続けたい（計）』はすべての地域で8割を超えて高くなっている。

住まい形態別でみると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は一戸建て（53.4%）で5割を超えて高くなっている。『住み続けたい（計）』は集合住宅（分譲）（88.9%）と一戸建て（87.2%）で9割近くと高くなっている。

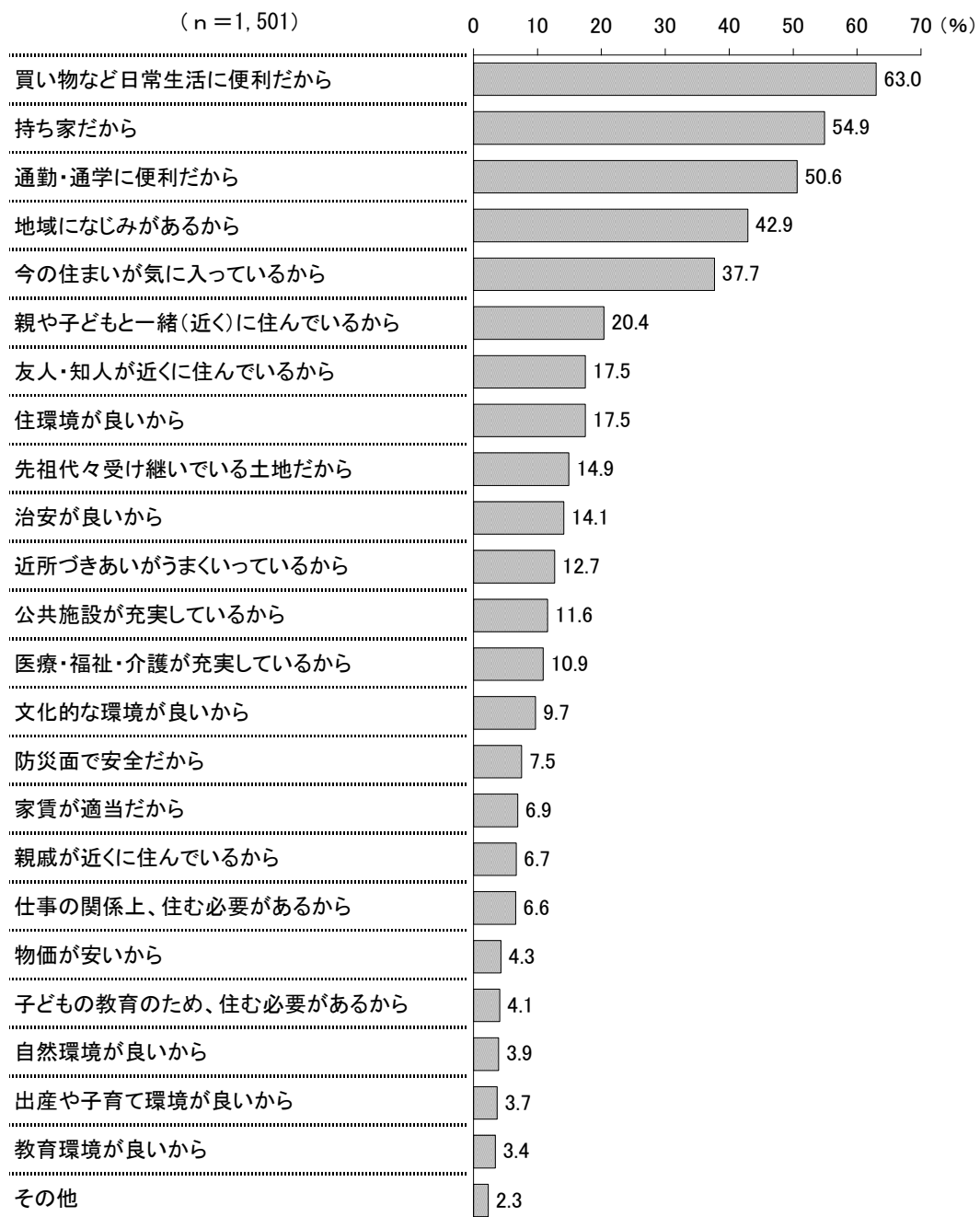


(2) 住み続けたい理由

《問4で、「いつまでも住み続けたいと思っている」または「当分住み続けたいと思っている」とお答えの方におたずねします》

問4-1 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

定住意向で、「いつまでも住み続けたいと思っている」または「当分住み続けたいと思っている」と答えた方に、住み続けたい理由を聞いたところ、「買い物など日常生活に便利だから」(63.0%)が6割を超えて最も高く、次いで「持ち家だから」(54.9%)、「通勤・通学に便利だから」(50.6%)、「地域になじみがあるから」(42.9%)となっている。



【経年比較】

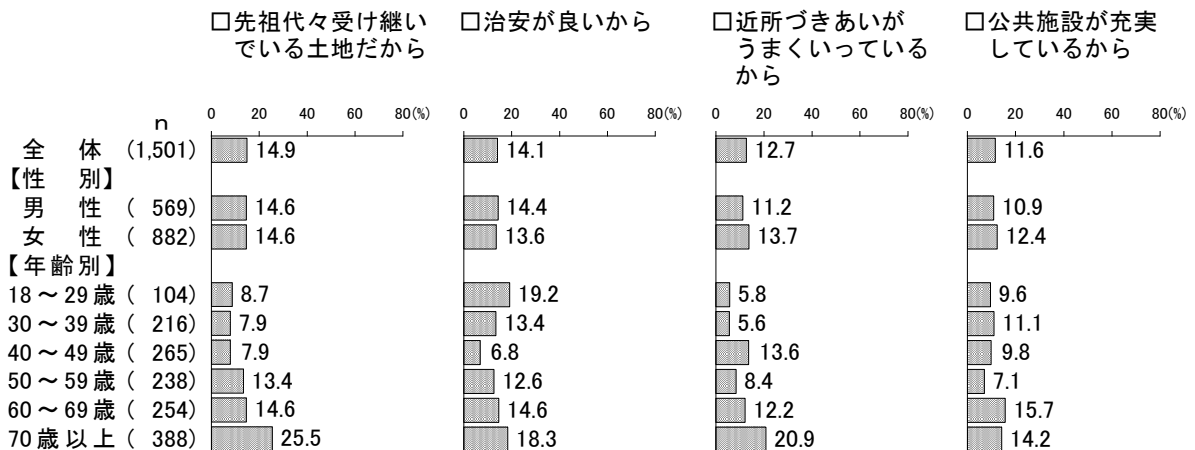
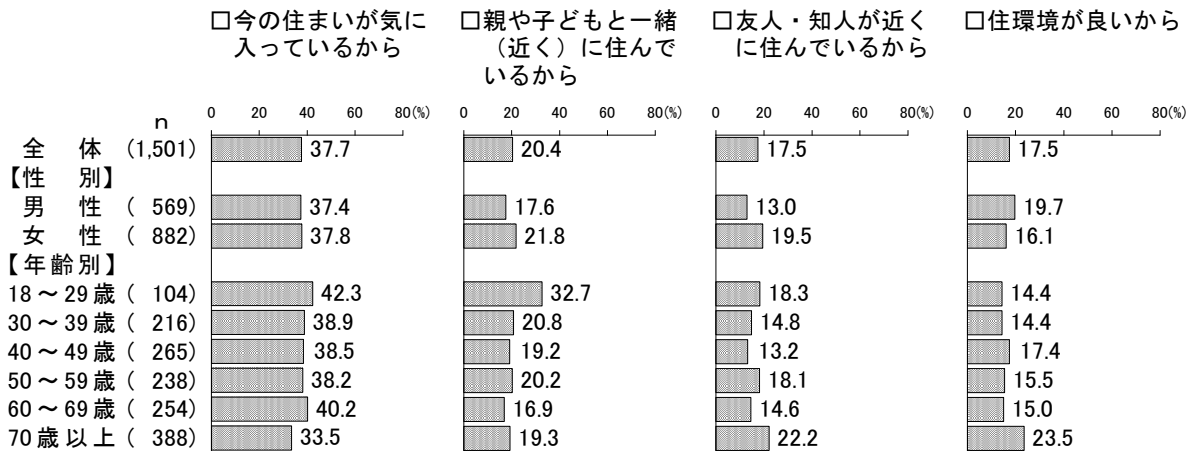
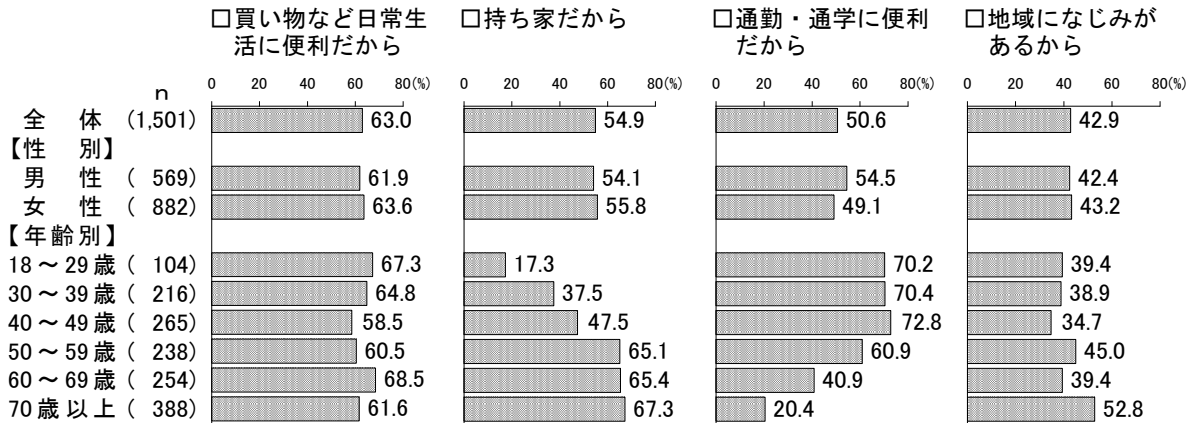
過去の調査結果と比較すると、「今の住まいが気に入っているから」は平成28年度より3.4ポイント、「公共施設が充実しているから」は平成28年度より3.2ポイント、それぞれ増加している。一方、「地域になじみがあるから」は平成28年度より4.7ポイント減少している。



【性別、年齢別】（上位12項目）

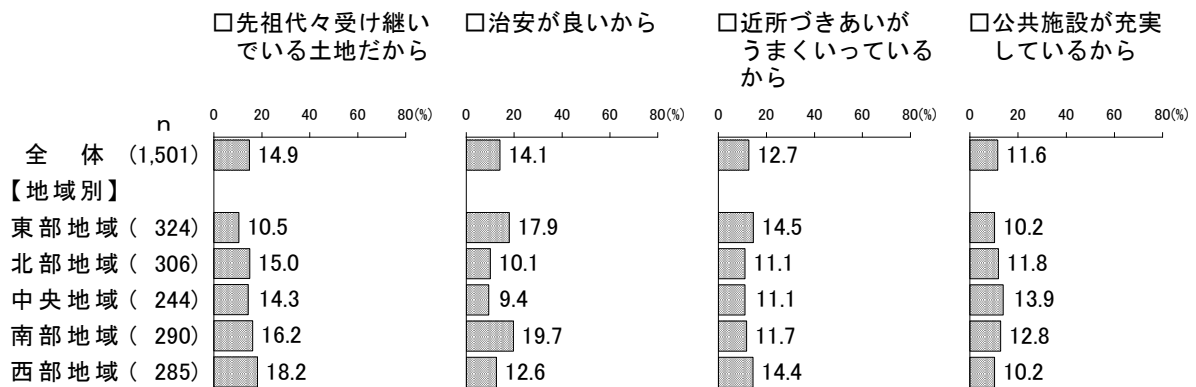
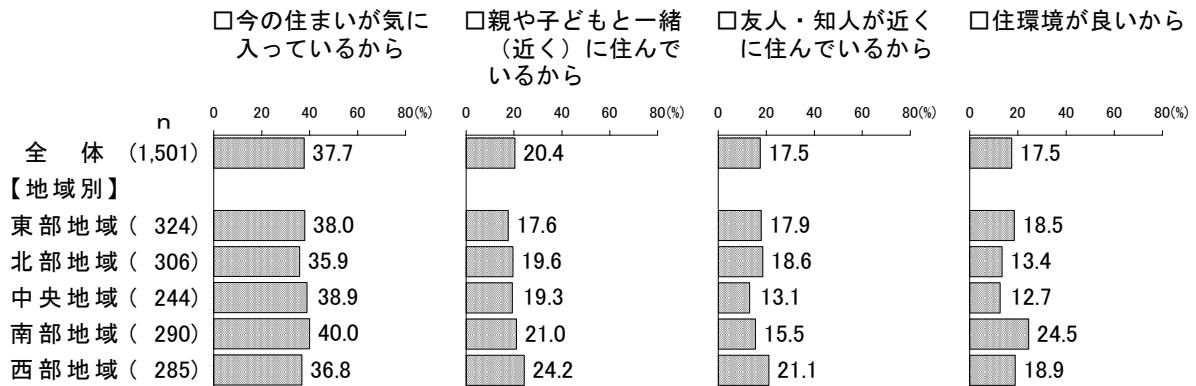
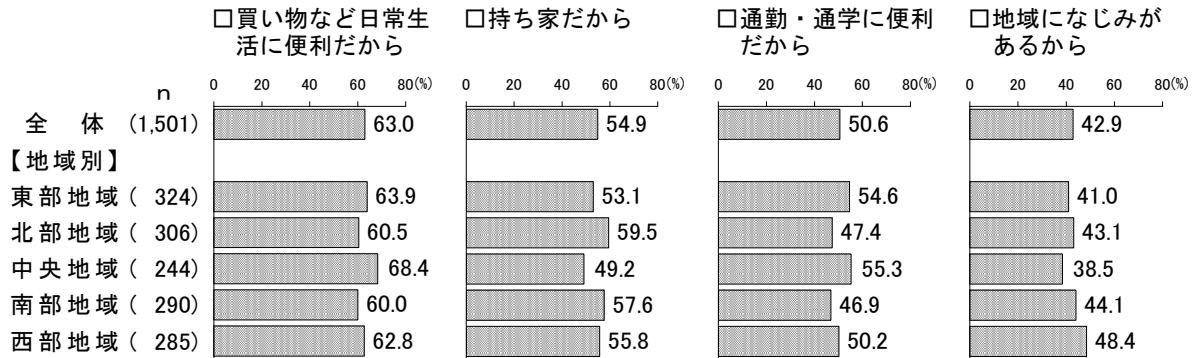
性別で見ると、「友人・知人が近くに住んでいるから」は女性（19.5%）が男性（13.0%）より6.5ポイント高くなっている。一方、「通勤・通学に便利だから」は男性（54.5%）が女性（49.1%）より5.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「持ち家だから」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（67.3%）で7割近くと高くなっている。「通勤・通学に便利だから」は18～29歳（70.2%）、30～39歳（70.4%）、40～49歳（72.8%）で7割台と高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

地域別でみると、「買い物など日常生活に便利だから」は中央地域（68.4%）で7割近くと高くなっている。「持ち家だから」は北部地域（59.5%）で6割と高くなっている。「通勤・通学に便利だから」は中央地域（55.3%）と東部地域（54.6%）で5割半ばと高くなっている。



(3) 転居せざるをえない、転居したい理由

《問4で、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」または「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」とお答えの方におたずねします》

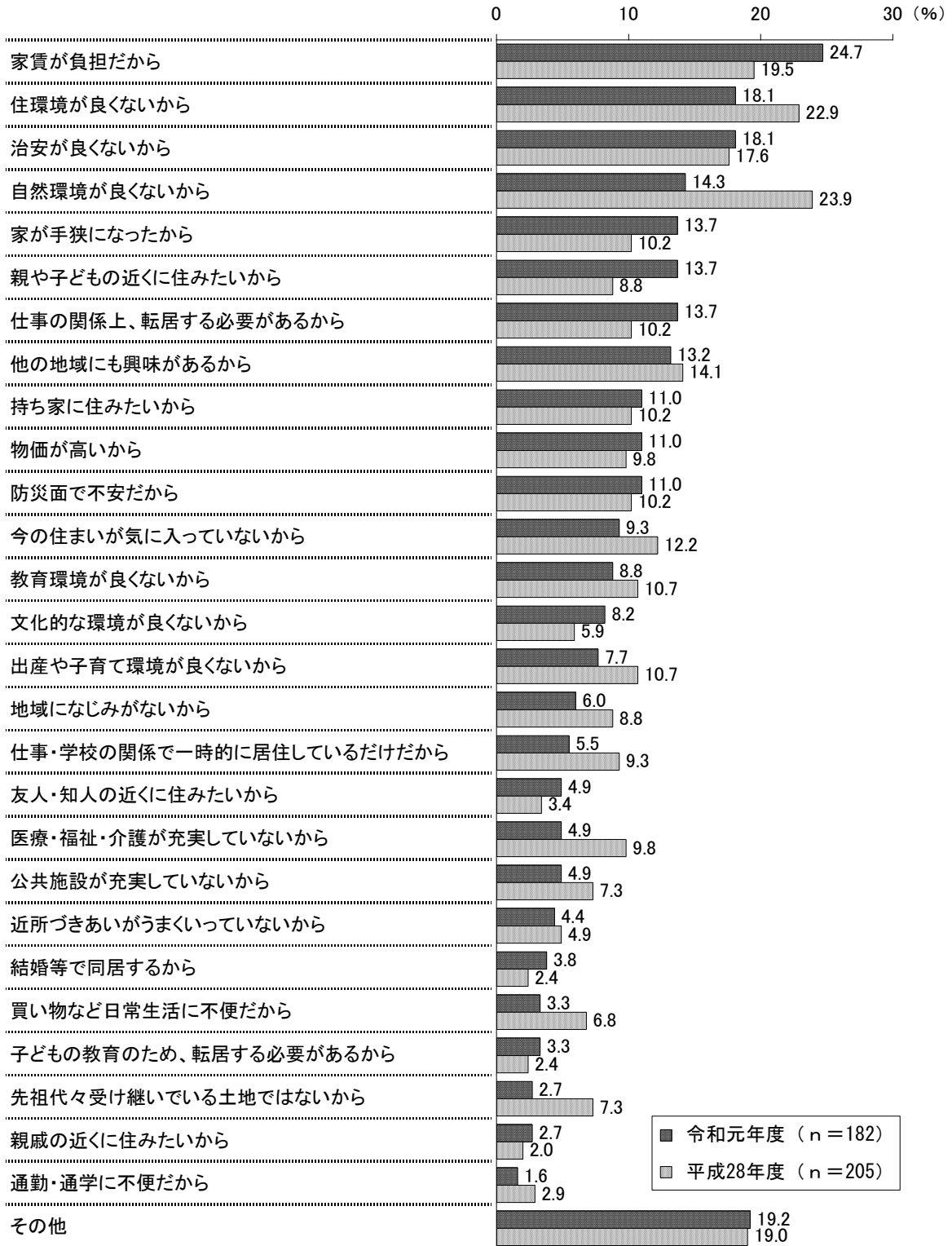
問4-2 転居せざるをえない、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

定住意向で、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」または「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」と答えた方に、転居せざるをえない、転居したい理由を聞いたところ、「家賃が負担だから」(24.7%)が2割半ばで最も高く、次いで「住環境が良くないから」(18.1%)、「治安が良くないから」(18.1%)、「自然環境が良くないから」(14.3%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「家賃が負担だから」は平成28年度より5.2ポイント、「親や子どもの近くに住みたいから」は平成28年度より4.9ポイント、それぞれ増加している。一方、「自然環境が良くないから」は平成28年度より9.6ポイント、「医療・福祉・介護が充実していないから」は平成28年度より4.9ポイント、それぞれ減少している。

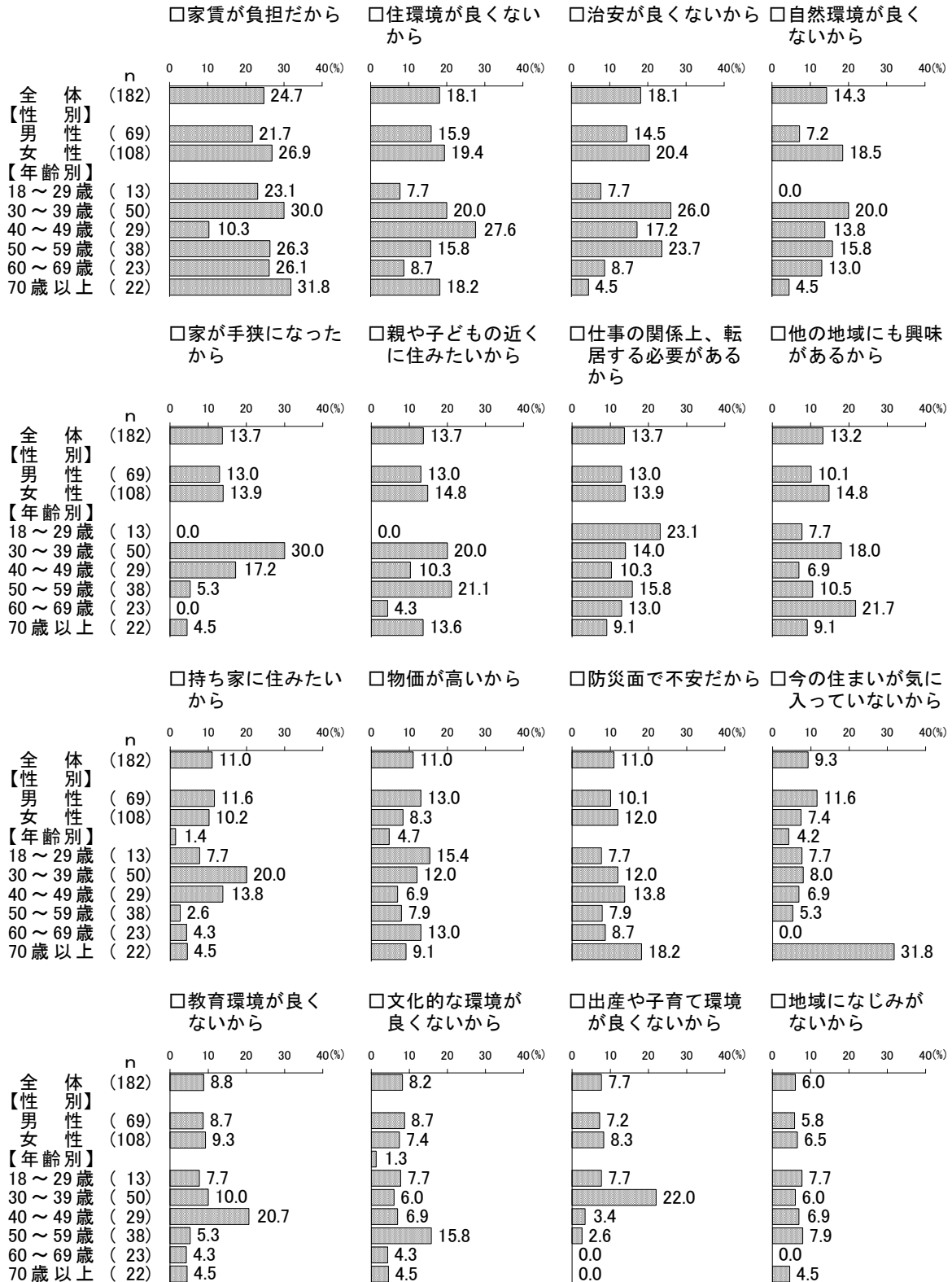


※「結婚等で同居するから」は、平成28年度調査では「結婚するから」となっていた

【性別、年齢別】（上位16項目）

性別でみると、「自然環境が良くないから」は女性（18.5%）が男性（7.2%）より11.3ポイント高くなっている。一方、「物価が高いから」は男性（13.0%）が女性（8.3%）より4.7ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「家賃が負担だから」は30～39歳（30.0%）と70歳以上（31.8%）で3割台と高くなっている。「家が手狭になったから」は30～39歳（30.0%）で3割と高くなっている。

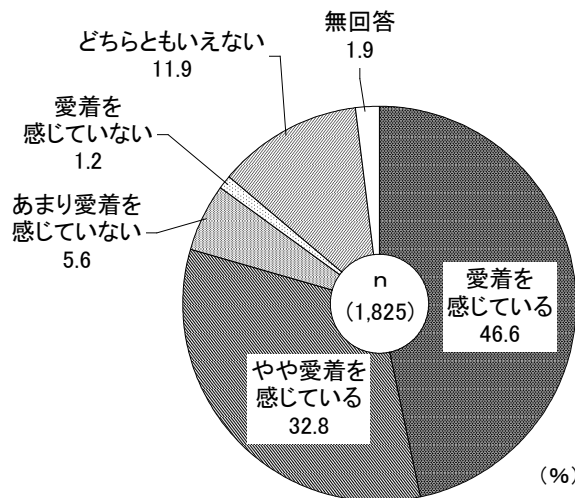


4. 地域への愛着

(1) 地域への愛着

問5 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

現在お住まいの地域に愛着を感じるか聞いたところ、「愛着を感じている」(46.6%)と「やや愛着を感じている」(32.8%)を合わせた『愛着を感じている(計)』(79.4%)は約8割となっている。一方、「あまり愛着を感じていない」(5.6%)と「愛着を感じていない」(1.2%)を合わせた『愛着を感じていない(計)』(6.8%)は1割未満となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『愛着を感じている(計)』と『愛着を感じていない(計)』はともに平成29年度以降減少傾向にある。

n	愛着を感じている(計)		愛着を感じていない(計)		愛着を感じている(計)	愛着を感じていない(計)
	愛着を感じている	やや愛着を感じている	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない		
令和元年度 (1,825)	46.6	32.8	5.6	1.2	79.4	6.8
平成30年度 (1,841)	48.8	31.8	7.1	1.2	80.6	8.4
平成29年度 (1,913)	50.5	30.6	7.3	1.3	81.1	9.1
平成28年度 (1,967)	46.1	32.9	6.0	1.8	79.0	7.9
平成25年度 (1,757)	44.2	39.8	8.4	1.9	84.0	10.9
平成22年度 (2,040)	44.4	37.6	9.4	2.5	82.0	12.0
平成19年度 (1,471)	46.2	37.4	8.4	2.6	83.6	10.2
平成16年度 (805)	51.7	32.0	9.1	1.8	83.7	11.3

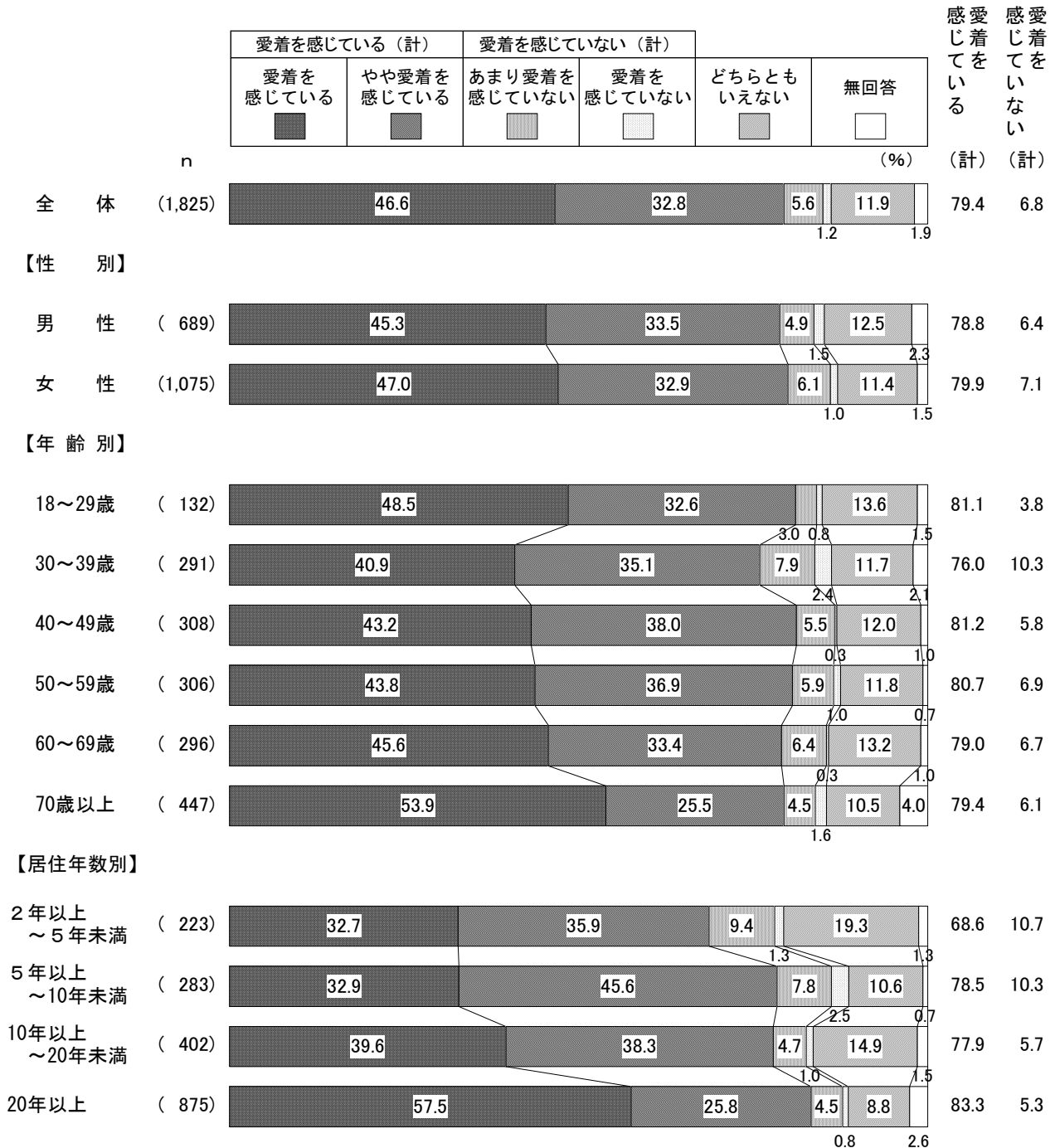
(%)

【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『愛着を感じている（計）』は18～29歳（81.1%）、40～49歳（81.2%）、50～59歳（80.7%）で8割台と高くなっている。一方、『愛着を感じていない（計）』は30～39歳（10.3%）で1割となっている。

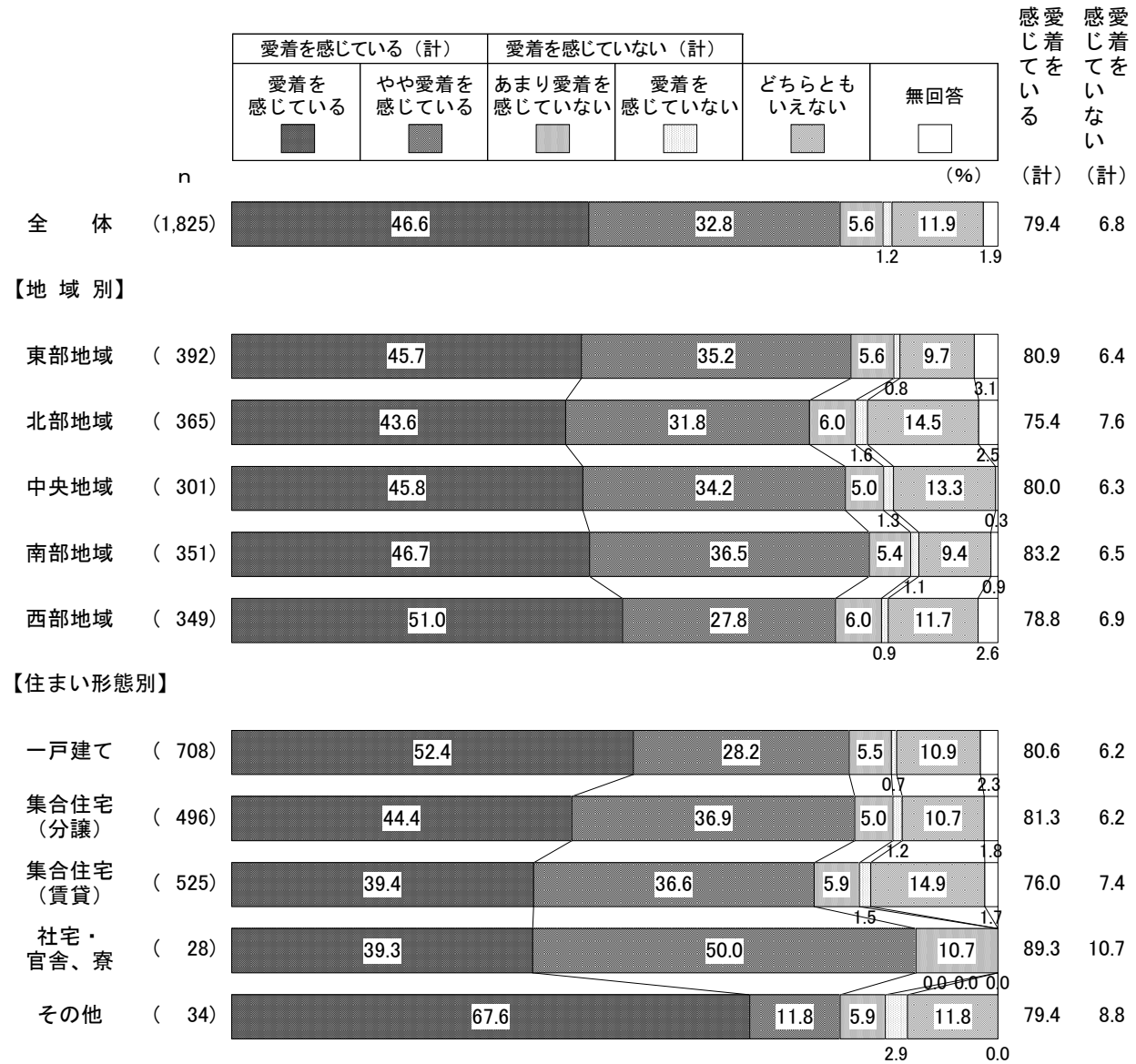
居住年数別でみると、「愛着を感じている」は居住年数が長くなるにつれて割合が高く、20年以上（57.5%）で6割近くと高くなっている。『愛着を感じている（計）』は20年以上（83.3%）で8割を超えて高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると『愛着を感じている（計）』は南部地域（83.2%）で8割を超えて高くなっている。

住まい形態別でみると、「愛着を感じている」は一戸建て（52.4%）で5割を超えて高くなっている。『愛着を感じている（計）』は社宅・官舎、寮（89.3%）で約9割と高くなっている。



第2章 地域の生活環境について

第2章 地域の生活環境について

《設問設定の考え方》

「豊島区基本計画」（平成28年3月策定）及び「豊島区未来戦略推進プラン」の施策体系に対応するかたちで、生活環境に関して大きく11のグループを設定し、さらに、各グループにおいて複数の「目指すべき生活環境の姿」を設定した。

設定した「目指すべき生活環境の姿」は、全部で73項目あり、11のグループごとに、各項目について、「現在の評価」と「今後の優先度」の回答を求めた。

また、「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析を行った。

【調査にあたり設定した11のグループ】

- | | |
|-----------|-------------|
| (1) 参画・協働 | (7) みどり・環境 |
| (2) 平和・人権 | (8) 都市再生・交通 |
| (3) 福祉 | (9) 防災・治安 |
| (4) 健康・保健 | (10) 商工・観光 |
| (5) 子育て | (11) 文化 |
| (6) 教育 | |

【各項目についての調査内容】

問6 以下の設問は、地域の生活環境を11グループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿を表わしたものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。
 （「現在の評価」欄は、項目ごとに一つずつ○。「今後の優先度」欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目番号を記入。もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。）

1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

- “どちらかというと思う”“どちらともいえない”“どちらかというと思わない”の3つから実感に近いものを選択。
- “どちらかというと思う”から“どちらかというと思わない”の割合を引いた数値を比較して、それが高いほど、当該項目に対する生活環境の満足度が高いものとして集計した。

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

- 各グループにおける複数の「目指すべき生活環境の姿」の中から、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を2つ又は3つ選択。

【グループと「評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿」一覧】

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
① 参画・協働	1	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい
	2	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる
	3	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている
	4	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している
② 平和・人権	5	外国人の持つ多様な価値観や文化が尊重されている
	6	地域で外国人との交流がある
	7	地域社会において平和と人権が尊重されている
	8	性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる
	9	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)への理解が深まっている
	10	配偶者等からの暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)に関する相談機関が周知されている
	11	多様な性自認・性的指向の人々(いわゆる性的少数者)への理解が深まっている
③ 福祉	12	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある
	13	医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる
	14	地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている
	15	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる
	16	障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい
	17	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている
	18	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある
④ 健康・保健	19	がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある
	20	ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している
	21	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない
	22	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる
⑤ 子育て	23	子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある
	24	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている
	25	子どもの成長や安全・安心な生活が地域全体で支えられている
	26	妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる
	27	地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている
⑥ 教育	28	学校教育を通して子どもに基礎的な学力が身についている
	29	学校教育を通して子どもに豊かな人間性が身についている
	30	学校教育を通して子どもに運動・スポーツに親しむ習慣や、安全・安心への意識が身についている
	31	信頼される実践力の高い教員が育成されている
	32	家庭での教育に対する支援が充実している
	33	学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている
	34	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている
	35	豊島区ならではの特色ある教育が進められている
	36	幼稚園・保育園から小学校への接続に配慮した幼児教育が行われている

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
⑦ みどり・環境	37	みどりが豊かで、災害時にも有効な比較的大きな公園がある
	38	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い
	39	CO2排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している
	40	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる
	41	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである
	42	騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない
	43	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている
	44	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている
⑧ 都市再生・交通	45	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている
	46	池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる
	47	駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている
	48	新庁舎をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる
	49	地域に住みつけるための住宅制度が充実している
	50	単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている
	51	鉄道・バス等の交通が便利である
	52	身近な生活道路が安全・快適に通行できる
⑨ 防災・治安	53	放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている
	54	建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる
	55	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている
	56	震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています
	57	電柱のない道路が増えている
	58	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない
	59	治安がよく、安心して暮らせる
⑩ 商工・観光	60	交通事故が少ない
	61	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている
	62	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している
	63	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している
	64	区内の観光スポットがにぎわっている
	65	区内の観光情報が国内外にPRされている
	66	区内へ訪れた国内外の人々に満足いただける受入環境が整っている
⑪ 文化	67	多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い
	68	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている
	69	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる
	70	豊島区の文化芸術の魅力が国内外に発信されている
	71	図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会がある
	72	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある
	73	地域の中で自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている

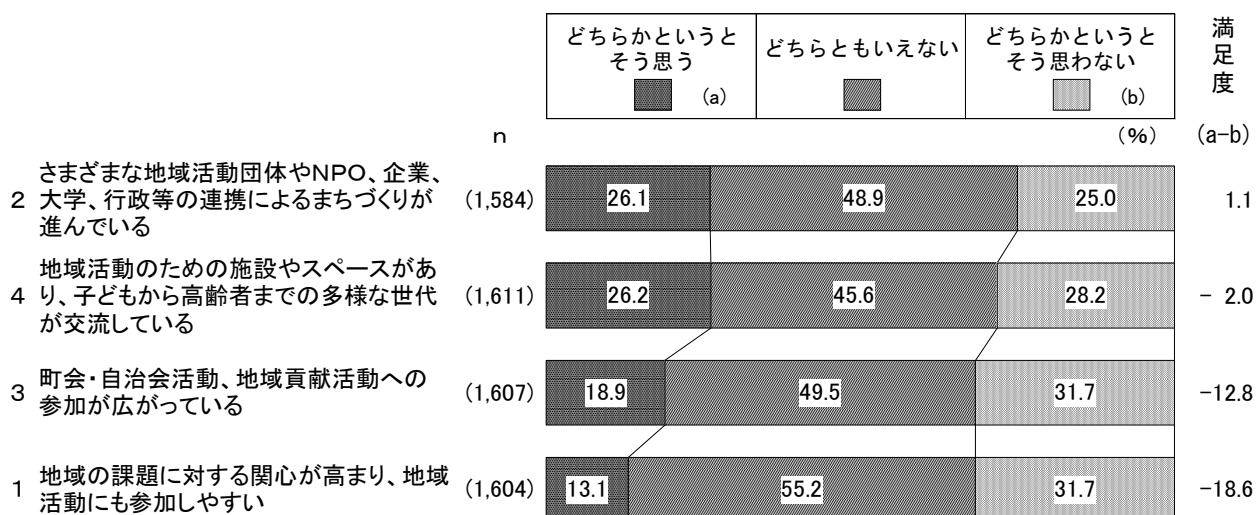
1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

(1) 参画・協働

参画・協働に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」であり、次いで「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい」である。

【参画・協働における「現在の評価」】

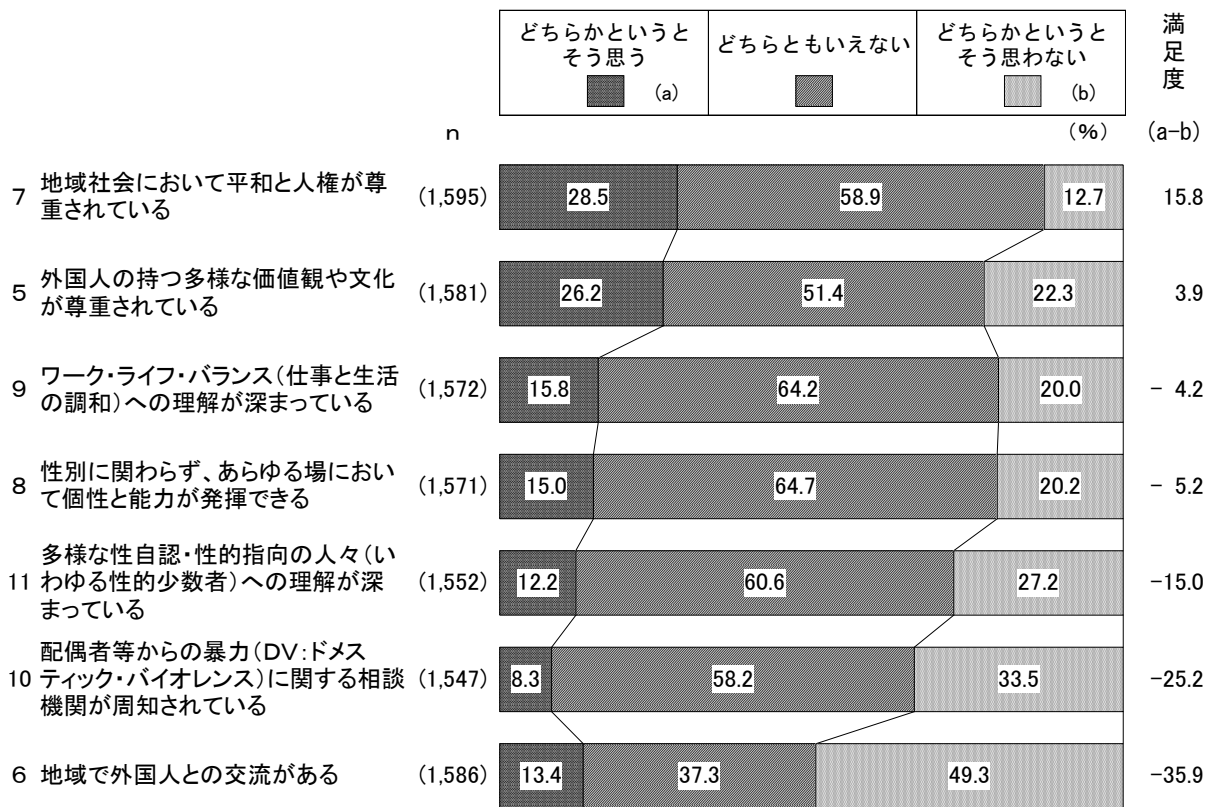


(2) 平和・人権

平和・人権に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域社会において平和と人権が尊重されている」であり、次いで「外国人の持つ多様な価値観や文化が尊重されている」、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）への理解が深まっている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域で外国人との交流がある」である。

【平和・人権における「現在の評価」】

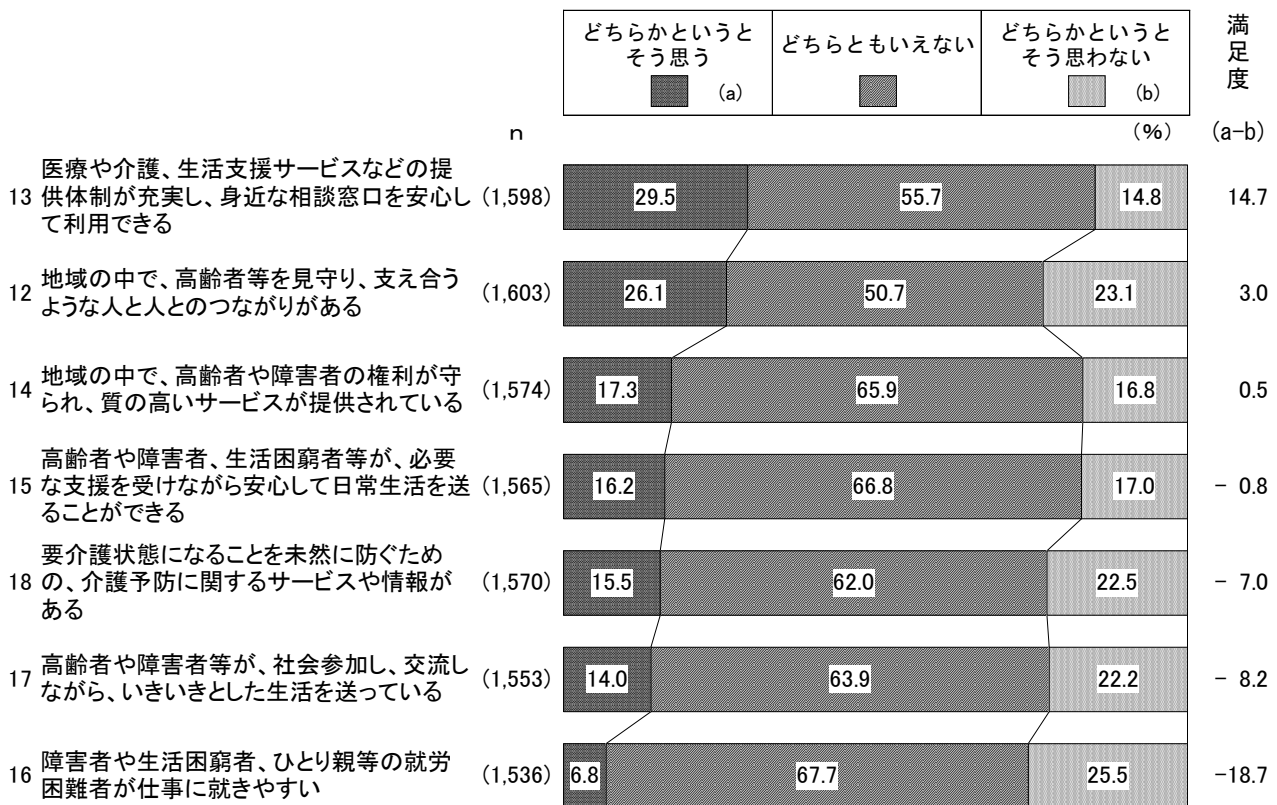


(3) 福祉

福祉に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる」であり、次いで「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」、「地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい」である。

【福祉における「現在の評価」】

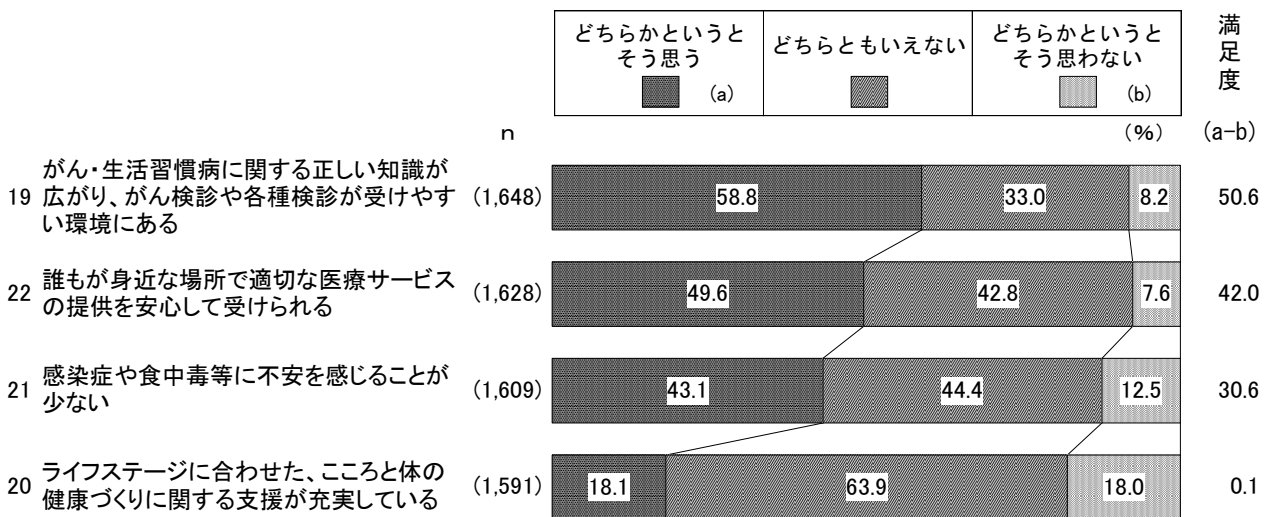


(4) 健康・保健

健康・保健に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」であり、次いで「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している」である。

【健康・保健における「現在の評価」】

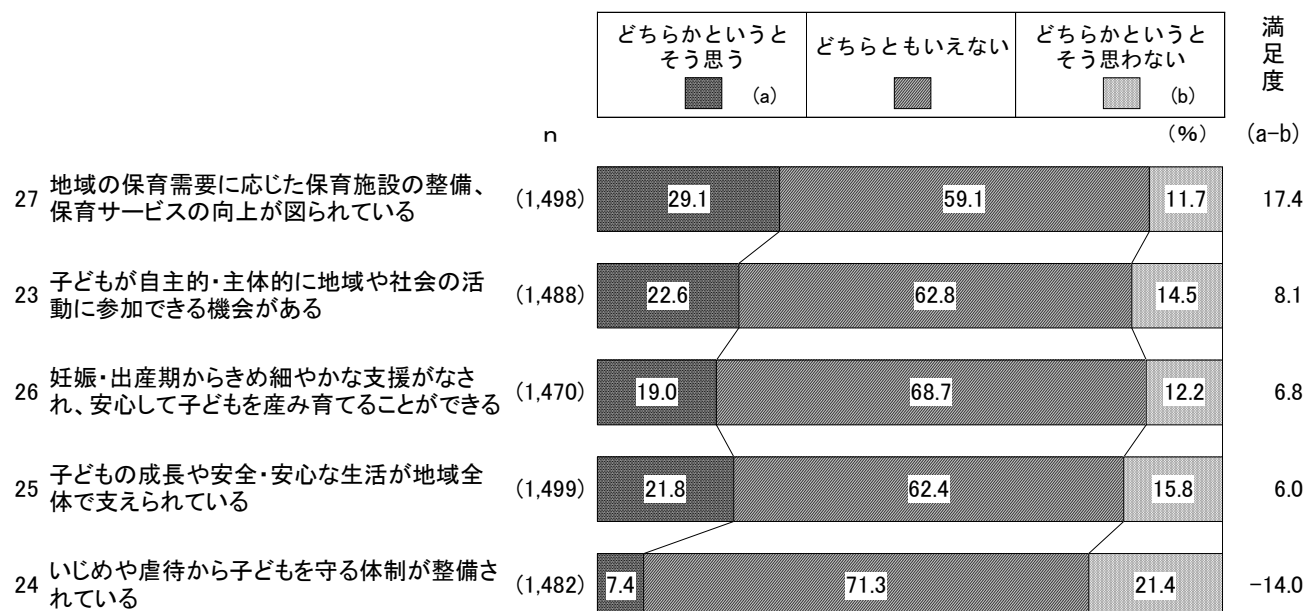


(5) 子育て

子育てに関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている」であり、次いで「子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある」、「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」である。

【子育てにおける「現在の評価」】

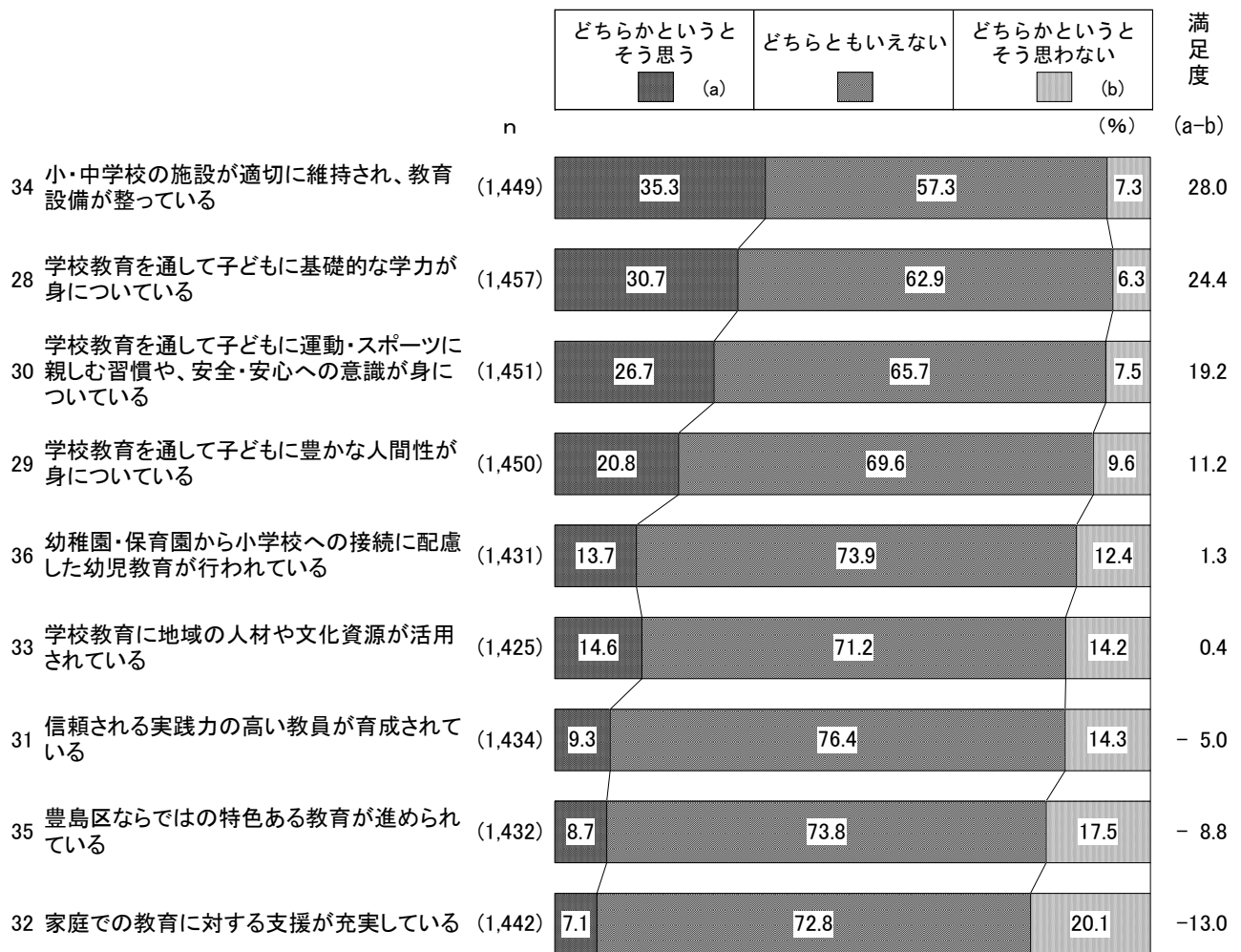


(6) 教育

教育に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている」であり、次いで「学校教育を通して子どもに基礎的な学力が身についている」、「学校教育を通して子どもに運動・スポーツに親しむ習慣や、安全・安心への意識が身についている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「家庭での教育に対する支援が充実している」である。

【教育における「現在の評価」】

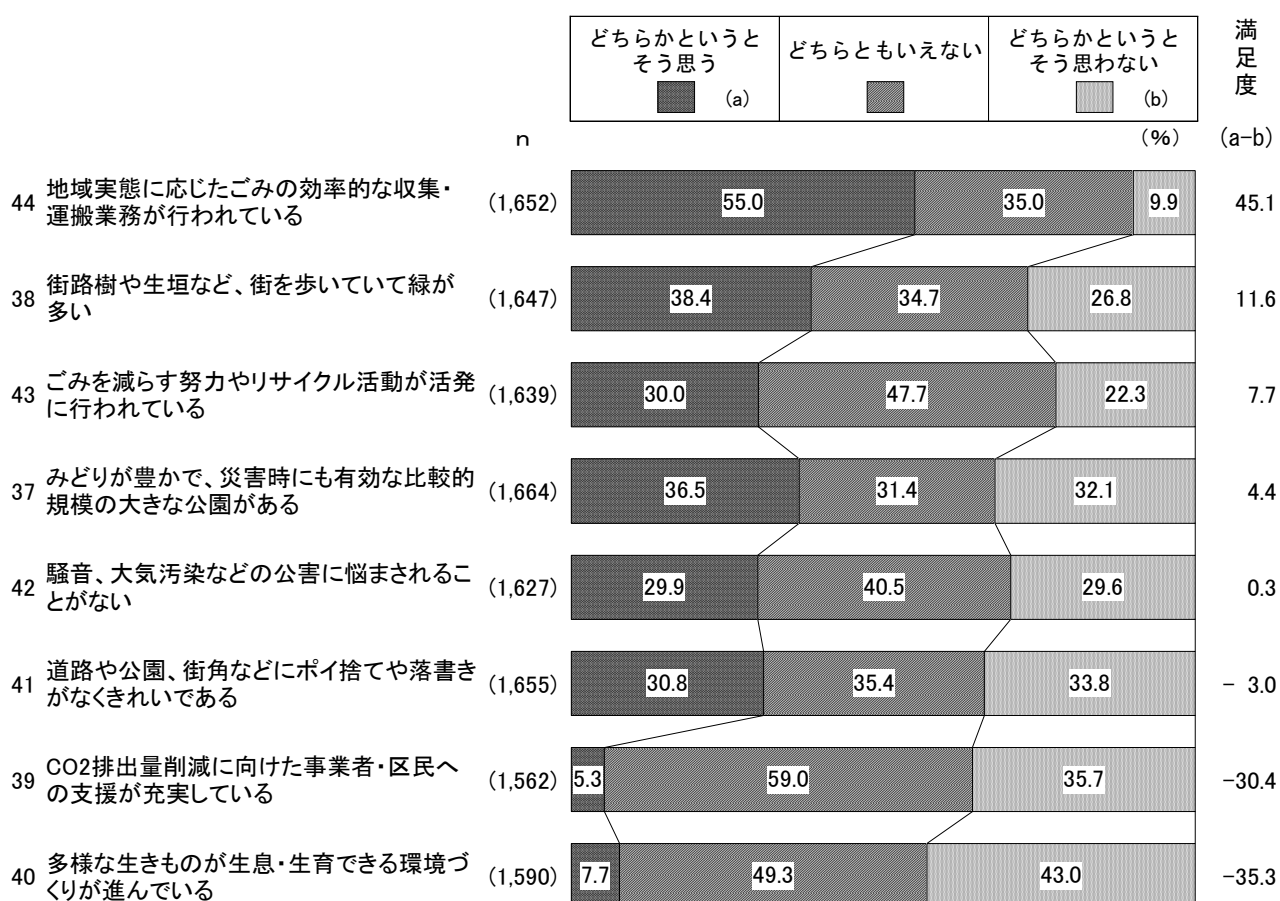


(7) みどり・環境

みどり・環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている」であり、次いで「街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い」、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」である。

【みどり・環境における「現在の評価」】

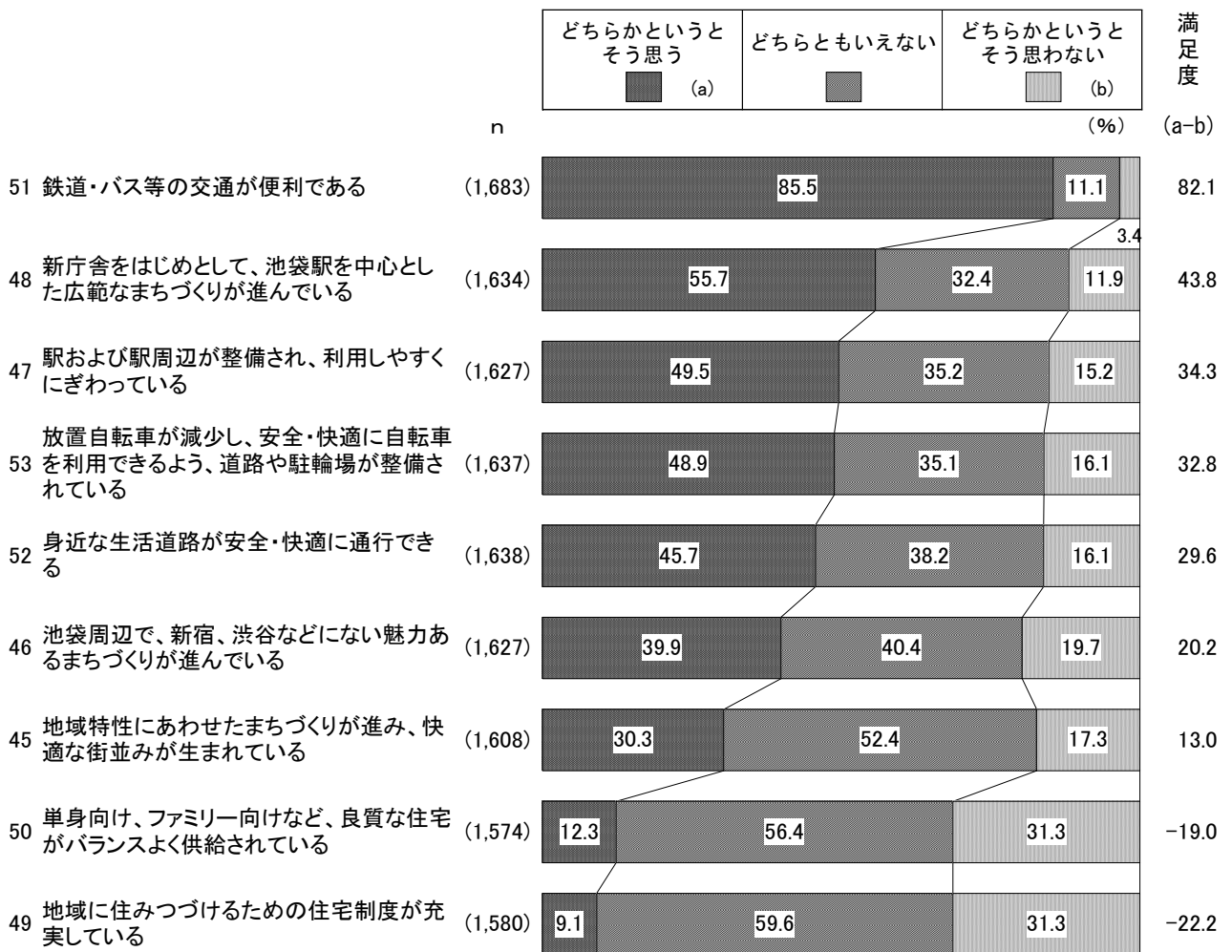


(8) 都市再生・交通

都市再生・交通に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「鉄道・バス等の交通が便利である」であり、次いで「新庁舎をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる」、「駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」である。

【都市再生・交通における「現在の評価」】

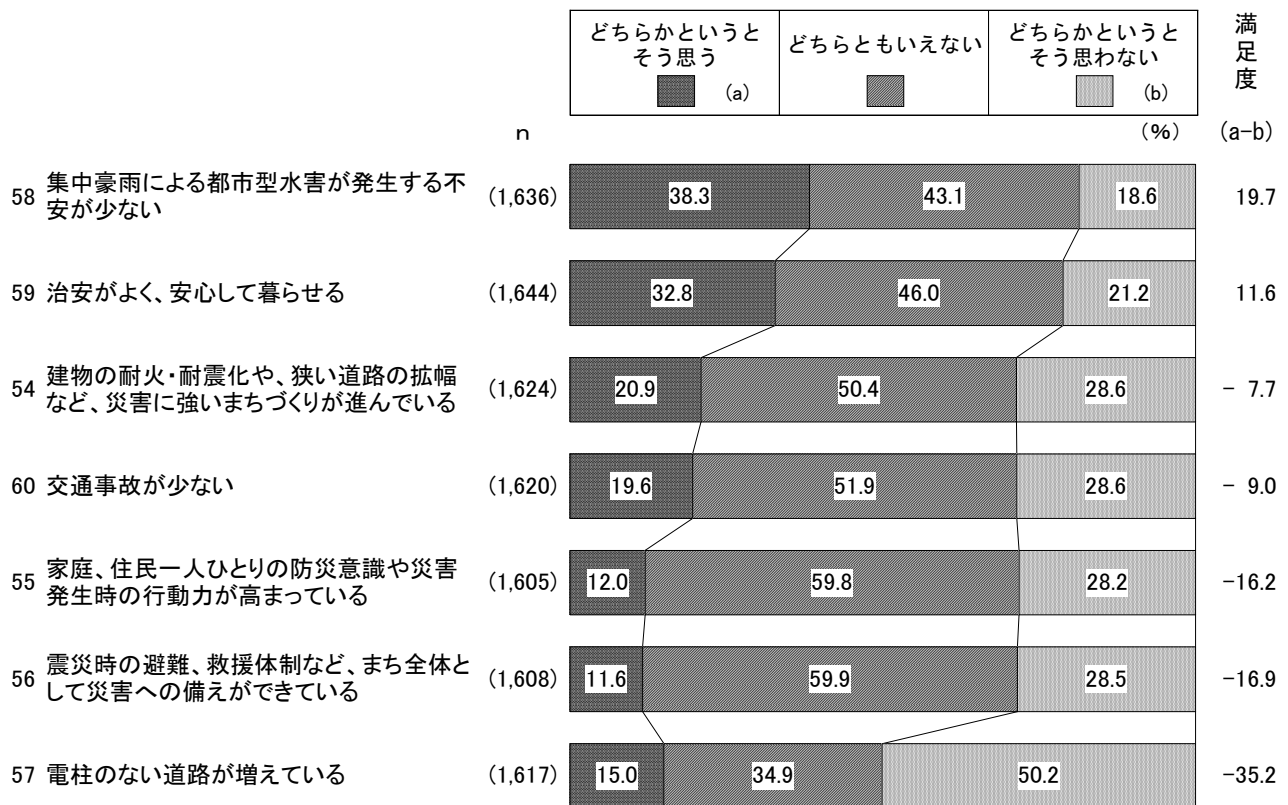


(9) 防災・治安

防災・治安に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない」であり、次いで「治安がよく、安心して暮らせる」、「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「電柱のない道路が増えている」である。

【防災・治安における「現在の評価」】

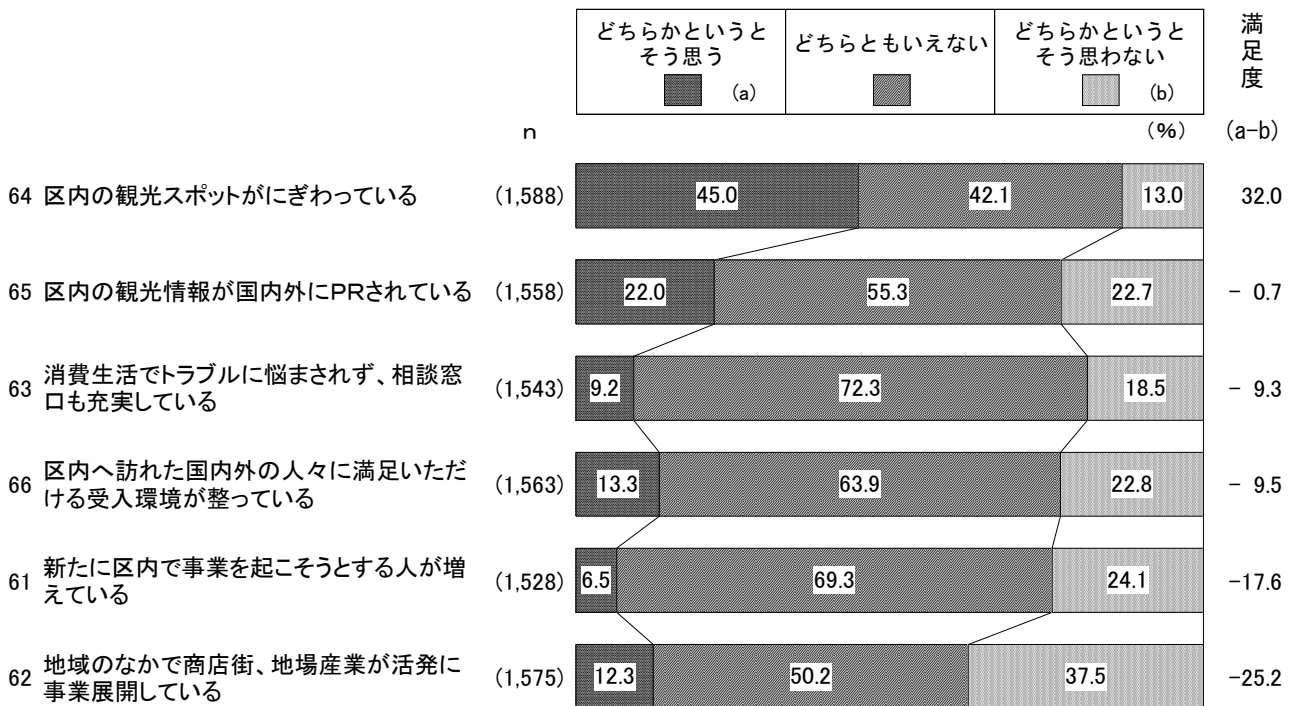


(10) 商工・観光

商工・観光に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「区内の観光スポットがにぎわっている」であり、次いで「区内の観光情報が国内外にPRされている」、「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」である。

【商工・観光における「現在の評価」】

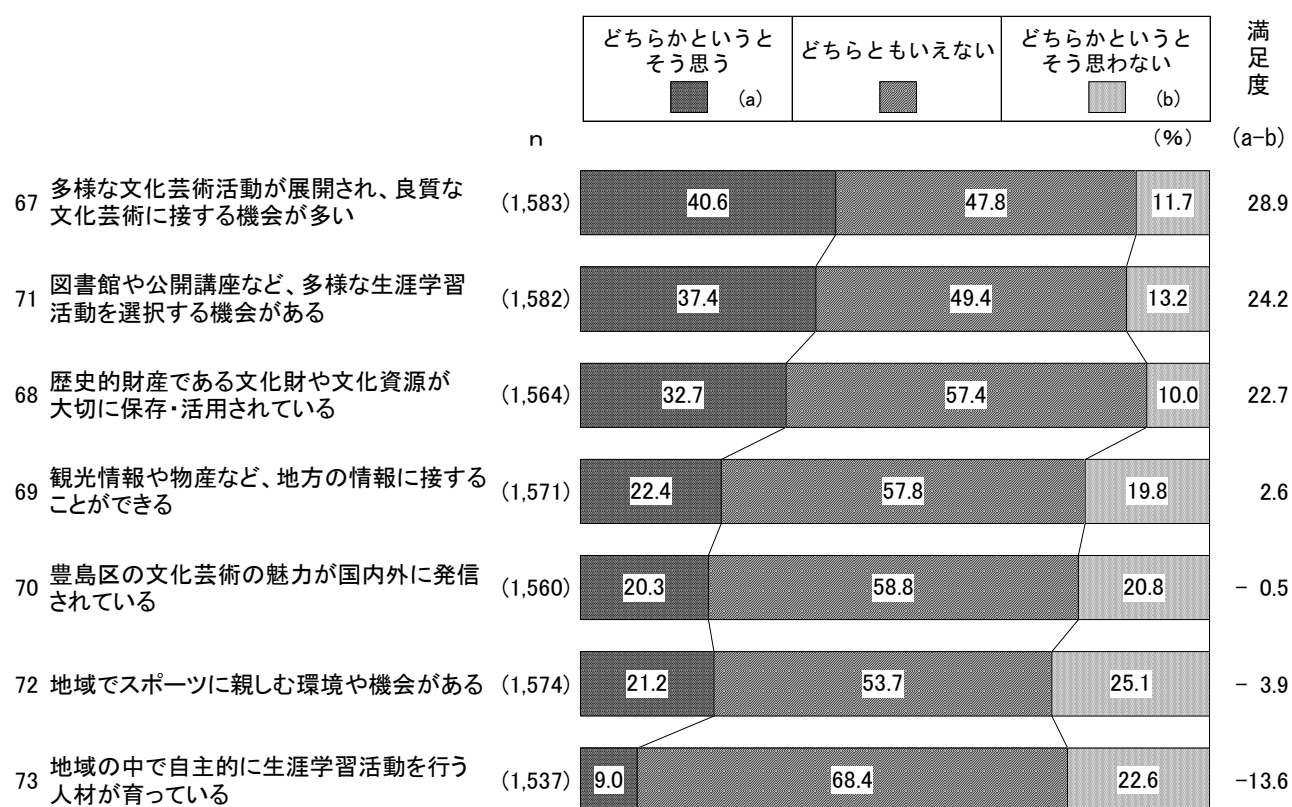


(11) 文化

文化に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い」であり、次いで「図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会がある」、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域の中で自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている」である。

【文化における「現在の評価」】



【グループ全体を通してみた「現在の評価」】

注) 表中の満足度欄の()書きは前回調査(平成30年度)の数値

(ア)「現在の評価」が高い項目

生活環境について設定した全73項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思うと思わない」の割合を引いた数値が高い(満足度が高い)項目は以下のとおりである。

順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	(%) 満足度
第1位	⑧都市再生・交通	[51] 鉄道・バス等の交通が便利である	82.1 (82.7)
第2位	④健康・保健	[19] がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある	50.6 (53.5)
第3位	⑦みどり・環境	[44] 地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	45.1 (48.0)
第4位	⑧都市再生・交通	[48] 新庁舎をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる	43.8 (43.6)
第5位	④健康・保健	[22] 誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	42.0 (38.7)
第6位	⑧都市再生・交通	[47] 駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	34.3 (35.1)
第7位	⑧都市再生・交通	[53] 放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている	32.8 (32.9)
第8位	⑩商工・観光	[64] 区内の観光スポットがにぎわっている	32.0 (29.4)
第9位	④健康・保健	[21] 感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	30.6 (27.1)
第10位	⑧都市再生・交通	[52] 身近な生活道路が安全・快適に通行できる	29.6 (35.2)

(イ)「現在の評価」が低い項目

生活環境について設定した全73項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思うと思わない」の割合を引いた数値が低い(満足度が低い)項目は以下のとおりである。

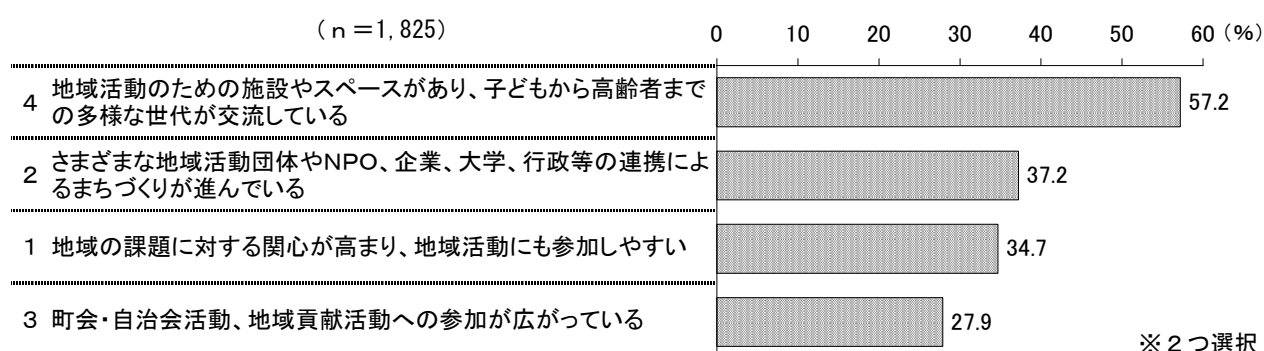
順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	(%) 満足度
第1位	②平和・人権	[06] 地域で外国人との交流がある	-35.9 (-38.9)
第2位	⑦みどり・環境	[40] 多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	-35.3 (-35.7)
第3位	⑨防災・治安	[57] 電柱のない道路が増えている	-35.2 (-37.0)
第4位	⑦みどり・環境	[39] CO2排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	-30.4 (-29.7)
第5位	②平和・人権	[10] 配偶者等からの暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)に関する相談機関が周知されている	-25.2 (-32.6)
	⑩商工・観光	[62] 地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	-25.2 (-30.3)
第7位	⑧都市再生・交通	[49] 地域に住みにつけるための住宅制度が充実している	-22.2 (-24.0)
第8位	⑧都市再生・交通	[50] 単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	-19.0 (-21.1)
第9位	③福祉	[16] 障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい	-18.7 (-24.9)
第10位	①参画・協働	[01] 地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい	-18.6 (-20.9)

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

(1) 参画・協働

参画・協働に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」(57.2%)が6割近くで最も高く、次いで「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」(37.2%)、「地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい」(34.7%)となっている。

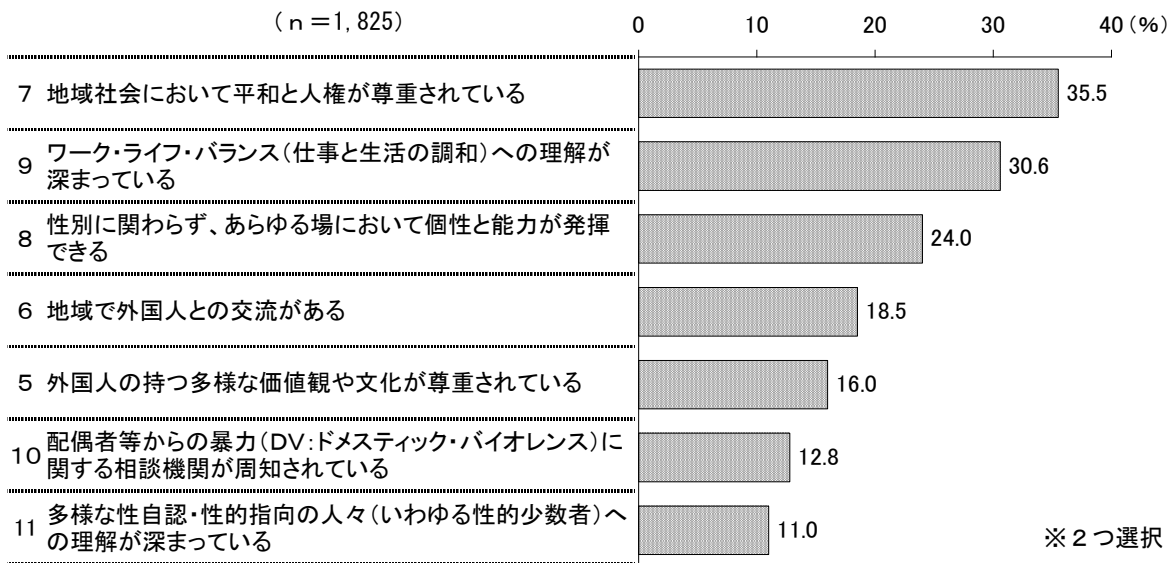
【参画・協働における「今後の優先度」】



(2) 平和・人権

平和・人権に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域社会において平和と人権が尊重されている」(35.5%)が3割半ばで最も高く、次いで「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)への理解が深まっている」(30.6%)、「性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる」(24.0%)、「地域で外国人との交流がある」(18.5%)となっている。

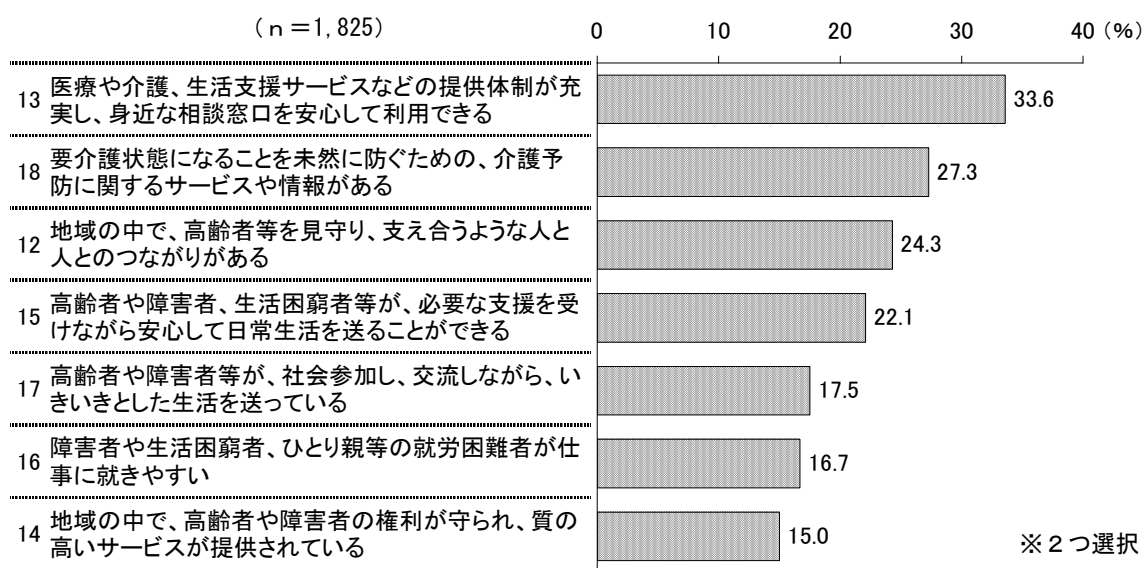
【平和・人権における「今後の優先度」】



(3) 福祉

福祉に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる」(33.6%)が3割を超えて最も高く、次いで「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」(27.3%)、「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」(24.3%)、「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」(22.1%)となっている。

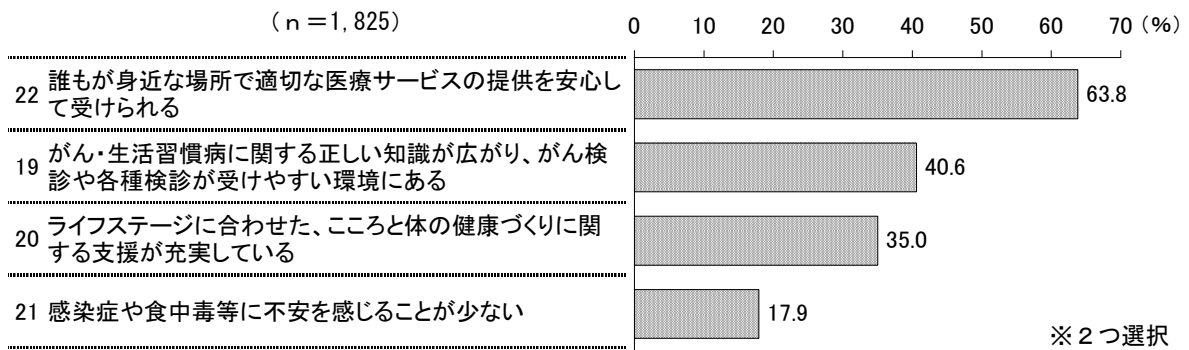
【福祉における「今後の優先度」】



(4) 健康・保健

健康・保健に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」(63.8%)が6割を超えて最も高く、次いで「がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」(40.6%)、「ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している」(35.0%)となっている。

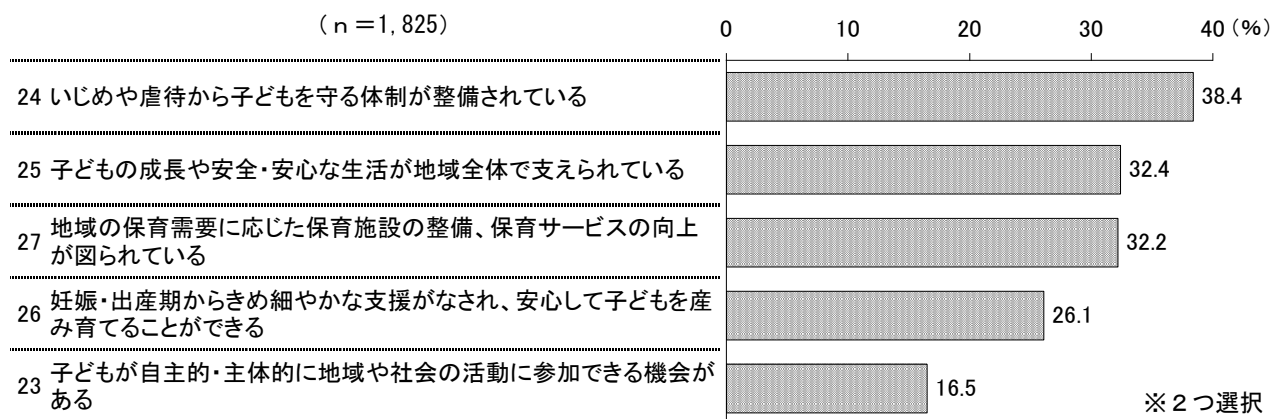
【健康・保健における「今後の優先度」】



(5) 子育て

子育てに関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」(38.4%)が4割近くで最も高く、次いで「子どもの成長や安全・安心な生活が地域全体で支えられている」(32.4%)、「地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている」(32.2%)となっている。

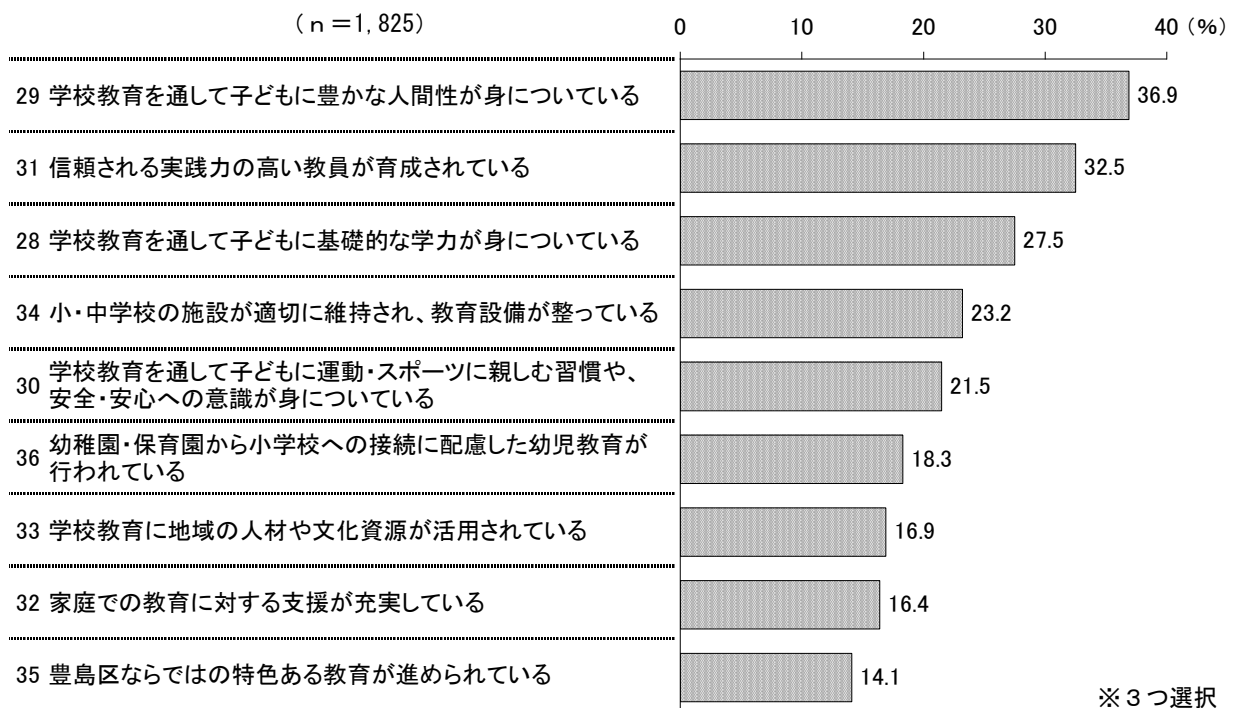
【子育てにおける「今後の優先度」】



(6) 教育

教育に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「学校教育を通して子どもに豊かな人間性が身についている」(36.9%)が4割近くで最も高く、次いで「信頼される実践力の高い教員が育成されている」(32.5%)、「学校教育を通して子どもに豊かな人間性が身についている」(27.5%)、「小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている」(23.2%)となっている。

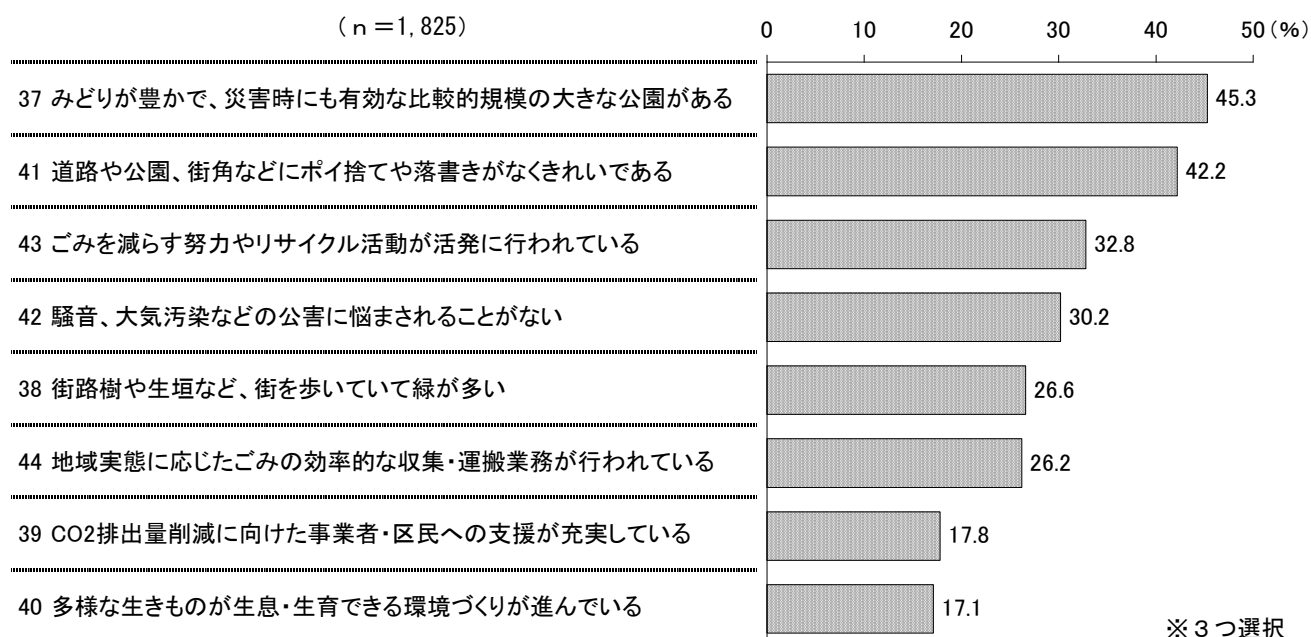
【教育における「今後の優先度」】



(7) みどり・環境

みどり・環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「みどりが豊かで、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある」(45.3%)が4割半ばで最も高く、次いで「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」(42.2%)、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」(32.8%)、「騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない」(30.2%)となっている。

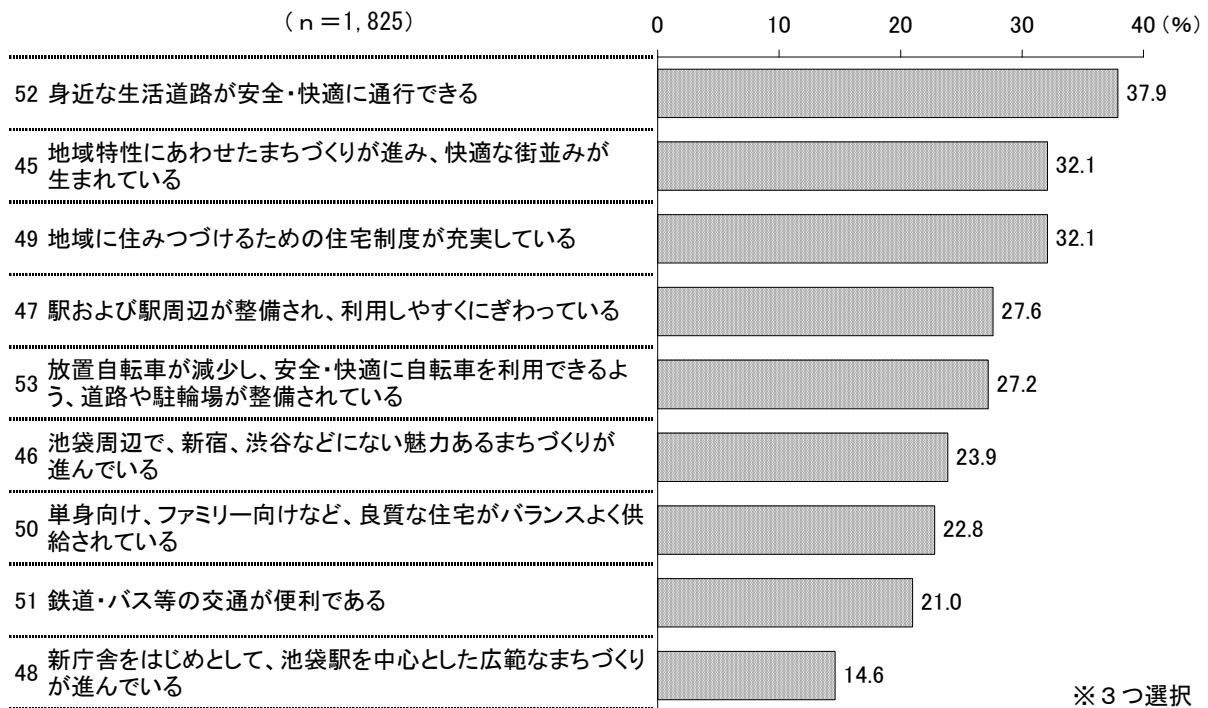
【みどり・環境における「今後の優先度」】



(8) 都市再生・交通

都市再生・交通に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「身近な生活道路が安全・快適に通行できる」(37.9%)が4割近くで最も高く、次いで「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」(32.1%)、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」(32.1%)、「駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている」(27.6%)となっている。

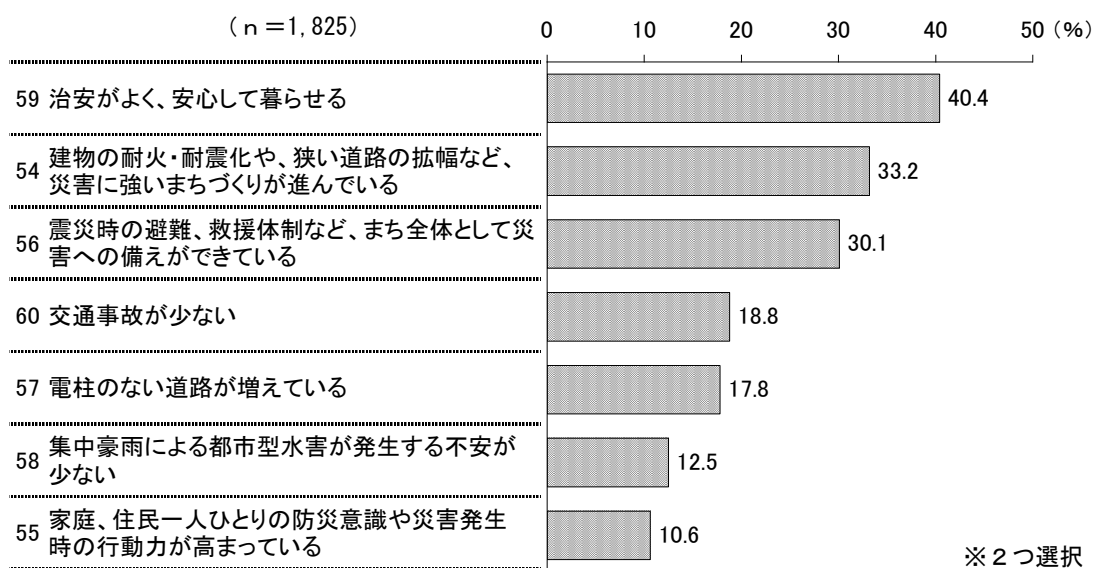
【都市再生・交通における「今後の優先度」】



(9) 防災・治安

防災・治安に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「治安がよく、安心して暮らせる」(40.4%)が4割で最も高く、次いで「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる」(33.2%)、「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができている」(30.1%)、「交通事故が少ない」(18.8%)となっている。

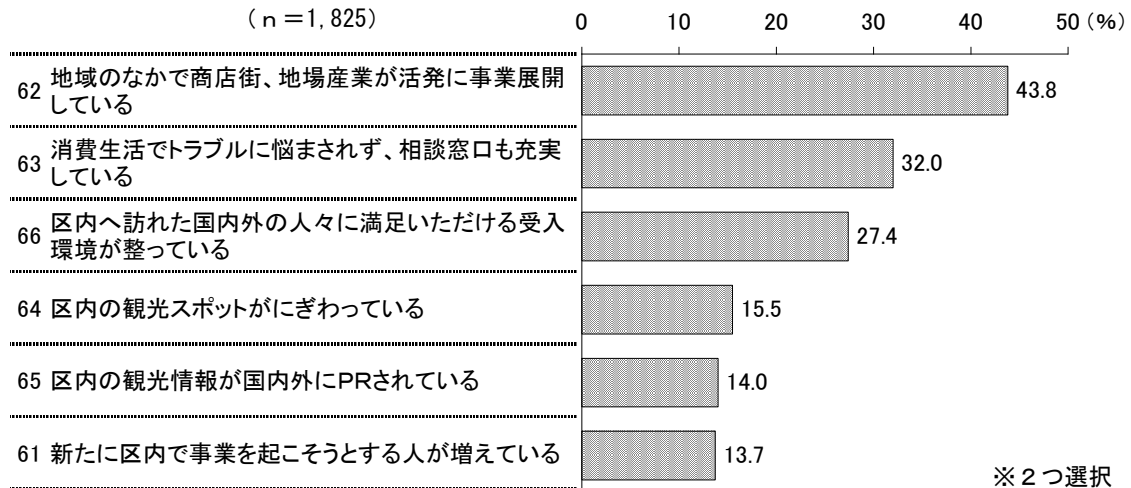
【防災・治安における「今後の優先度」】



(10) 商工・観光

商工・観光に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」(43.8%)が4割を超えて最も高く、次いで「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」(32.0%)、「区内へ訪れた国内外の人々に満足いただける受入環境が整っている」(27.4%)となっている。

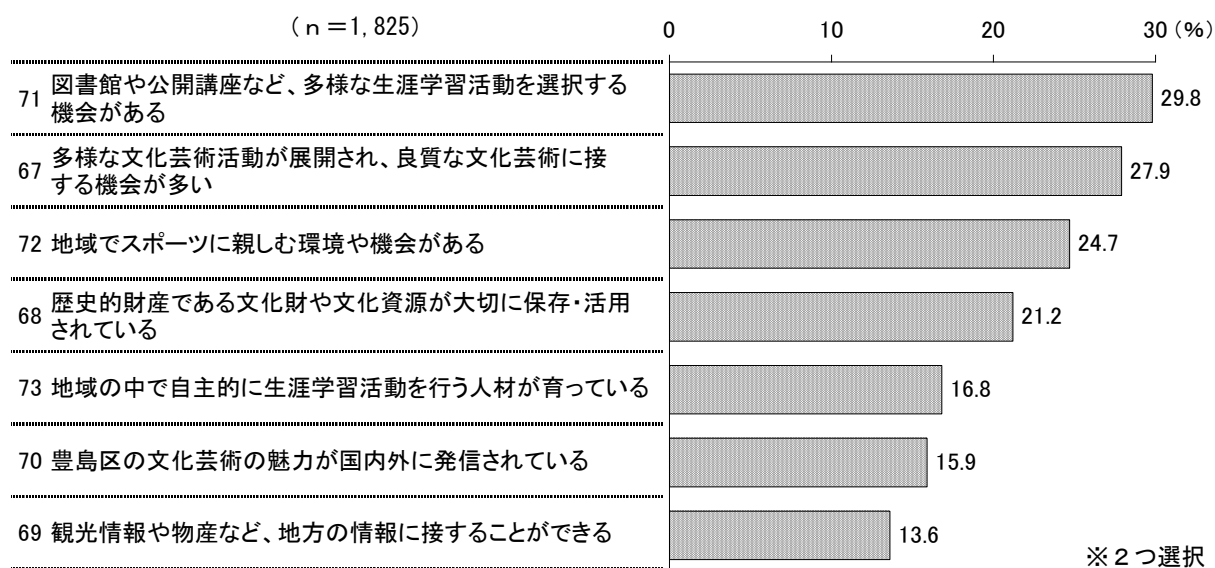
【商工・観光における「今後の優先度」】



(11) 文化

文化に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会がある」(29.8%)が3割で最も高く、次いで「多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い」(27.9%)、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」(24.7%)、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」(21.2%)となっている。

【文化における「今後の優先度」】



3. 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析

11のグループごとに、「現在の評価」と「今後の優先度」の調査結果を下記により数値化し、この2つの評価を軸として、総合分析を行った。

【数値化の方法】

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

■現在の評価（目指すべき生活環境の姿に近いか）

各項目の加重平均値

$$= (\text{「どちらかというと思う」の回答者数} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「どちらかというと思わない」の回答者数} \times -1 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

■今後の優先度

各項目の回答割合（％）

■基準軸の設定

- ・現在の評価：0（ゼロ）を基準
- ・今後の優先度：グループごとの各項目の平均優先度を基準

「現在の評価」を縦軸、「今後の優先度」を横軸とし、上記の基準軸設定により、下記のとおり、「A」「B」「C」「D」の4つの領域を設定して、グループごとに評価、分析を行った。

「現在の評価」の軸 (+) (-)	C	A
	現在の評価は高いが、今後の優先度は低い 現在の評価 (+) プラス 各項目の優先度 (<) 平均優先度	現在の評価も、今後の優先度も高い 現在の評価 (+) プラス 各項目の優先度 (>) 平均優先度
	D	B
	現在の評価も、今後の優先度も低い 現在の評価 (-) マイナス 各項目の優先度 (<) 平均優先度	現在の評価は低い、今後の優先度は高い 現在の評価 (-) マイナス 各項目の優先度 (>) 平均優先度
	(-)	(+)

「今後の優先度」の軸

上記のチャート図において、右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

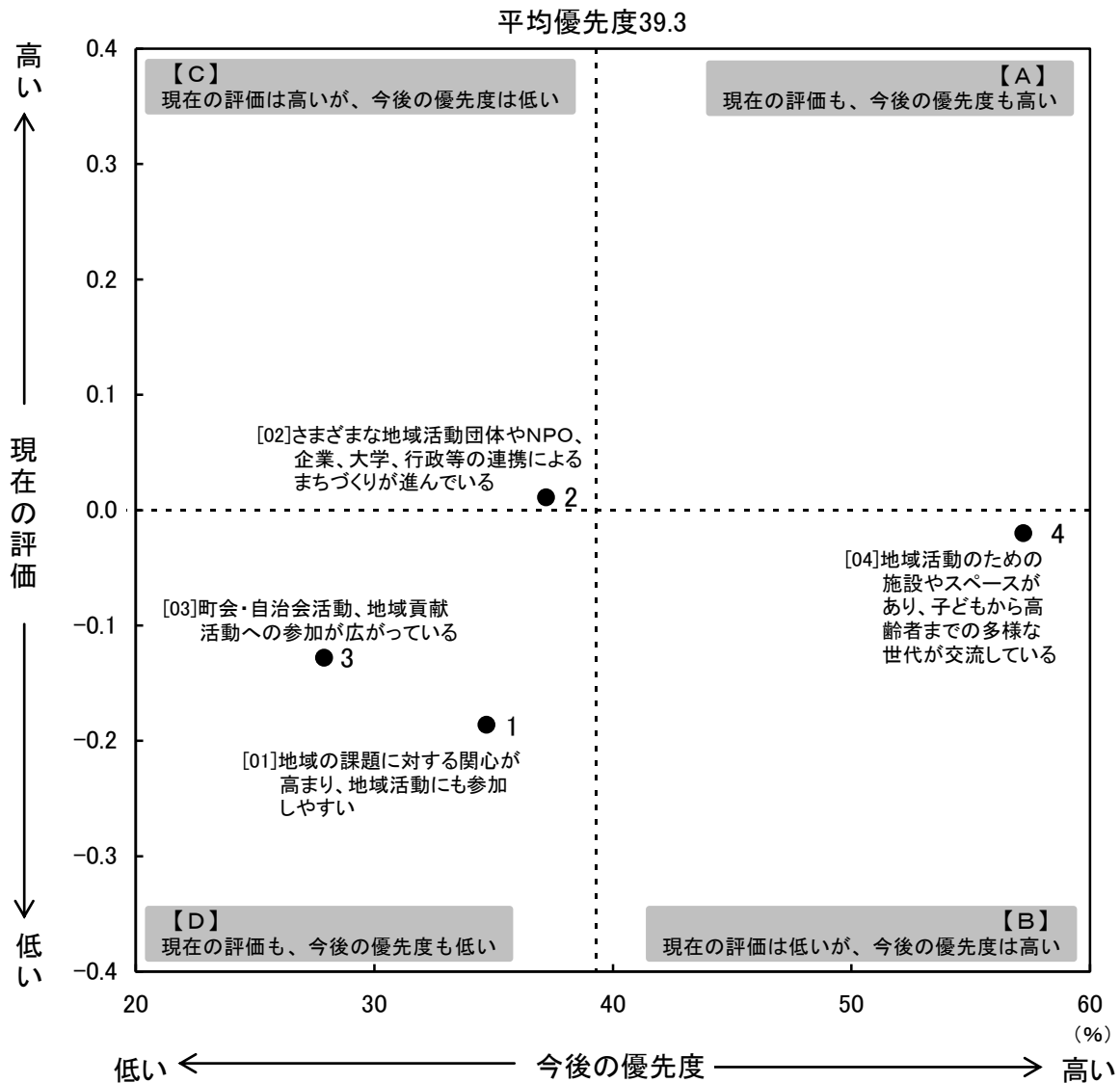
B	評価【低】かつ 優先度【高】	行政として重点的に取り組む
A	評価【高】かつ 優先度【高】	現状維持
D	評価【低】かつ 優先度【低】	
C	評価【高】かつ 優先度【低】	行政の役割は小さい

(1) 参画・協働

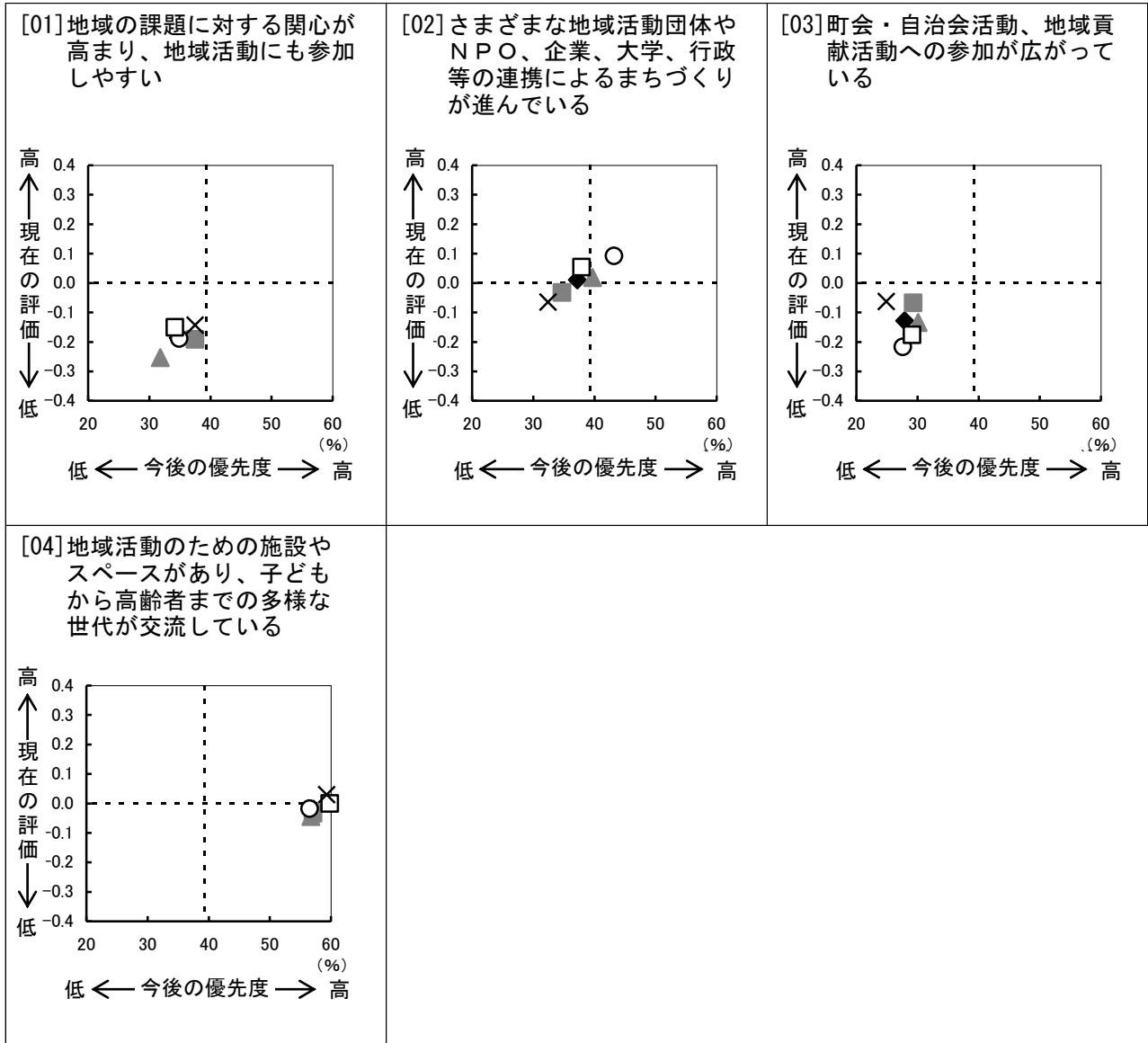
参画・協働に関する生活環境では、4項目のうち1項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。また、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」が位置している。

【参画・協働における総合分析】



【参画・協働における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ×: 西部地域
- : 南部地域
- ▲: 北部地域
- : 中央地域

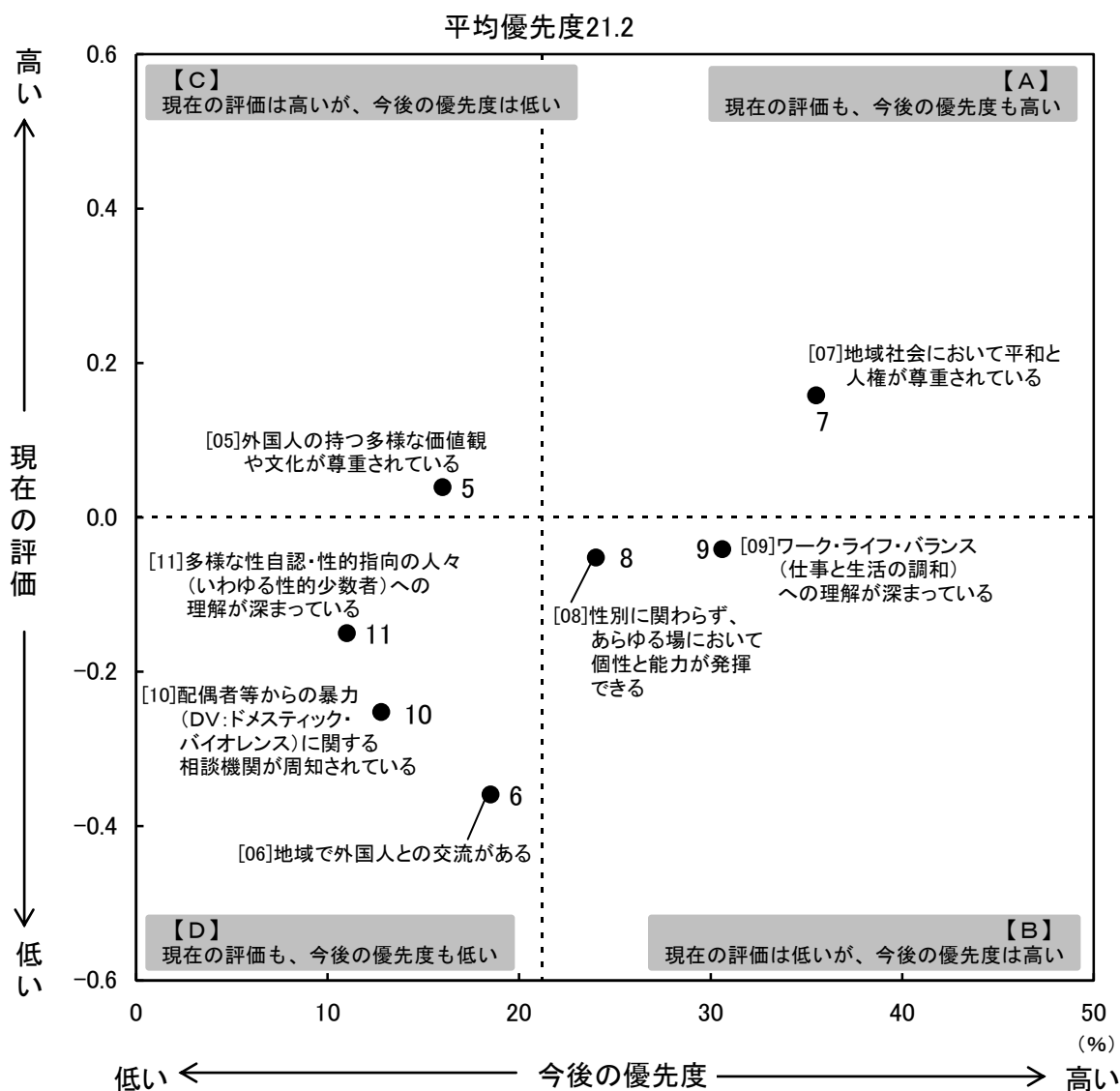
※ 地域の具体的区分は6ページの(6)居住地域名を参照

(2) 平和・人権

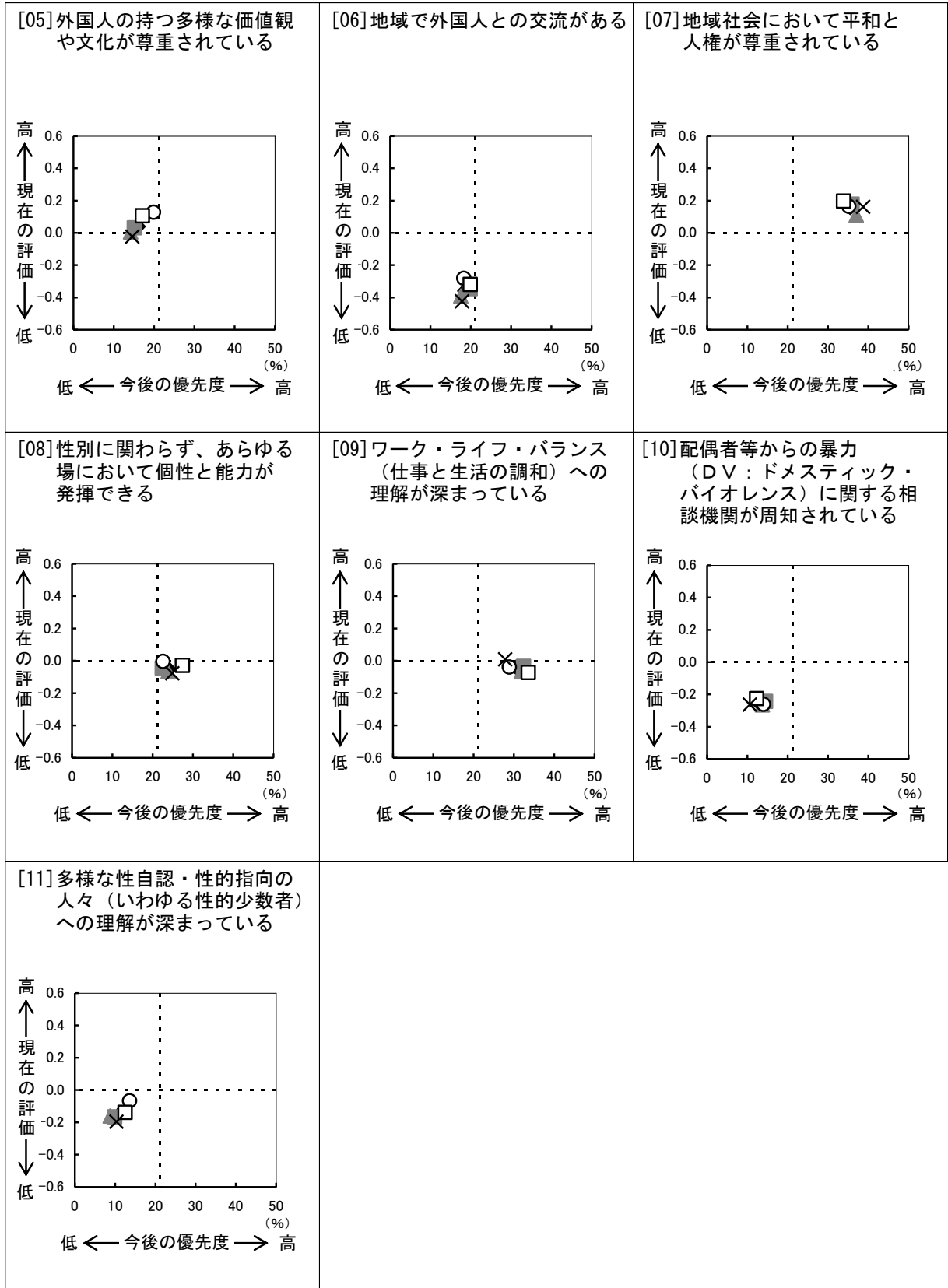
平和・人権に関する生活環境では、7項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）への理解が深まっている」、「性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる」が位置している。

【平和・人権における総合分析】



【平和・人権における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ×: 西部地域
- : 南部地域
- ▲: 北部地域
- : 中央地域

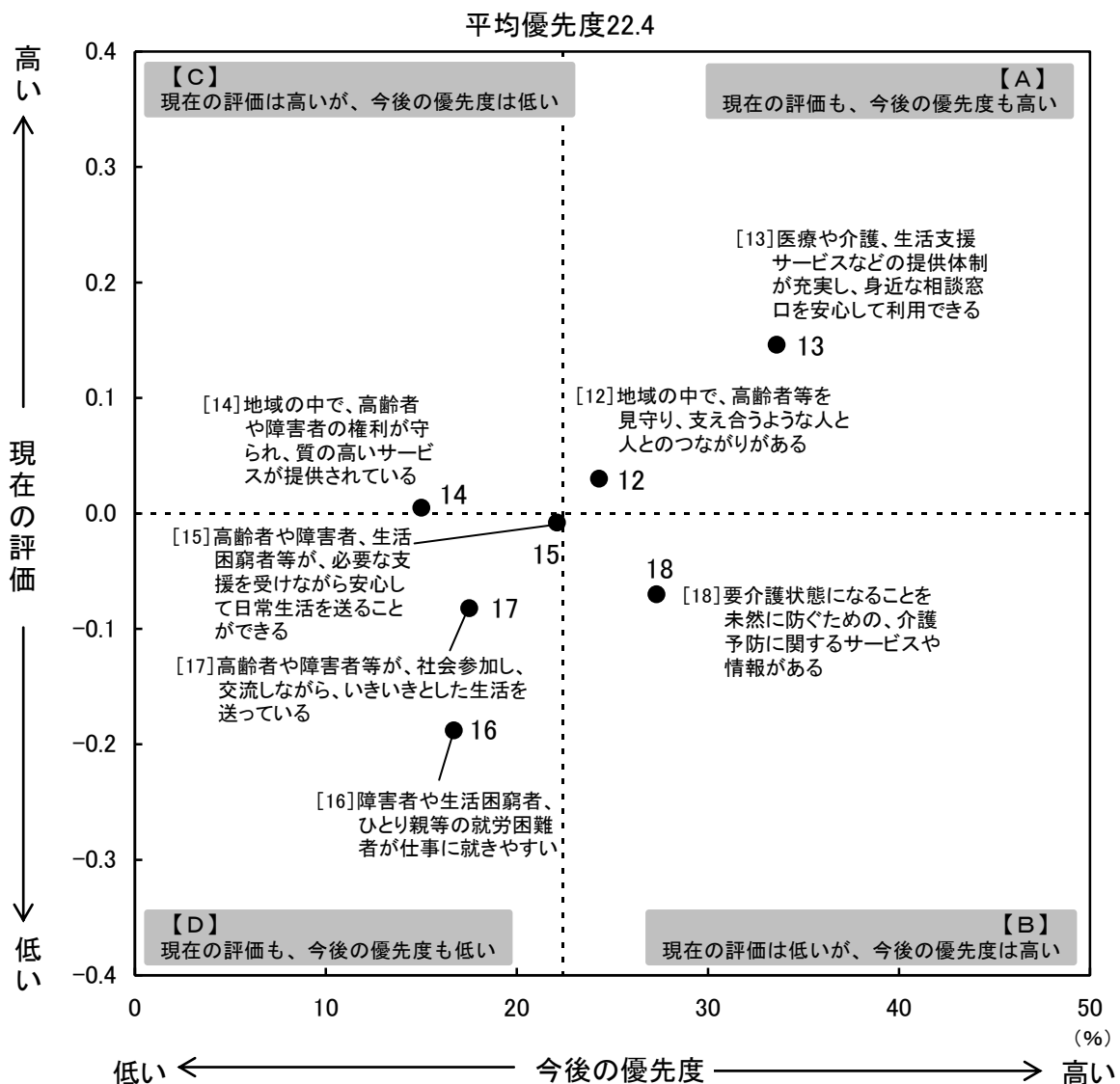
※ 地域の具体的区分は6ページの(6)居住地域名を参照

(3) 福祉

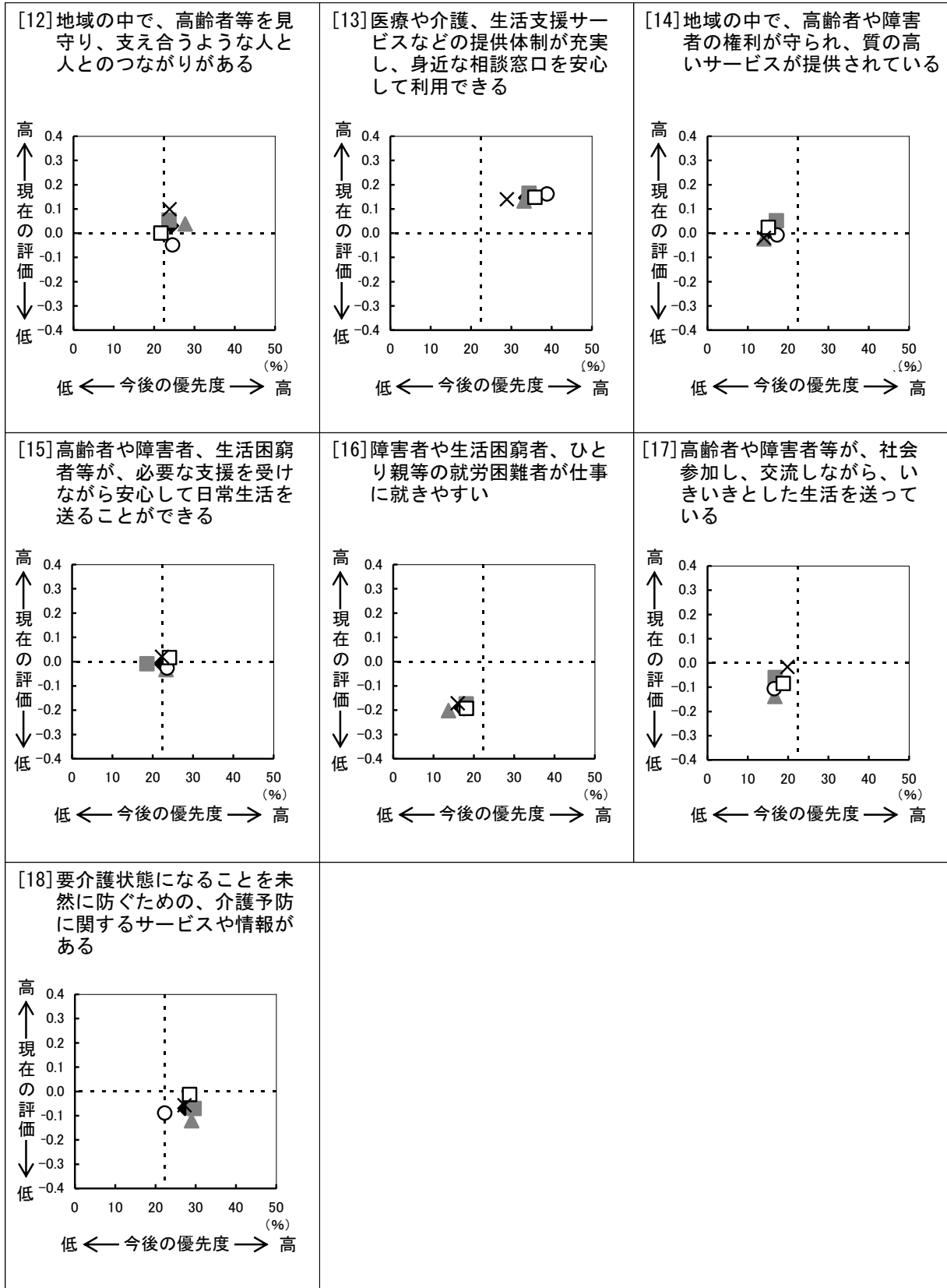
福祉に関する生活環境では、7項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」が位置している。

【福祉における総合分析】



【福祉における地域別比較】



【凡例】			
◆:区全体	■:東部地域	×:西部地域	□:南部地域
	▲:北部地域	○:中央地域	

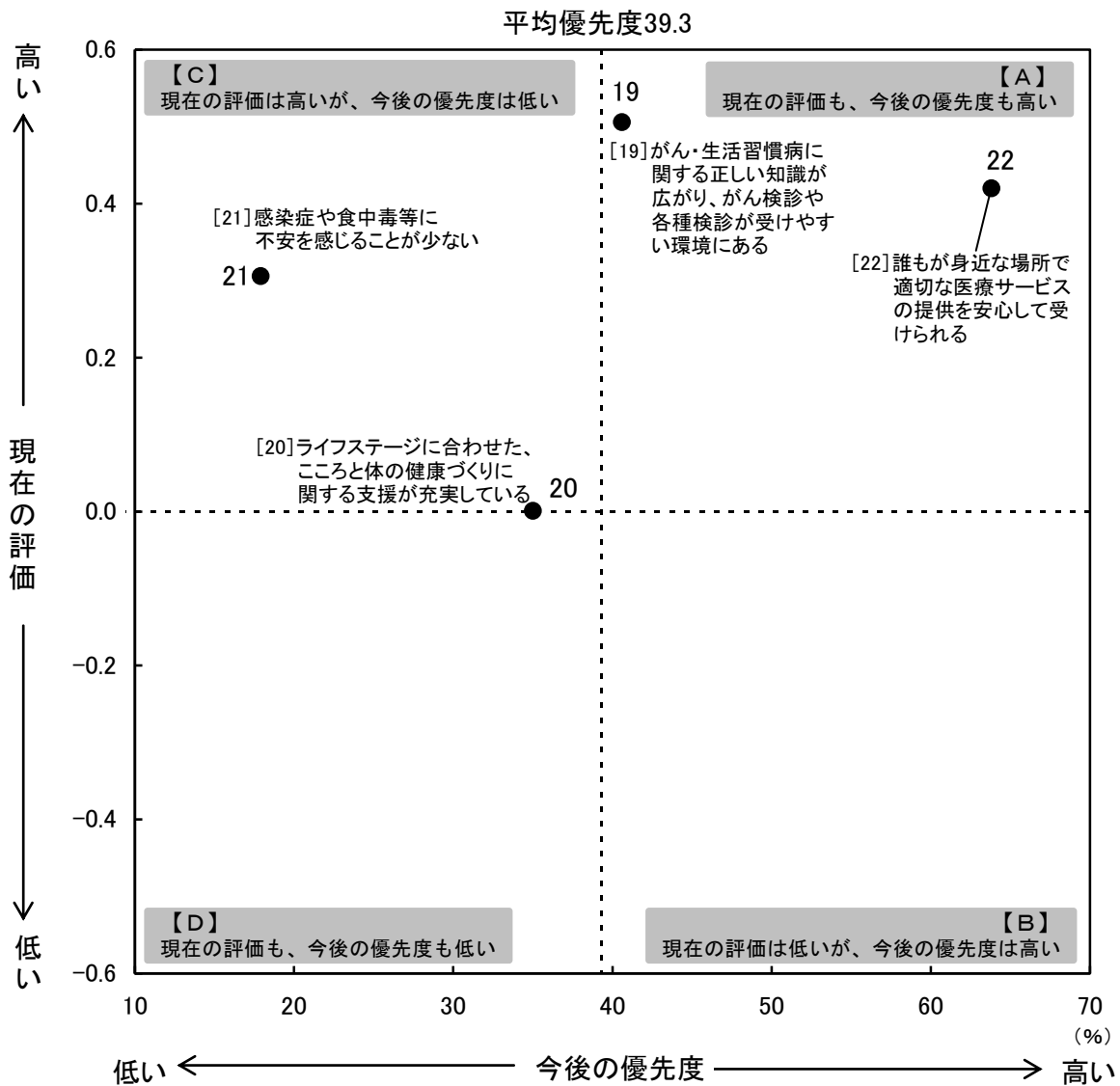
※ 地域の具体的区分は6ページの(6)居住地域名を参照

(4) 健康・保健

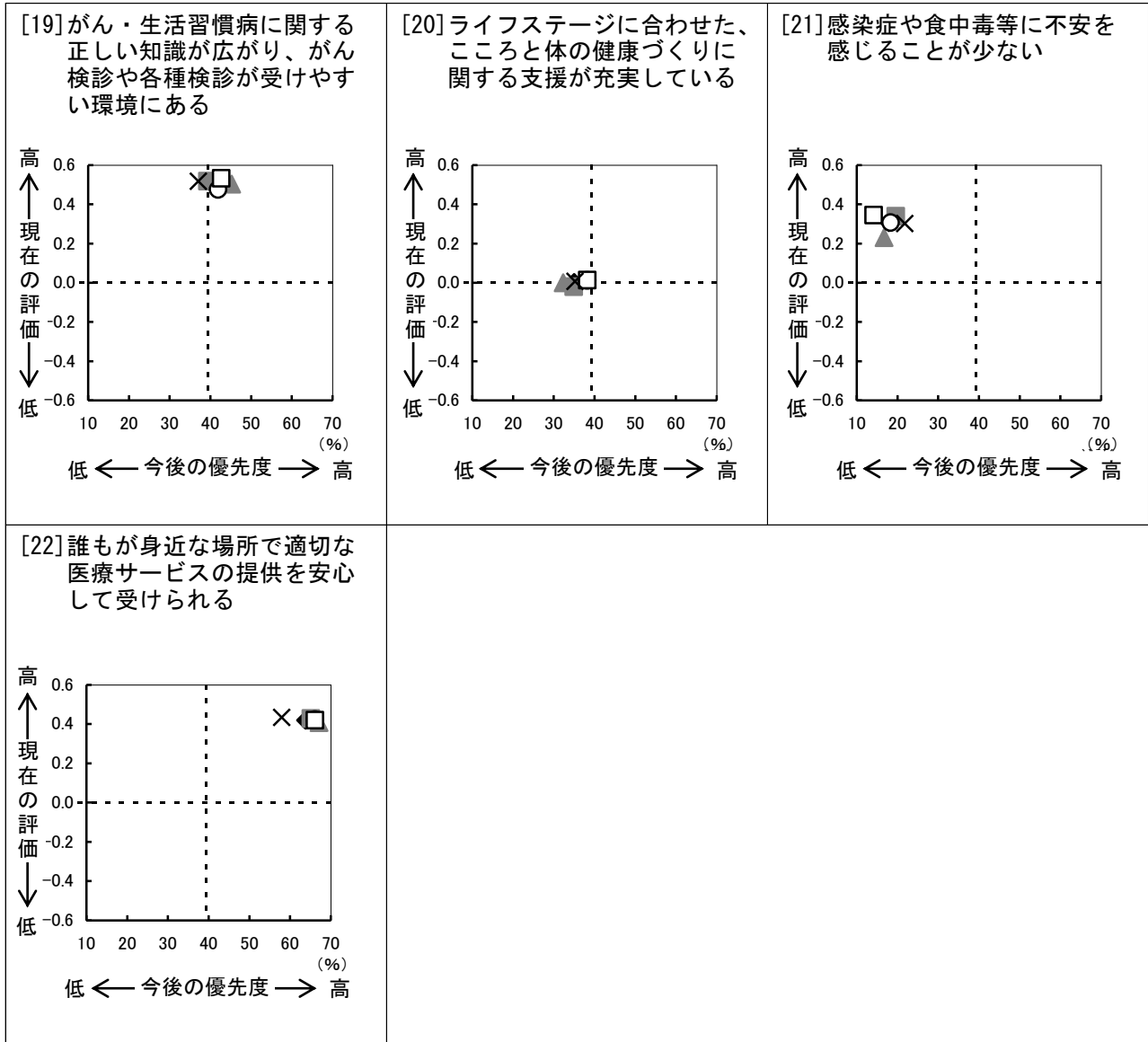
健康・保健に関する生活環境では、4項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置している。なお、「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【健康・保健における総合分析】



【健康・保健における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ×: 西部地域
- : 南部地域
- ▲: 北部地域
- : 中央地域

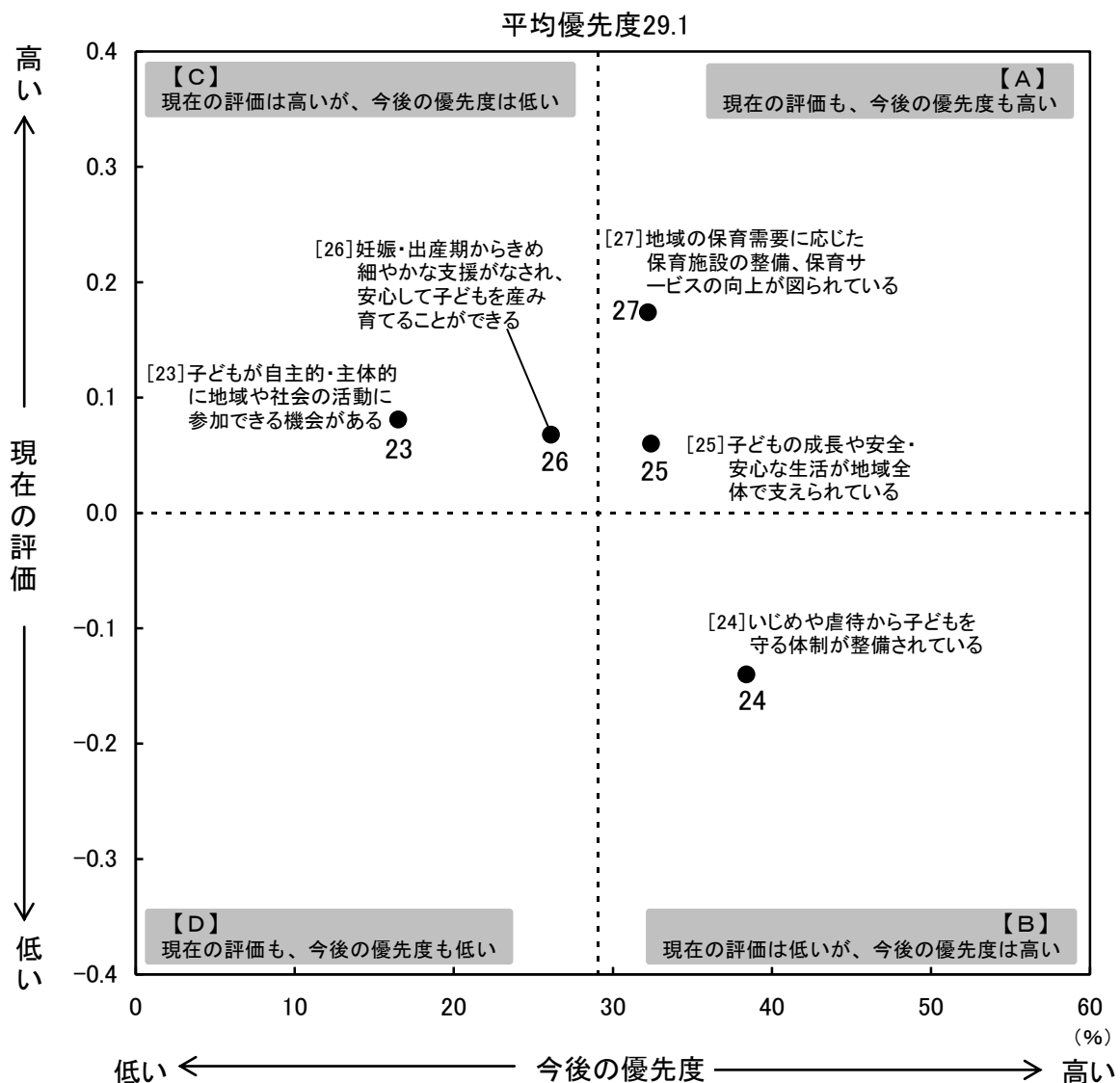
※ 地域の具体的区分は6ページの(6)居住地域名を参照

(5) 子育て

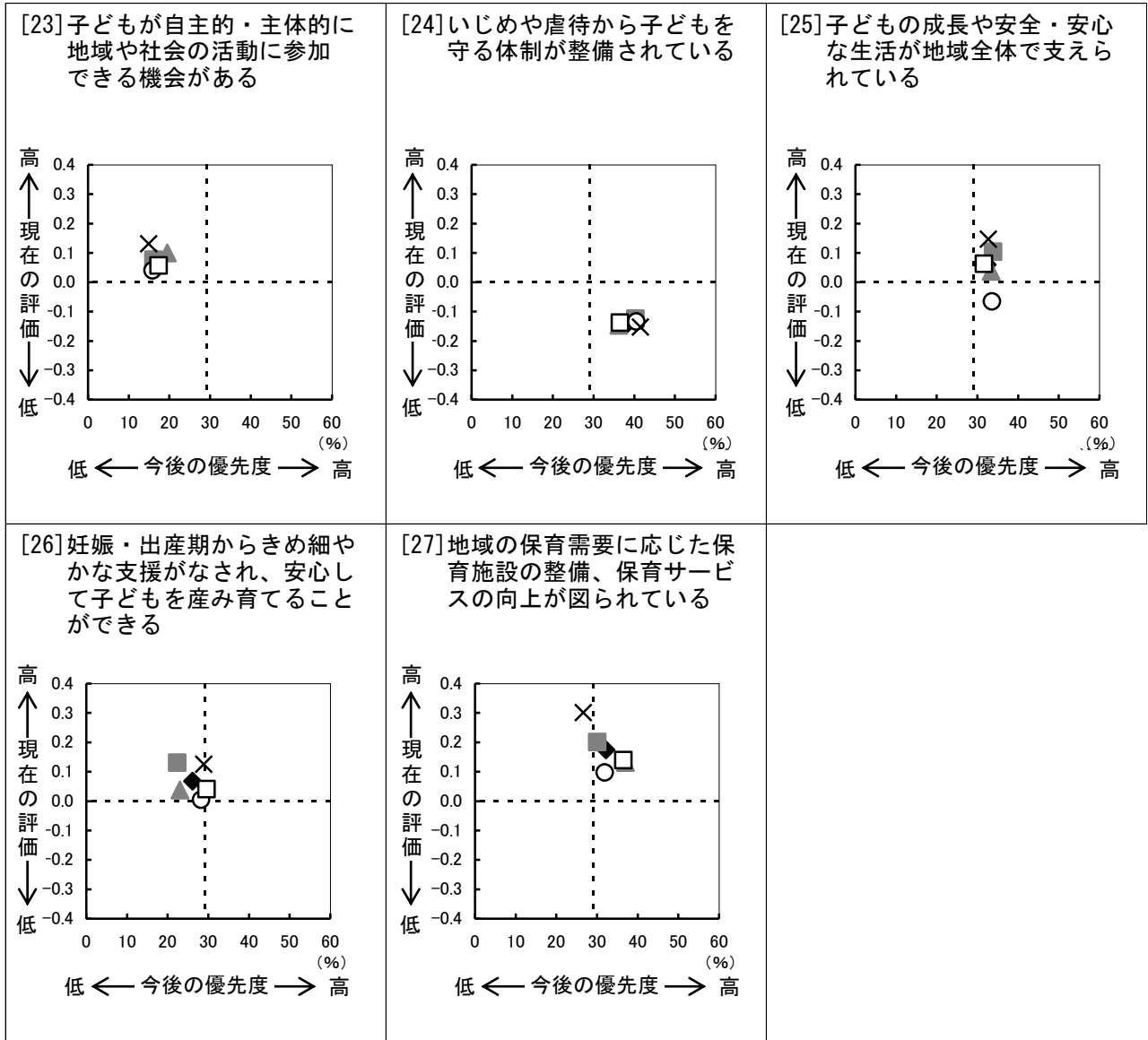
子育てに関する生活環境では、5項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置している。なお、「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」が位置している。

【子育てにおける総合分析】



【子育てにおける地域別比較】



【凡例】

◆: 区全体

■: 東部地域

×: 西部地域

□: 南部地域

▲: 北部地域

○: 中央地域

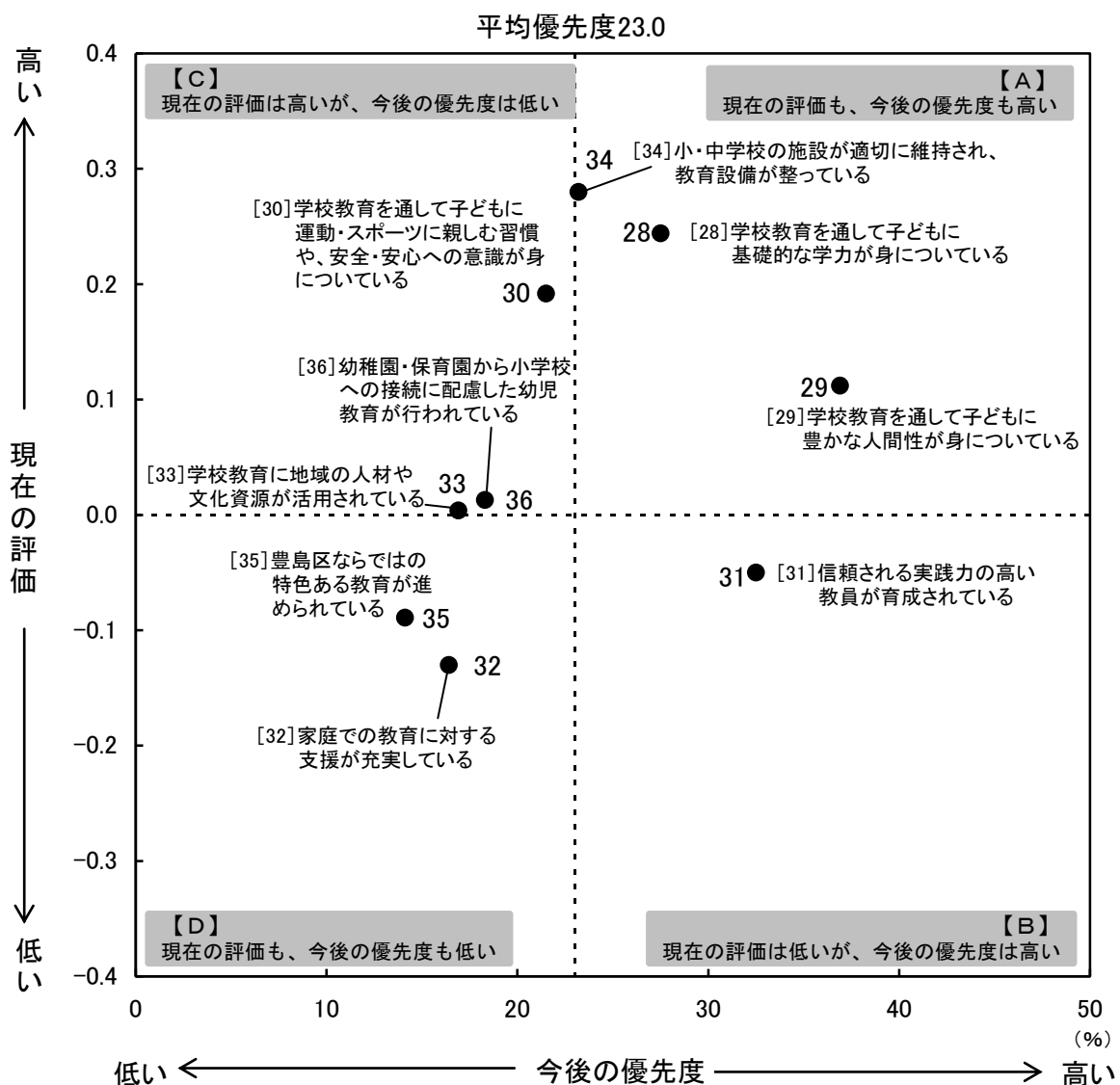
※ 地域の具体的区分は6ページの(6)居住地域名を参照

(6) 教育

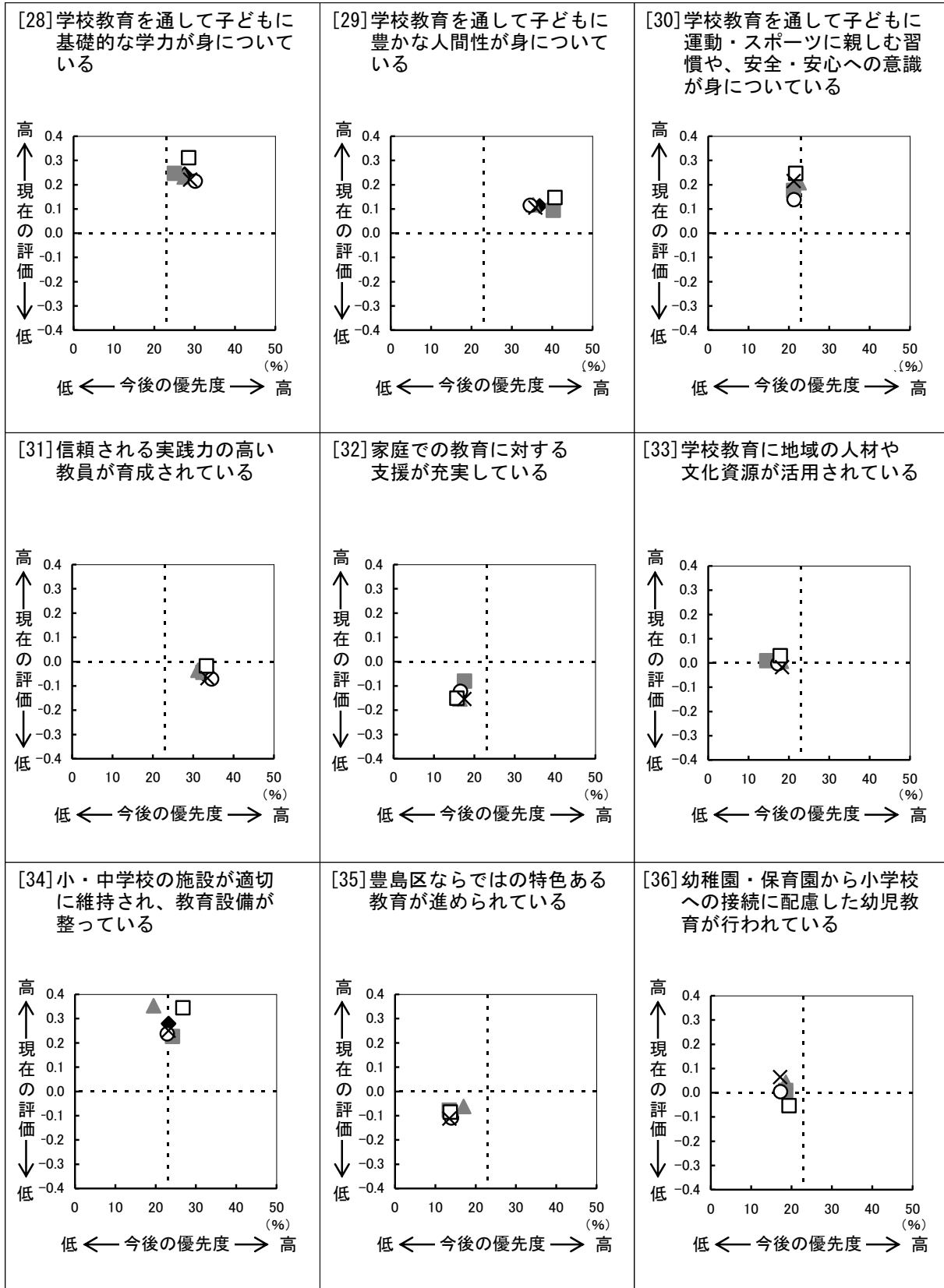
教育に関する生活環境では、9項目のうち3項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、3項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「信頼される実践力の高い教員が育成されている」が位置している。

【教育における総合分析】



【教育における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ×: 西部地域
- : 南部地域
- ▲: 北部地域
- : 中央地域

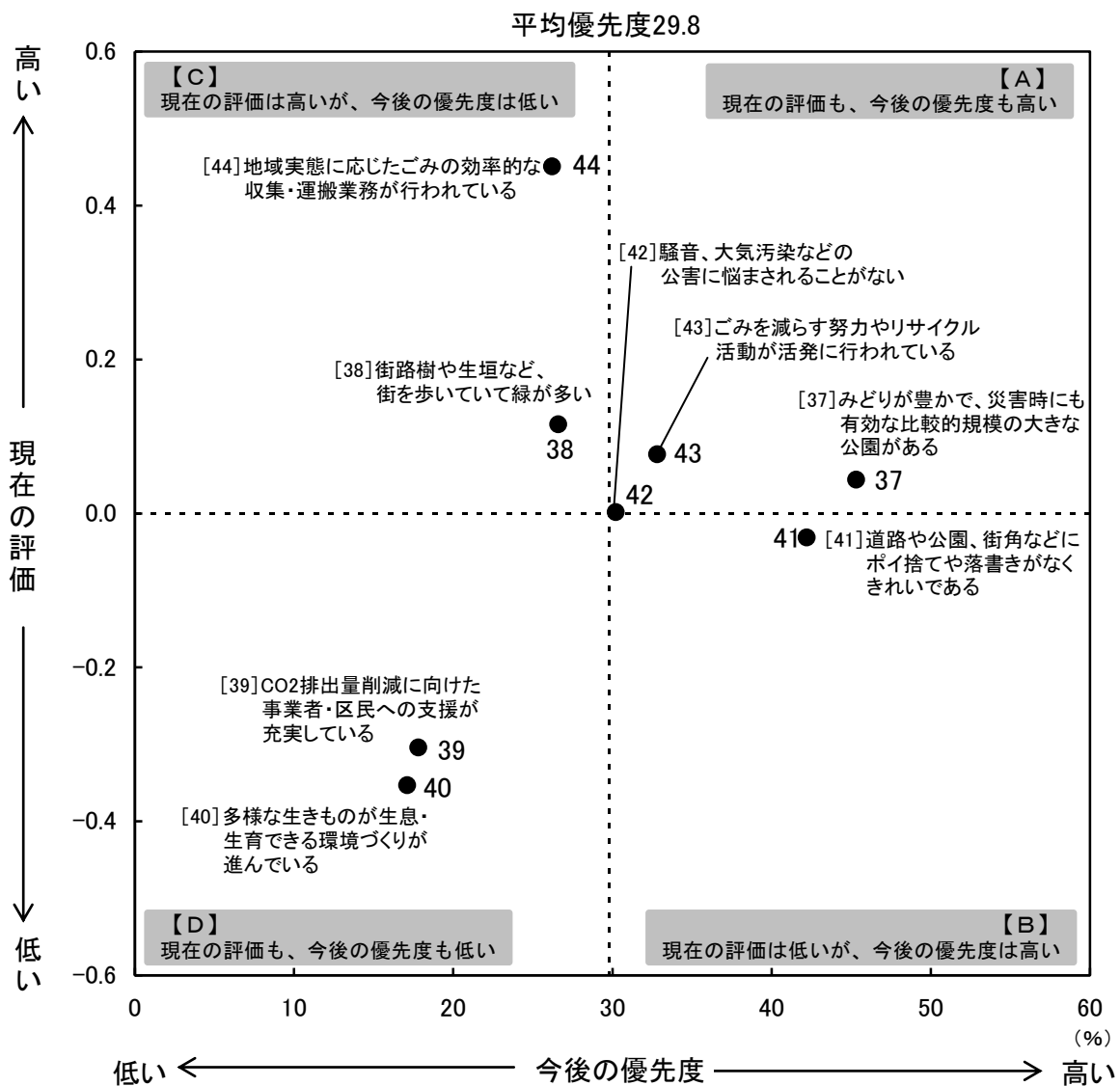
※ 地域の具体的区分は6ページの(6)居住地域名を参照

(7) みどり・環境

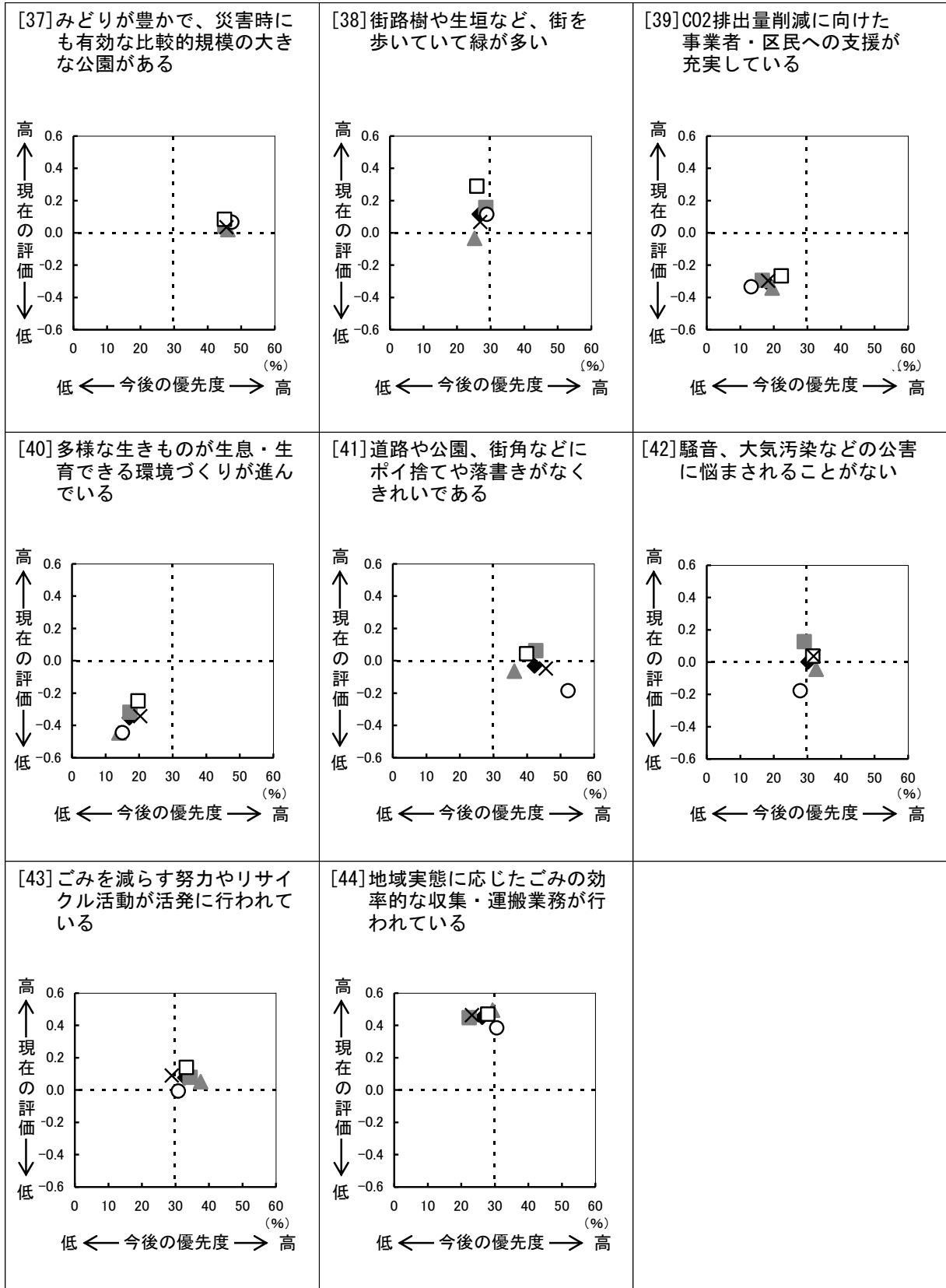
みどり・環境に関する生活環境では、8項目のうち3項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」が位置している。

【みどり・環境における総合分析】



【みどり・環境における地域別比較】



【凡例】			
◆: 区全体	■: 東部地域	×: 西部地域	□: 南部地域
	▲: 北部地域	○: 中央地域	

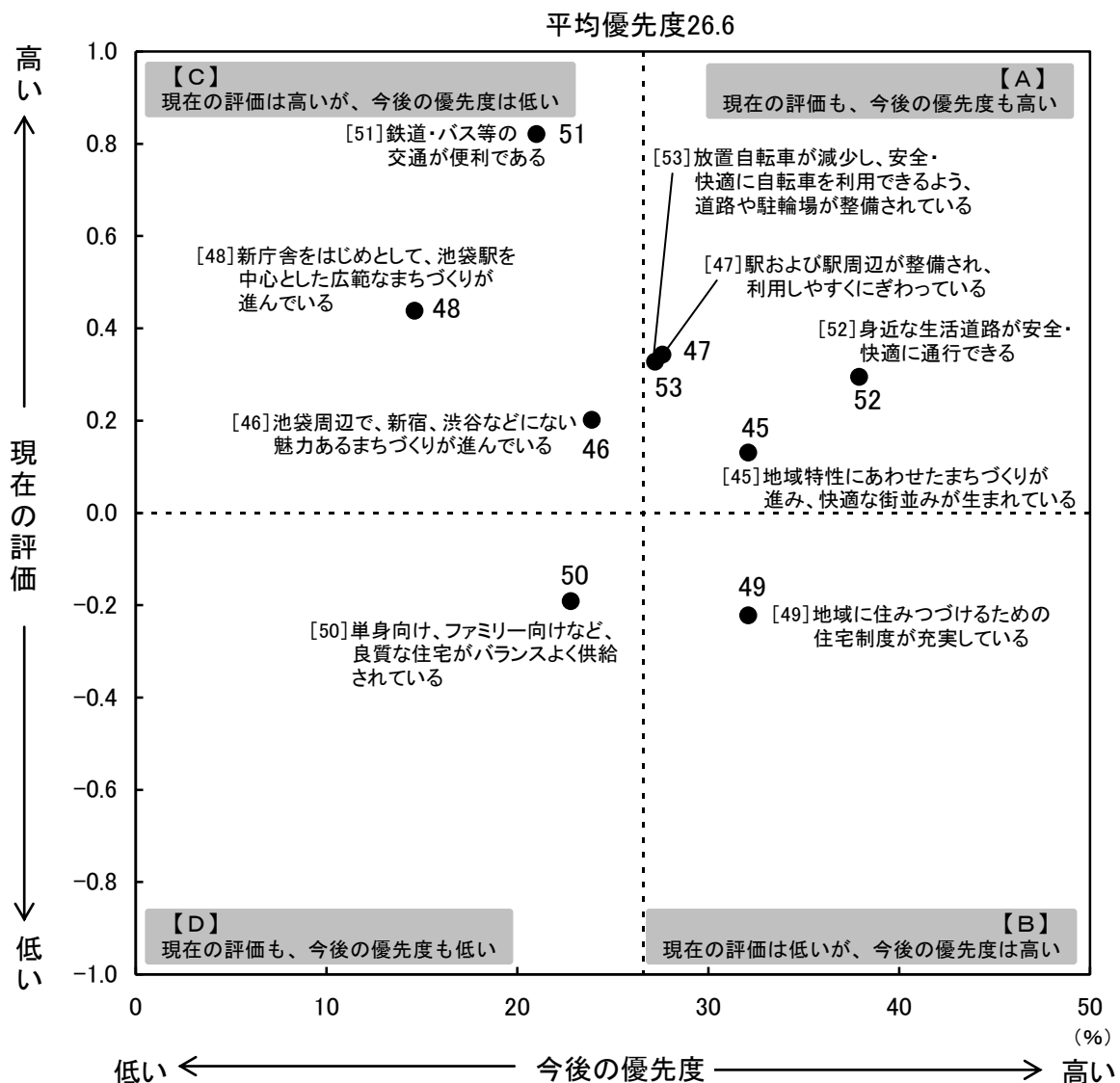
※ 地域の具体的区分は6ページの(6)居住地域名を参照

(8) 都市再生・交通

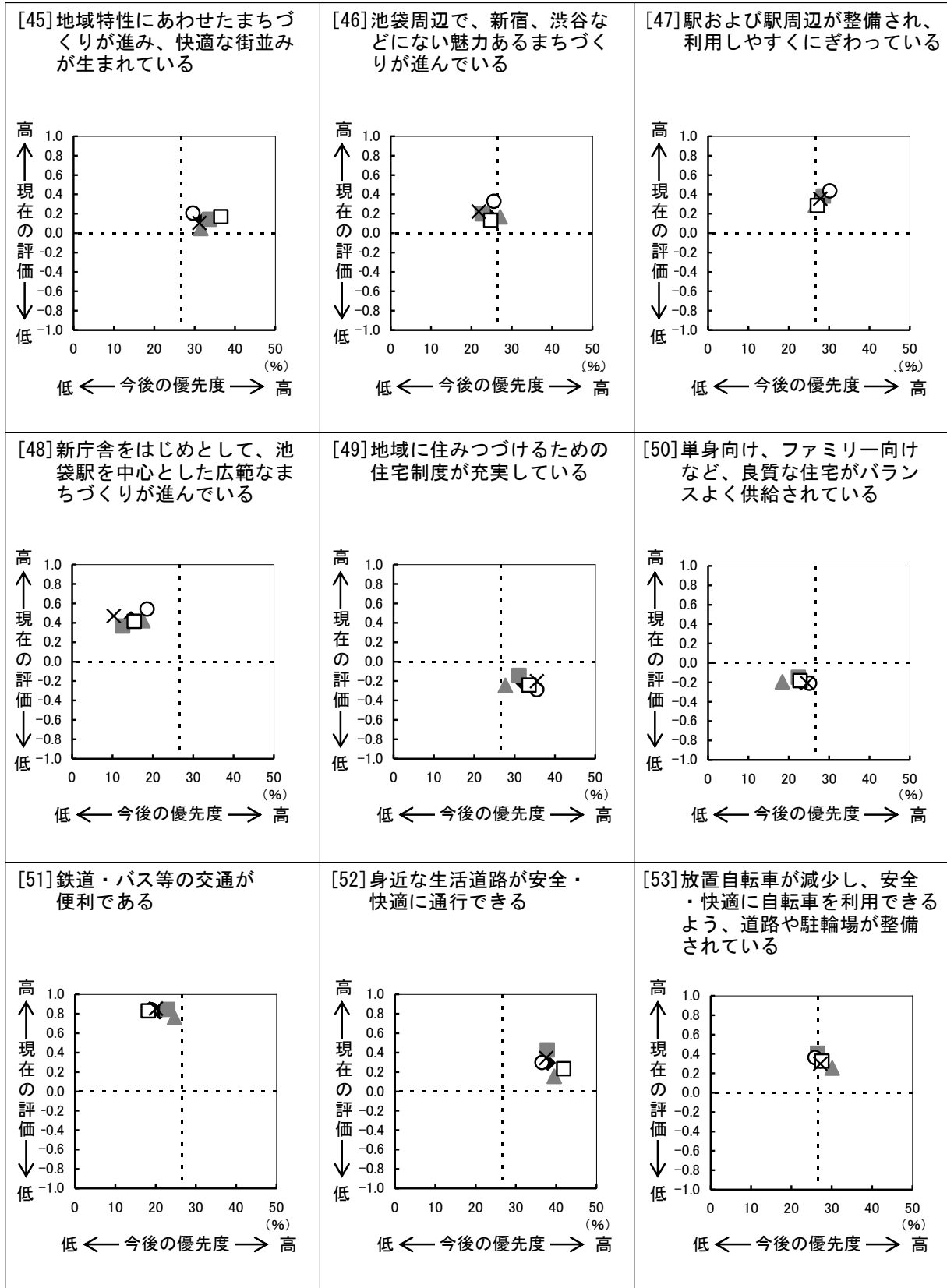
都市再生・交通に関する生活環境では、9項目のうち4項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、3項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」が位置している。

【都市再生・交通における総合分析】



【都市再生・交通における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ×: 西部地域
- : 南部地域
- ▲: 北部地域
- : 中央地域

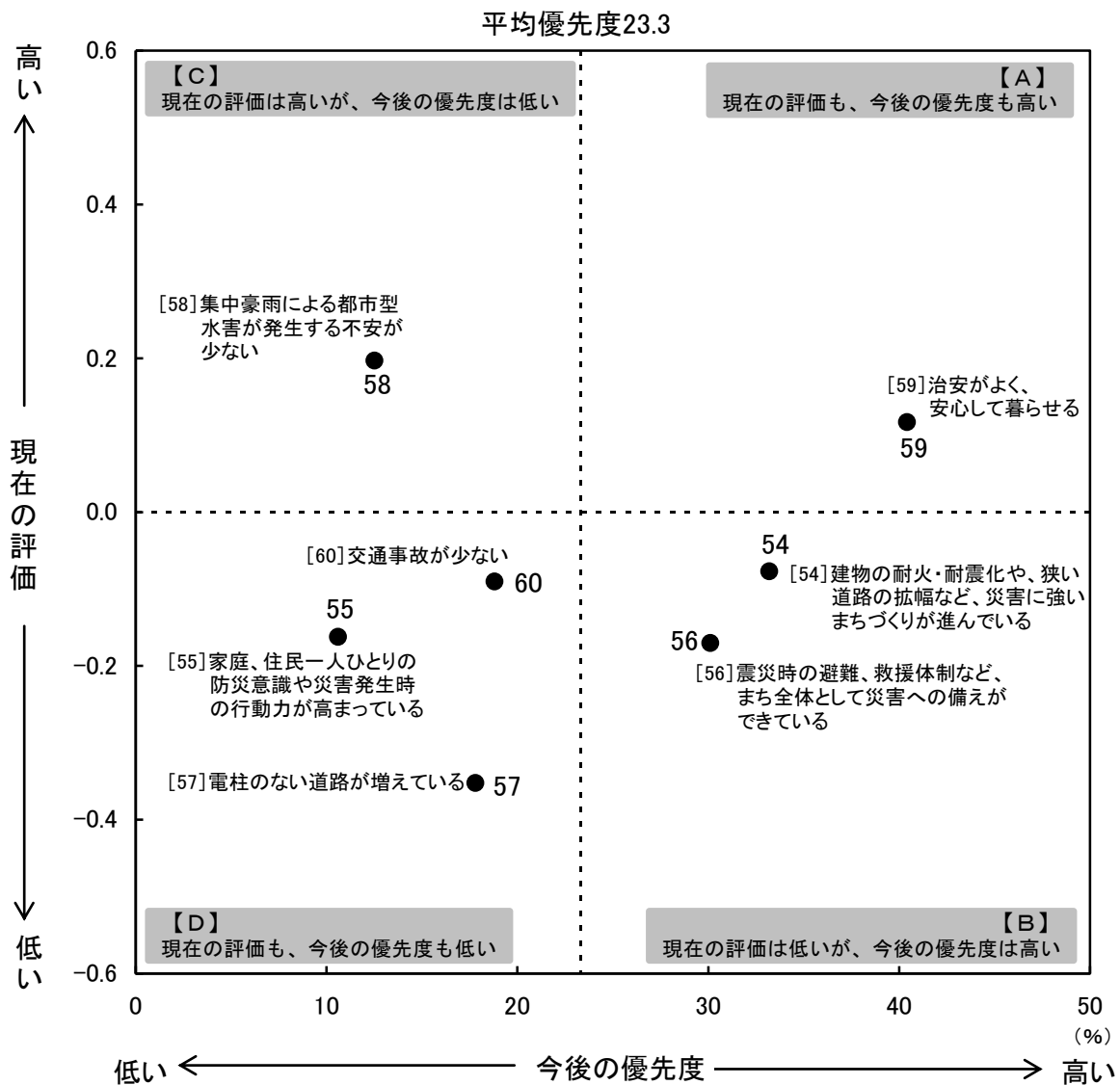
※ 地域の具体的区分は6ページの(6)居住地域名を参照

(9) 防災・治安

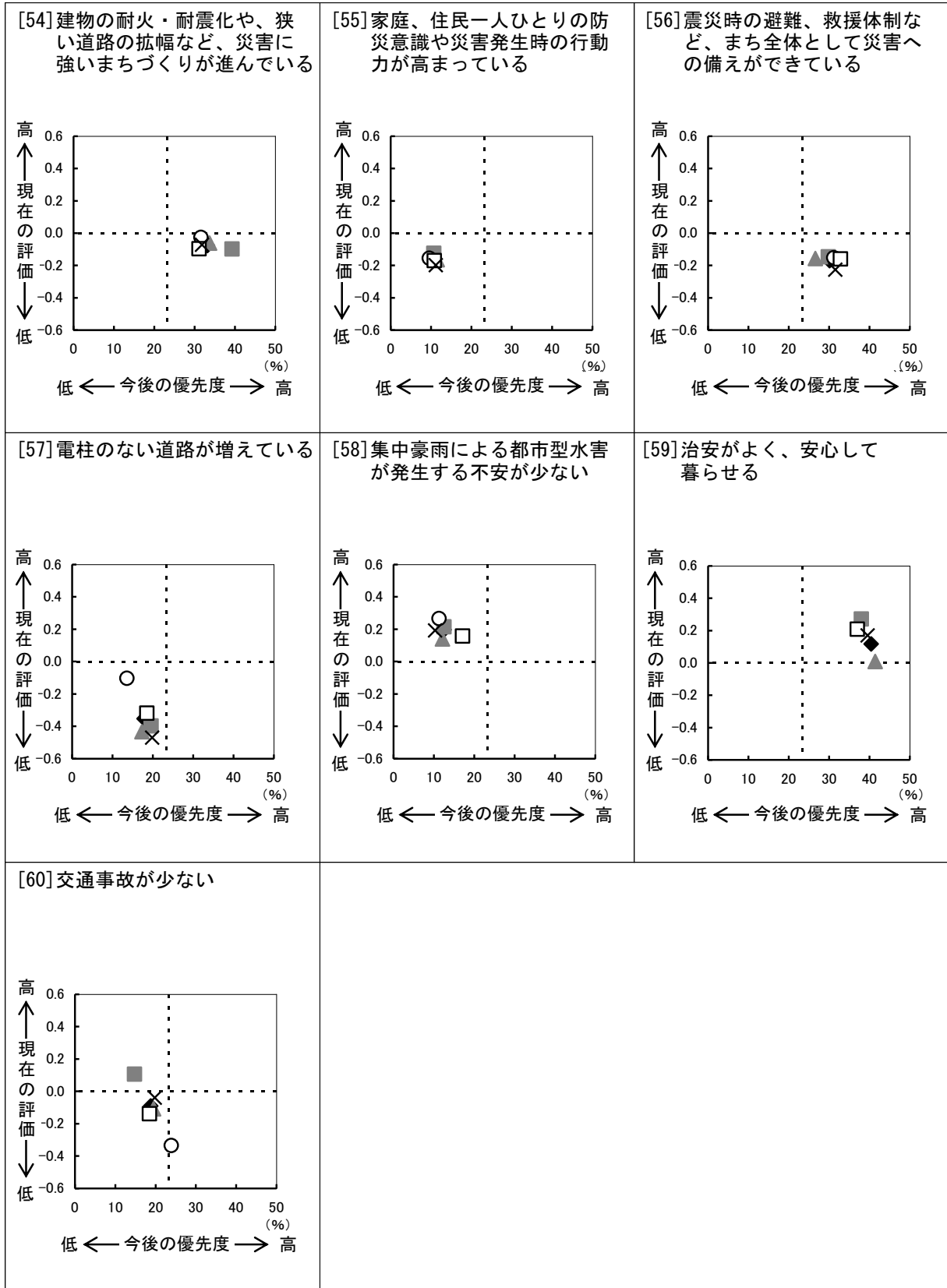
防災・治安に関する生活環境では、7項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる」、「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています」が位置している。

【防災・治安における総合分析】



【防災・治安における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ×: 西部地域
- : 南部地域
- ▲: 北部地域
- : 中央地域

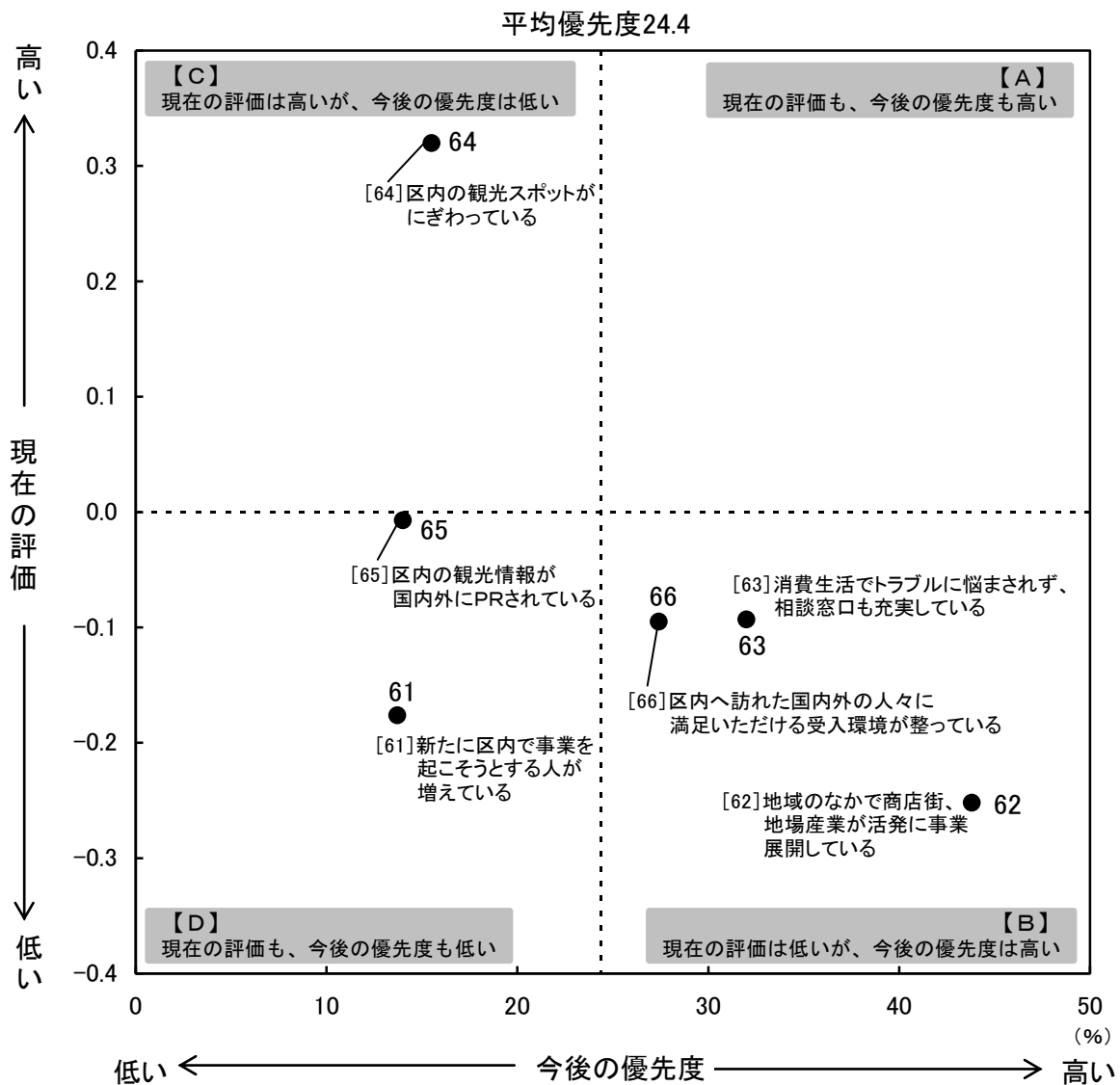
※ 地域の具体的区分は6ページの(6)居住地域名を参照

(10) 商工・観光

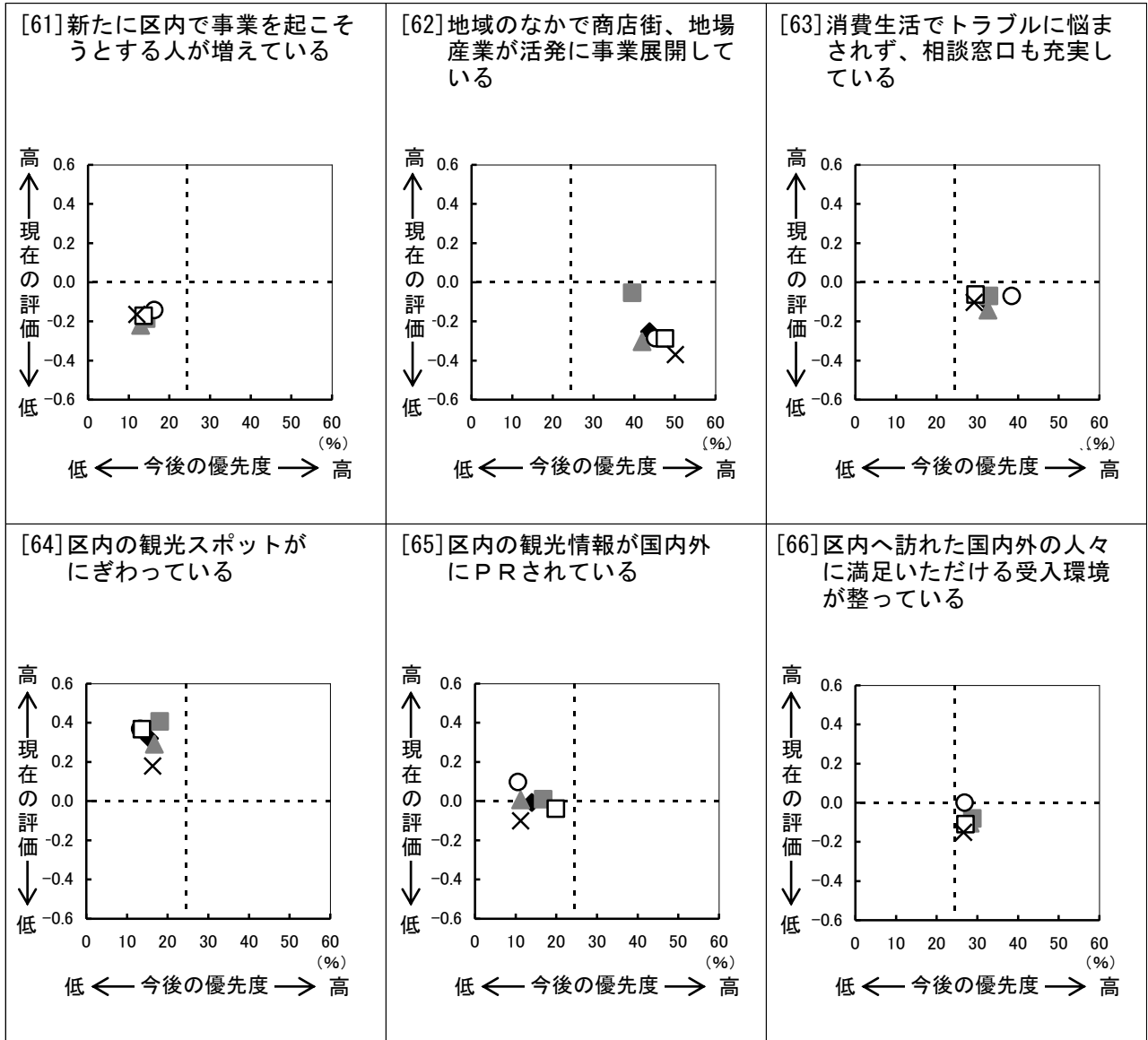
商工・観光に関する生活環境では、6項目のうち3項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置している。また、1項目が「(C) 現在の評価は高い、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」、「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」、「区内へ訪れた国内外の人々に満足いただける受入環境が整っている」が位置している。

【商工・観光における総合分析】



【商工・観光における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ×: 西部地域
- : 南部地域
- ▲: 北部地域
- : 中央地域

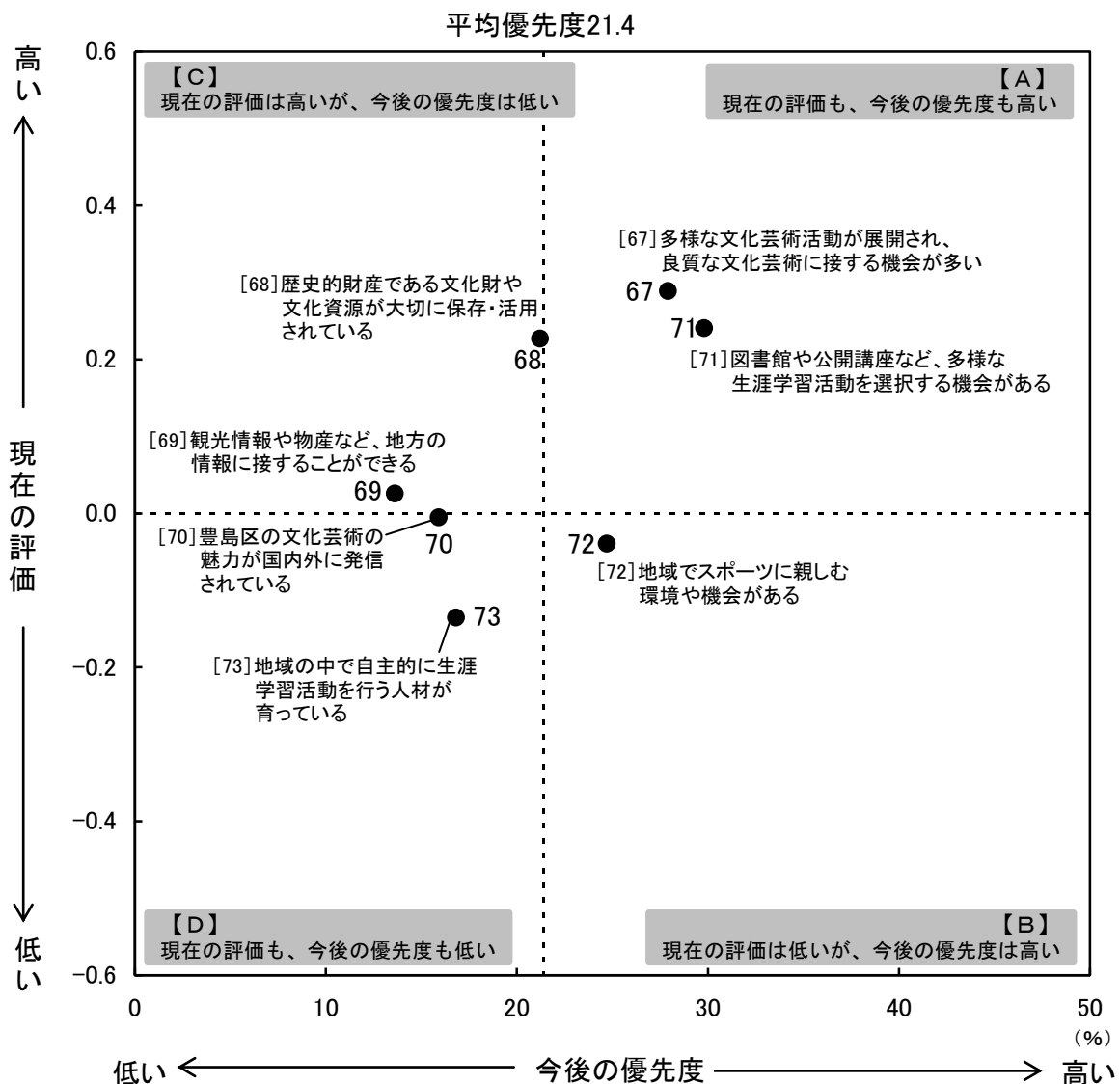
※ 地域の具体的区分は6ページの(6)居住地域名を参照

(11) 文化

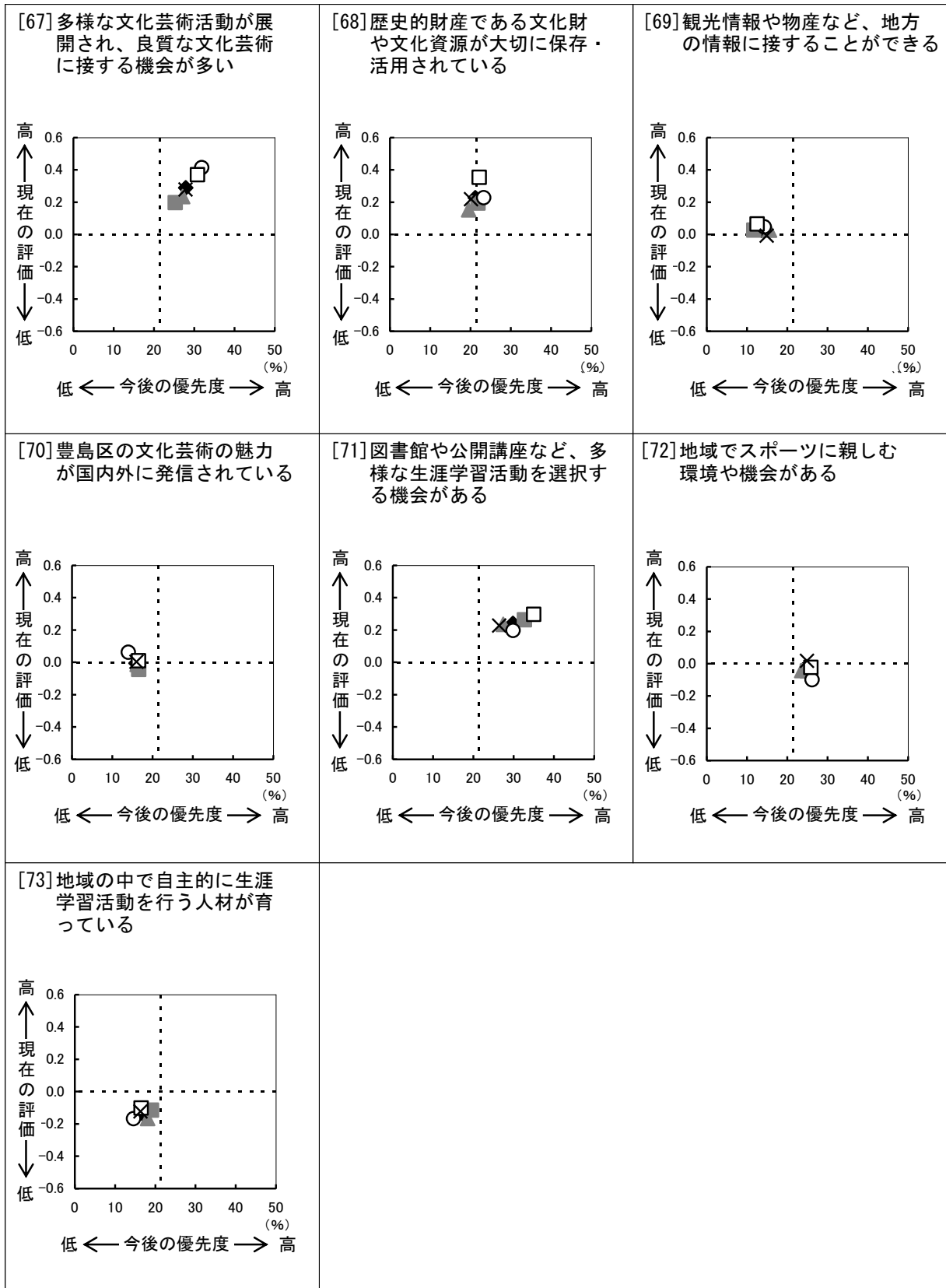
文化に関する生活環境では、7項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」が位置している。

【文化における総合分析】



【文化における地域別比較】



【凡例】			
◆:区全体	■:東部地域	×:西部地域	□:南部地域
	▲:北部地域	○:中央地域	

※ 地域の具体的区分は6ページの(6)居住地域名を参照

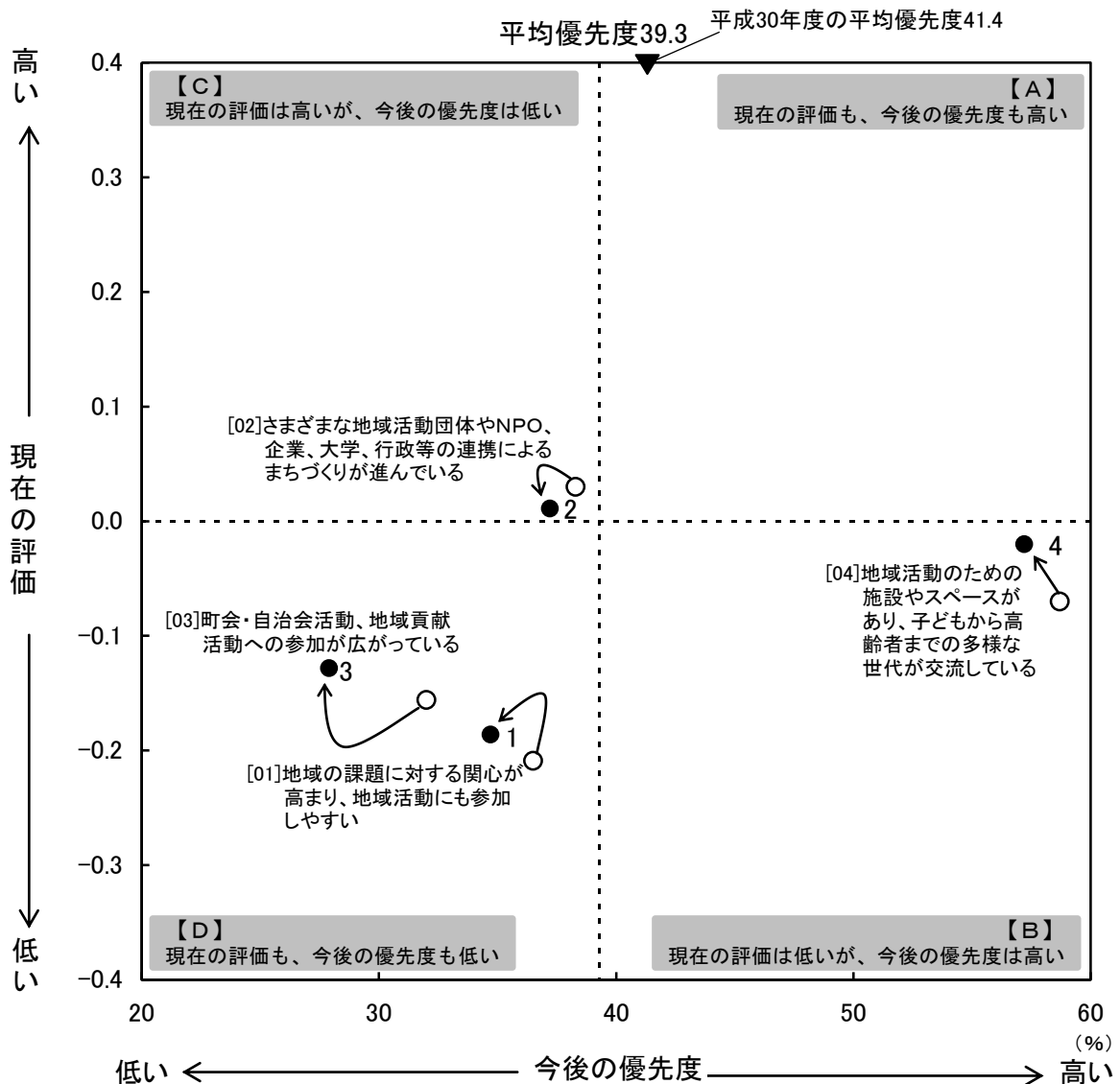
4. 総合分析の経年比較

総合分析を前回調査（平成30年度）と比較した。●が今回調査、○が前回調査、前回から今回への推移を矢印で表している。

（1）参画・協働

参画・協働に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

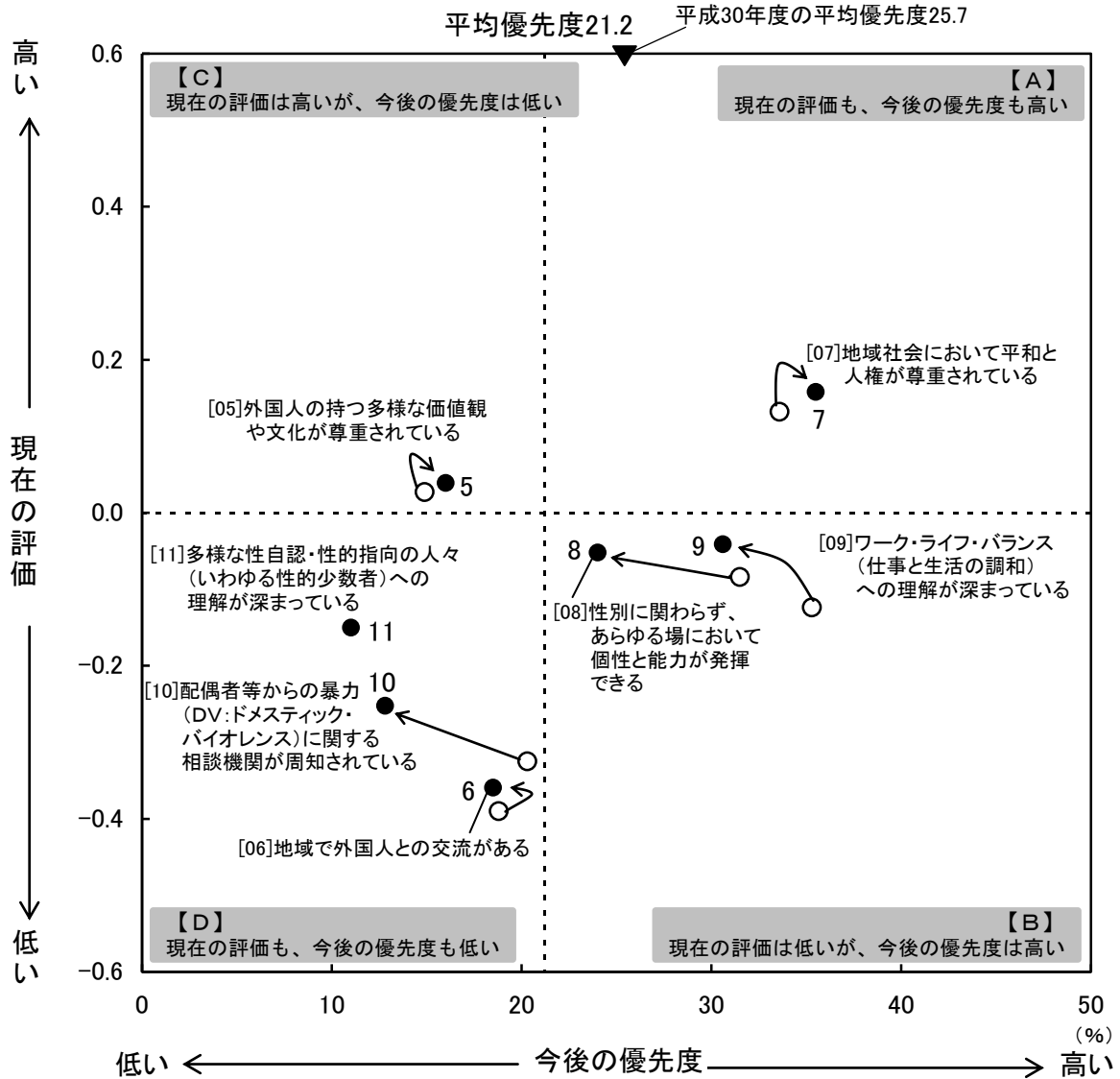
【参画・協働における総合分析の経年比較】



(2) 平和・人権

平和・人権に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

【平和・人権における総合分析の経年比較】

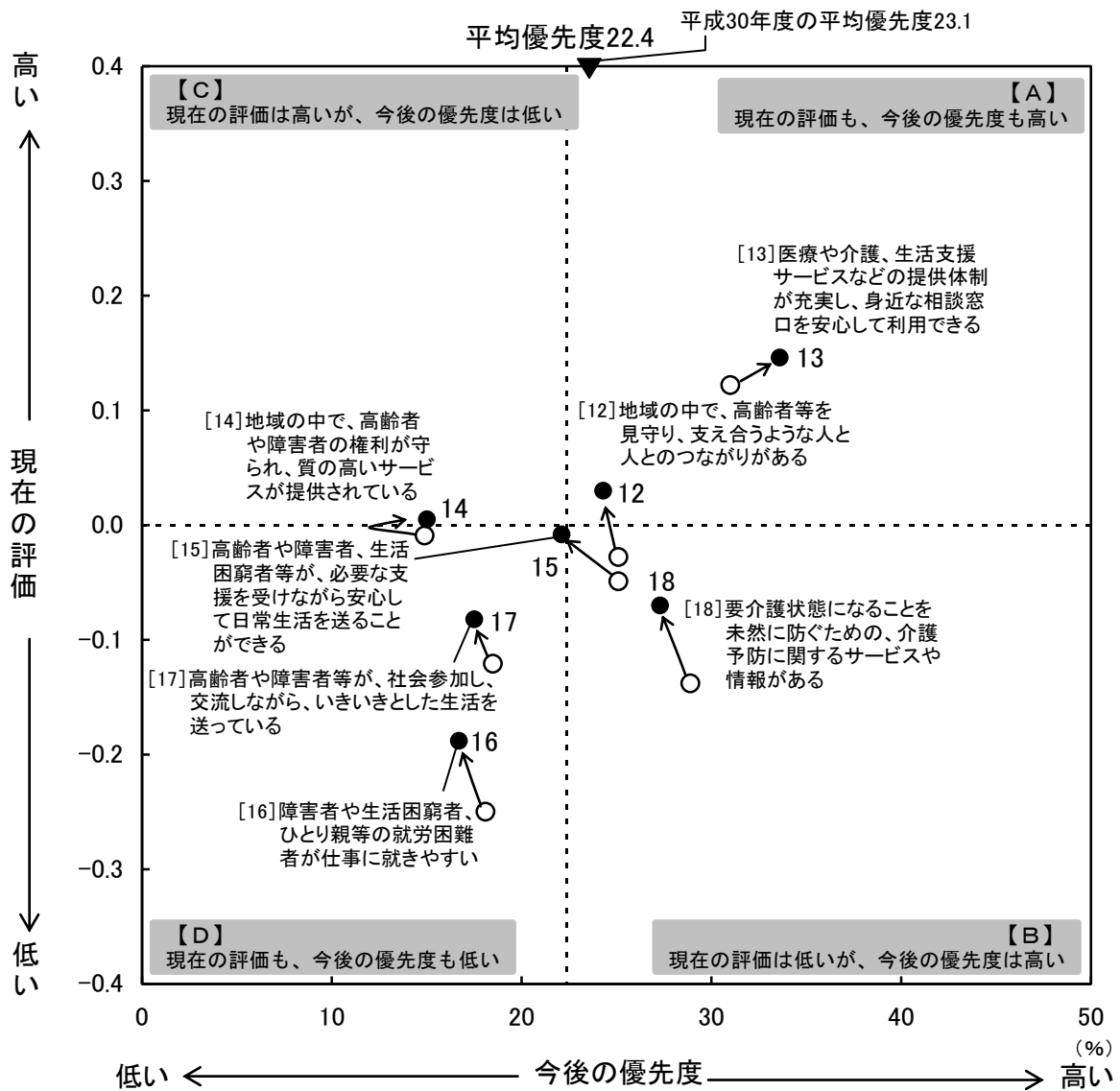


※ [11]は今回調査から追加された項目

(3) 福祉

福祉に関する生活環境では、「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」へ移動した。また、「地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている」が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」から「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。

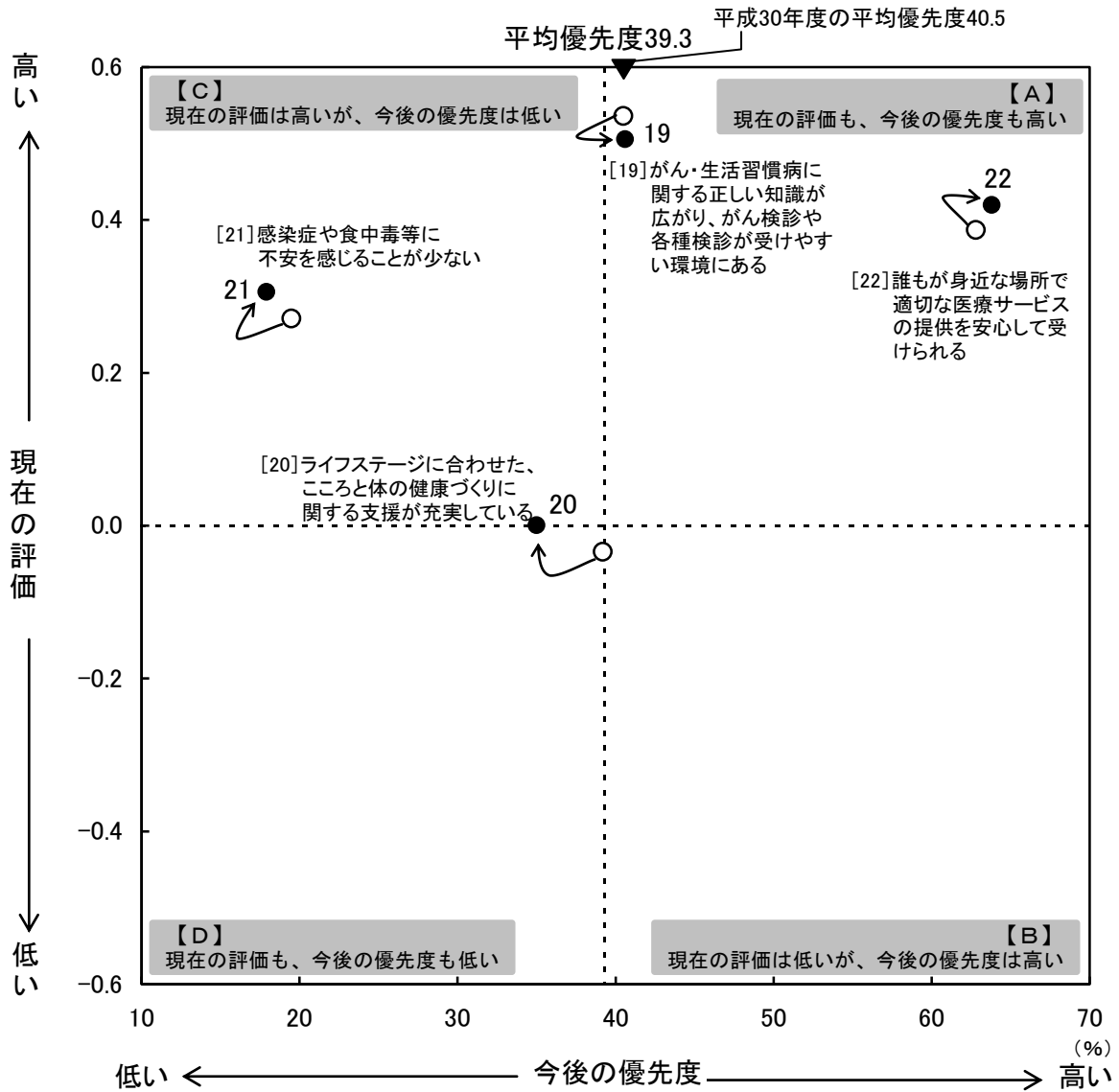
【福祉における総合分析の経年比較】



(4) 健康・保健

健康・保健に関する生活環境では、「ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している」が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」から「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。

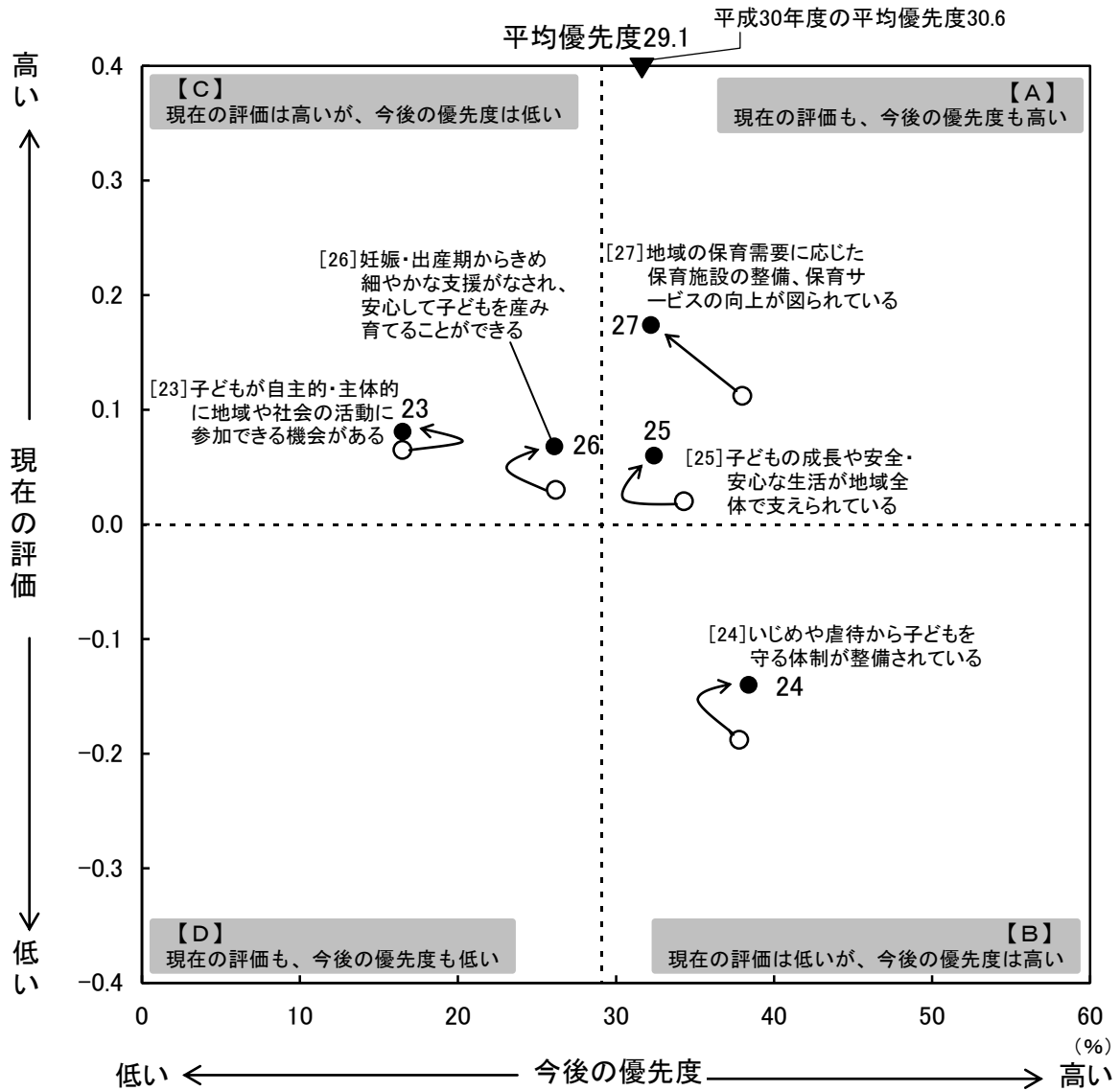
【健康・保健における総合分析の経年比較】



(5) 子育て

子育てに関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

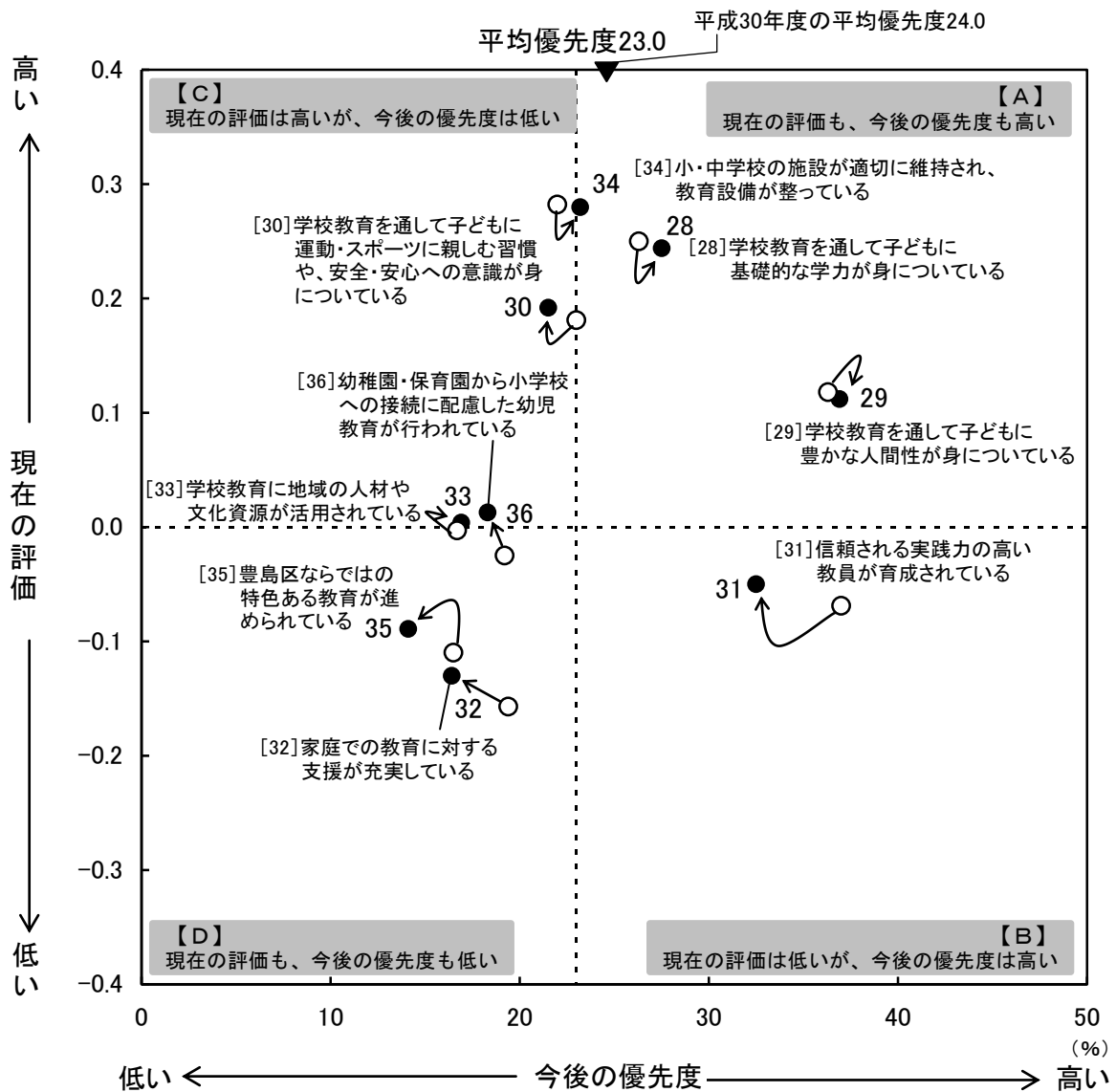
【子育てにおける総合分析の経年比較】



(6) 教育

教育に関する生活環境では、「小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。また、「学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている」と「幼稚園・保育園から小学校への接続に配慮した幼児教育が行われている」が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」から「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。

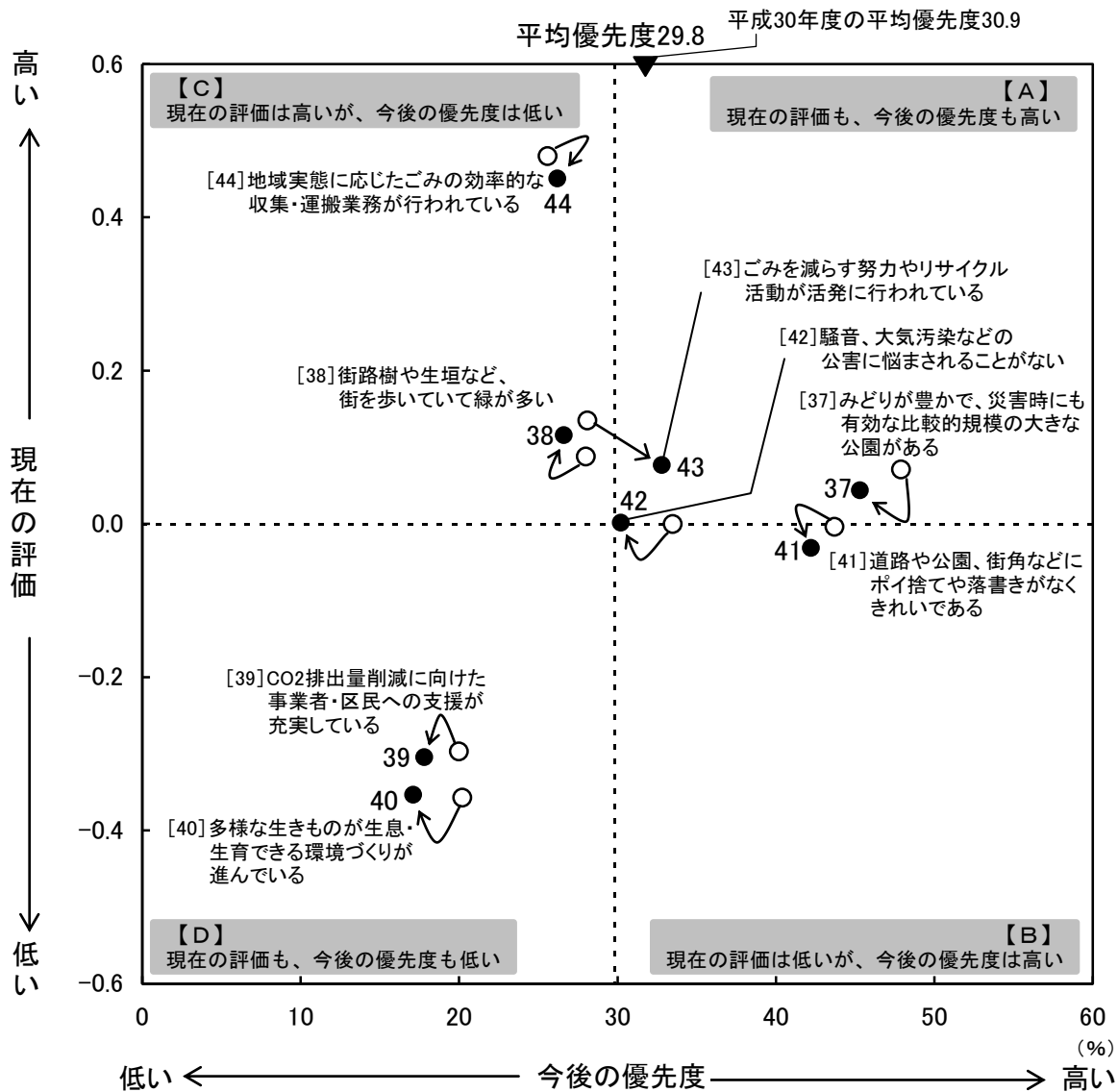
【教育における総合分析の経年比較】



(7) みどり・環境

みどり・環境に関する生活環境では、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。また、「騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない」が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。

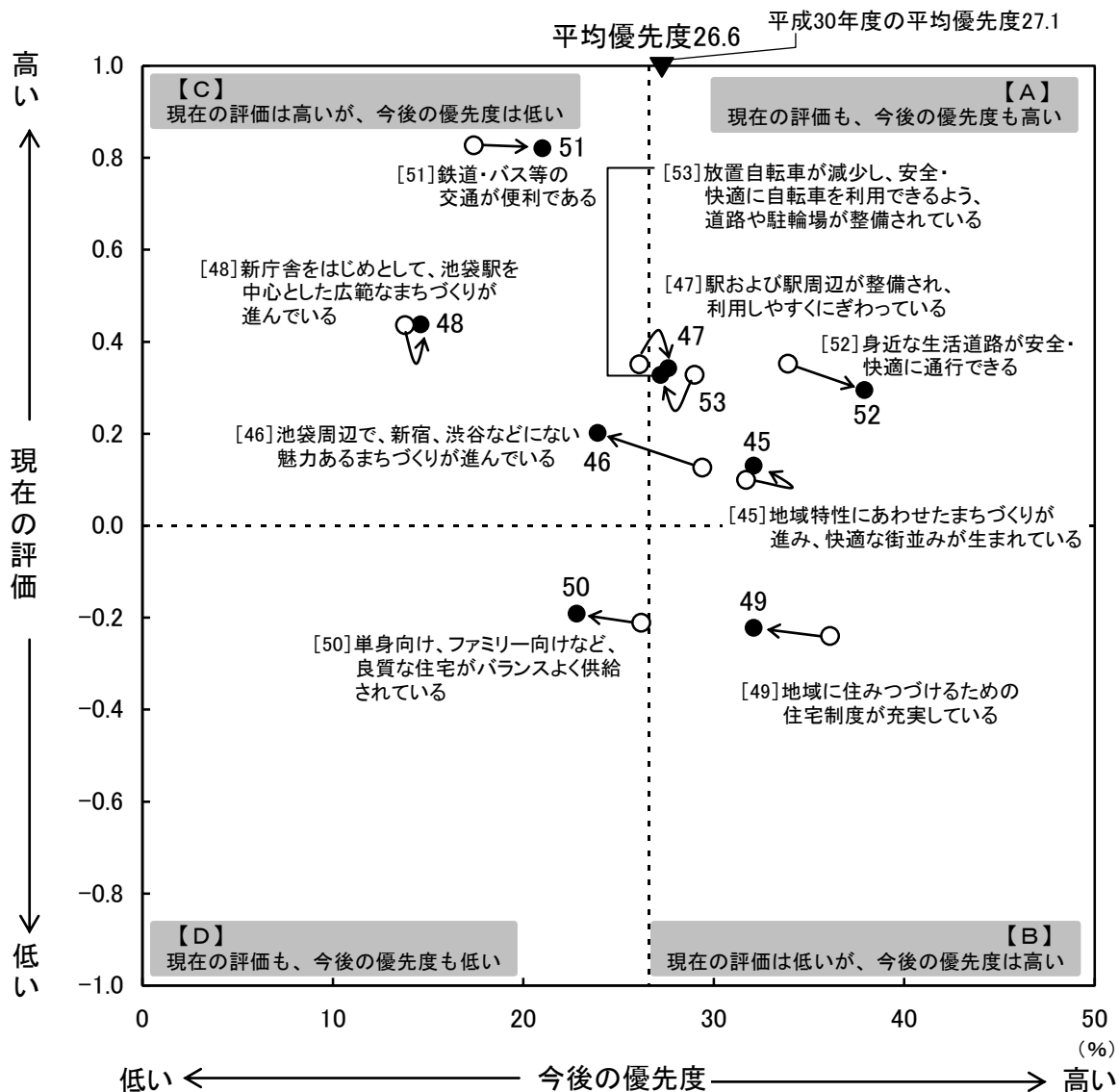
【みどり・環境における総合分析の経年比較】



(8) 都市再生・交通

都市再生・交通に関する生活環境では、「駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。また、「池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。

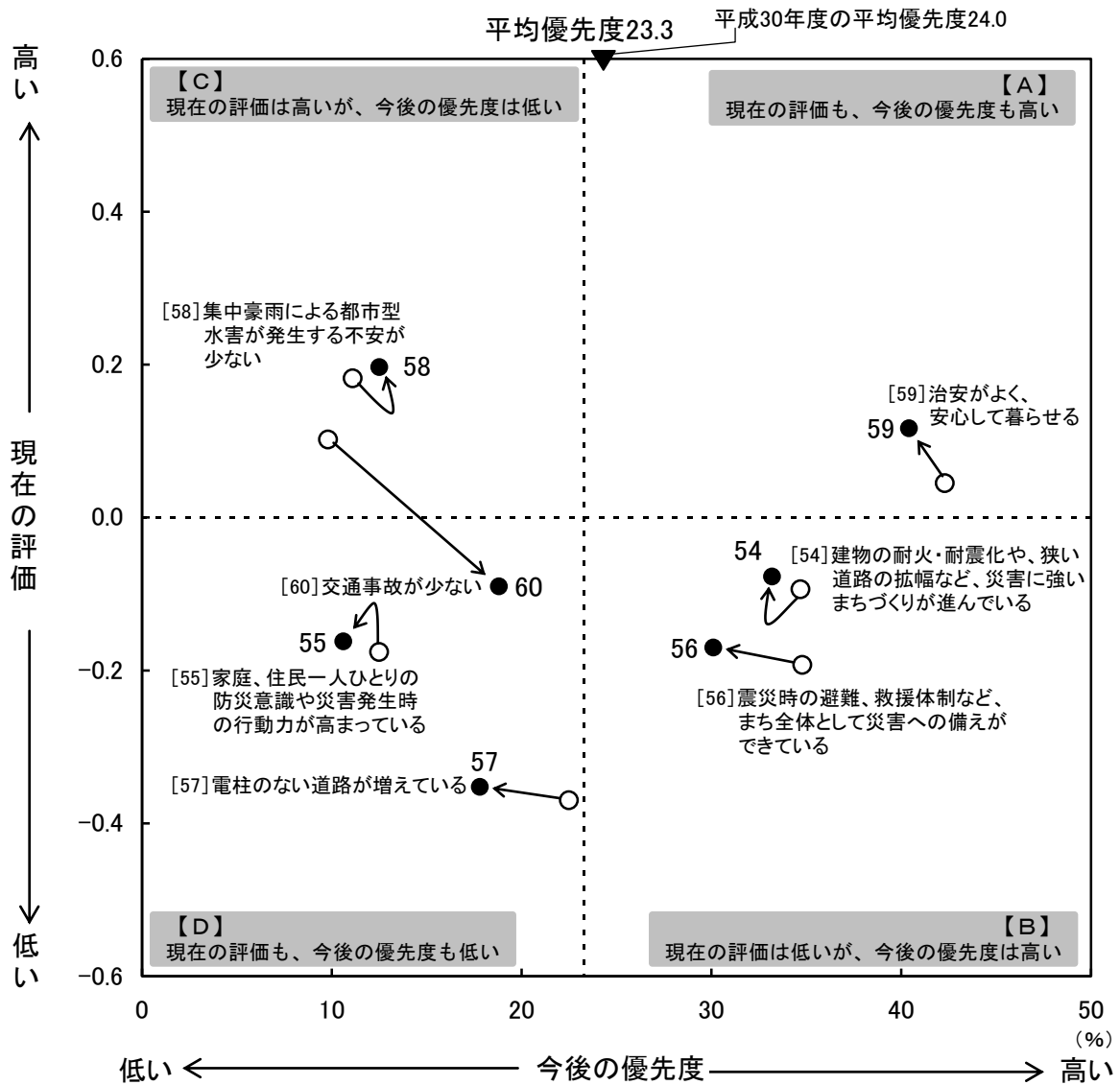
【都市再生・交通における総合分析の経年比較】



(9) 防災・治安

防災・治安に関する生活環境では、「交通事故が少ない」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」へ移動した。

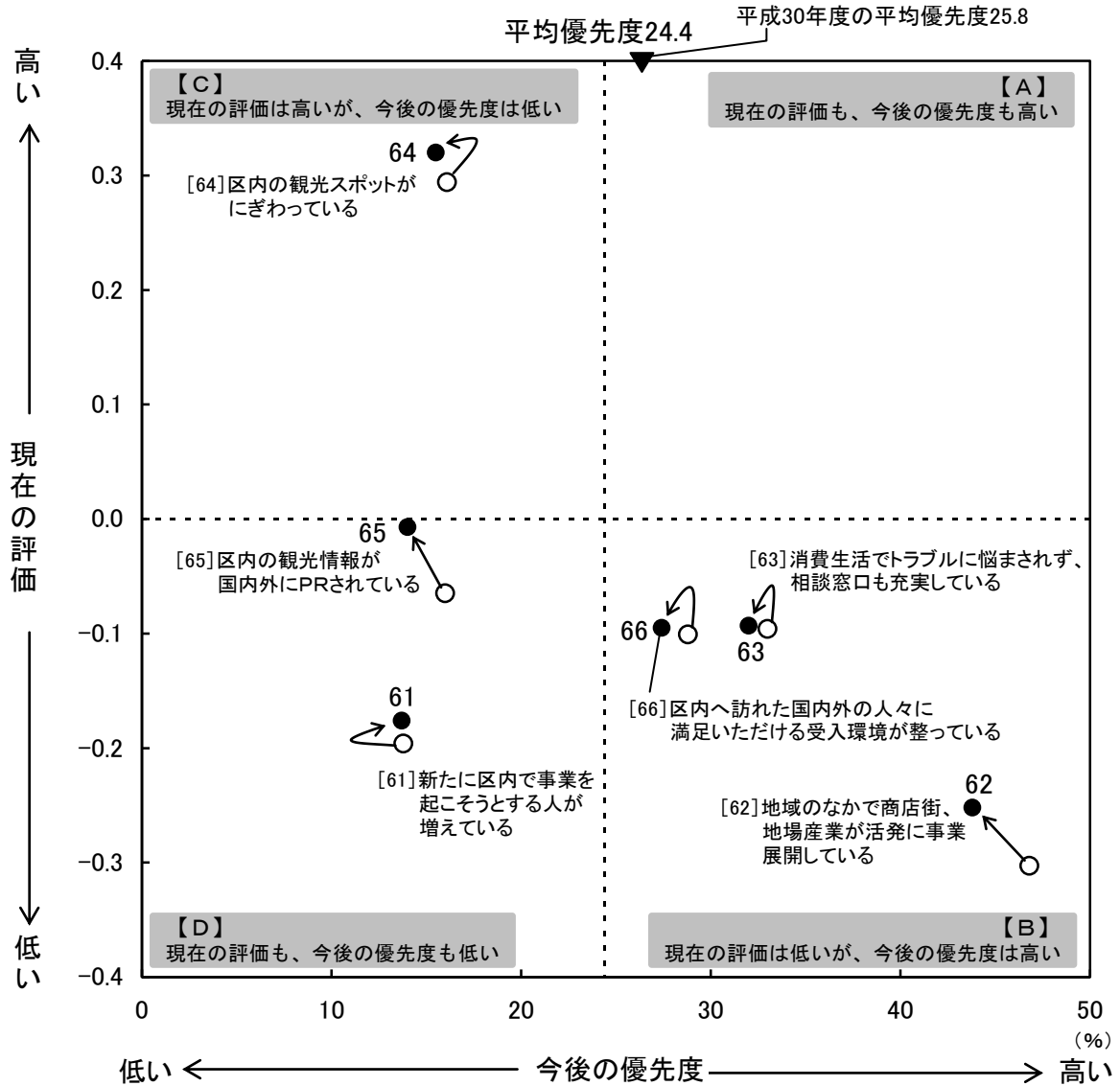
【防災・治安における総合分析の経年比較】



(10) 商工・観光

商工・観光に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

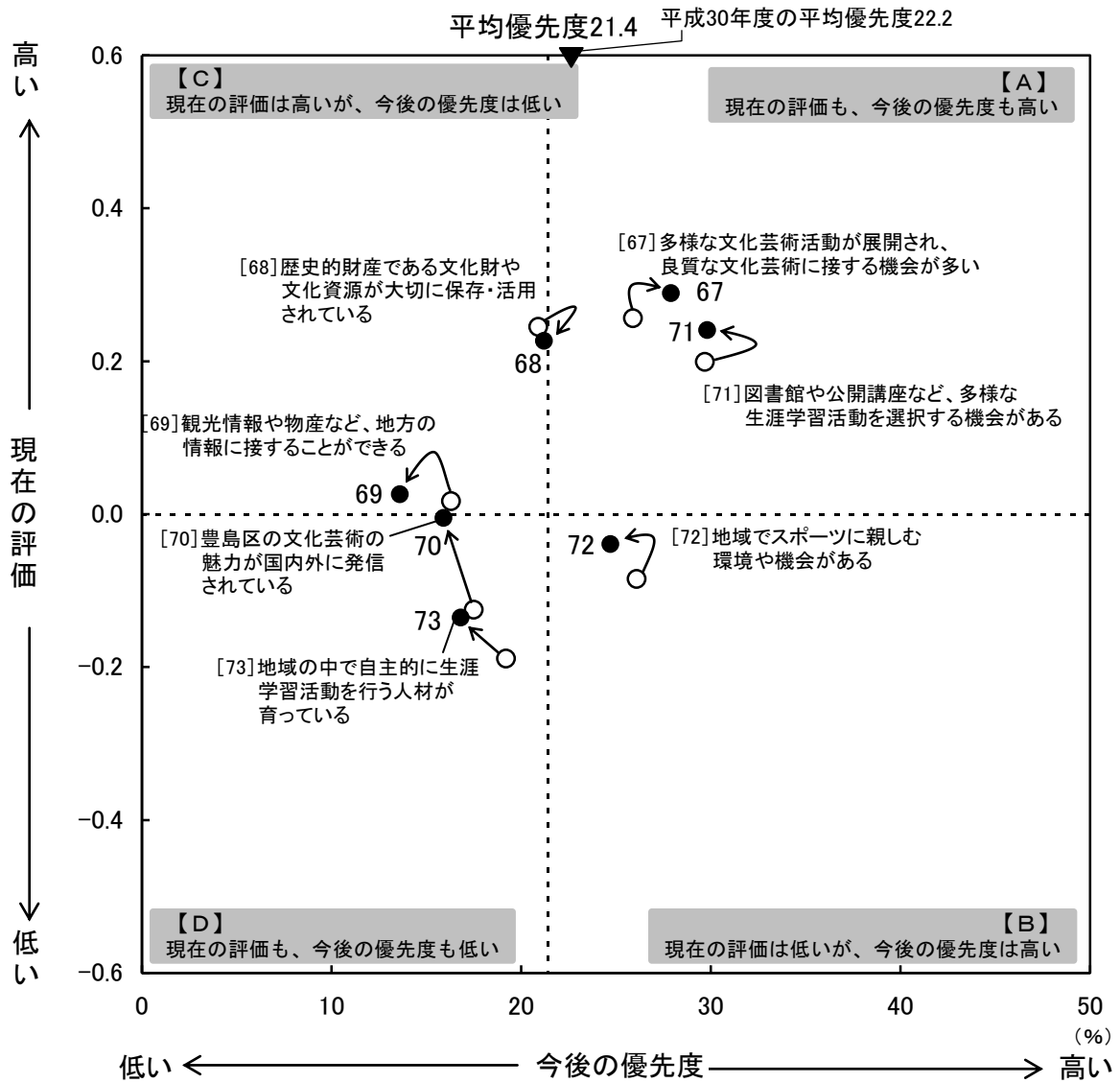
【商工・観光における総合分析の経年比較】



(11) 文化

文化に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

【文化における総合分析の経年比較】



第3章 区の情報・区の政策等について

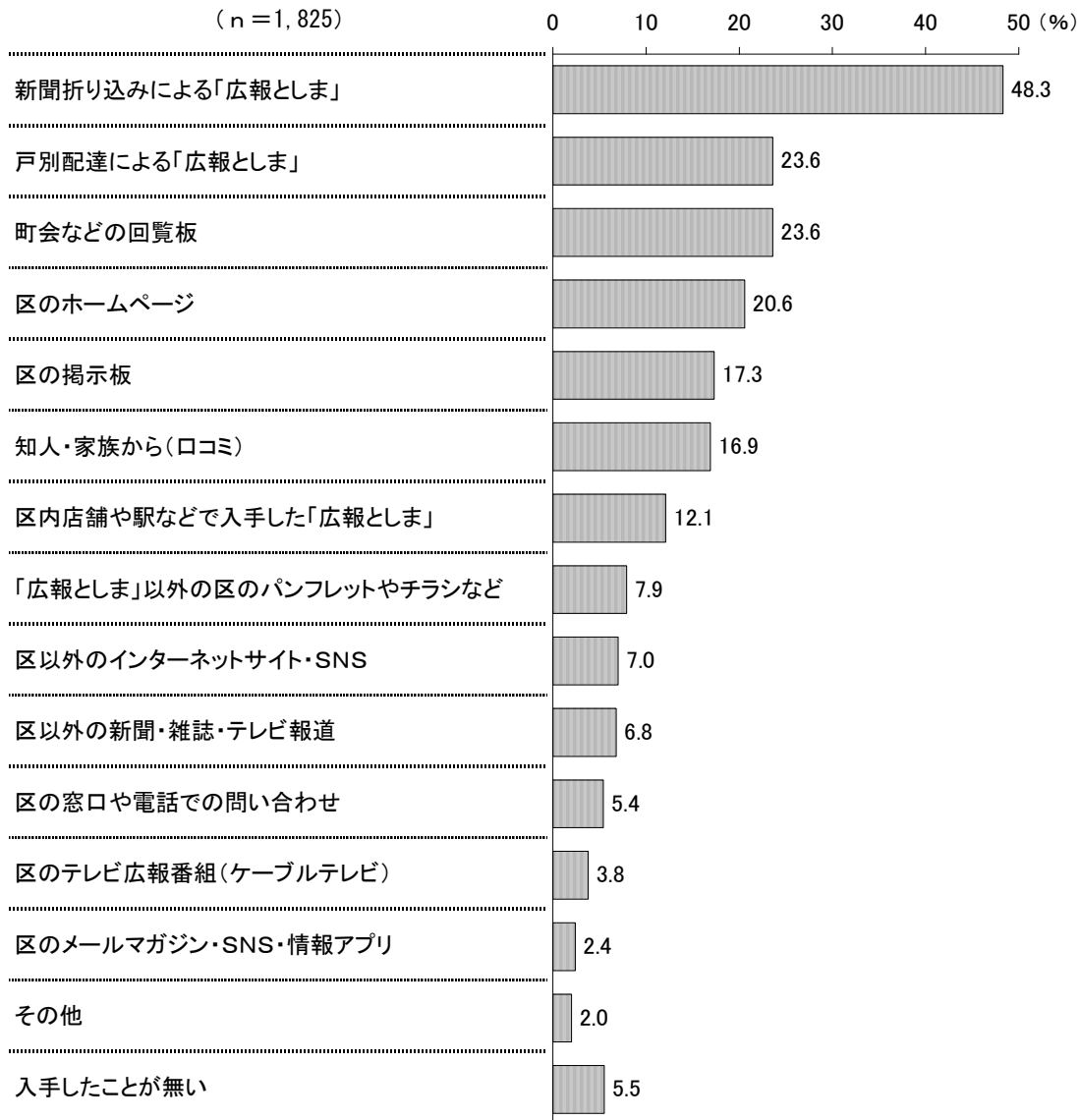
第3章 区の情報・区の政策等について

1. 区の情報・区政への参加について

(1) 区に関する情報の入手方法

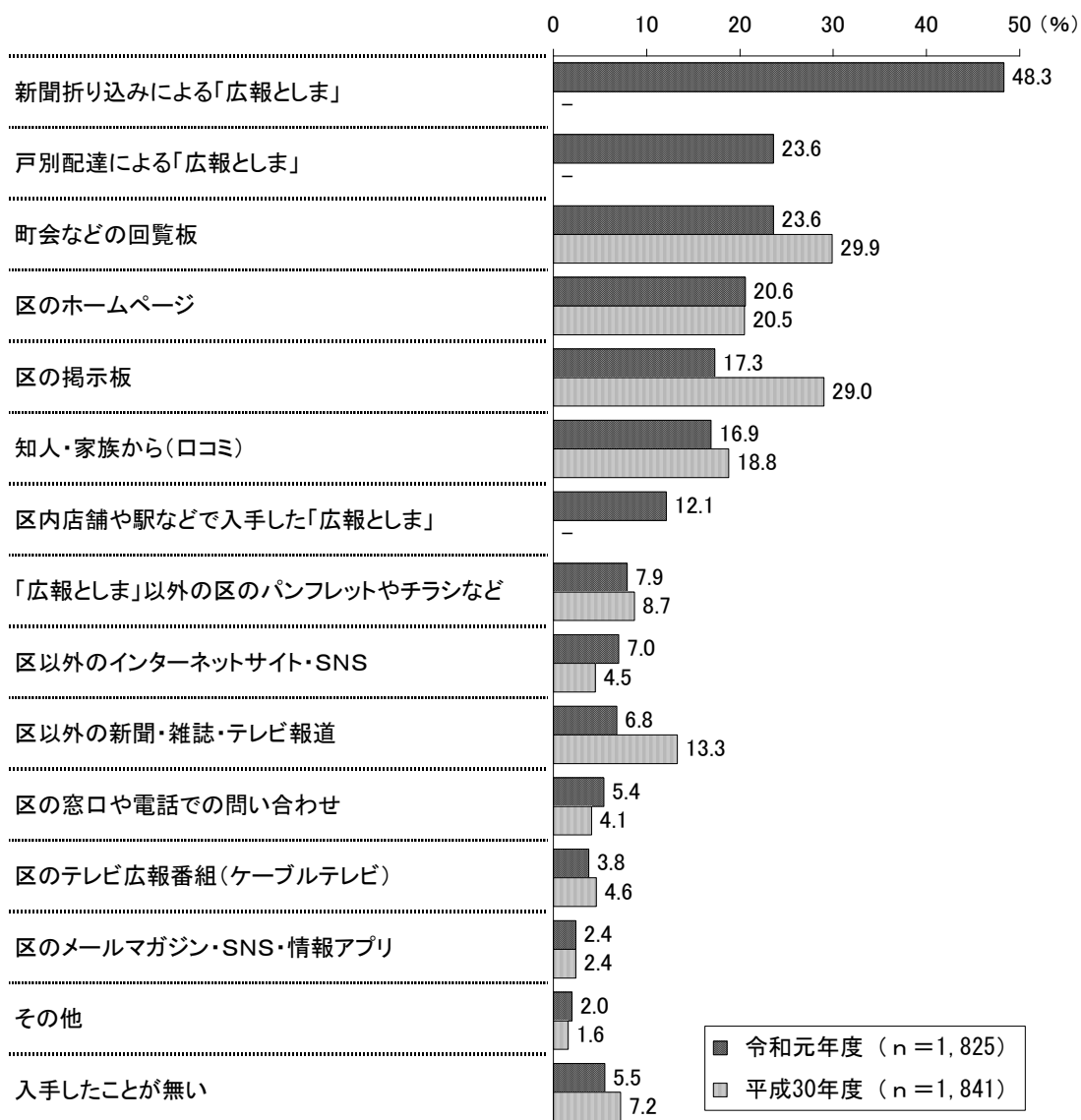
問7 あなたは、これまで区に関する情報をどのような方法で入手していますか。
(いくつでも○)

区に関する情報をどのような方法で入手しているか聞いたところ、「新聞折り込みによる『広報としま』」(48.3%)が5割近くで最も高く、次いで「戸別配達による『広報としま』」(23.6%)、「町会などの回覧板」(23.6%)、「区のホームページ」(20.6%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果との比較は、選択肢が大幅に異なるため、参考に図示する。

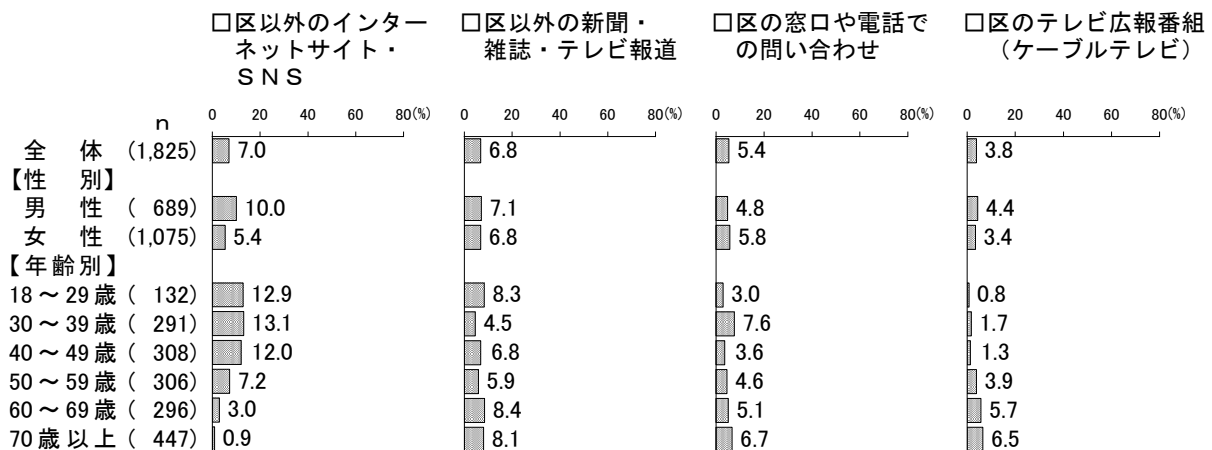
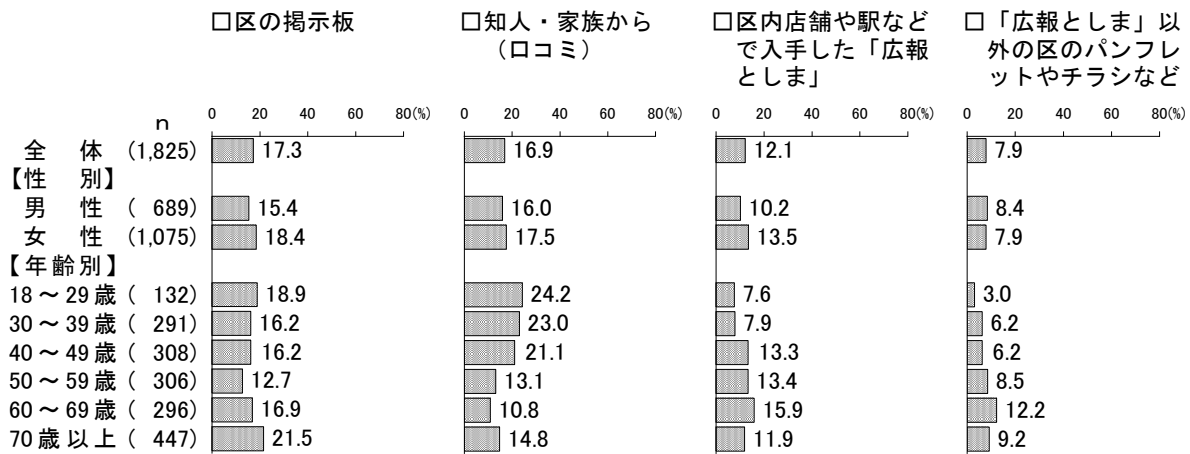
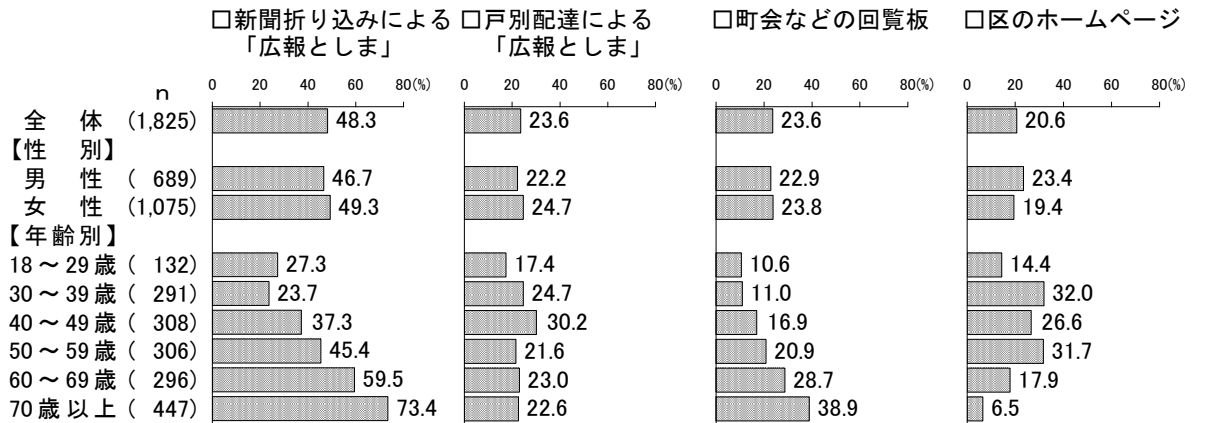


※ 「新聞折り込みによる『広報としま』」、「戸別配達による『広報としま』」、「区内店舗や駅などで入手した『広報としま』」は、平成30年度調査では「区の広報紙（広報としま）」（69.7%）となっていた

【性別、年齢別】（上位12項目）

性別で見ると、「区以外のインターネットサイト・SNS」は男性（10.0%）が女性（5.4%）より4.6ポイント高くなっている。一方、「区内店舗や駅などで入手した『広報としま』」は女性（13.5%）が男性（10.2%）より3.3ポイント高くなっている。

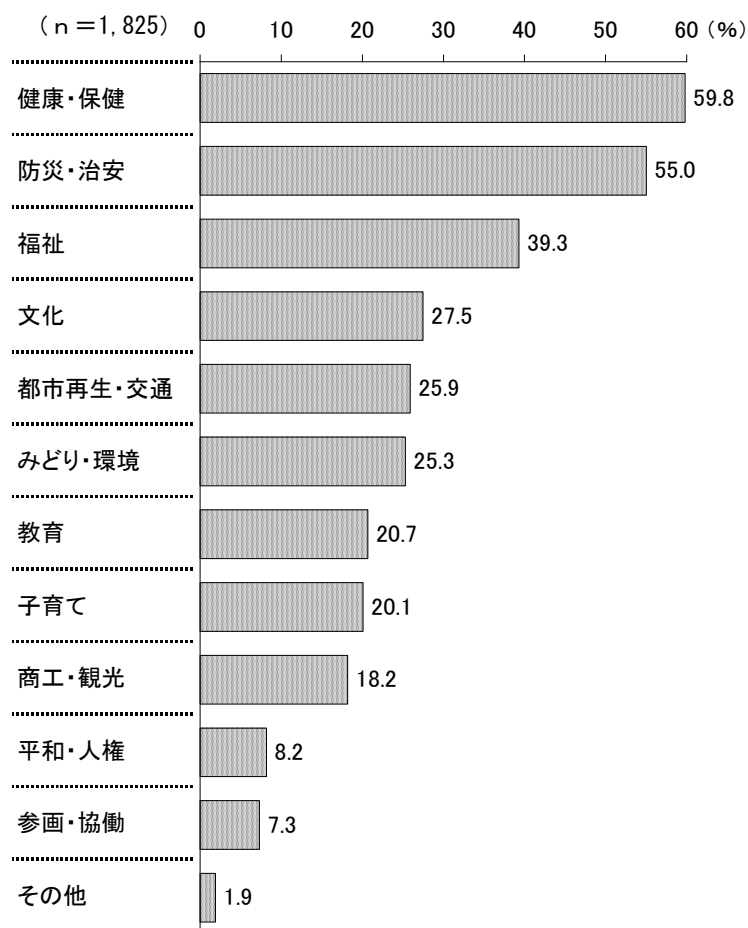
年齢別で見ると、「新聞折り込みによる『広報としま』」は70歳以上（73.4%）で7割を超えて高くなっている。「町会などの回覧板」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（38.9%）で4割近くと高くなっている。



(2) 欲しいと思う区の情報

問8 以下のテーマの中で、あなたが欲しいと思う区の情報がありますか。(いくつでも○)

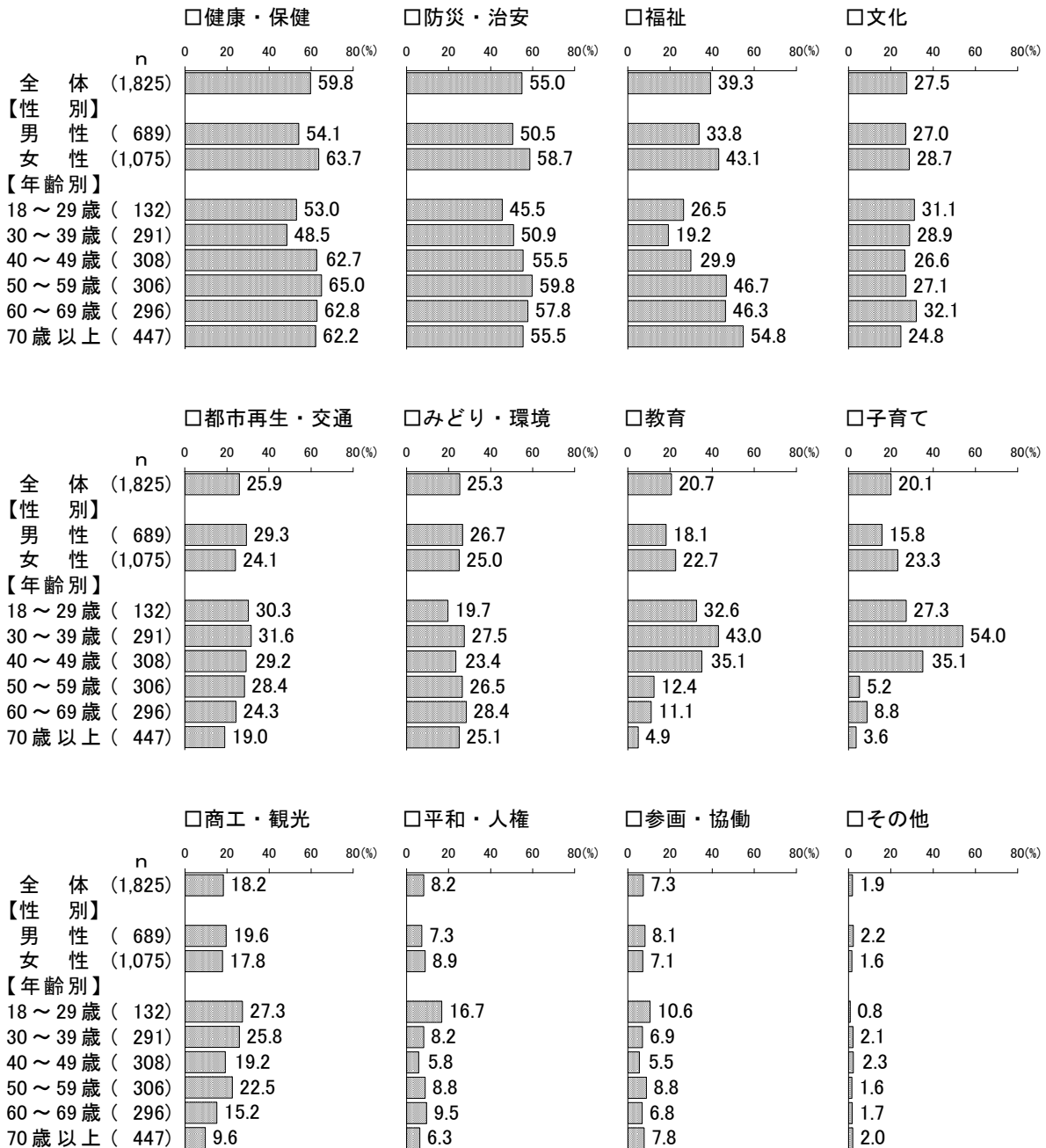
欲しいと思う区の情報聞いたところ、「健康・保健」(59.8%)が6割で最も高く、次いで「防災・治安」(55.0%)、「福祉」(39.3%)、「文化」(27.5%)、「都市再生・交通」(25.9%)となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「健康・保健」は女性（63.7%）が男性（54.1%）より9.6ポイント、「福祉」は女性（43.1%）が男性（33.8%）より9.3ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「都市再生・交通」は男性（29.3%）が女性（24.1%）より5.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「福祉」は70歳以上（54.8%）で5割半ばと高くなっている。「子育て」は30～39歳（54.0%）で5割半ばと高くなっている。



【区に関する情報の入手方法別】

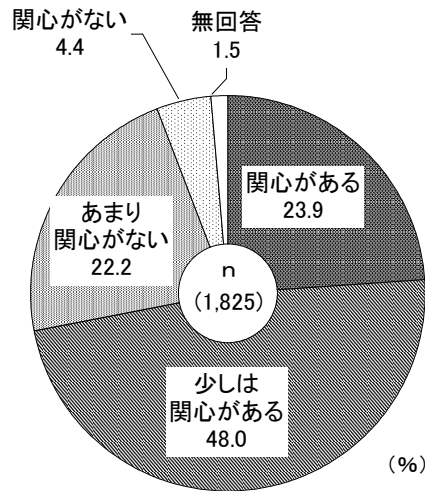
区に関する情報の入手方法（問7）別でみると、「健康・保健」は“区の窓口や電話での問い合わせ”（74.7%）と“区の掲示板”（70.8%）で7割台と高くなっている。「福祉」は“区の窓口や電話での問い合わせ”（54.5%）と“町会などの回覧板”（53.3%）で5割台と高くなっている。「教育」は“区のメールマガジン・SNS・情報アプリ”（39.5%）で4割と高くなっている。「子育て」は“区のメールマガジン・SNS・情報アプリ”（34.9%）と“区のホームページ”（34.3%）で3割半ばと高くなっている。「商工・観光」は“区以外のインターネットサイト・SNS”（35.4%）で3割半ばと高くなっている。

		(%)													
		n	健康・保健	防災・治安	福祉	文化	都市再生・交通	みどり・環境	教育	子育て	商工・観光	平和・人権	参画・協働	その他	無回答
全 体		1,825	59.8	55.0	39.3	27.5	25.9	25.3	20.7	20.1	18.2	8.2	7.3	1.9	5.9
区に関する情報の入手方法別	新聞折り込みによる「広報としま」	881	67.0	60.4	46.8	27.7	23.5	28.6	17.7	15.6	15.7	8.4	7.2	1.5	4.4
	区内店舗や駅などで入手した「広報としま」	221	66.1	57.0	49.8	35.7	30.3	26.2	19.9	19.0	20.4	11.8	11.3	2.7	3.6
	戸別配達による「広報としま」	430	63.7	60.0	43.3	31.4	33.0	27.7	22.1	21.9	21.6	7.9	9.3	1.9	4.0
	「広報としま」以外の区のパンフレットやチラシなど	145	68.3	55.9	49.7	35.9	26.2	33.8	24.8	15.2	19.3	11.7	9.7	3.4	3.4
	区のホームページ	376	64.6	62.8	36.2	30.3	26.6	27.4	34.8	34.3	21.3	9.8	9.6	2.1	1.3
	区のメールマガジン・SNS・情報アプリ	43	46.5	60.5	32.6	20.9	25.6	32.6	39.5	34.9	20.9	16.3	7.0	4.7	4.7
	区のテレビ広報番組（ケーブルテレビ）	69	68.1	59.4	44.9	34.8	17.4	20.3	11.6	5.8	27.5	15.9	7.2	2.9	4.3
	区の掲示板	315	70.8	62.2	46.0	30.2	27.0	34.3	25.4	23.5	21.9	10.5	8.9	2.9	2.2
	区の窓口や電話での問い合わせ	99	74.7	63.6	54.5	26.3	34.3	31.3	28.3	28.3	14.1	8.1	8.1	4.0	2.0
	区以外のインターネットサイト・SNS	127	53.5	51.2	22.8	30.7	36.2	24.4	29.9	28.3	35.4	12.6	11.8	1.6	2.4
	区以外の新聞・雑誌・テレビ報道	125	69.6	64.8	48.8	38.4	33.6	33.6	18.4	15.2	20.8	5.6	6.4	-	3.2
	町会などの回覧板	430	68.1	66.3	53.3	29.5	24.7	30.5	19.5	17.2	15.3	8.6	7.2	1.2	3.7
	知人・家族から（口コミ）	308	64.3	63.6	40.9	29.5	32.8	29.5	33.4	31.5	20.8	9.7	7.1	1.6	1.3
	その他	37	70.3	70.3	32.4	29.7	29.7	35.1	45.9	54.1	29.7	2.7	2.7	8.1	-
入手したことが無い	100	40.0	38.0	28.0	24.0	26.0	18.0	16.0	18.0	19.0	9.0	10.0	2.0	14.0	

(3) 区政への関心

問9 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

区政に関心があるか聞いたところ、「関心がある」(23.9%)と「少しは関心がある」(48.0%)を合わせた『関心がある(計)』(71.9%)は7割を超えている。一方、「あまり関心がない」(22.2%)と「関心がない」(4.4%)を合わせた『関心がない(計)』(26.6%)は3割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『関心がある(計)』は平成28年度以降減少傾向にある。

n	関心がある(計)		関心がない(計)		無回答 (%)	関心がある(計) (%)	関心がない(計) (%)
	関心がある (%)	少しは関心がある (%)	あまり関心がない (%)	関心がない (%)			
令和元年度 (1,825)	23.9	48.0	22.2	4.4	1.5	71.9	26.6
平成30年度 (1,841)	26.1	48.3	20.4	3.7	1.4	74.4	24.1
平成29年度 (1,913)	25.1	49.7	19.8	4.3	1.1	74.8	24.1
平成28年度 (1,967)	29.6	47.4	17.7	3.5	1.8	77.0	21.2
平成26年度 (2,016)	24.2	46.9	22.2	4.3	2.4	71.1	26.5

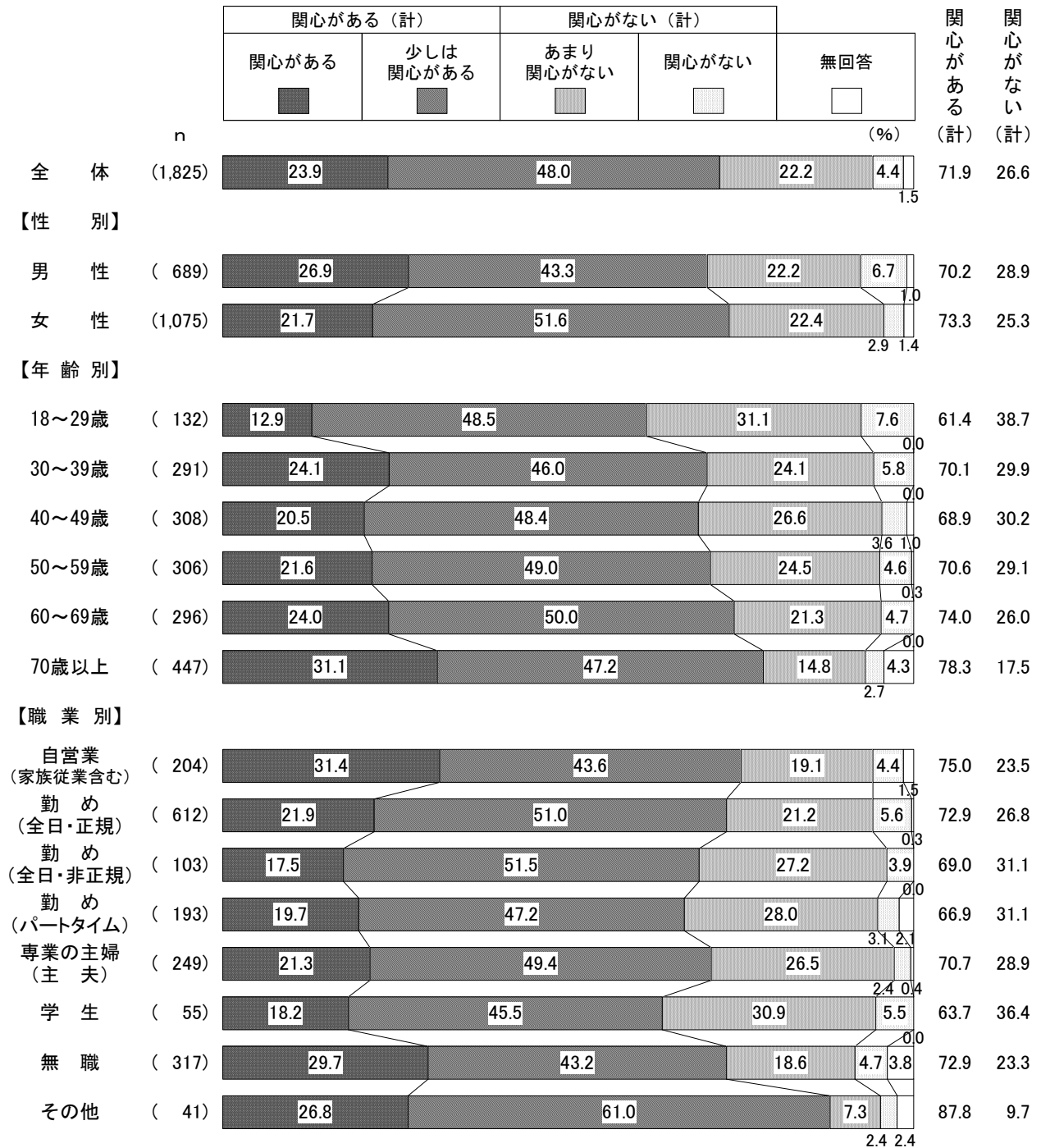
※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、『関心がある（計）』は女性（73.3%）が男性（70.2%）より3.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『関心がある（計）』は70歳以上（78.3%）で8割近くと高くなっている。一方、『関心がない（計）』は18～29歳（38.7%）で4割近くと高くなっている。

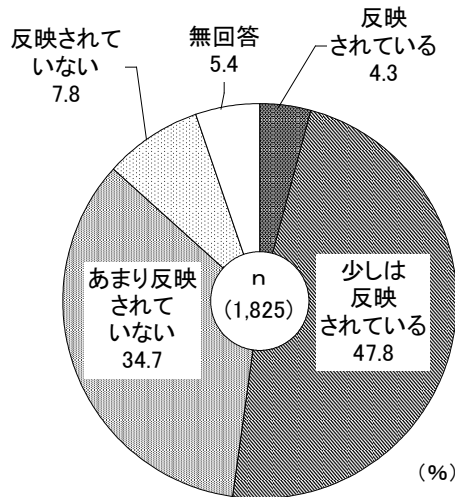
職業別でみると、『関心がある（計）』は自営業（家族従業員含む）（75.0%）で7割半ばと高くなっている。一方、『関心がない（計）』は学生（36.4%）で3割半ばと高くなっている。



(4) 区の政策に区民の意見が反映されているか

問10 あなたは、区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。
(1つに○)

区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思うか聞いたところ、「反映されている」(4.3%)と「少しは反映されている」(47.8%)を合わせた『反映されている(計)』(52.1%)は5割を超えている。一方、「あまり反映されていない」(34.7%)と「反映されていない」(7.8%)を合わせた『反映されていない(計)』(42.5%)は4割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『反映されている(計)』は平成26年度以降増加傾向にあり、平成30年度より3.6ポイント増加している。一方、『反映されていない(計)』は平成30年度より3.1ポイント減少している。

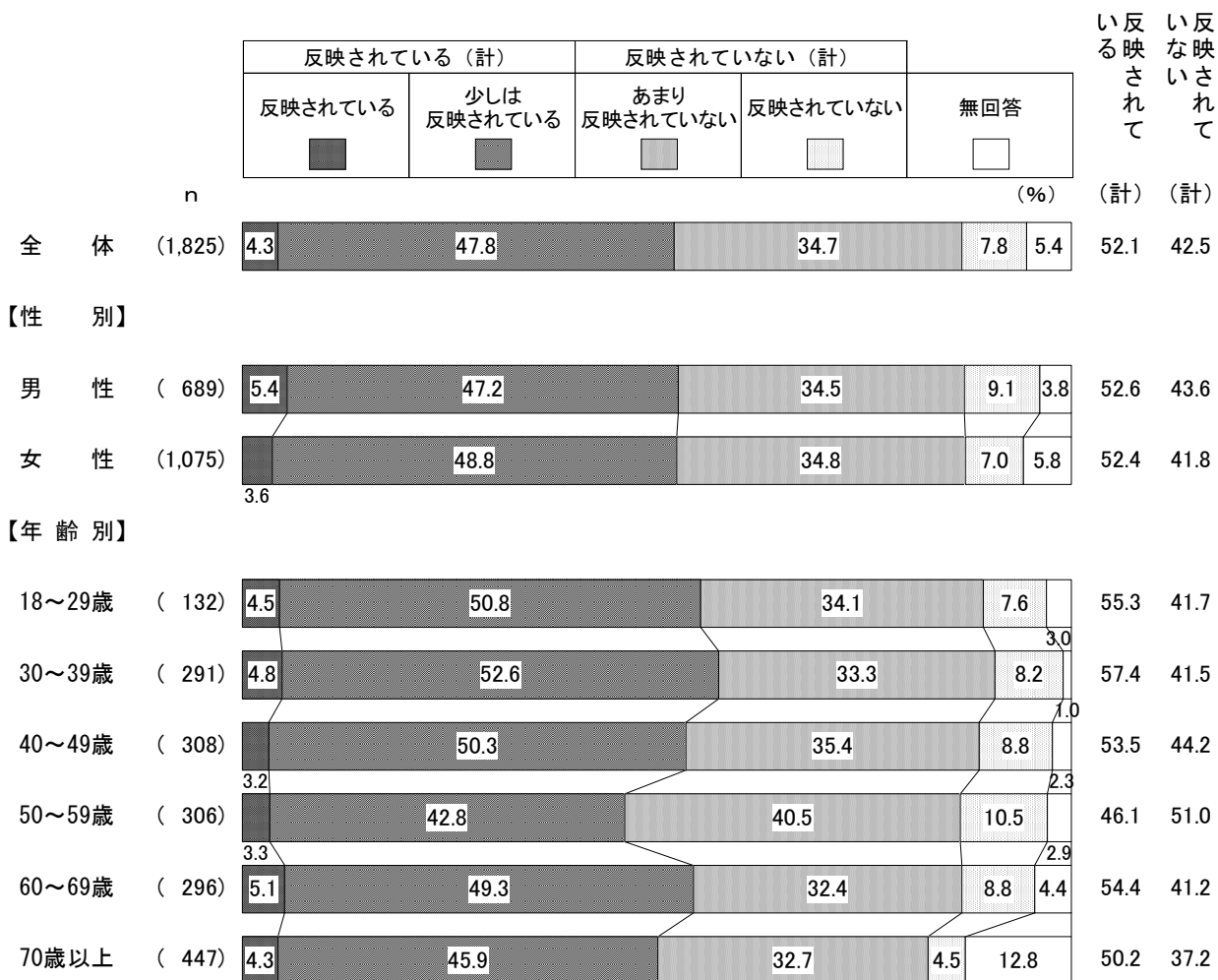
	反映されている(計)		反映されていない(計)		無回答 (%)	い反 る映 され て (計)	い反 な映 いさ れ て (計)
	反映されている	少しは反映されている	あまり反映されていない	反映されていない			
令和元年度 (1,825)	4.3	47.8	34.7	7.8	5.4	52.1	42.5
平成30年度 (1,841)	3.8	44.7	38.0	7.6	5.9	48.5	45.6
平成29年度 (1,913)	3.9	43.1	39.7	8.9	4.4	47.0	48.6
平成28年度 (1,967)	2.3	42.7	39.2	8.7	6.3	45.8	47.9
平成26年度 (2,016)	2.3	36.4	44.0	11.2	6.2	38.7	55.2

※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

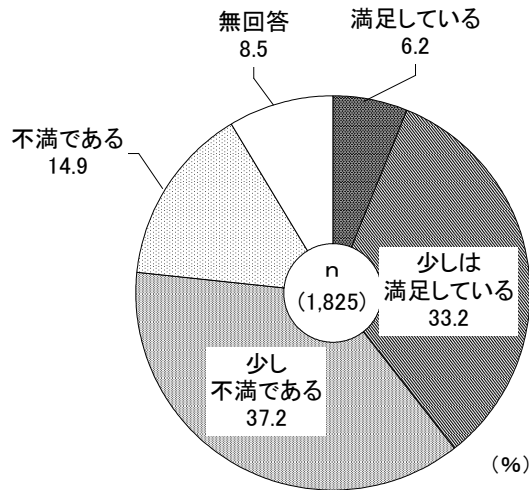
年齢別でみると、『反映されている（計）』は30～39歳（57.4%）で6割近くと高くなっている。一方、『反映されていない（計）』は50～59歳（51.0%）で5割を超えて高くなっている。



(5) 区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度

問11 あなたは、区に意見を述べる機会や手段、方法に満足していますか。(1つに○)

区に意見を述べる機会や手段、方法に満足しているか聞いたところ、「満足している」(6.2%)と「少しは満足している」(33.2%)を合わせた『満足している(計)』(39.4%)は約4割となっている。一方、「少し不満である」(37.2%)と「不満である」(14.9%)を合わせた『不満である(計)』(52.1%)は5割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『満足している(計)』は平成26年度以降増加傾向にあり、平成30年度より3.6ポイント増加している。一方、『不満である(計)』は平成30年度より3.2ポイント減少している。

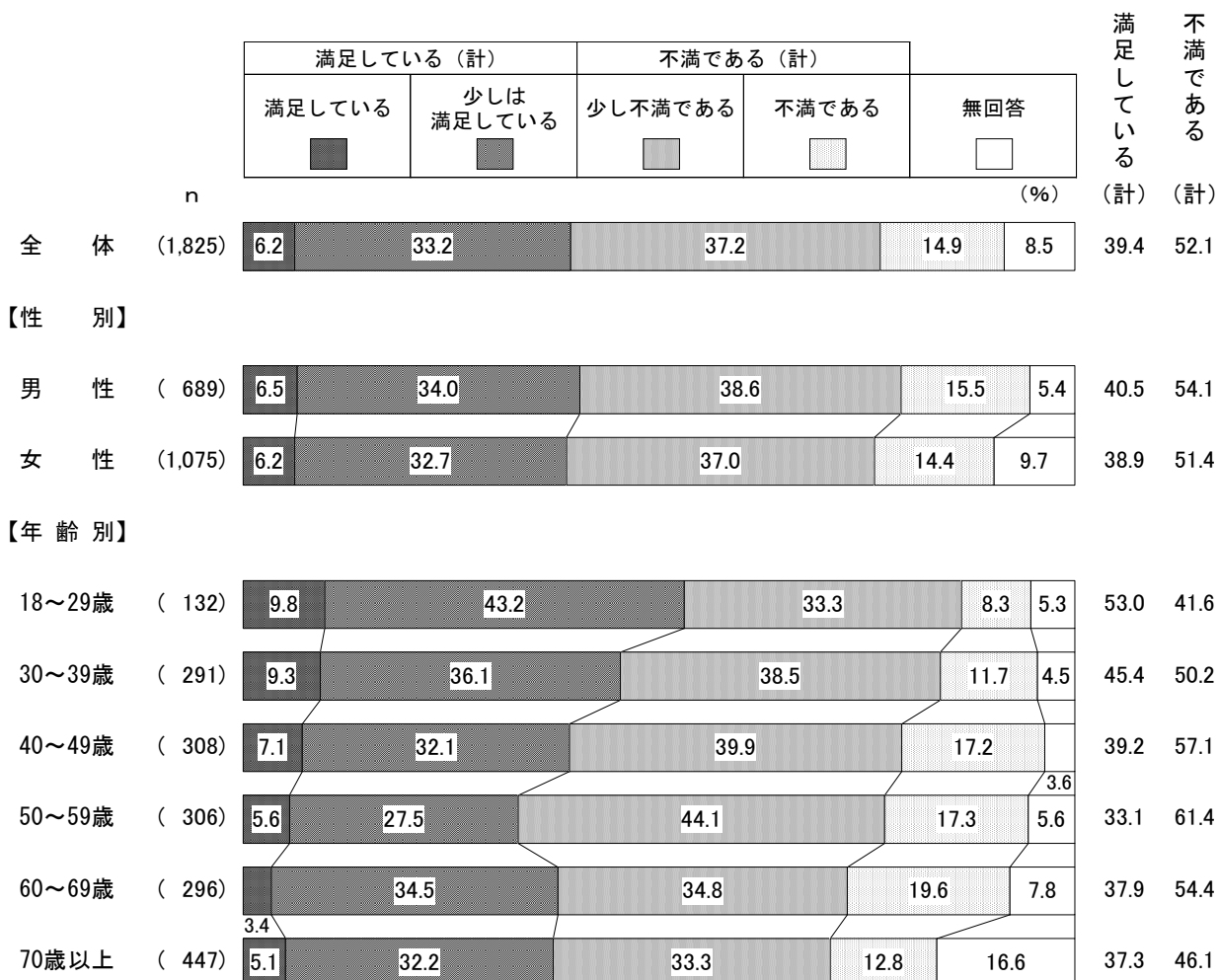
年次	n	満足している(計)		不満である(計)		無回答 (%)	満足している(計) (%)	不満である(計) (%)
		満足している	少しは満足している	少し不満である	不満である			
令和元年度	(1,825)	6.2	33.2	37.2	14.9	8.5	39.4	52.1
平成30年度	(1,841)	5.9	29.9	39.0	16.3	8.9	35.8	55.3
平成29年度	(1,913)	5.4	29.7	41.0	17.0	6.9	35.1	58.0
平成28年度	(1,967)	4.8	28.3	39.5	17.5	9.9	33.1	57.0
平成26年度	(2,016)	4.6	25.5	42.9	18.2	8.8	30.1	61.1

※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『満足している（計）』は18～29歳（53.0%）で5割を超え、30～39歳（45.4%）で4割半ばと高くなっている。一方、『不満である（計）』は50～59歳（61.4%）で6割を超えて高くなっている。

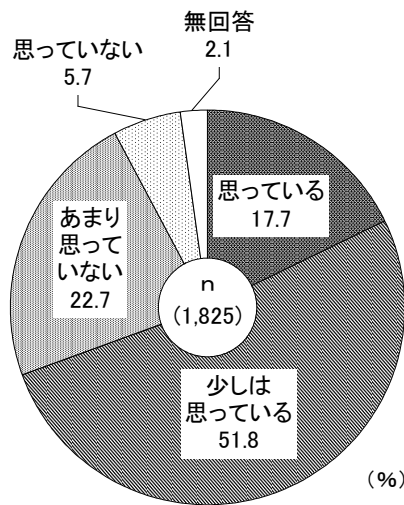


2. 地域との関わりについて

(1) 地域のために何か役に立ちたいか

問12 あなたは、日頃、地域の一員として、地域のために何か役立ちたいと思っていますか。
(1つに○)

地域のために何か役立ちたいと思っているか聞いたところ、「思っている」(17.7%)と「少しは思っている」(51.8%)を合わせた『思っている(計)』(69.5%)は7割となっている。一方、「あまり思っていない」(22.7%)と「思っていない」(5.7%)を合わせた『思っていない(計)』(28.4%)は3割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『思っている(計)』は平成30年度より3.1ポイント減少している。

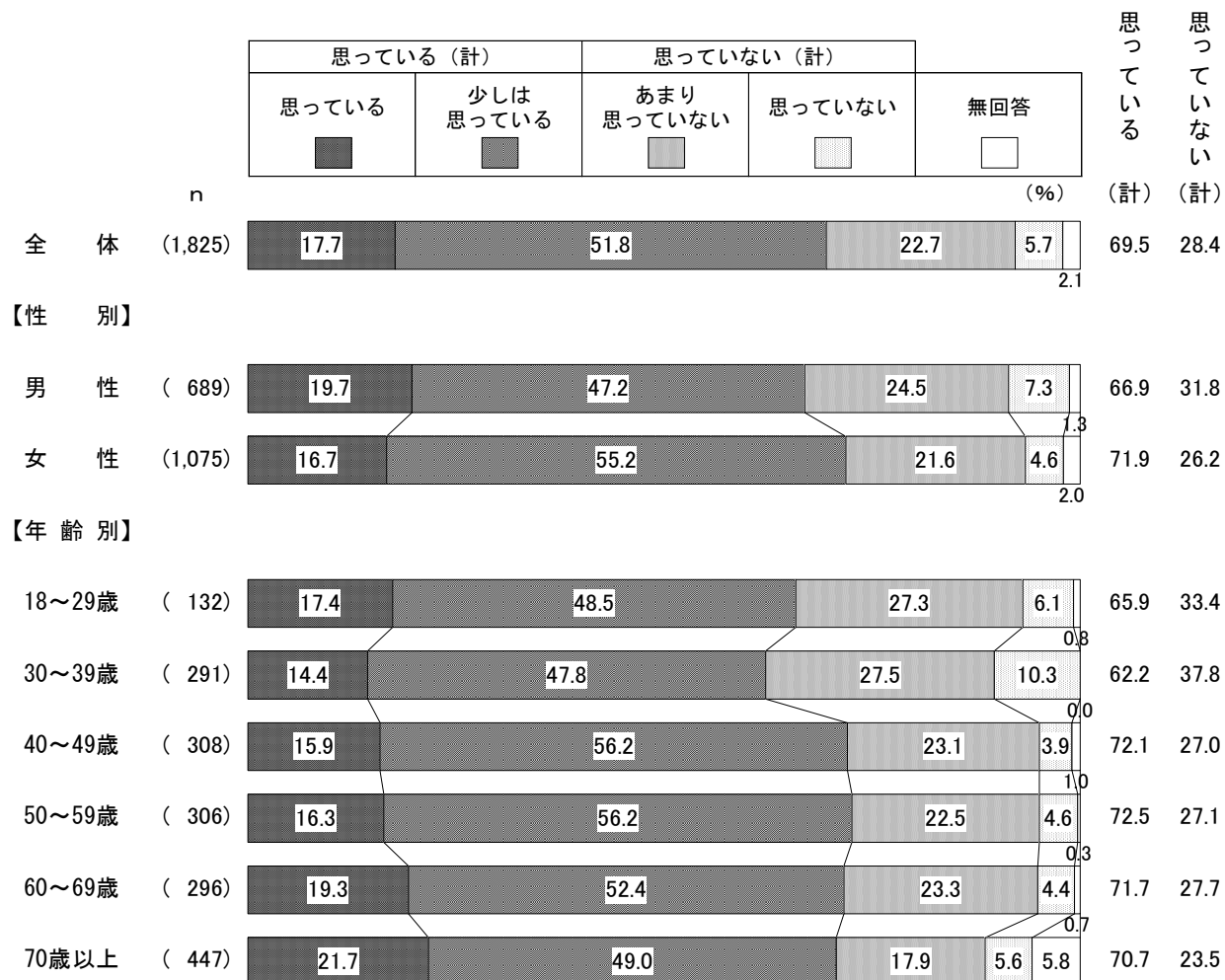
調査年度 (n)	『思っている(計)』		『思っていない(計)』		無回答 (%)	『思っている(計)』 (%)	『思っていない(計)』 (%)
	思っている (%)	少しは思っている (%)	あまり思っていない (%)	思っていない (%)			
令和元年度 (1,825)	17.7	51.8	22.7	5.7	2.1	69.5	28.4
平成30年度 (1,841)	21.1	51.5	19.4	6.1	1.9	72.6	25.5
平成29年度 (1,913)	20.5	51.5	20.5	5.8	1.7	72.0	26.3
平成28年度 (1,967)	19.2	53.6	18.9	5.3	2.9	72.8	24.2
平成26年度 (2,016)	19.6	50.8	21.6	4.9	3.1	70.4	26.5

※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別で見ると、『思っている（計）』は女性（71.9%）が男性（66.9%）より5.0ポイント高くなっている。

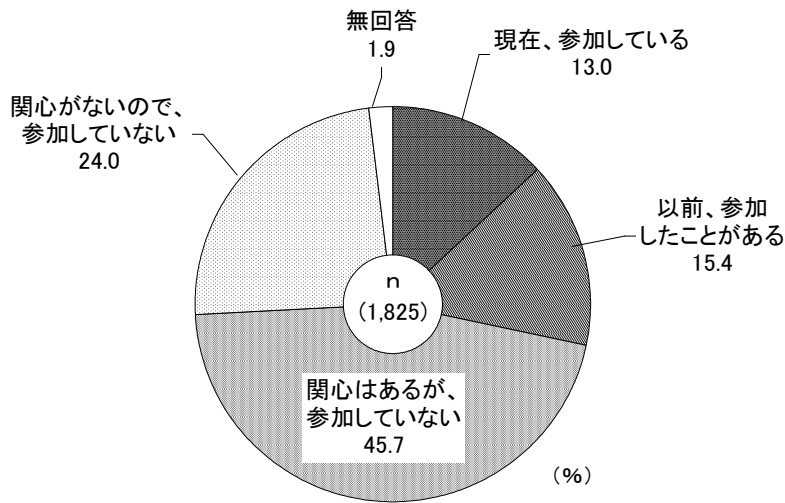
年齢別で見ると、『思っている（計）』は40歳以上の年代で7割台と高くなっている。一方、『思っていない（計）』は18～29歳（33.4%）と30～39歳（37.8%）で3割台と高くなっている。



(2) 町会、自治会などの地域活動への参加状況

問13 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。
(1つに○)

町会、自治会などの地域活動に参加しているか聞いたところ、「現在、参加している」(13.0%)が1割を超え、「以前、参加したことがある」(15.4%)は1割半ばとなっている。「関心はあるが、参加していない」(45.7%)が4割半ば、「関心がないので、参加していない」(24.0%)は2割半ばとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成30年度と比べて大きな違いはみられない。

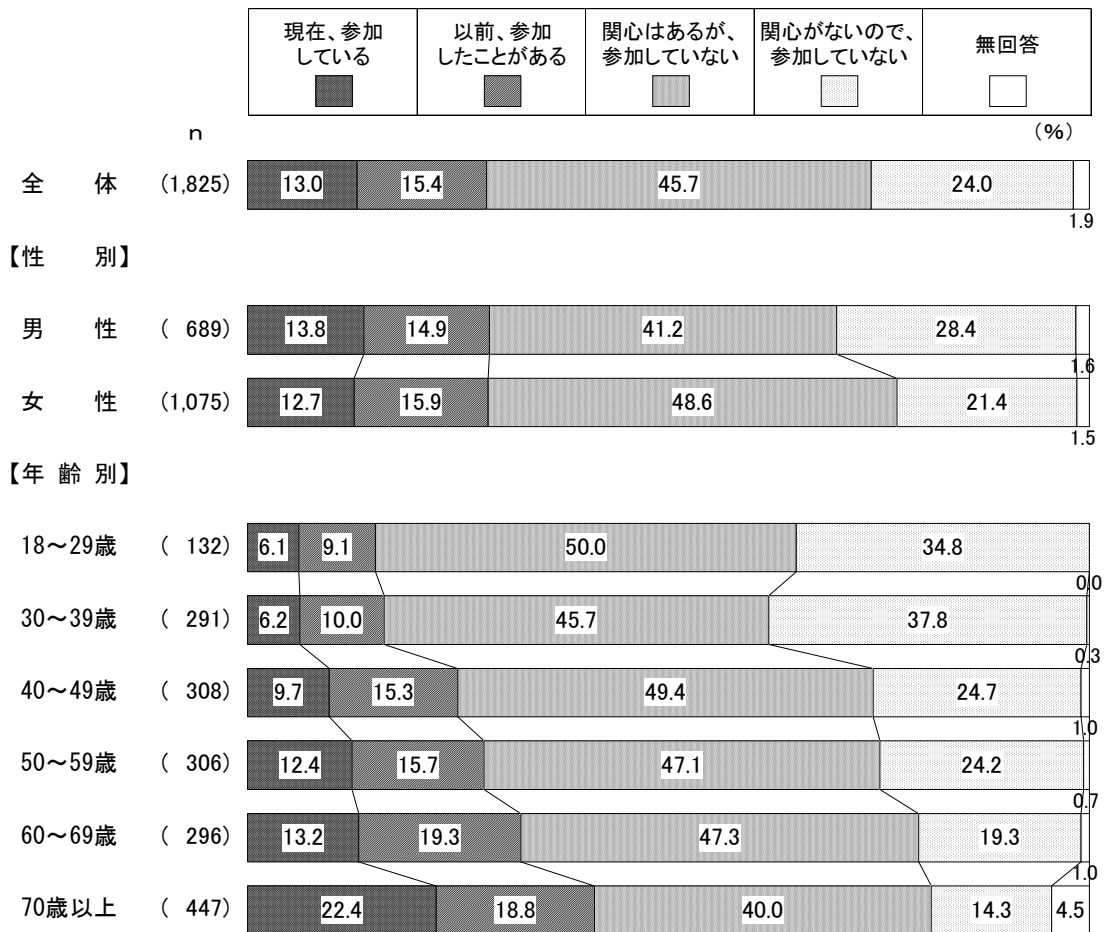
	現在、参加している	以前、参加したことがある	関心はあるが、参加していない	関心がないので、参加していない	無回答
n					(%)
令和元年度 (1,825)	13.0	15.4	45.7	24.0	1.9
平成30年度 (1,841)	14.6	15.6	46.4	21.3	2.0
平成29年度 (1,913)	15.5	15.8	46.6	20.3	1.8
平成28年度 (1,967)	14.0	16.0	46.2	21.5	2.3
平成26年度 (2,016)	13.9	14.9	45.0	23.9	2.3

※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別で見ると、「関心はあるが、参加していない」は女性（48.6%）が男性（41.2%）より7.4ポイント高くなっている。一方、「関心がないので、参加していない」は男性（28.4%）が女性（21.4%）より7.0ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「現在、参加している」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（22.4%）で2割を超えて高くなっている。「関心はあるが、参加していない」は18～29歳（50.0%）と40～49歳（49.4%）で約5割と高くなっている。「関心がないので、参加していない」は30～39歳（37.8%）で4割近くと高くなっている。

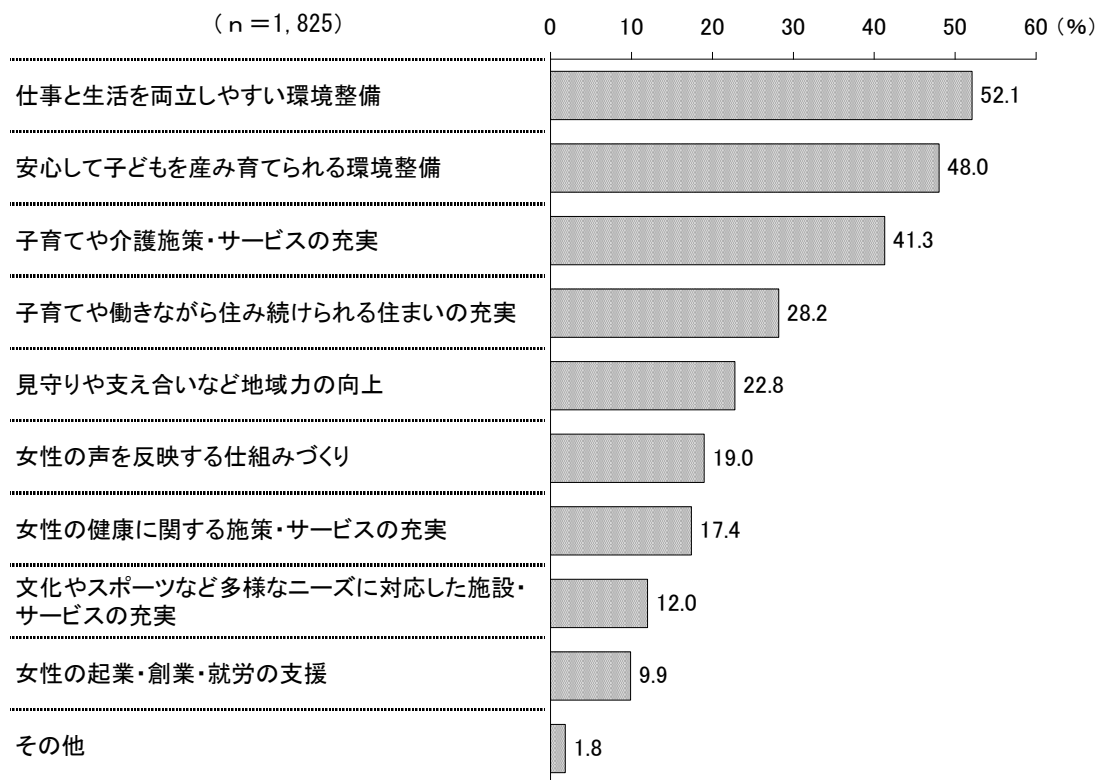


3. 女性にやさしいまちづくりについて

(1) 女性にやさしいと感じるまちに大切だと思うこと

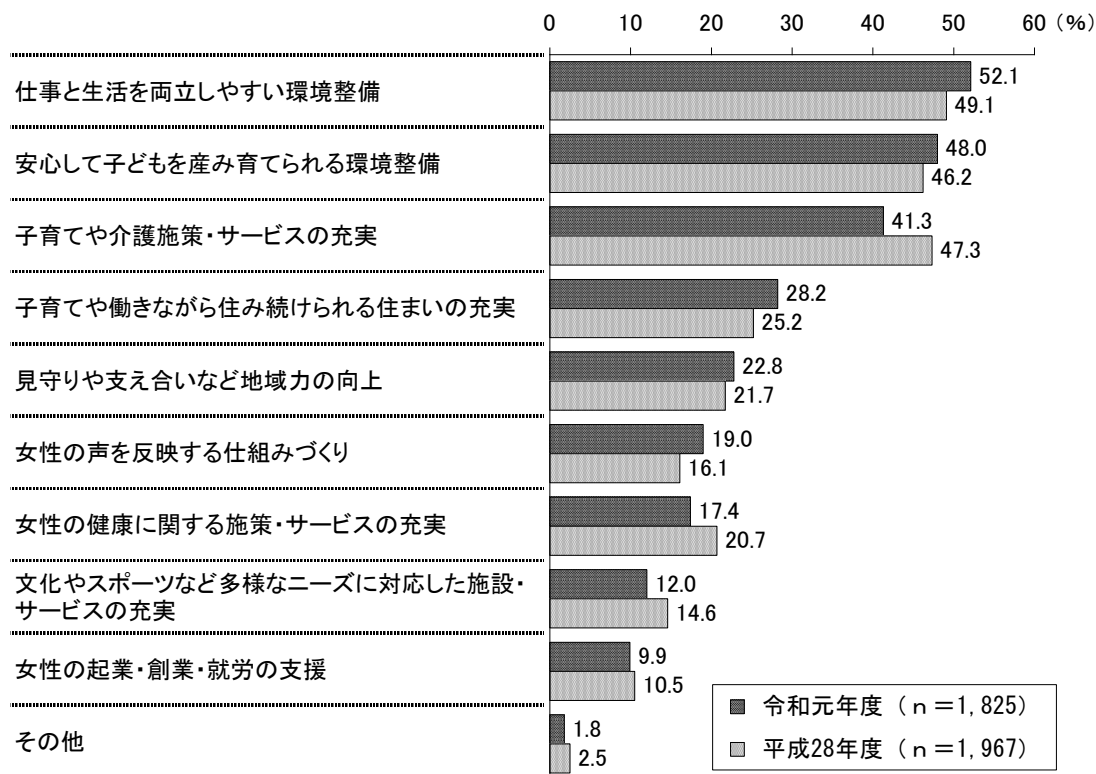
問14 豊島区は、女性が輝き、活躍する社会づくりを積極的に推進していくことで、すべての人にやさしく、暮らしやすいまちづくりにつながる、「女性にやさしいまちづくり」に取り組んでいます。女性にやさしく、暮らしやすいと感じるまちに、大切だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

女性にやさしく、暮らしやすいと感じるまちに、大切だと思うことを聞いたところ、「仕事と生活を両立しやすい環境整備」(52.1%)が5割を超えて最も高く、次いで「安心して子どもを産み育てられる環境整備」(48.0%)、「子育てや介護施策・サービスの充実」(41.3%)、「子育てや働きながら住み続けられる住まいの充実」(28.2%)となっている。



【経年比較】

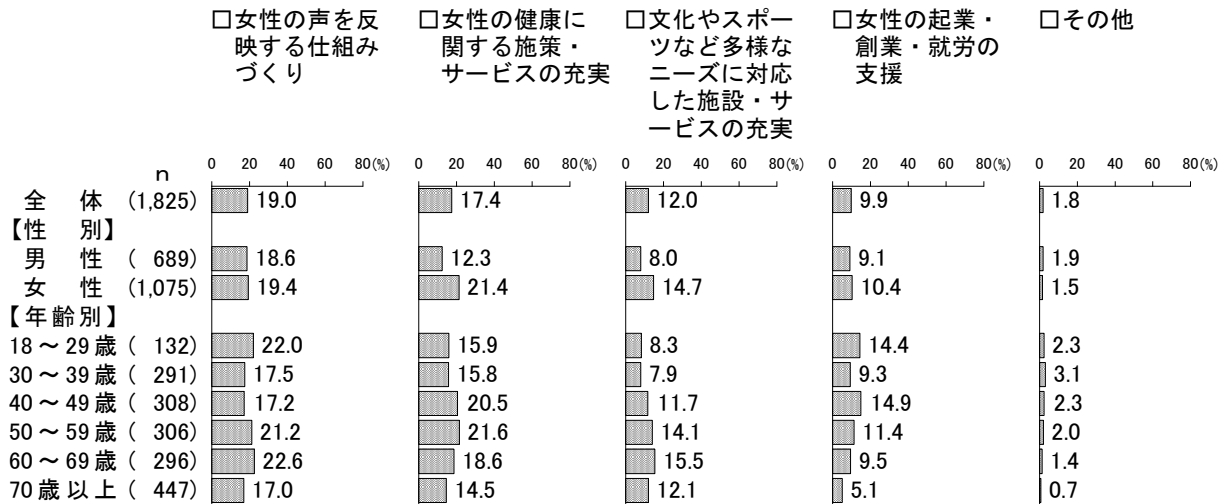
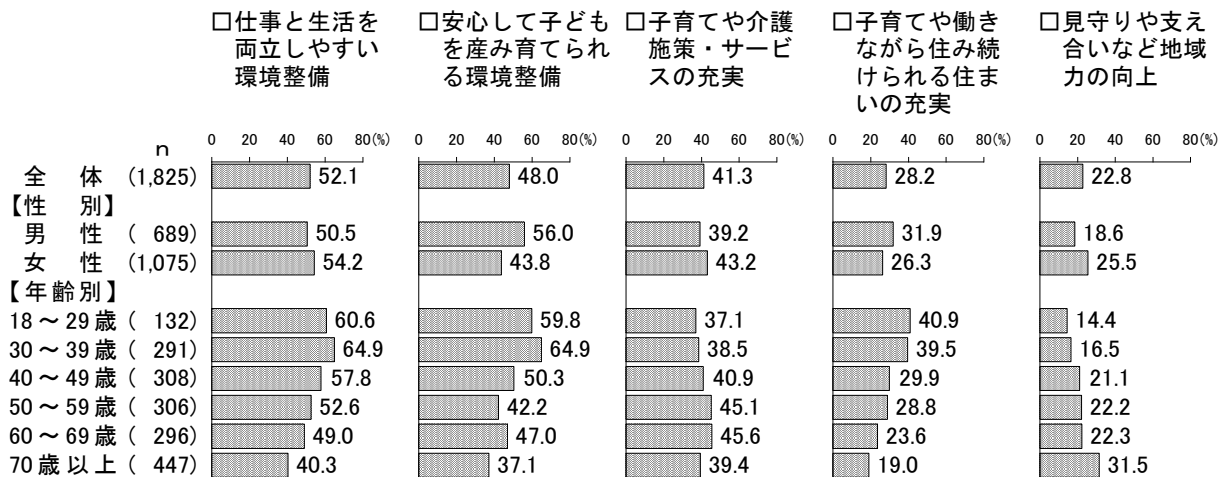
過去の調査結果と比較すると、「仕事と生活を両立しやすい環境整備」は平成28年度より3.0ポイント、「子育てや働きながら住み続けられる住まいの充実」は平成28年度より3.0ポイント、それぞれ増加している。一方、「子育てや介護施策・サービスの充実」は平成28年度より6.0ポイント、「女性の健康に関する施策・サービスの充実」は平成28年度より3.3ポイント、それぞれ減少している。



【性別、年齢別】

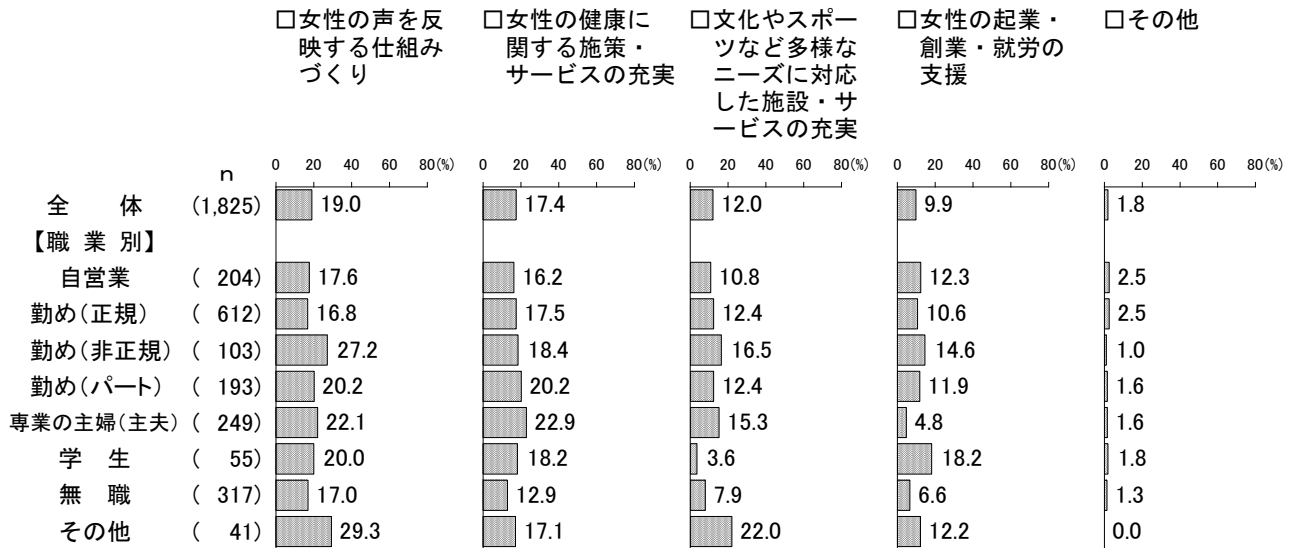
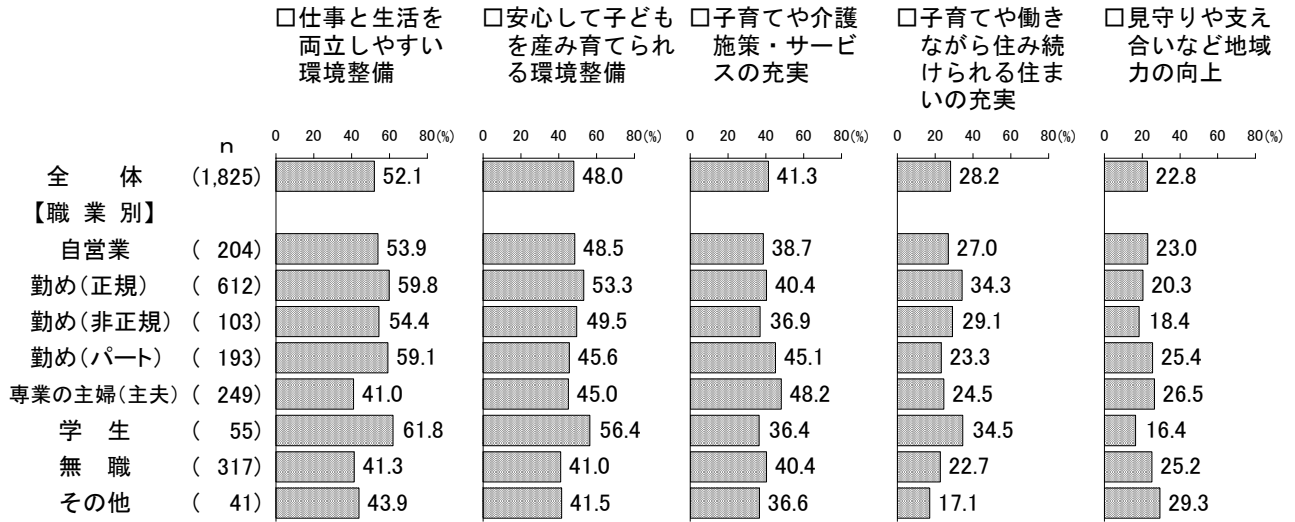
性別で見ると、「安心して子どもを産み育てられる環境整備」は男性（56.0%）が女性（43.8%）より12.2ポイント高くなっている。一方、「女性の健康に関する施策・サービスの充実」は女性（21.4%）が男性（12.3%）より9.1ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「仕事と生活を両立しやすい環境整備」は30～39歳（64.9%）で6割半ばと高くなっている。「安心して子どもを産み育てられる環境整備」は30～39歳（64.9%）で6割半ばと高くなっている。「子育てや働きながら住み続けられる住まいの充実」は年齢が低くなるにつれて割合が高く、18～29歳（40.9%）と30～39歳（39.5%）で約4割と高くなっている。



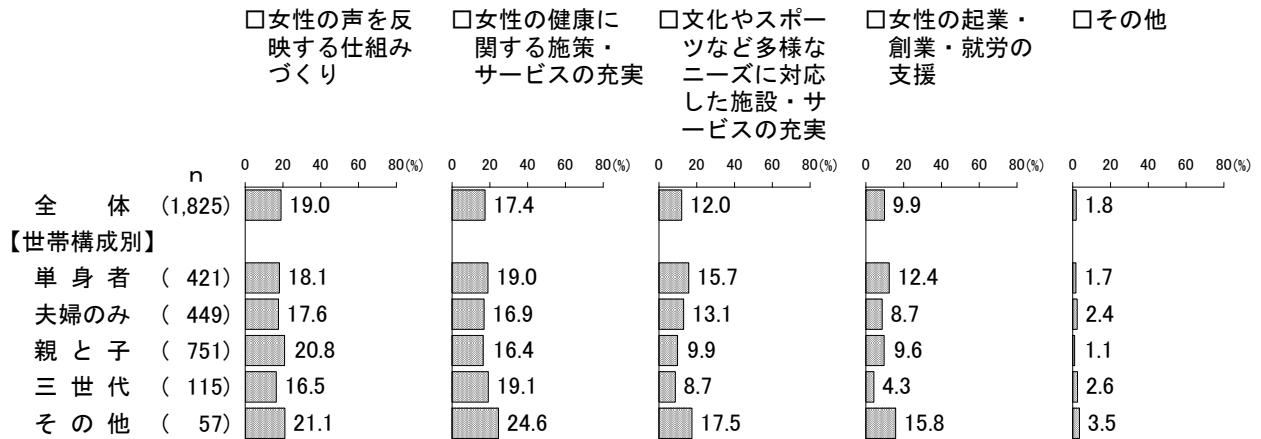
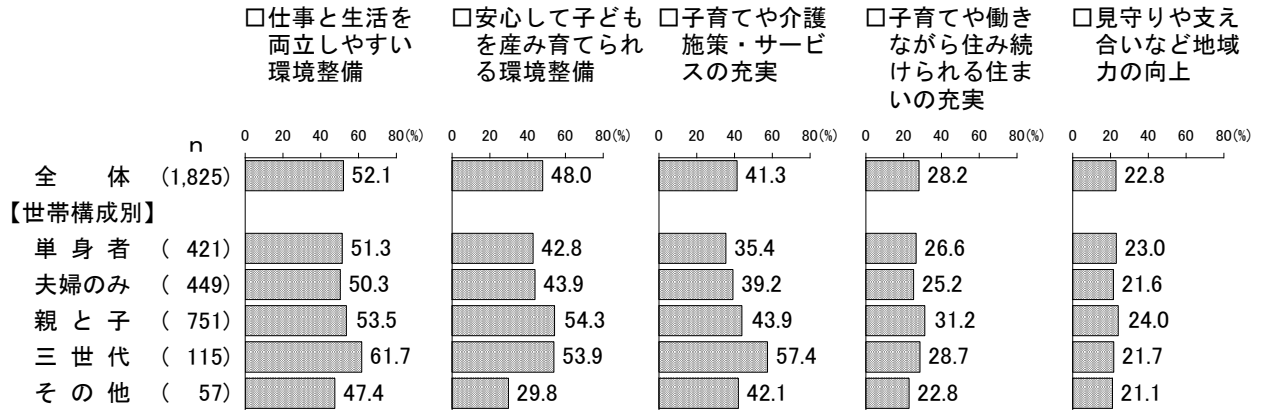
【職業別】

職業別でみると、「仕事と生活を両立しやすい環境整備」は学生（61.8%）で6割を超えて高くなっている。「安心して子どもを産み育てられる環境整備」は学生（56.4%）と勤め（全日・正規）（53.3%）で5割台と高くなっている。「子育てや介護施策・サービスの充実」は専業の主婦（主夫）（48.2%）で5割近くと高くなっている。



【世帯構成別】

世帯構成別でみると、「仕事と生活を両立しやすい環境整備」は三世代（61.7%）で6割を超えて高くなっている。「安心して子どもを産み育てられる環境整備」は親と子（54.3%）と三世代（53.9%）で5割台と高くなっている。「子育てや介護施策・サービスの充実」は三世代（57.4%）で6割近くと高くなっている。

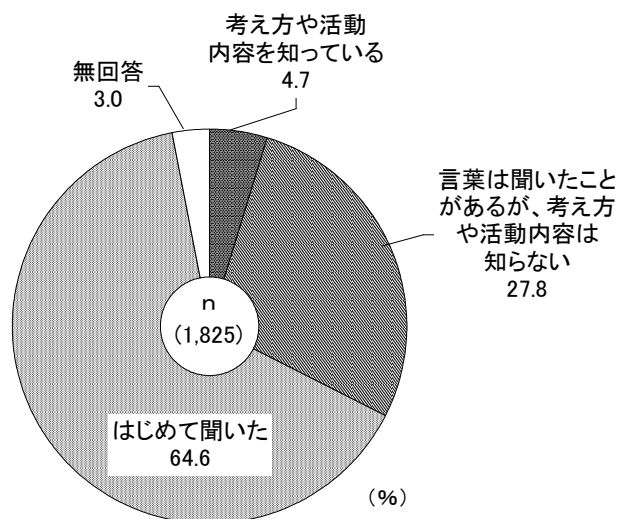


4. セーフコミュニティについて

(1) セーフコミュニティ活動の認知度

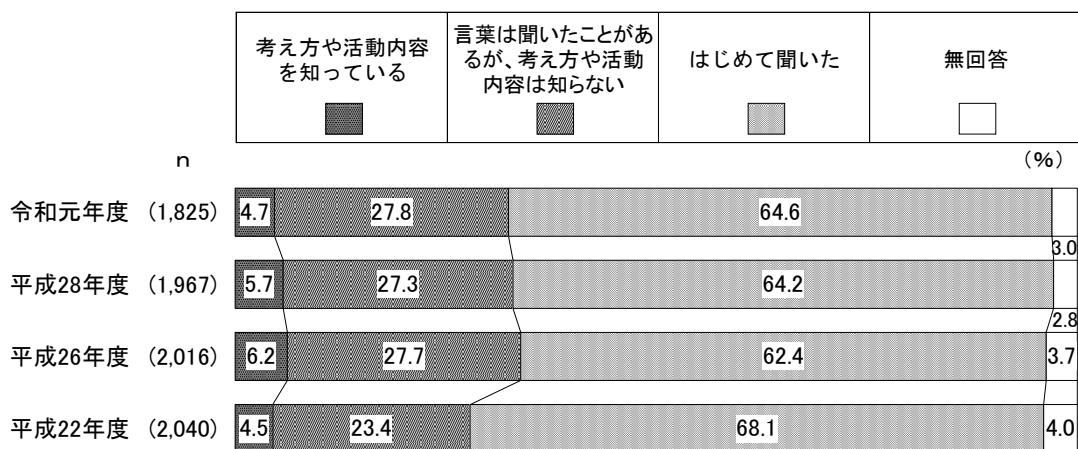
問15 豊島区は東京で初めて2012年11月、世界保健機関（WHO）が推奨する「セーフコミュニティ」の国際認証を取得しました。（2018年2月再認証取得）セーフコミュニティとは、けがや事故など日常生活のなかで健康を阻害する要因を予防することで、生活の安全と健康の質を高めていくまちづくり活動のことです。あなたは、このセーフコミュニティ活動について知っていますか。（1つに○）

セーフコミュニティ活動について知っているか聞いたところ、「考え方や活動内容を知っている」（4.7%）はわずかとなっており、「言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない」（27.8%）は3割近くとなっている。一方、「はじめて聞いた」（64.6%）が6割半ばとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成28年度と比べて大きな違いはみられない。



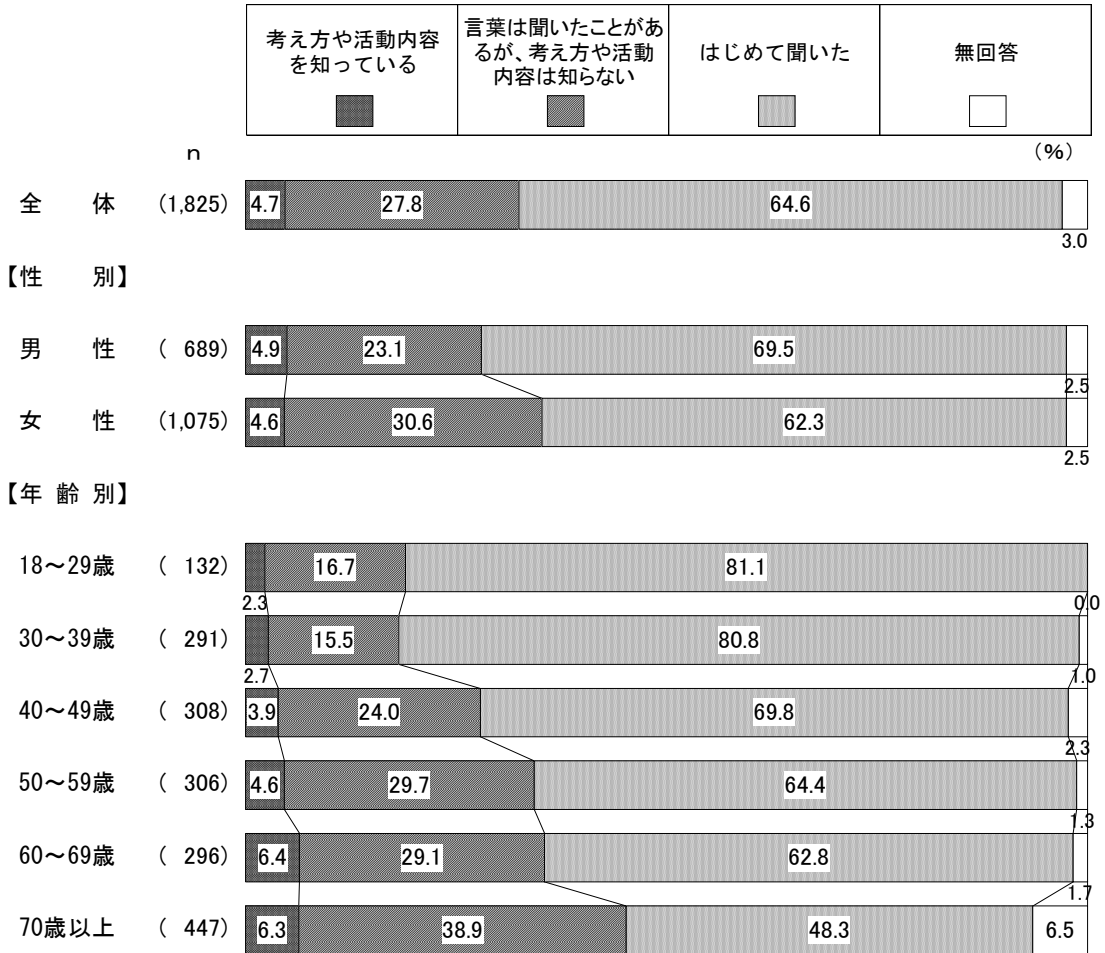
※平成22年度調査では、選択肢を「考え方や活動内容を知っている」「言葉は聞いたことがある」「知らなかった」としていた

※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別で見ると、「言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない」は女性（30.6%）が男性（23.1%）より7.5ポイント高くなっている。一方、「はじめて聞いた」は男性（69.5%）が女性（62.3%）より7.2ポイント高くなっている。

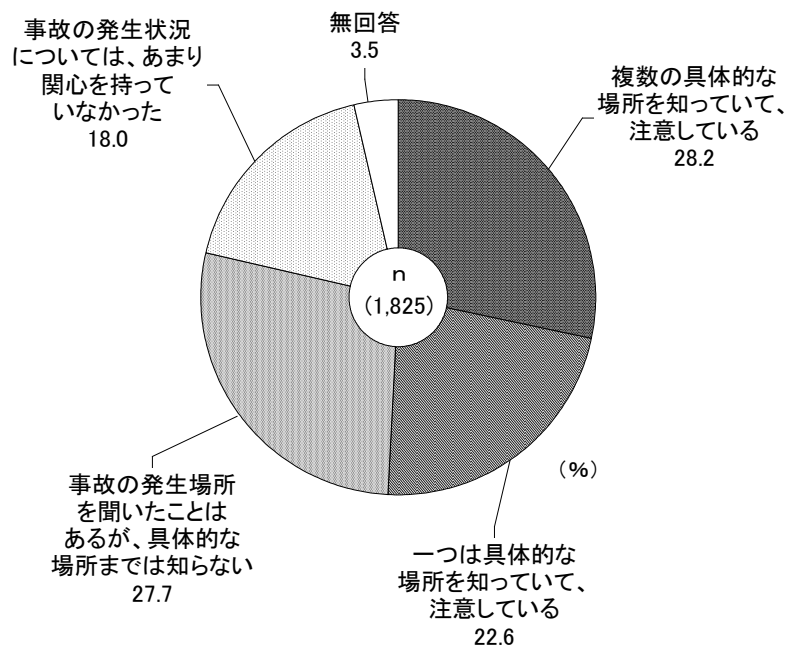
年齢別で見ると、「言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない」は70歳以上（38.9%）で4割近くと高くなっている。「はじめて聞いた」は年齢が低くなるにつれて割合が高く、18～29歳（81.1%）と30～39歳（80.8%）で8割台と高くなっている。



(2) 交通事故発生場所等の認知度

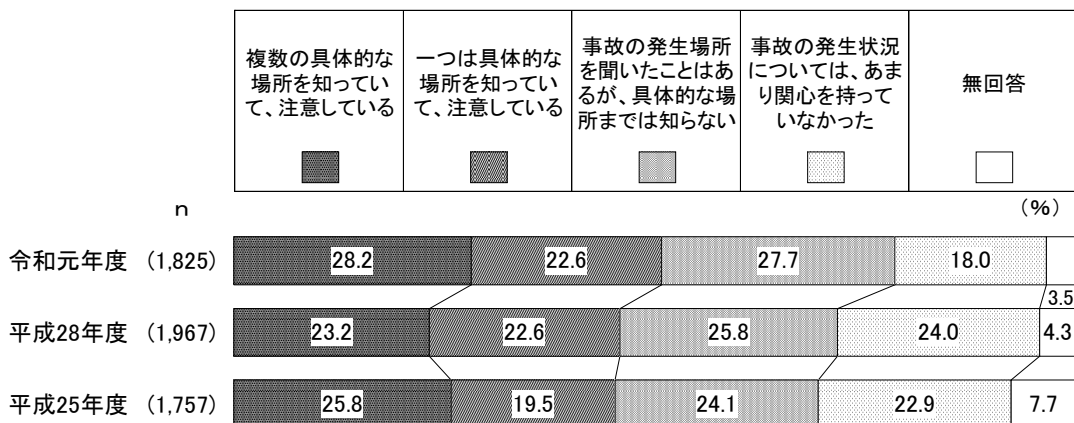
問16 交通事故が発生した場所や注意すべき地点を知っていることで、事故防止につなげることができます。お住まいの周辺で、交通事故発生場所、危ないと思われる場所があることをご存じですか。(1つに○)

交通事故発生場所、危ないと思われる場所があることを知っているか聞いたところ、「複数の具体的な場所を知っていて、注意している」(28.2%)と「事故の発生場所を聞いたことはあるが、具体的な場所までは知らない」(27.7%)がともに3割近くとなっている。「一つは具体的な場所を知っていて、注意している」(22.6%)は2割を超え、「事故の発生状況については、あまり関心を持っていなかった」(18.0%)は2割近くとなっている。



【経年比較】

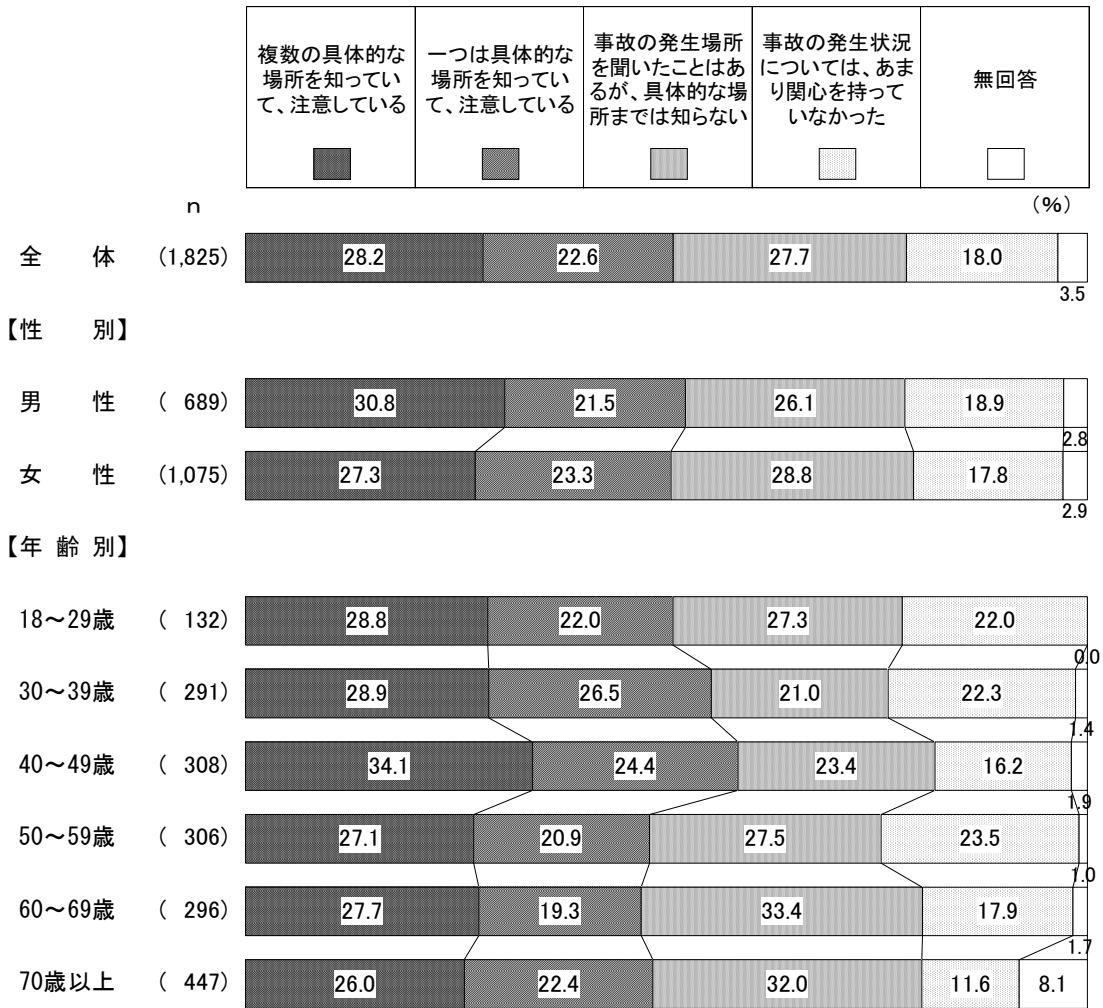
過去の調査結果と比較すると、「複数の具体的な場所を知っていて、注意している」は平成28年度より5.0ポイント増加している。一方、「事故の発生状況については、あまり関心を持っていなかった」は平成28年度より6.0ポイント減少している。



【性別、年齢別】

性別で見ると、「複数の具体的な場所を知っていて、注意している」は男性(30.8%)が女性(27.3%)より3.5ポイント高くなっている。

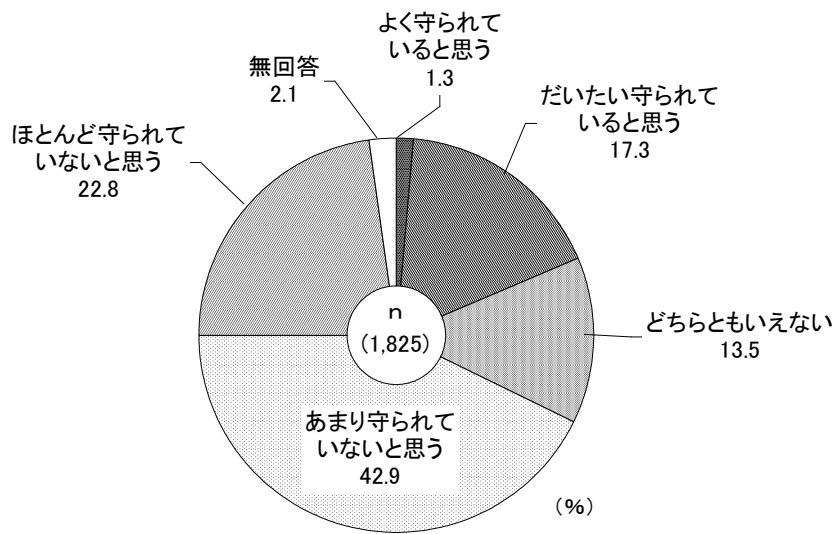
年齢別で見ると、「複数の具体的な場所を知っていて、注意している」は40～49歳(34.1%)で3割半ばと高くなっている。「事故の発生場所を聞いたことはあるが、具体的な場所までは知らない」は60～69歳(33.4%)と70歳以上(32.0%)で3割を超えて高くなっている。



(3) 自転車の運転ルール遵守状況の実感

問17 自転車は便利な乗り物ですが、一つ間違えば大きな事故につながります。最近、あなたのお住まいの地域で、道路交通法で決められている自転車の運転ルールは守られていると感じていますか。(1つに○)

自転車の運転ルールは守られていると感じるか聞いたところ、「よく守られていると思う」(1.3%)と「だいたい守られていると思う」(17.3%)を合わせた『守られていると思う(計)』(18.6%)は2割近くとなっている。一方、「あまり守られていないと思う」(42.9%)と「ほとんど守られていないと思う」(22.8%)を合わせた『守られていないと思う(計)』(65.7%)は6割半ばとなっている。



【経年比較】

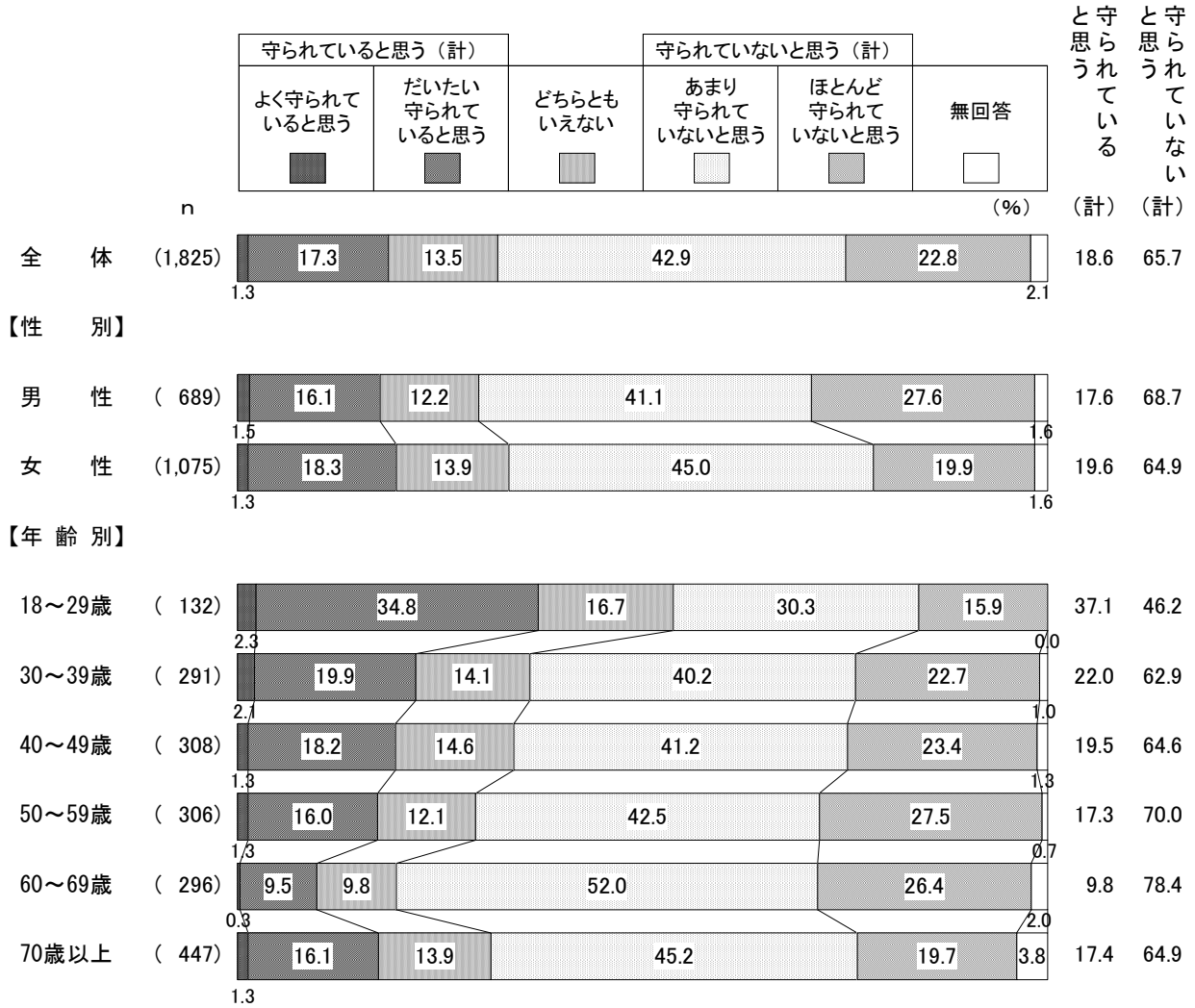
過去の調査結果と比較すると、平成28年度と比べて大きな違いはみられない。

n	守られていると思う(計)		どちらともいえない	守られていないと思う(計)		無回答	と守られている(計)	と守られていない(計)
	よく守られていると思う	だいたい守られていると思う		あまり守られていないと思う	ほとんど守られていないと思う			
令和元年度 (1,825)	1.3	17.3	13.5	42.9	22.8	2.1	18.6	65.7
平成28年度 (1,967)	1.0	17.0	13.3	43.0	23.0	2.7	18.0	66.0

【性別、年齢別】

性別で見ると、『守られていないと思う（計）』は男性（68.7%）が女性（64.9%）より3.8ポイント高くなっている。

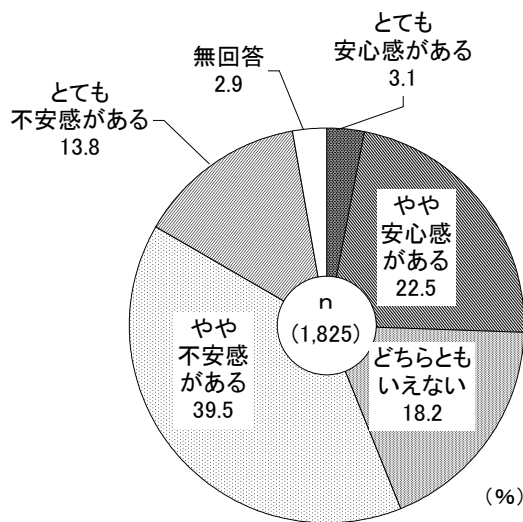
年齢別で見ると、『守られていると思う（計）』は18～29歳（37.1%）で4割近くと高くなっている。一方、『守られていないと思う（計）』は60～69歳（78.4%）で8割近くと高くなっている。



(4) 池袋駅周辺の体感治安

問18 豊島区では、環境浄化団体や警察と合同で、定期的に環境浄化パトロール活動を実施しています。あなたは、池袋駅周辺（繁華街）の治安についてどのように感じますか。
(1つに○)

池袋駅周辺（繁華街）の治安について聞いたところ、「とても安心感がある」(3.1%)と「やや安心感がある」(22.5%)を合わせた『安心感がある(計)』(25.6%)は2割半ばとなっている。一方、「やや不安感がある」(39.5%)と「とても不安感がある」(13.8%)を合わせた『不安感がある(計)』(53.3%)は5割を超えている。



【経年比較】

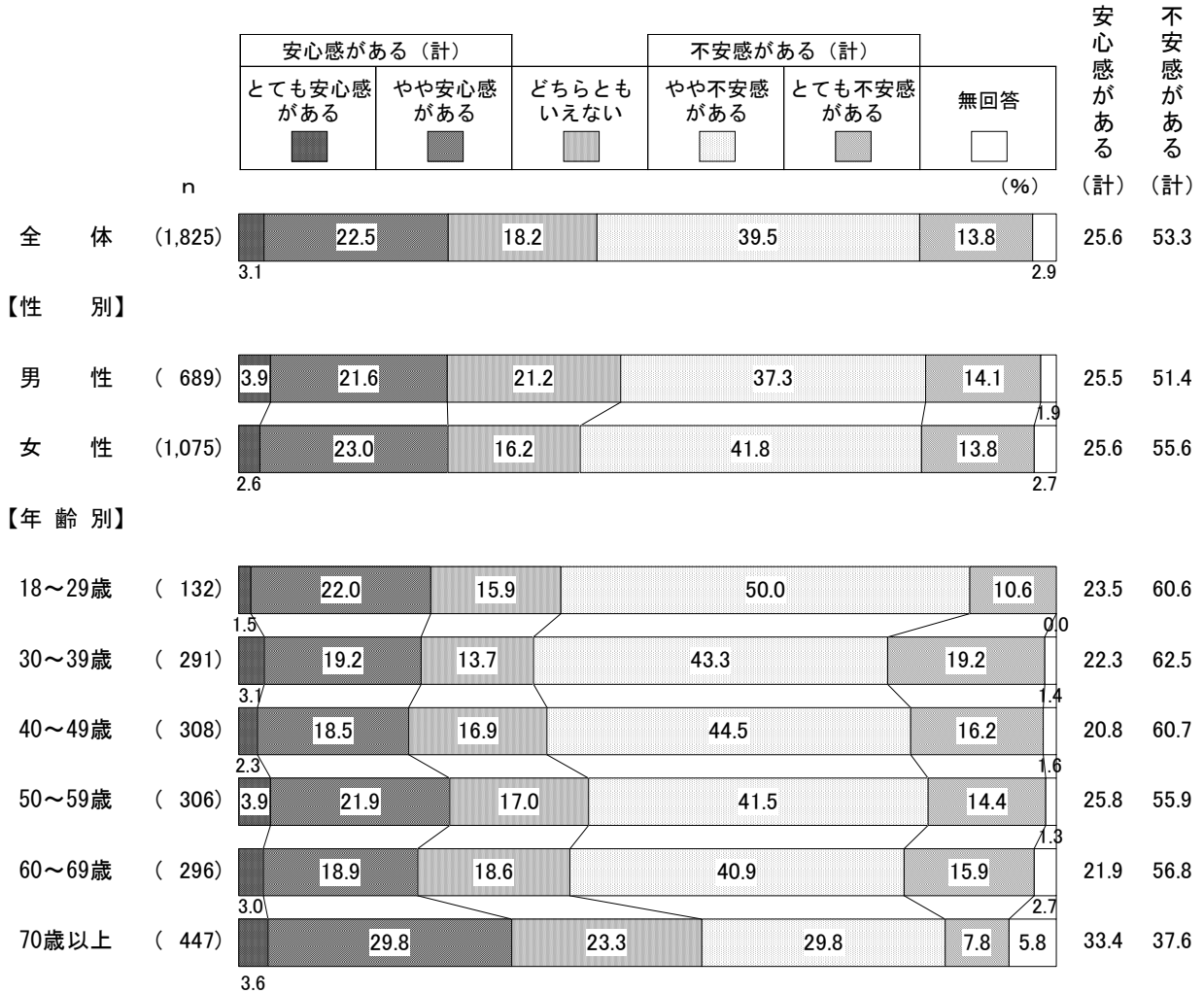
過去の調査結果と比較すると、『安心感がある(計)』は平成28年度より3.0ポイント増加している。

年度 (n)	安心感がある(計)			不安感がある(計)		無回答 (%)	安心感がある(計)	不安感がある(計)
	とても安心感がある	やや安心感がある	どちらともいえない	やや不安感がある	とても不安感がある			
令和元年度 (1,825)	3.1	22.5	18.2	39.5	13.8	2.9	25.6	53.3
平成28年度 (1,967)	3.6	19.0	21.2	39.9	13.3	3.2	22.6	53.2
平成25年度 (1,757)	5.3	26.3	25.2	30.1	8.9	4.2	31.6	39.0

【性別、年齢別】

性別で見ると、『不安感がある（計）』は女性（55.6%）が男性（51.4%）より4.2ポイント高くなっている。

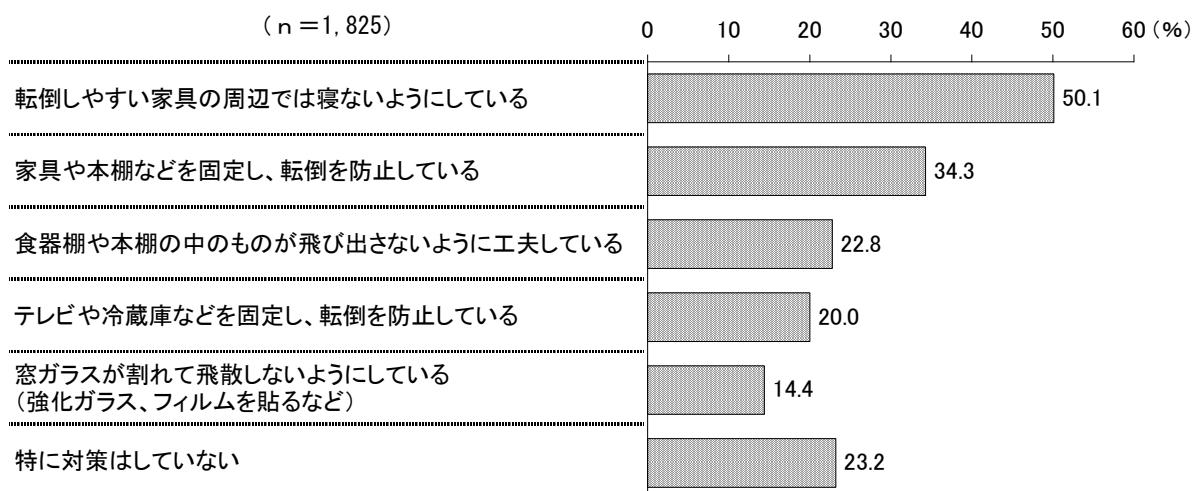
年齢別で見ると、『安心感がある（計）』は70歳以上（33.4%）で3割を超えて高くなっている。一方、『不安感がある（計）』は30～39歳（62.5%）で6割を超えて高くなっている。



(5) 地震に備えた家具等の転倒防止対策

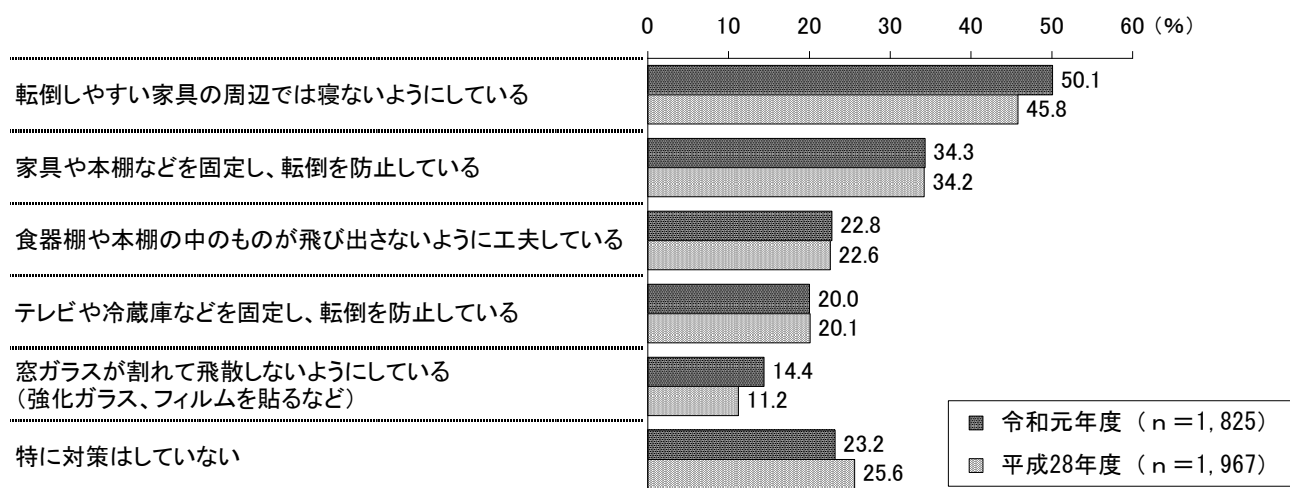
問19 地震の大きな揺れにより、家具や本棚、冷蔵庫、テレビなどが転倒して、けがをすることが想定されます。あなたは、(あなたの家庭では、) どのような対策をとっていますか。(いくつでも○)

地震に備えた家具等の転倒防止対策をとっているか聞いたところ、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」(50.1%)が5割で最も高く、次いで「家具や本棚などを固定し、転倒を防止している」(34.3%)、「食器棚や本棚の中のもの飛び出さないように工夫している」(22.8%)となっている。一方、「特に対策はしていない」(23.2%)は2割を超えている。



【経年比較】

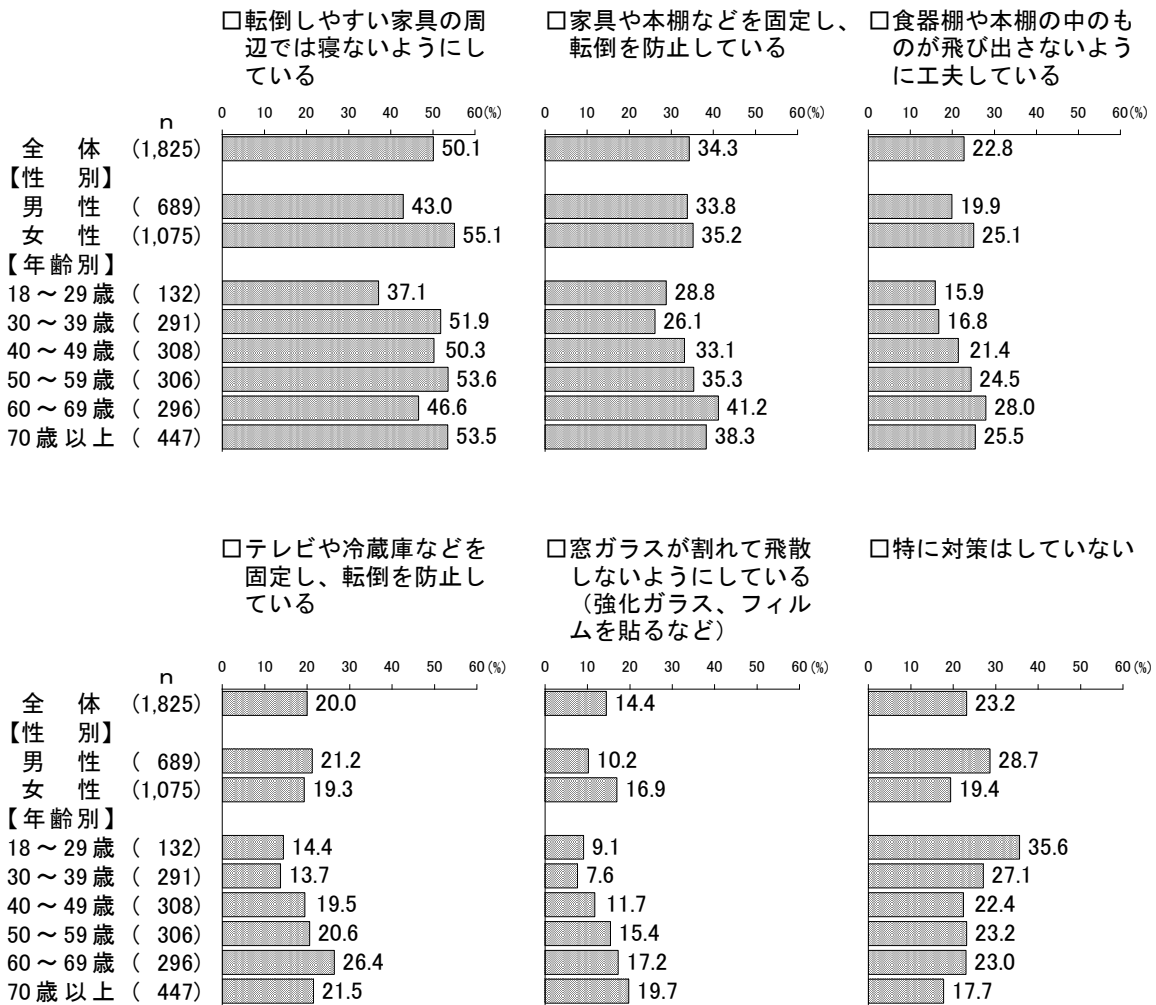
過去の調査結果と比較すると、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」は平成28年度より4.3ポイント、「窓ガラスが割れて飛散しないようにしている(強化ガラス、フィルムを貼るなど)」は平成28年度より3.2ポイント、それぞれ増加している。



【性別、年齢別】

性別でみると、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」は女性（55.1%）が男性（43.0%）より12.1ポイント高くなっている。一方、「特に対策はしていない」は男性（28.7%）が女性（19.4%）より9.3ポイント高くなっている。

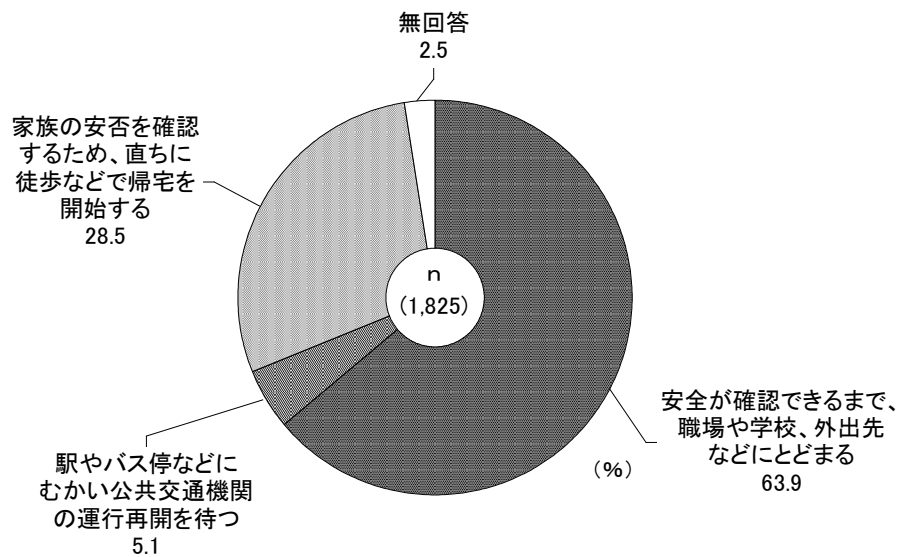
年齢別でみると、「家具や本棚などを固定し、転倒を防止している」は60～69歳（41.2%）で4割を超えて高くなっている。「テレビや冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している」は60～69歳（26.4%）で2割半ばと高くなっている。「特に対策はしていない」は18～29歳（35.6%）で3割半ばと高くなっている。



(6) 大地震により公共交通機関が停止した場合の行動

問20 外出中に、大規模な地震が発生し、公共交通機関の運行が停止した場合、あなたはどのようにしますか。(1つに〇)

大規模な地震が発生し、公共交通機関の運行が停止した場合どうするか聞いたところ、「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」(63.9%)が6割を超えて最も高く、次いで「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」(28.5%)、「駅やバス停などにむかい公共交通機関の運行再開を待つ」(5.1%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成28年度と比べて大きな違いはみられない。

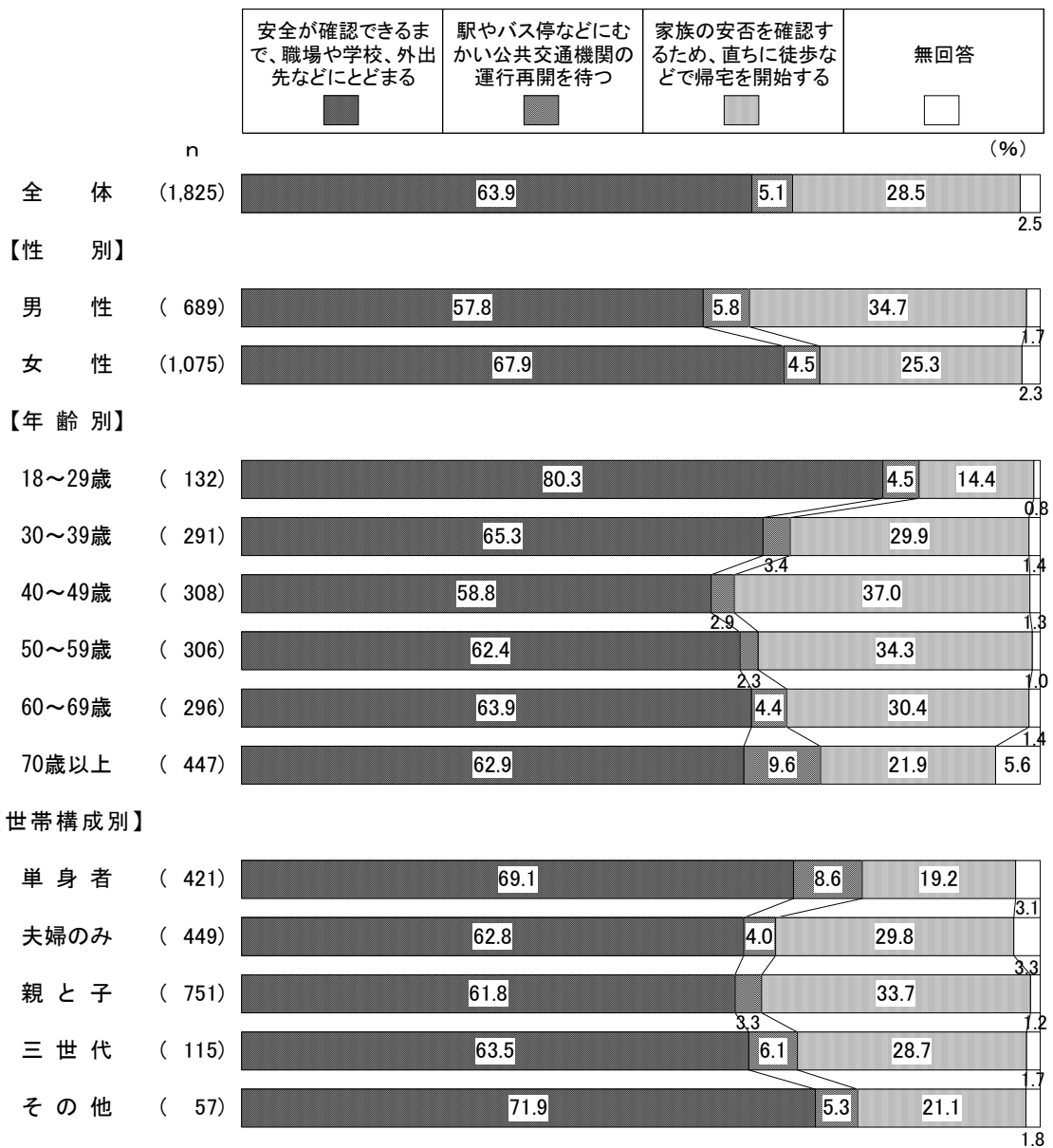
	安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる	駅やバス停などにむかい公共交通機関の運行再開を待つ	家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する	無回答
n				(%)
令和元年度 (1,825)	63.9	5.1	28.5	2.5
平成28年度 (1,967)	63.5	6.1	27.1	3.3
平成25年度 (1,757)	62.5	5.1	27.8	4.6

【性別、年齢別、世帯構成別】

性別で見ると、「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」は女性（67.9%）が男性（57.8%）より10.1ポイント高くなっている。一方、「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」は男性（34.7%）が女性（25.3%）より9.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」は18～29歳（80.3%）で8割と高くなっている。「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」は40～49歳（37.0%）で4割近くと高くなっている。

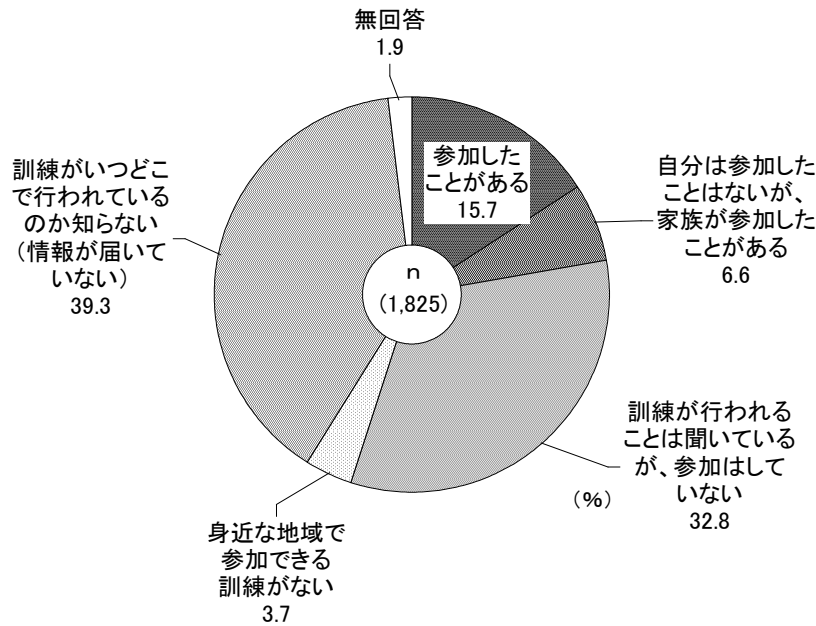
世帯構成別で見ると、「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」は単身者（69.1%）で約7割と高くなっている。「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」は親と子（33.7%）で3割を超えて高くなっている。



(7) 防災訓練や避難訓練への参加

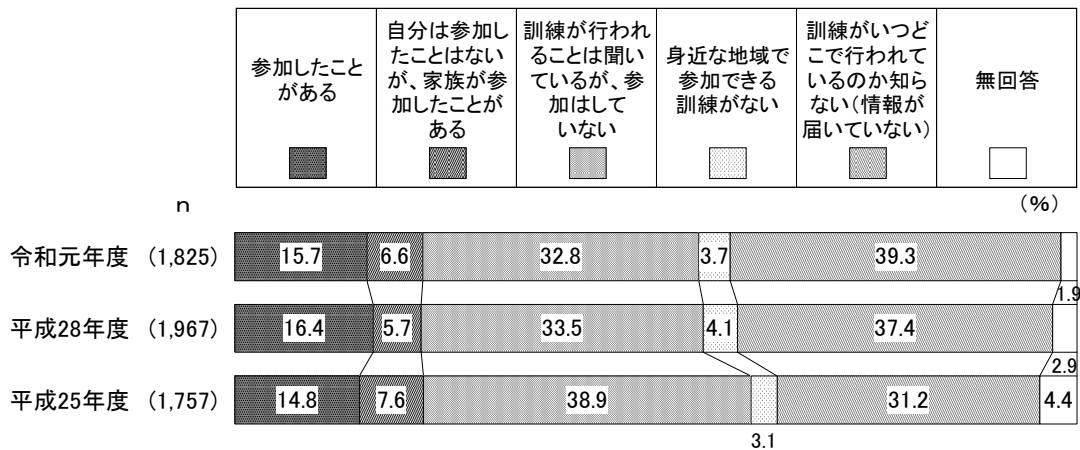
問21 あなたは、最近1年間に、区や町会等が実施する防災訓練や避難訓練に参加したことがありますか。(1つに○)

区や町会等が実施する防災訓練や避難訓練に参加したことがあるか聞いたところ、「訓練がいつどこで行われているのか知らない(情報が届いていない)」(39.3%)が約4割で最も高く、次いで「訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない」(32.8%)、「参加したことがある」(15.7%)、「自分は参加したことはないが、家族が参加したことがある」(6.6%)、「身近な地域で参加できる訓練がない」(3.7%)となっている。



【経年比較】

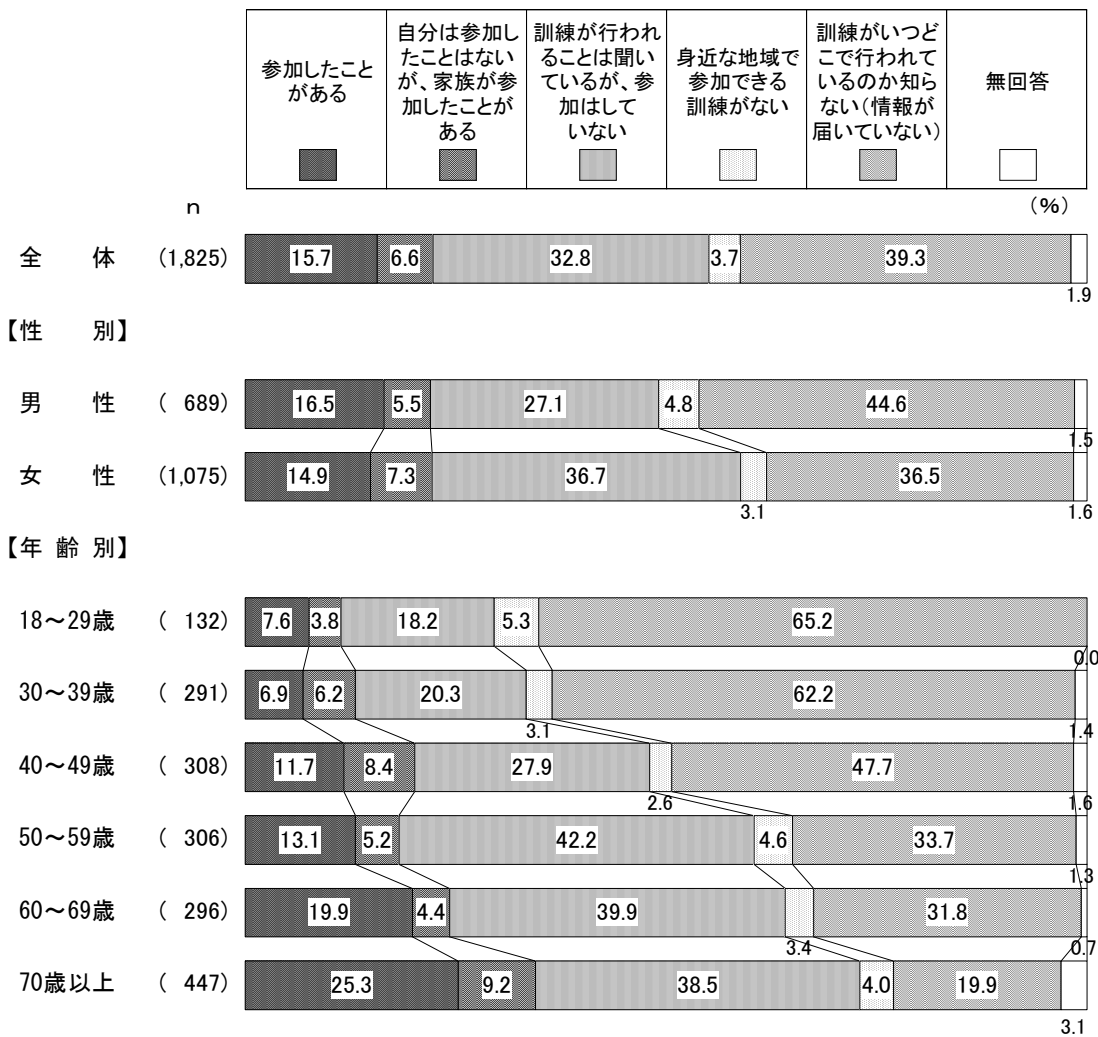
過去の調査結果と比較すると、「訓練がいつどこで行われているのか知らない(情報が届いていない)」は平成25年度以降増加傾向にあり、「訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない」は平成25年度以降減少傾向にある。



【性別、年齢別】

性別でみると、「訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない」は女性（36.7%）が男性（27.1%）より9.6ポイント高くなっている。一方、「訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない）」は男性（44.6%）が女性（36.5%）より8.1ポイント高くなっている。

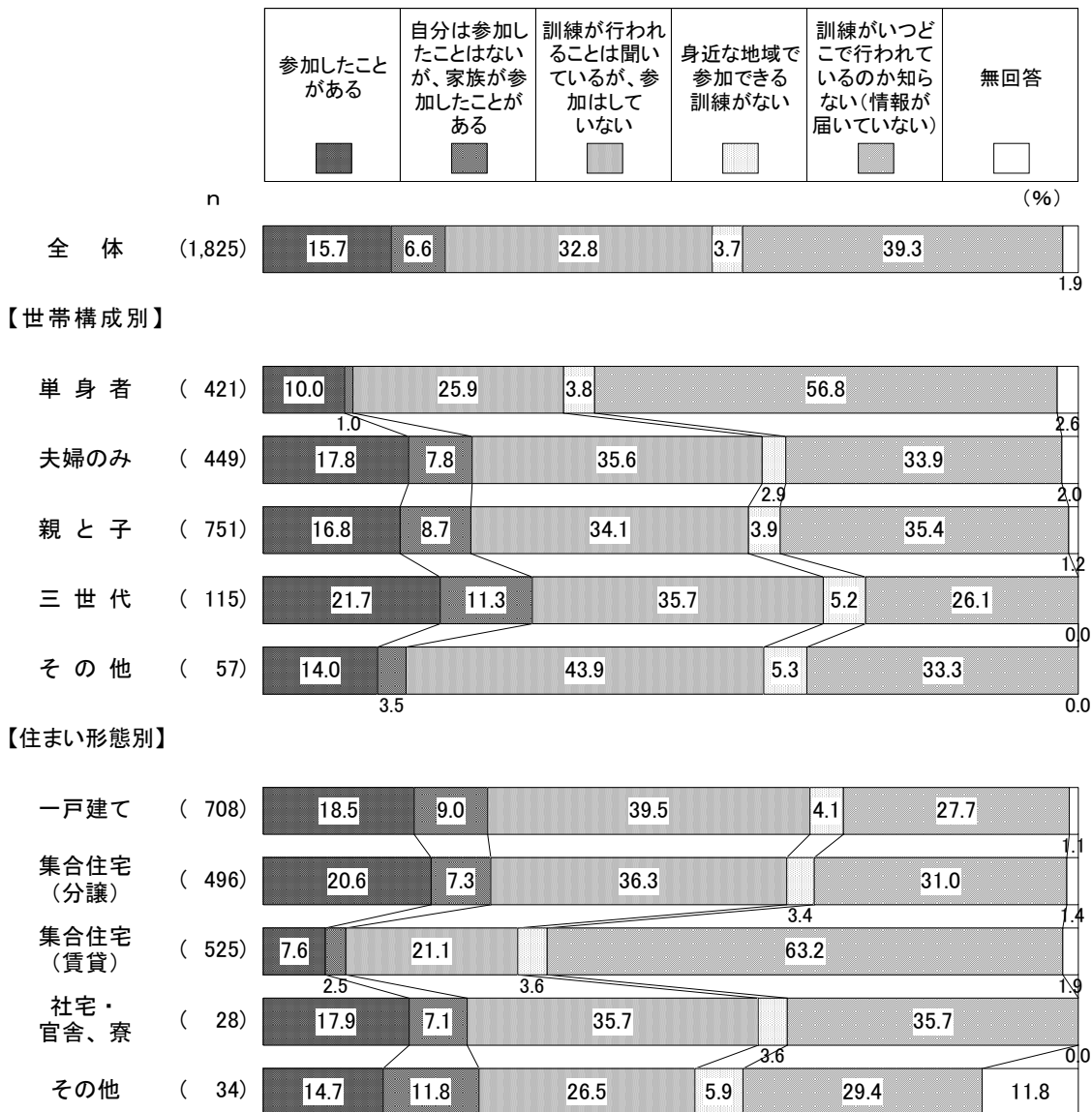
年齢別でみると、「参加したことがある」は70歳以上（25.3%）で2割半ばと高くなっている。「訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない」は50～59歳（42.2%）で4割を超えて高くなっている。「訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない）」は年齢が低くなるにつれて割合が高く、18～29歳（65.2%）で6割半ばと高くなっている。



【世帯構成別、住まい形態別】

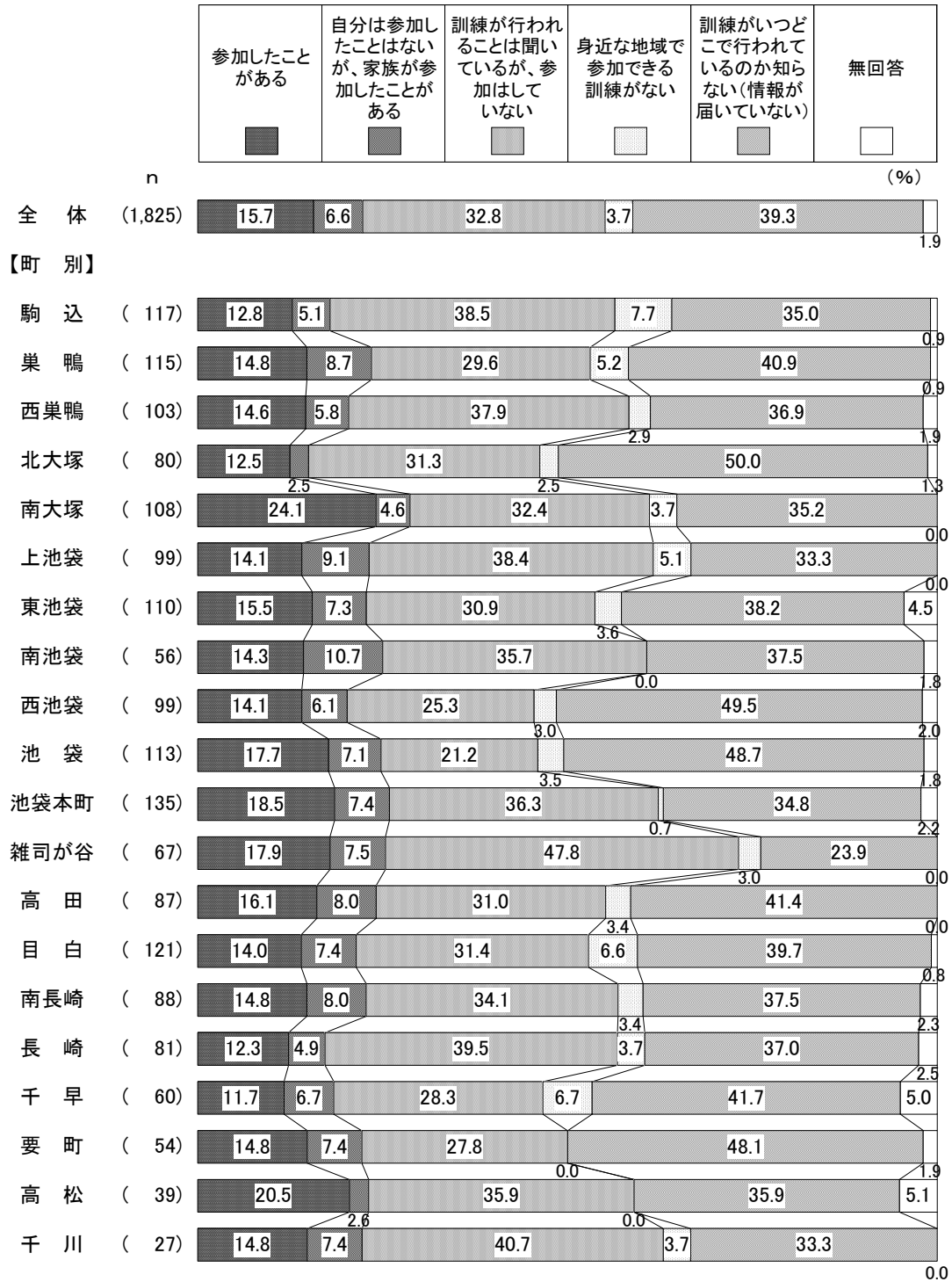
世帯構成別でみると、「参加したことがある」は三世代（21.7%）で2割を超えて高くなっている。「訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない）」は単身者（56.8%）で6割近くと高くなっている。

住まい形態別でみると、「参加したことがある」は集合住宅（分譲）（20.6%）で約2割と高くなっている。「訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない」は一戸建て（39.5%）で4割と高くなっている。「訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない）」は集合住宅（賃貸）（63.2%）で6割を超えて高くなっている。



【町別】

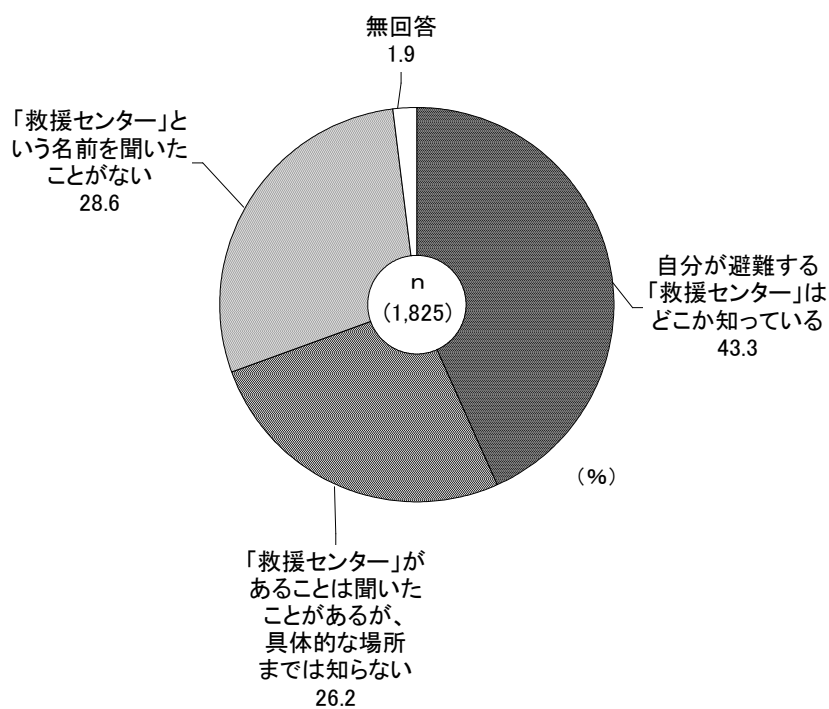
町別でみると、「参加したことがある」は南大塚（24.1%）で2割半ばと高くなっている。「訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない」は雑司が谷（47.8%）で5割近くと高くなっている。「訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない）」は北大塚（50.0%）と西池袋（49.5%）で5割と高くなっている。



(8) 「救援センター」の認知度

問22 区ではお住まいの地域ごとに、震災時などの一時的な避難場所として、小・中学校などを「救援センター」として指定しています。あなたは、「救援センター」について知っていますか。(1つに〇)

「救援センター」について知っているか聞いたところ、「自分が避難する『救援センター』はどこか知っている」(43.3%)が4割を超え、『「救援センター」があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない」(26.2%)は2割半ばとなっている。一方、『「救援センター」という名前を聞いたことがない」(28.6%)は3割近くとなっている。



【経年比較】

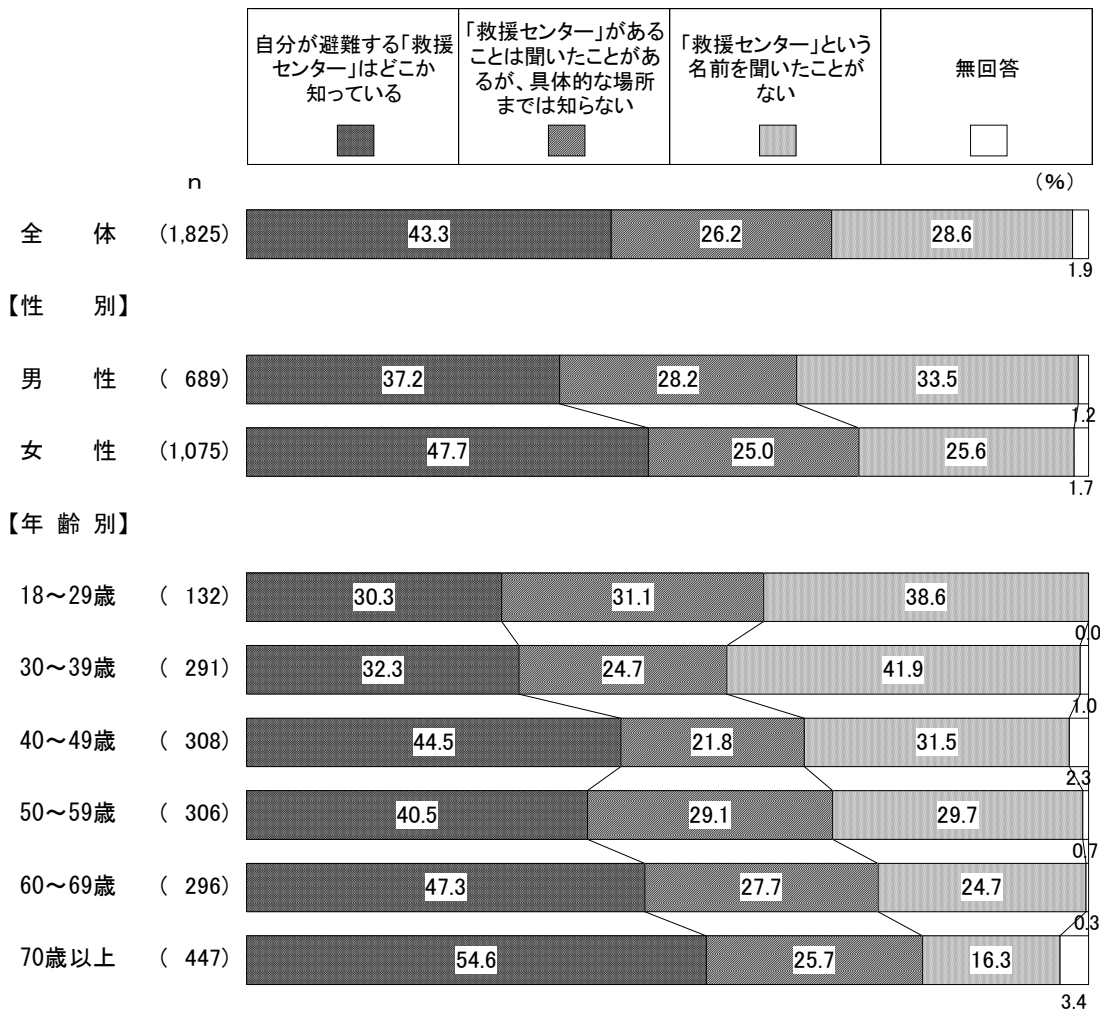
過去の調査結果と比較すると、平成28年度と比べて大きな違いはみられない。

	自分が避難する「救援センター」はどこか知っている	「救援センター」があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない	「救援センター」という名前を聞いたことがない	無回答
n				(%)
令和元年度 (1,825)	43.3	26.2	28.6	1.9
平成28年度 (1,967)	41.5	26.9	28.7	2.9
平成25年度 (1,757)	42.6	25.2	27.8	4.4

【性別、年齢別】

性別でみると、「自分が避難する『救援センター』はどこか知っている」は女性（47.7%）が男性（37.2%）より10.5ポイント高くなっている。一方、「『救援センター』という名前を聞いたことがない」は男性（33.5%）が女性（25.6%）より7.9ポイント高くなっている。

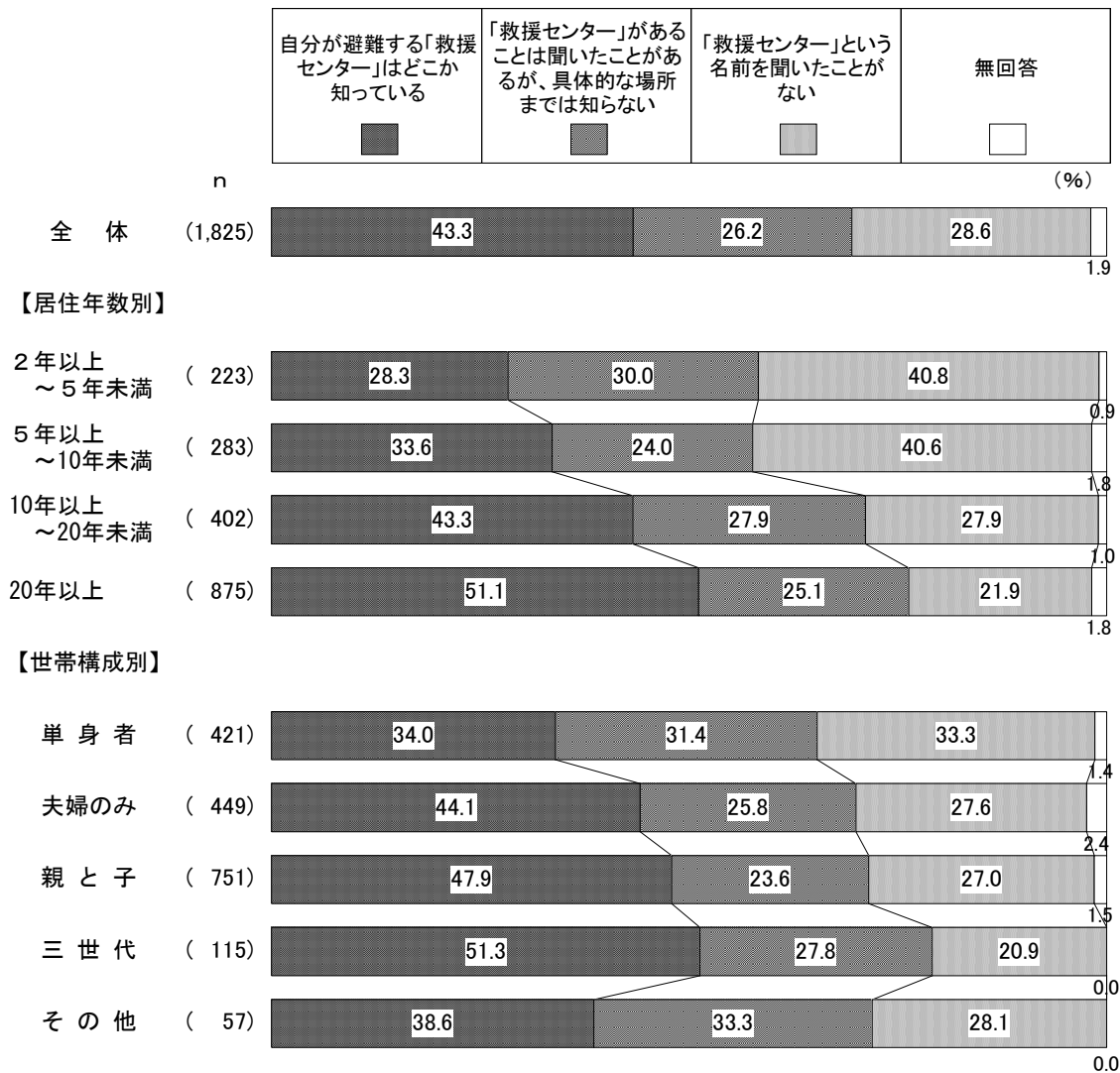
年齢別でみると、「自分が避難する『救援センター』はどこか知っている」は70歳以上（54.6%）で5割半ばと高くなっている。「『救援センター』があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない」は18～29歳（31.1%）で3割を超えて高くなっている。「『救援センター』という名前を聞いたことがない」は30～39歳（41.9%）で4割を超えて高くなっている。



【居住年数別、世帯構成別】

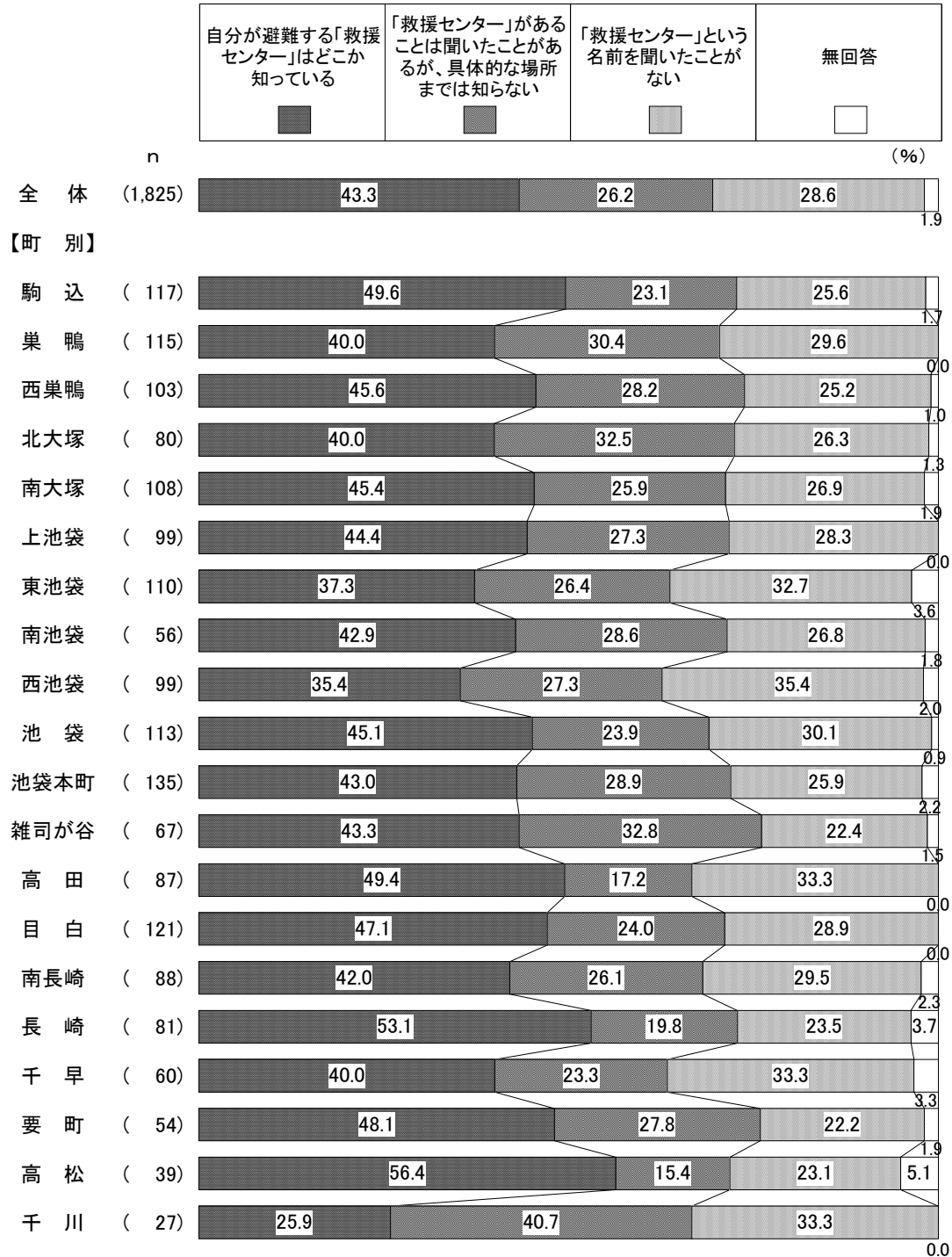
居住年数別でみると、「自分が避難する『救援センター』はどこか知っている」は居住年数が長くなるにつれて割合が高く、20年以上(51.1%)で5割を超えて高くなっている。『『救援センター』という名前を聞いたことがない』は2年以上～5年未満(40.8%)と5年以上～10年未満(40.6%)で約4割と高くなっている。

世帯構成別でみると、「自分が避難する『救援センター』はどこか知っている」は三世代(51.3%)で5割を超えて高くなっている。『『救援センター』という名前を聞いたことがない』は単身者(33.3%)で3割を超えて高くなっている。



【町別】

町別でみると、「自分が避難する『救援センター』はどこか知っている」は高松（56.4%）と長崎（53.1%）で5割台と高くなっている。『救援センター』という名前を聞いたことがない」は西池袋（35.4%）で3割半ばと高くなっている。

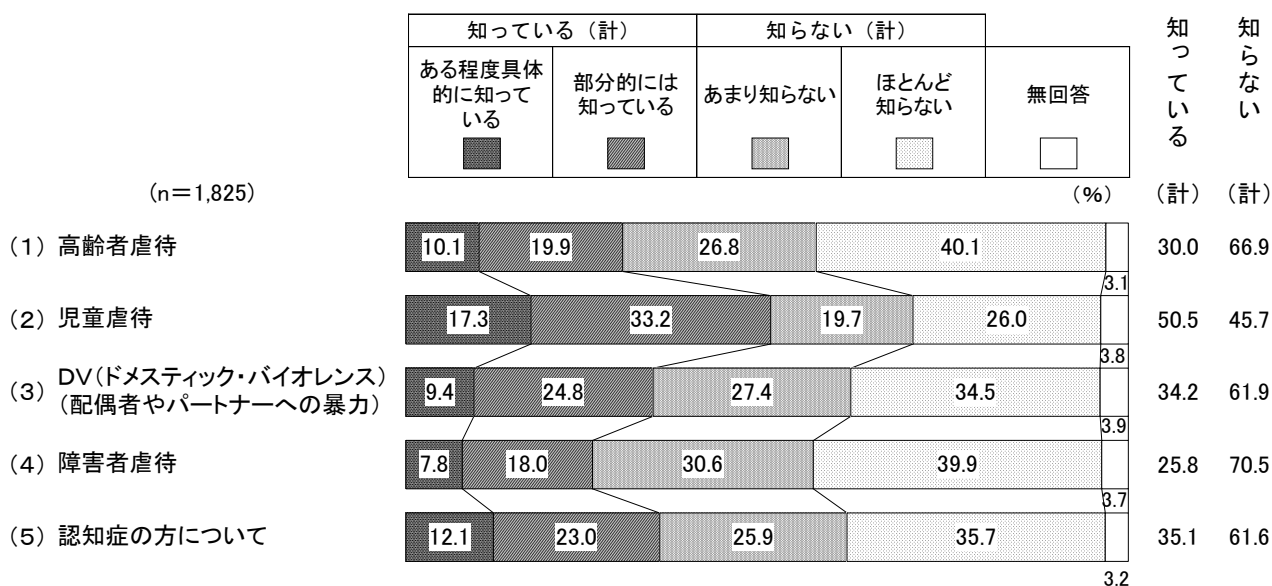


(9) 心配な状況を発見した際の通告・通報制度、連絡・相談先の認知度

問23 子どもや高齢者、配偶者などへの虐待・暴力を早期発見・防止することや認知症の方への早期対応をするためには、私たち一人ひとりが理解を深めていくことが大切です。あなたは、以下について、心配な状況を発見した際の通告・通報制度、連絡・相談先などについて知っていますか。(それぞれ該当する番号1つに○)

心配な状況を発見した際の通告・通報制度、連絡・相談先などについて知っているか聞いたところ、「ある程度具体的に知っている」と「部分的には知っている」を合わせた『知っている(計)』は、“(2)児童虐待”(50.5%)が約5割で最も高く、次いで“(5)認知症の方について”(35.1%)、“(3)DV(ドメスティック・バイオレンス)”(34.2%)となっている。

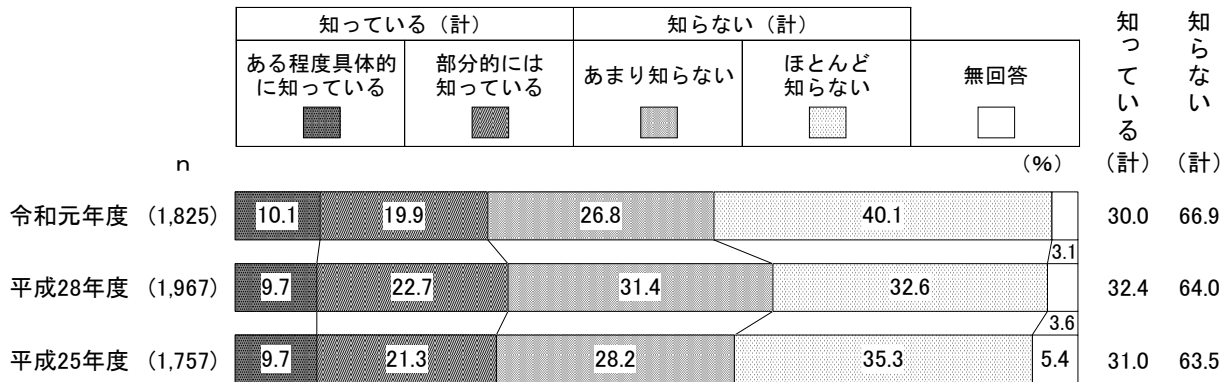
一方、「あまり知らない」と「ほとんど知らない」を合わせた『知らない(計)』は、“(4)障害者虐待”(70.5%)が約7割で最も高く、次いで“(1)高齢者虐待”(66.9%)、“(3)DV(ドメスティック・バイオレンス)”(61.9%)となっている。



【経年比較】（「障害者虐待」、「認知症の方について」は今回調査から追加された項目のため経年比較は無い）

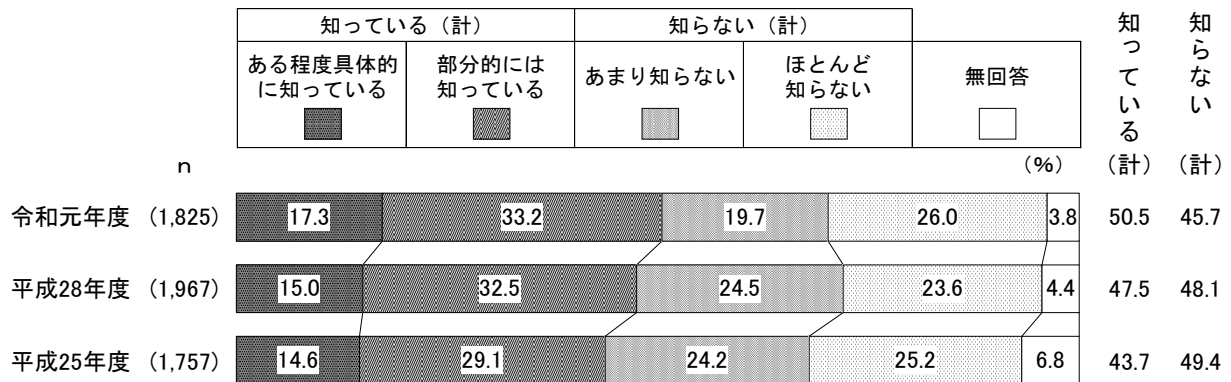
（１）高齢者虐待

過去の調査結果と比較すると、『知らない（計）』は平成25年度以降増加傾向にある。



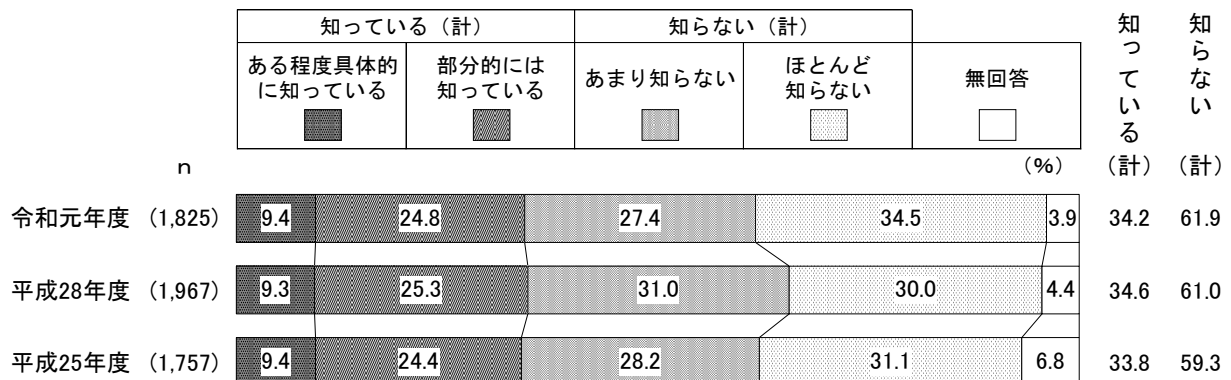
（２）児童虐待

過去の調査結果と比較すると、『知っている（計）』は平成25年度以降増加傾向にあり、平成28年度より3.0ポイント増加している。



（３）DV（ドメスティック・バイオレンス）（配偶者やパートナーへの暴力）

過去の調査結果と比較すると、『知らない（計）』は平成25年度以降ほぼ横ばい状況にある。

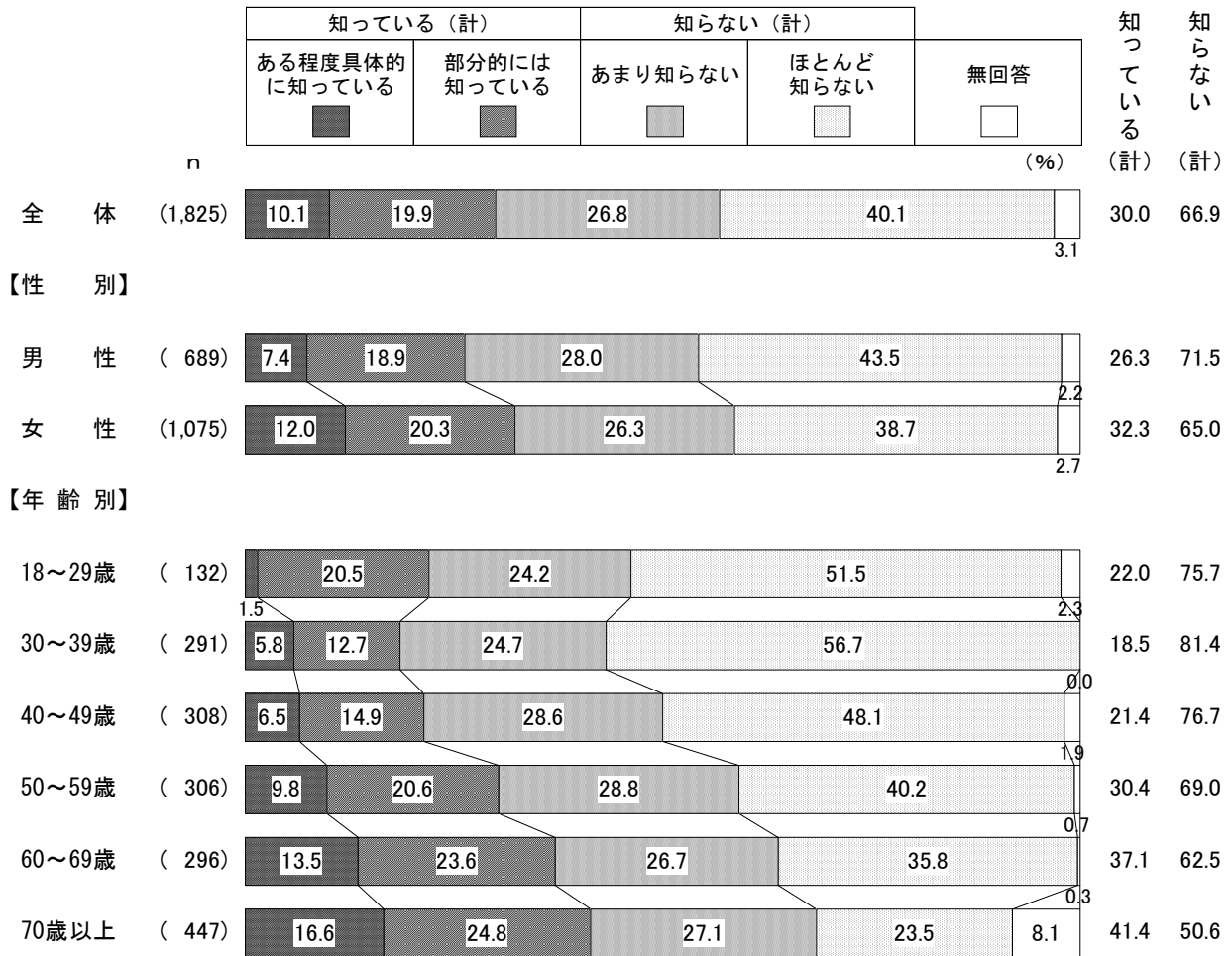


【性別、年齢別】

(1) 高齢者虐待

性別で見ると、『知っている（計）』は女性（32.3%）が男性（26.3%）より6.0ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『知っている（計）』は70歳以上（41.4%）で4割を超えて高くなっている。一方、『知らない（計）』は30～39歳（81.4%）で8割を超えて高くなっている。

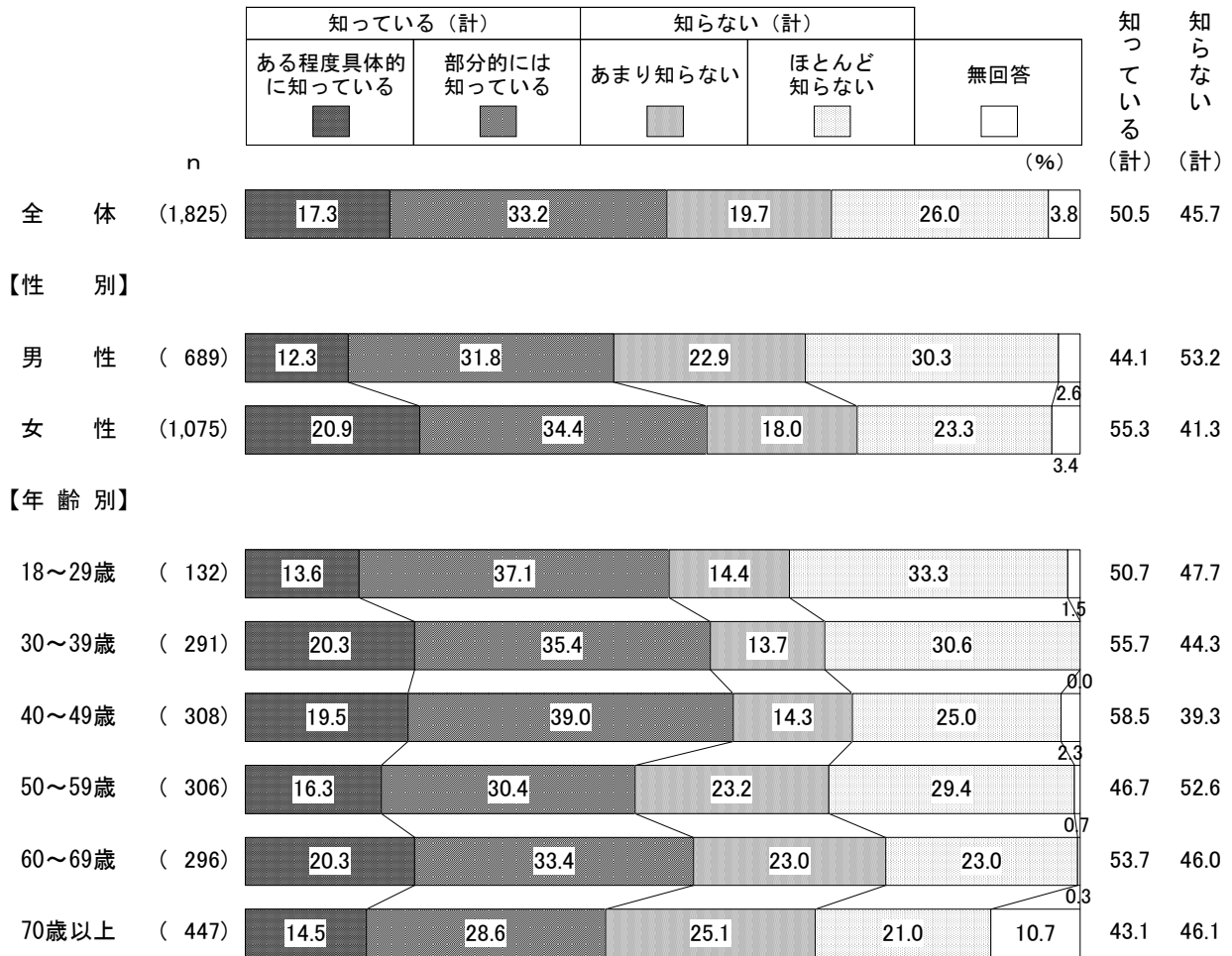


【性別、年齢別】

(2) 児童虐待

性別で見ると、『知っている（計）』は女性（55.3%）が男性（44.1%）より11.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『知っている（計）』は40～49歳（58.5%）で6割近くと高くなっている。一方、『知らない（計）』は50～59歳（52.6%）で5割を超えて高くなっている。

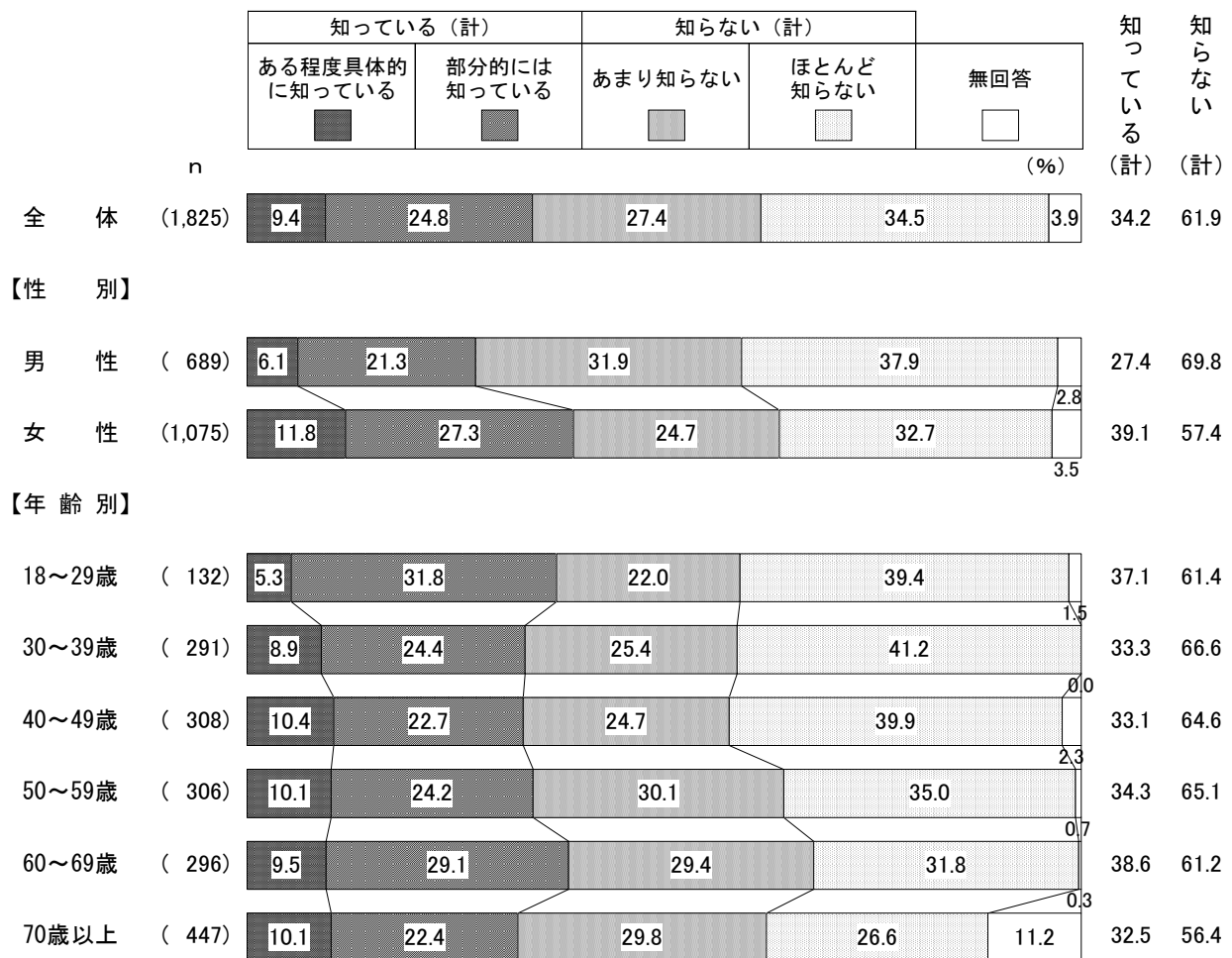


【性別、年齢別】

(3) DV（ドメスティック・バイオレンス）

性別で見ると、『知っている（計）』は女性（39.1%）が男性（27.4%）より11.7ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『知っている（計）』は18～29歳（37.1%）と60～69歳（38.6%）で4割近くと高くなっている。一方、『知らない（計）』は30～39歳（66.6%）で7割近くと高くなっている。

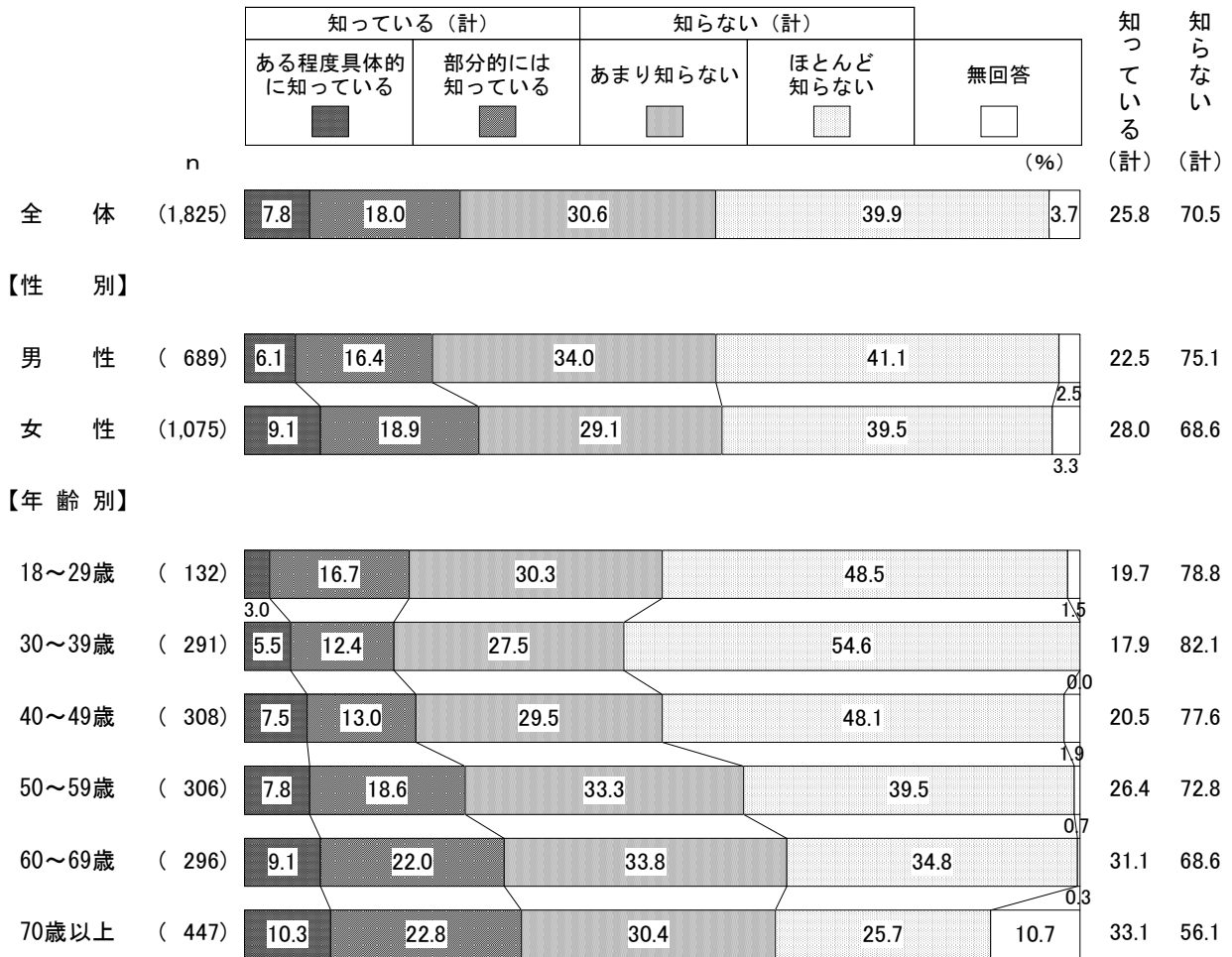


【性別、年齢別】

(4) 障害者虐待

性別で見ると、『知っている（計）』は女性（28.0%）が男性（22.5%）より5.5ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『知っている（計）』は60～69歳（31.1%）と70歳以上（33.1%）で3割を超えて高くなっている。一方、『知らない（計）』は30～39歳（82.1%）で8割を超えて高くなっている。

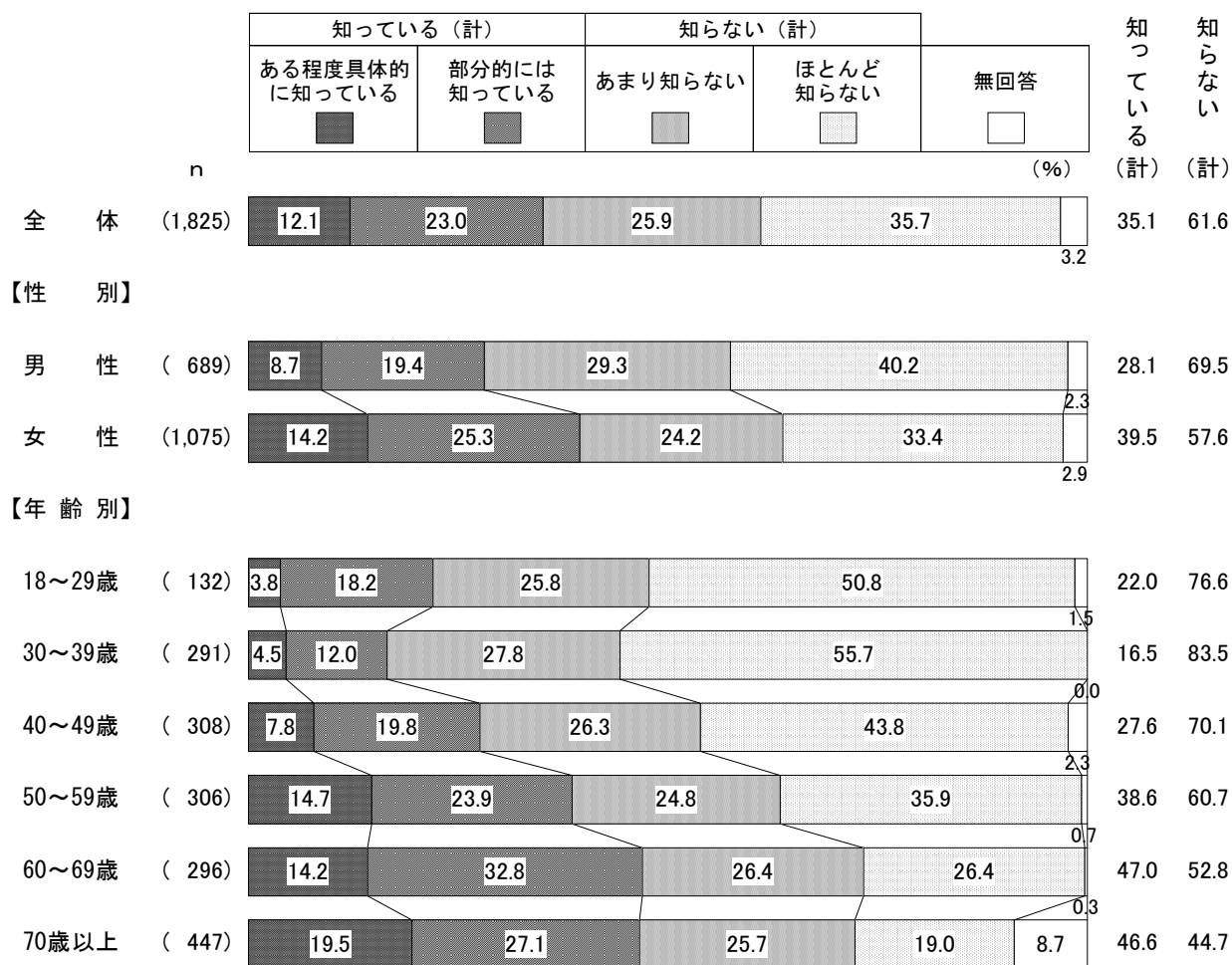


【性別、年齢別】

(5) 認知症の方について

性別で見ると、『知っている（計）』は女性（39.5%）が男性（28.1%）より11.4ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『知っている（計）』は60～69歳（47.0%）と70歳以上（46.6%）で5割近くと高くなっている。一方、『知らない（計）』は30～39歳（83.5%）で8割を超えて高くなっている。

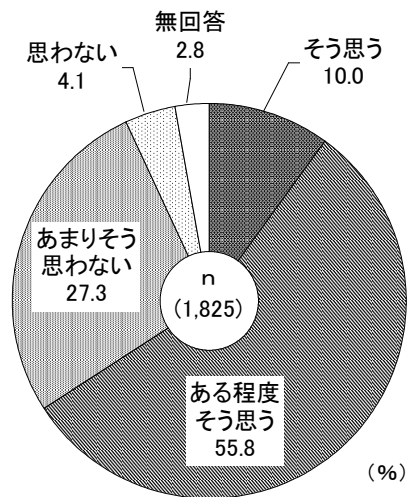


5. 高齢者にやさしいまちづくりについて

(1) 高齢者が暮らしやすいまちだと思うか

問24 豊島区は、高齢になっても住み慣れた地域でいつまでも住み続けられるよう、「高齢者にやさしいまちづくり」に取り組んでいきます。あなたは、豊島区は高齢者が暮らしやすいまちだと思いませんか。(1つに○)

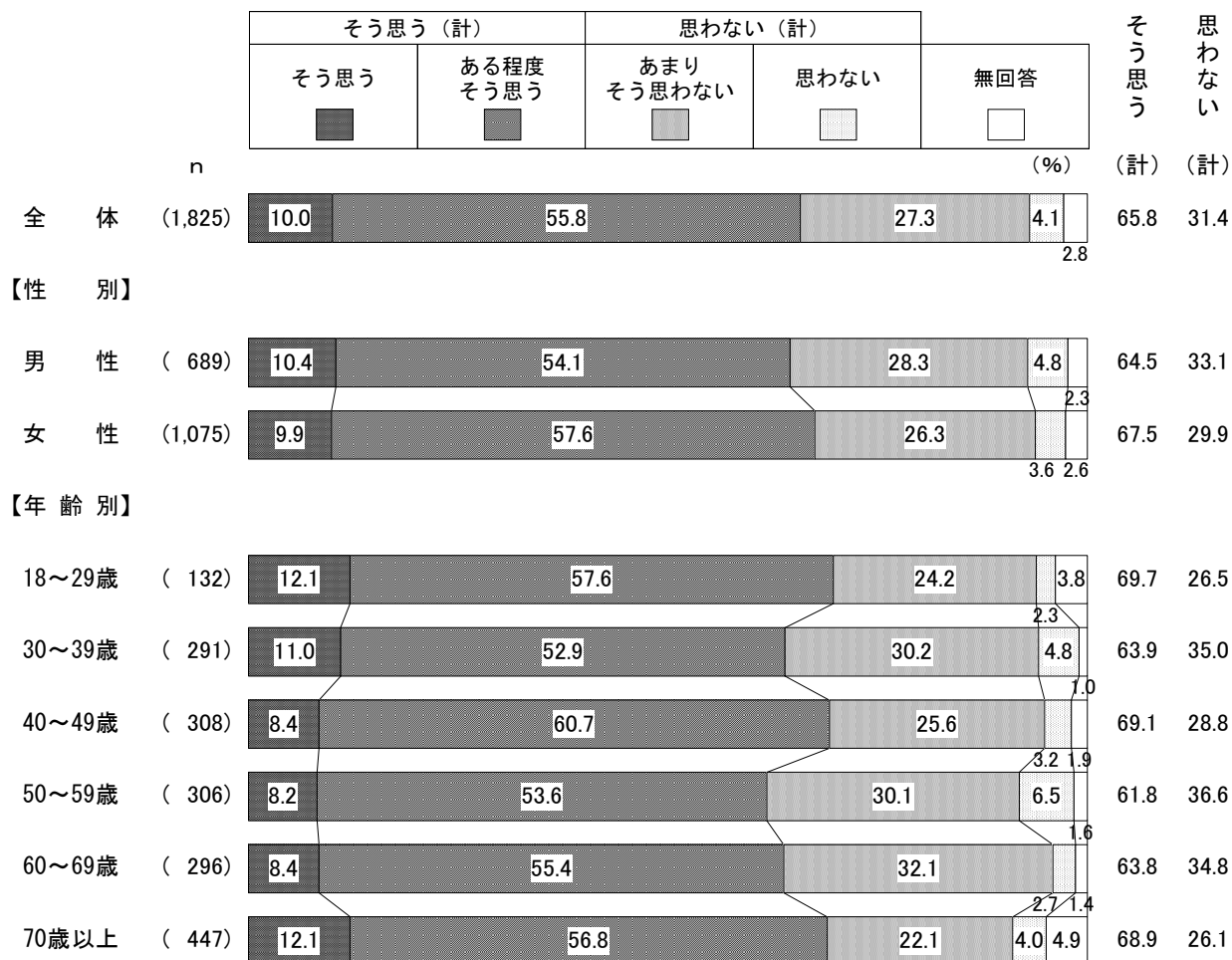
豊島区は高齢者が暮らしやすいまちだと思うか聞いたところ、「そう思う」(10.0%)と「ある程度そう思う」(55.8%)を合わせた『そう思う(計)』(65.8%)は6割半ばとなっている。一方、「あまりそう思わない」(27.3%)と「思わない」(4.1%)を合わせた『思わない(計)』(31.4%)は3割を超えている。



【性別、年齢別】

性別でみると、『そう思う（計）』は女性（67.5%）が男性（64.5%）より3.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は18～29歳（69.7%）と40～49歳（69.1%）で約7割と高くなっている。一方、『思わない（計）』は50～59歳（36.6%）で4割近くと高くなっている。

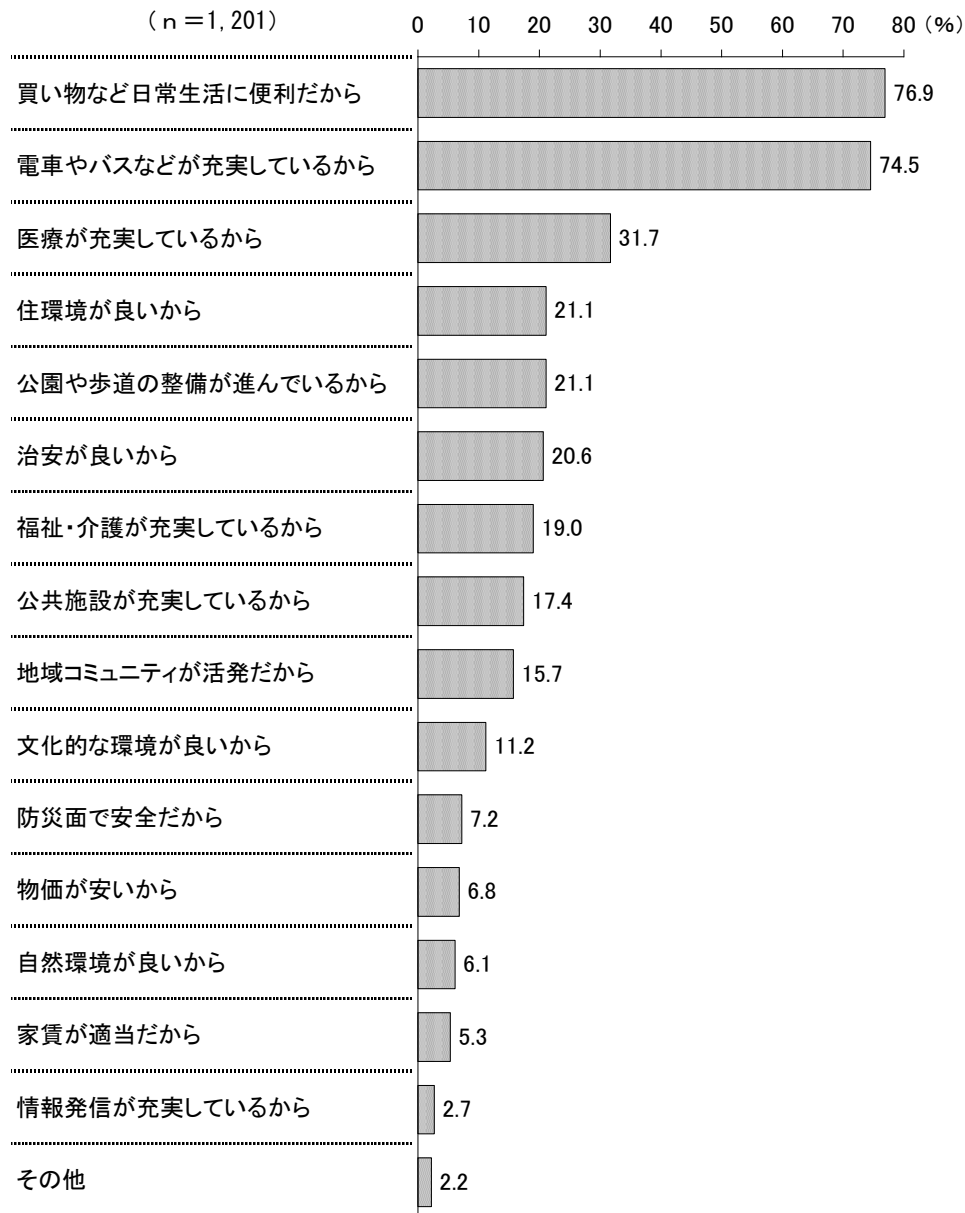


(2) 高齢者が暮らしやすいまちだと思える理由

《問24で、「そう思う」または「ある程度そう思う」とお答えの方におたずねします》

問24-1 高齢者が暮らしやすいまちだと思える理由は何ですか。(いくつでも○)

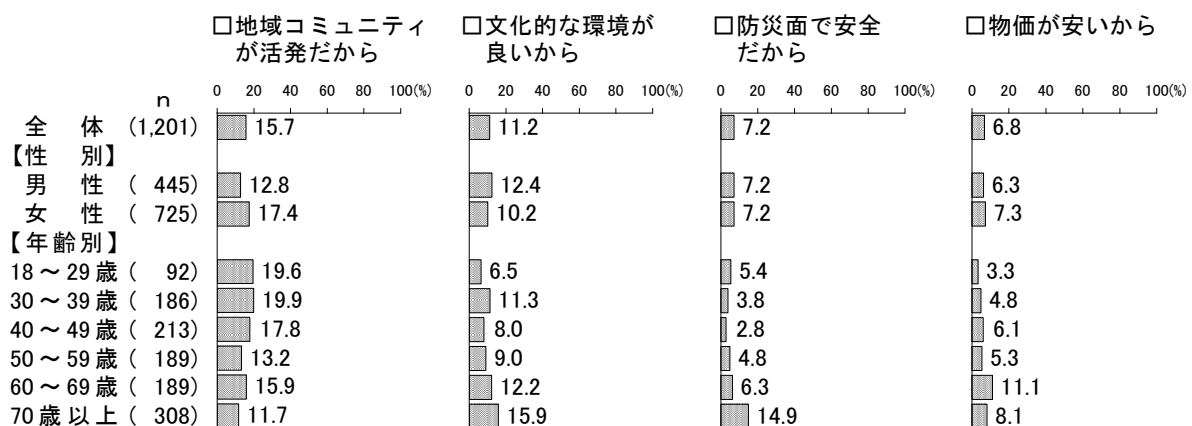
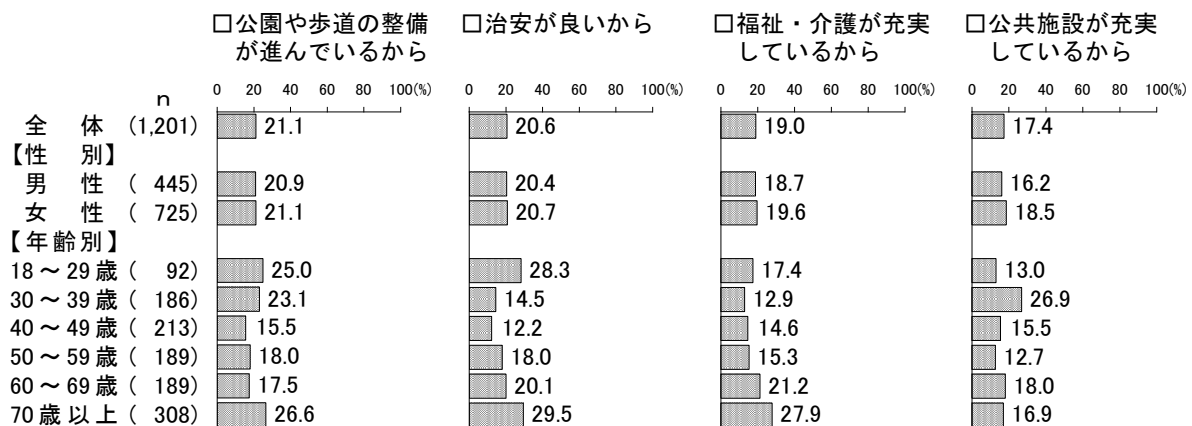
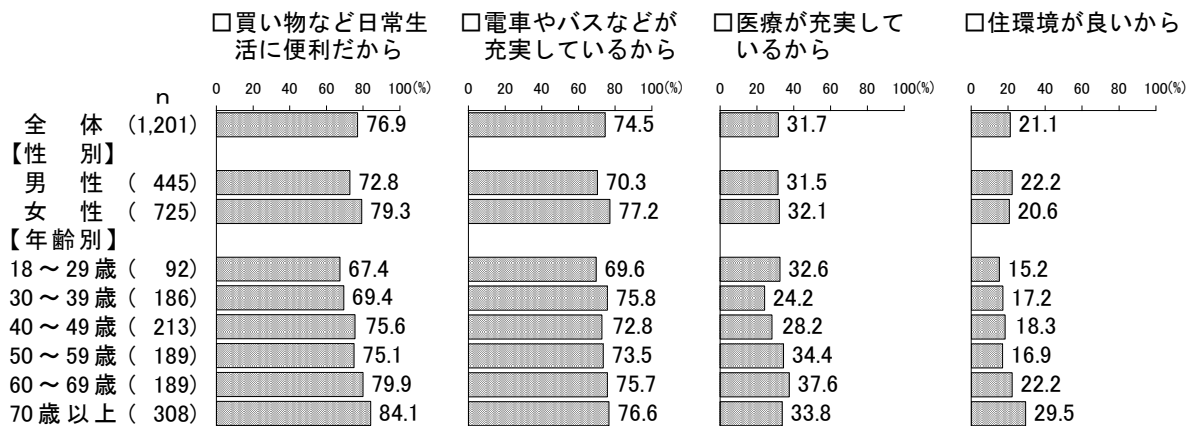
豊島区は高齢者が暮らしやすいまちだと思えるかどうかで、「そう思う」または「ある程度そう思う」と答えた方に、その理由を聞いたところ、「買い物など日常生活に便利だから」(76.9%)が8割近くで最も高く、次いで「電車やバスなどが充実しているから」(74.5%)、「医療が充実しているから」(31.7%)となっている。



【性別、年齢別】（上位12項目）

性別で見ると、「電車やバスなどが充実しているから」は女性（77.2%）が男性（70.3%）より6.9ポイント、「買い物など日常生活に便利だから」は女性（79.3%）が男性（72.8%）より6.5ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別で見ると、「買い物など日常生活に便利だから」は70歳以上（84.1%）で8割半ばと高くなっている。「医療が充実しているから」は60～69歳（37.6%）で4割近くと高くなっている。「住環境が良いから」は70歳以上（29.5%）で3割と高くなっている。

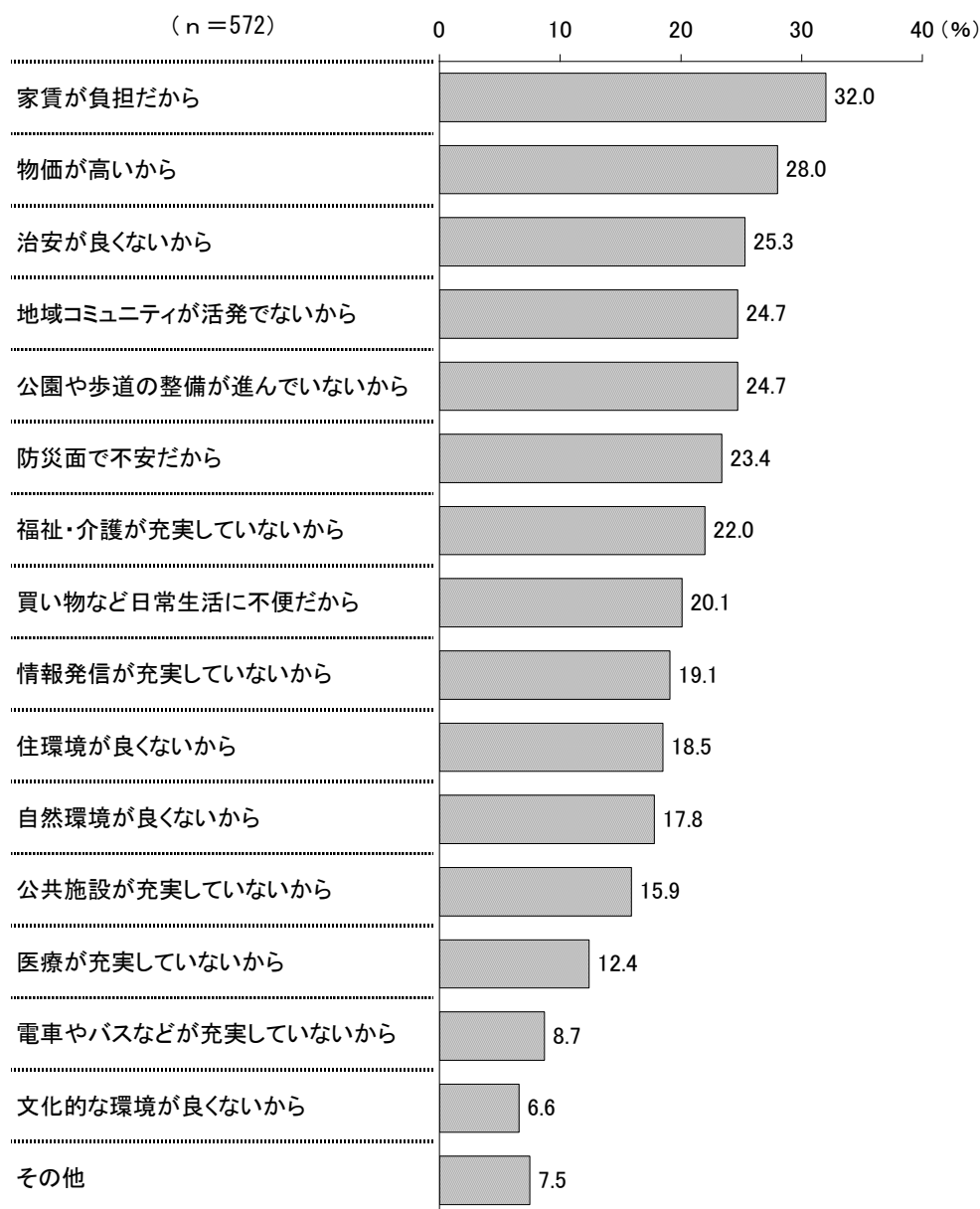


(3) 高齢者が暮らしやすいまちだと思わない理由

《問24で、「あまりそう思わない」または「思わない」とお答えの方におたずねします》

問24-2 高齢者が暮らしやすいまちだと思わない理由は何ですか。(いくつでも○)

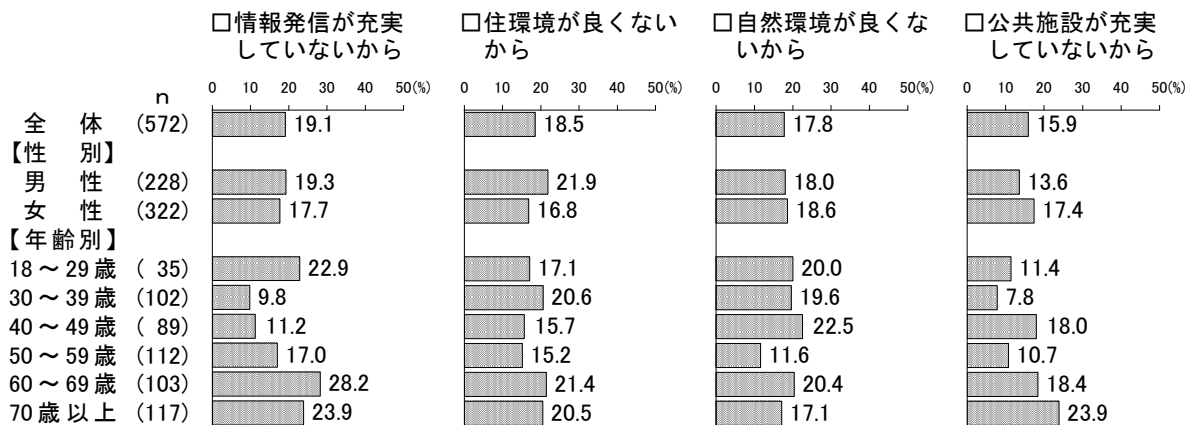
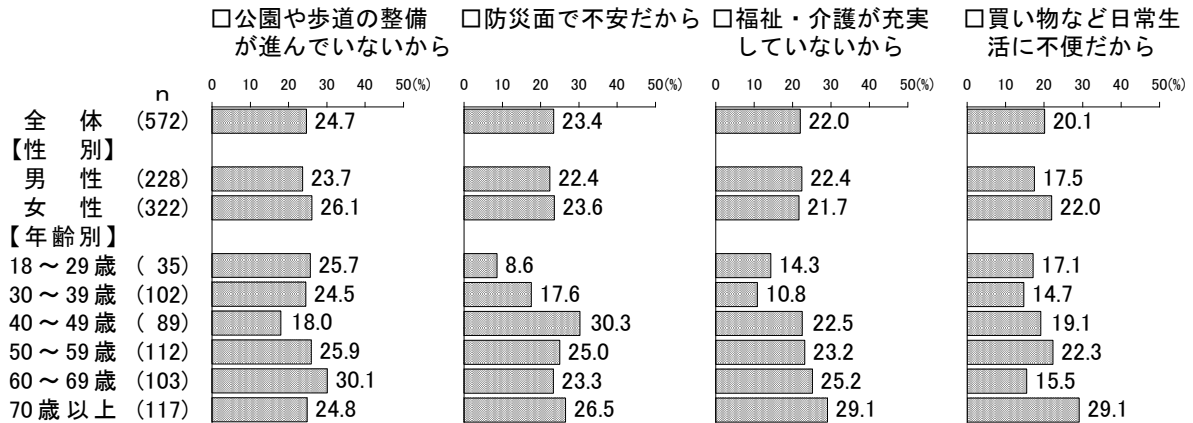
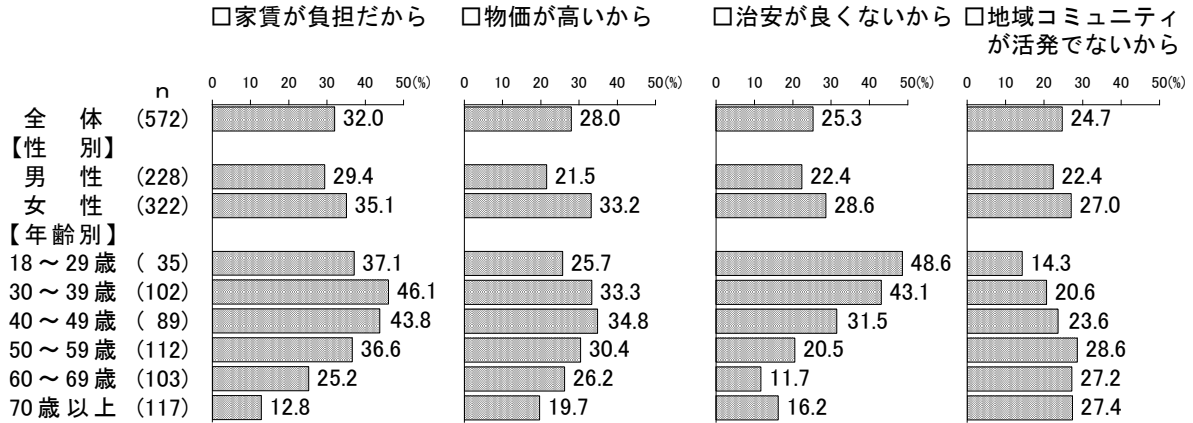
豊島区は高齢者が暮らしやすいまちだと思うかどうかで、「あまりそう思わない」または「思わない」と答えた方に、その理由を聞いたところ、「家賃が負担だから」(32.0%)が3割を超えて最も高く、次いで「物価が高いから」(28.0%)、「治安が良くないから」(25.3%)となっている。



【性別、年齢別】（上位12項目）

性別でみると、「物価が高いから」は女性（33.2%）が男性（21.5%）より11.7ポイント高くなっている。一方、「住環境が良くないから」は男性（21.9%）が女性（16.8%）より5.1ポイント高くなっている。

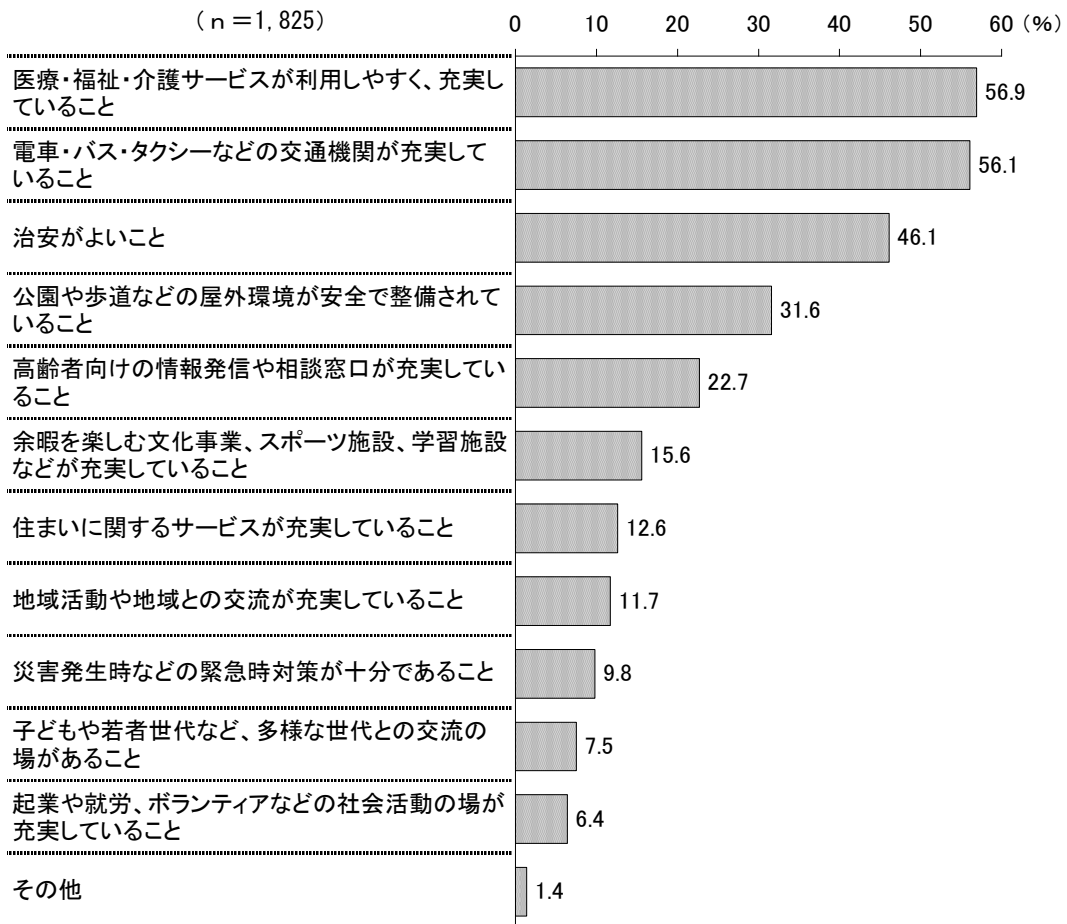
年齢別でみると、「家賃が負担だから」は30～39歳（46.1%）で4割半ばと高くなっている。「物価が高いから」は40～49歳（34.8%）で3割半ばと高くなっている。「治安が良くないから」は18～29歳（48.6%）で5割近くと高くなっている。



(4) 高齢になっても住み続けられるまちづくりに関して大切なこと

問25 高齢になっても住み続けられるまちづくりに関して、大切なことは何ですか。
(〇は3つまで)

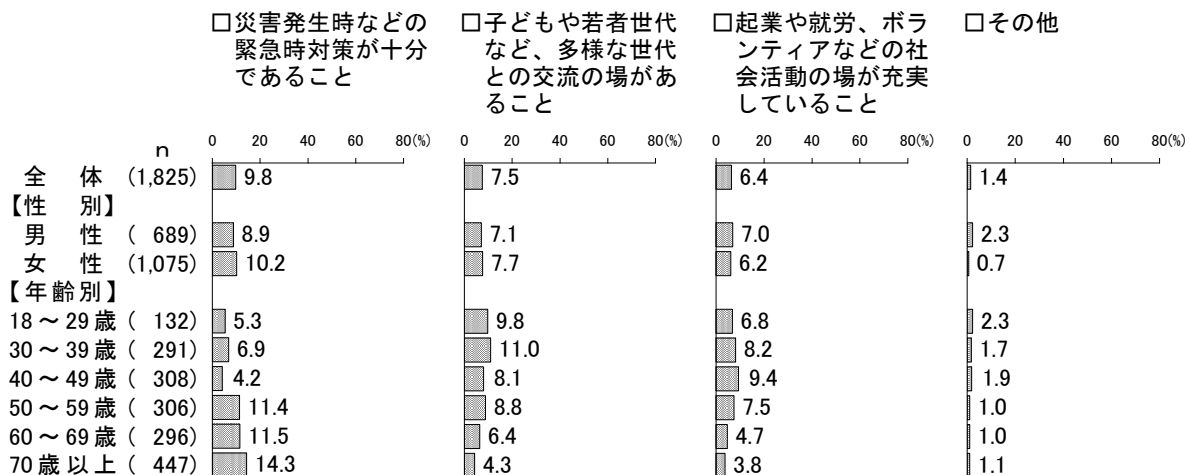
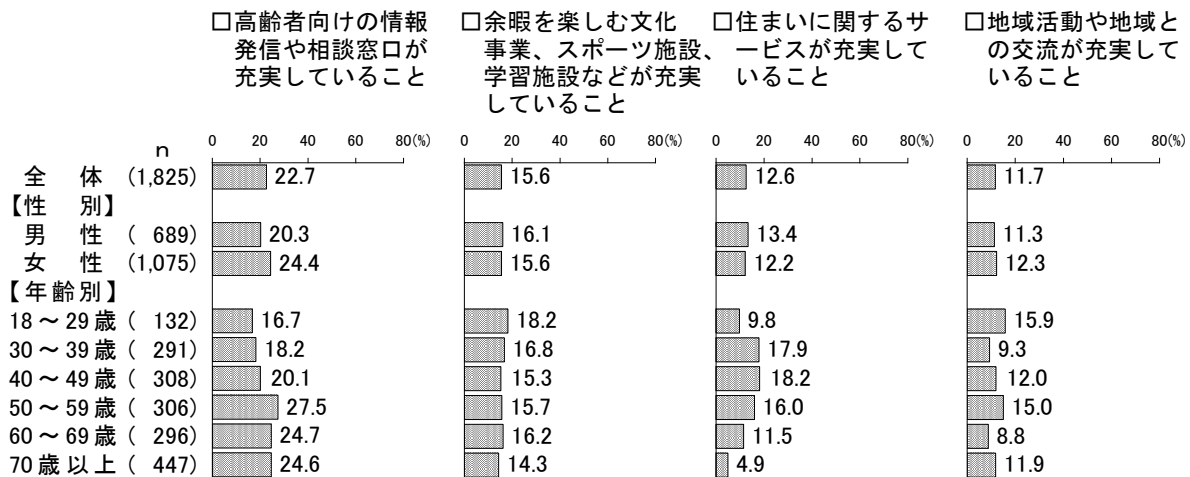
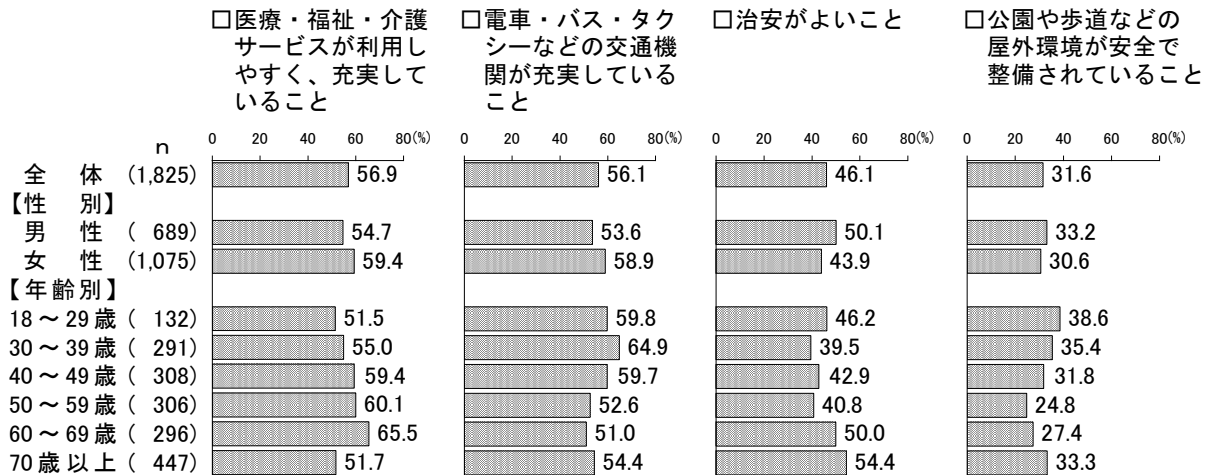
高齢になっても住み続けられるまちづくりに関して、大切なことを聞いたところ、「医療・福祉・介護サービスが利用しやすく、充実していること」(56.9%)が6割近くで最も高く、次いで「電車・バス・タクシーなどの交通機関が充実していること」(56.1%)、「治安がよいこと」(46.1%)、「公園や歩道などの屋外環境が安全で整備されていること」(31.6%)となっている。



【性別、年齢別】

性別で見ると、「治安がよいこと」は男性（50.1%）が女性（43.9%）より6.2ポイント高くなっている。一方、「電車・バス・タクシーなどの交通機関が充実していること」は女性（58.9%）が男性（53.6%）より5.3ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「医療・福祉・介護サービスが利用しやすく、充実していること」は60～69歳（65.5%）で6割半ばと高くなっている。「電車・バス・タクシーなどの交通機関が充実していること」は30～39歳（64.9%）で6割半ばと高くなっている。「治安がよいこと」は70歳以上（54.4%）で5割半ばと高くなっている。

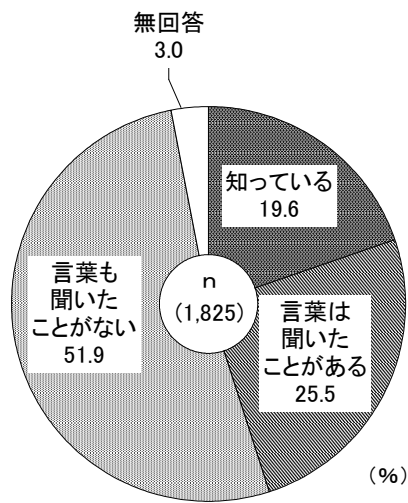


6. 東アジア文化都市について

(1) 豊島区が2019年「東アジア文化都市」を実施していることの認知度

問26 豊島区は、日中韓3か国による文化交流事業「東アジア文化都市」の2019年国内都市に決定し、現在様々な事業を展開しております。あなたは、区が2019年「東アジア文化都市」を実施していることを知っていますか。(1つに○)

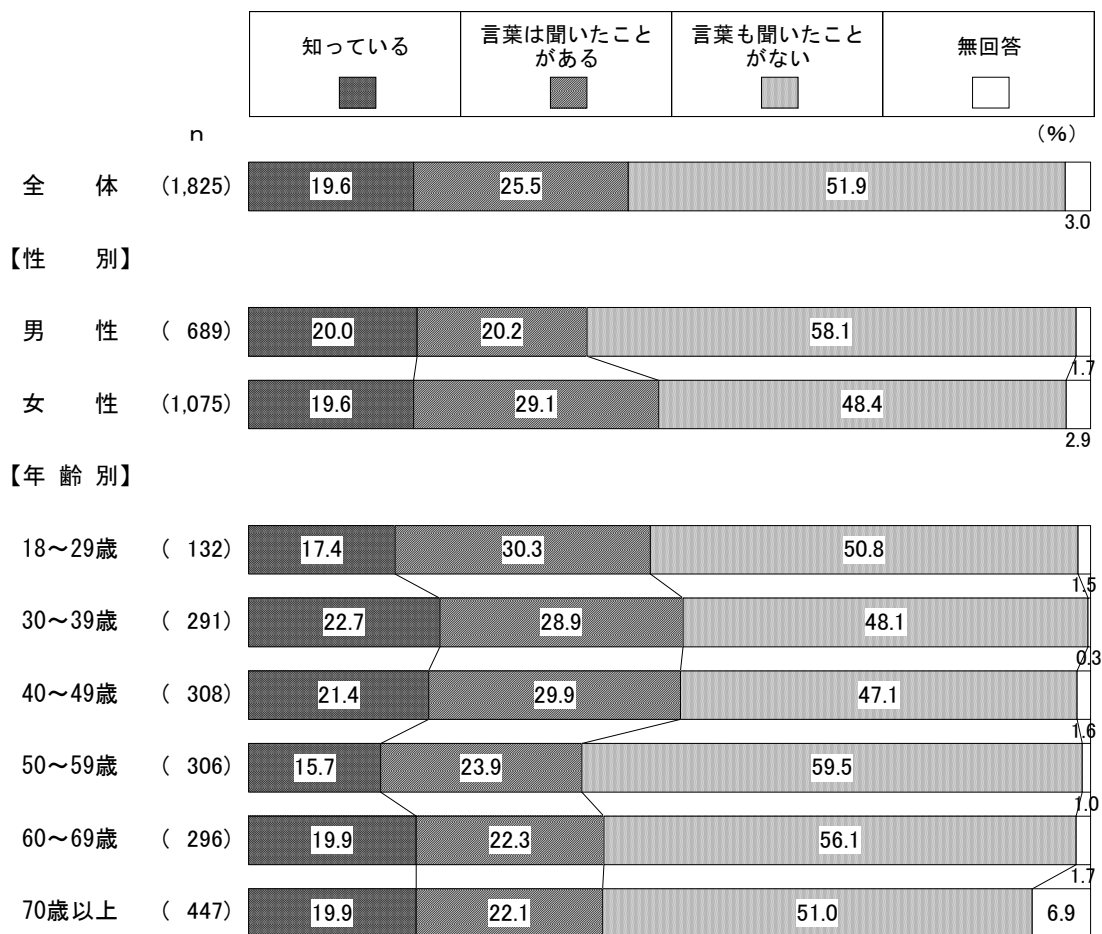
豊島区が2019年「東アジア文化都市」を実施していることを知っているか聞いたところ、「知っている」(19.6%)が2割、「言葉は聞いたことがある」(25.5%)は2割半ばとなっている。一方、「言葉も聞いたことがない」(51.9%)は5割を超えている。



【性別、年齢別】

性別で見ると、「言葉も聞いたことがない」は男性（58.1%）が女性（48.4%）より9.7ポイント高くなっている。一方、「言葉は聞いたことがある」は女性（29.1%）が男性（20.2%）より8.9ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「知っている」は30～39歳（22.7%）と40～49歳（21.4%）で2割を超えて高くなっている。「言葉は聞いたことがある」は18～29歳（30.3%）と40～49歳（29.9%）で3割と高くなっている。「言葉も聞いたことがない」は50～59歳（59.5%）で6割と高くなっている。

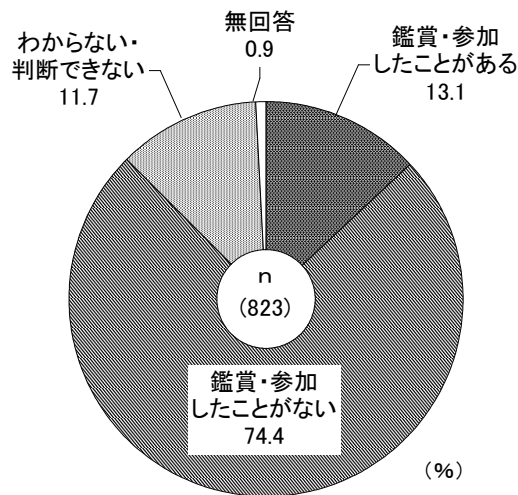


(2) 「東アジア文化都市」事業への鑑賞・参加状況

《問26で、「知っている」または「言葉は聞いたことがある」とお答えの方におたずねします》

問26-1 あなたは、2019年「東アジア文化都市」として実施された何らかの事業について、これまで鑑賞・参加されたことがありますか。(1つに○)

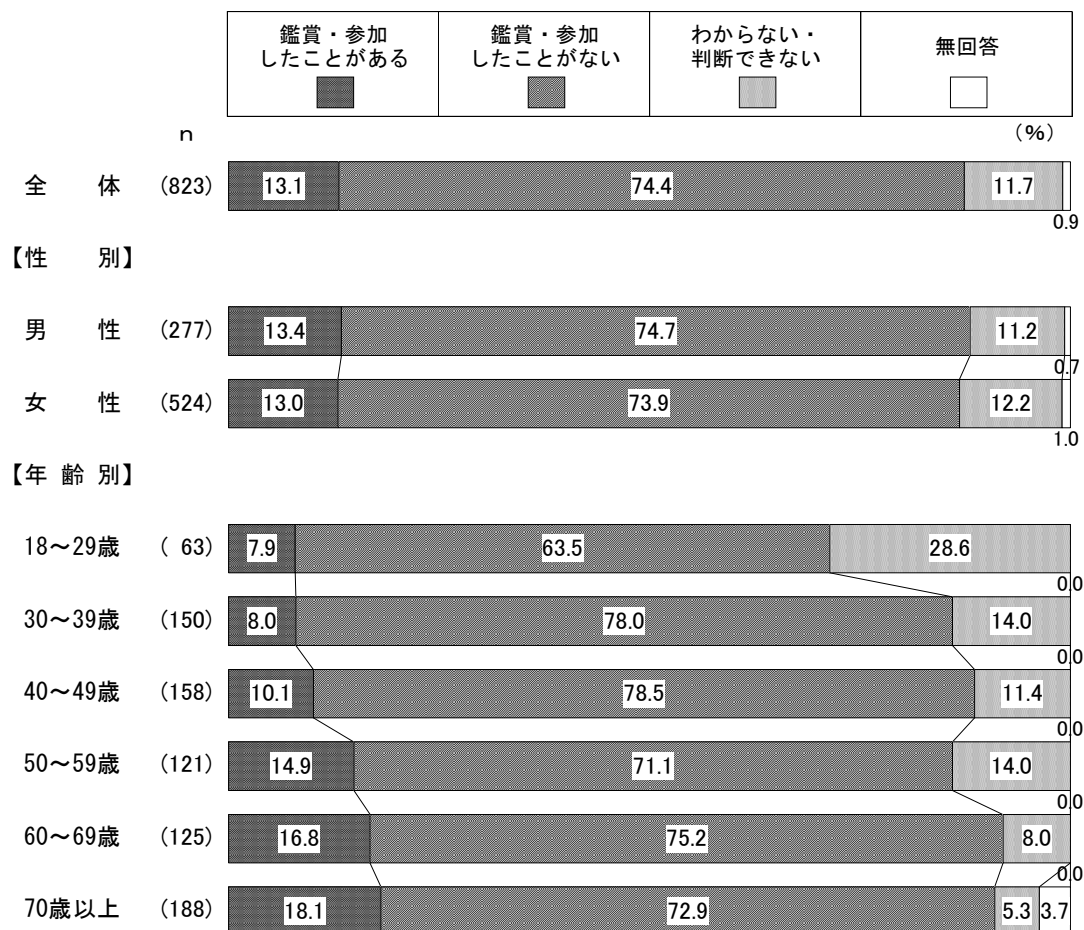
豊島区が2019年「東アジア文化都市」を実施していることを知っているかどうかで、「知っている」または「言葉は聞いたことがある」と答えた方に、何らかの事業について、これまで鑑賞・参加されたことがあるか聞いたところ、「鑑賞・参加したことがある」(13.1%)が1割を超えている。一方、「鑑賞・参加したことがない」(74.4%)は7割半ばとなっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

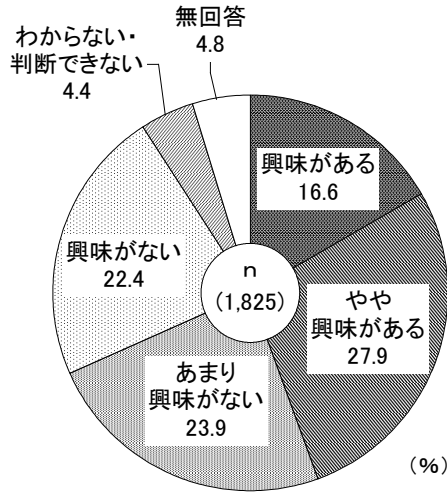
年齢別でみると、「鑑賞・参加したことがある」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、60～69歳（16.8%）と70歳以上（18.1%）で2割近くとなっている。一方、「鑑賞・参加したことがない」は30～39歳（78.0%）と40～49歳（78.5%）で8割近くとなっている。



(3) 中国、韓国への文化への興味関心

問27 あなたは、中国、韓国の文化に興味関心がありますか。(1つに○)

中国、韓国への文化に興味関心があるか聞いたところ、「興味がある」(16.6%)と「やや興味がある」(27.9%)を合わせた『興味がある(計)』(44.5%)は4割半ばとなっている。一方、「あまり興味がない」(23.9%)と「興味がない」(22.4%)を合わせた『興味がない(計)』(46.3%)は4割半ばとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『興味がない(計)』は平成30年度より4.0ポイント増加している。

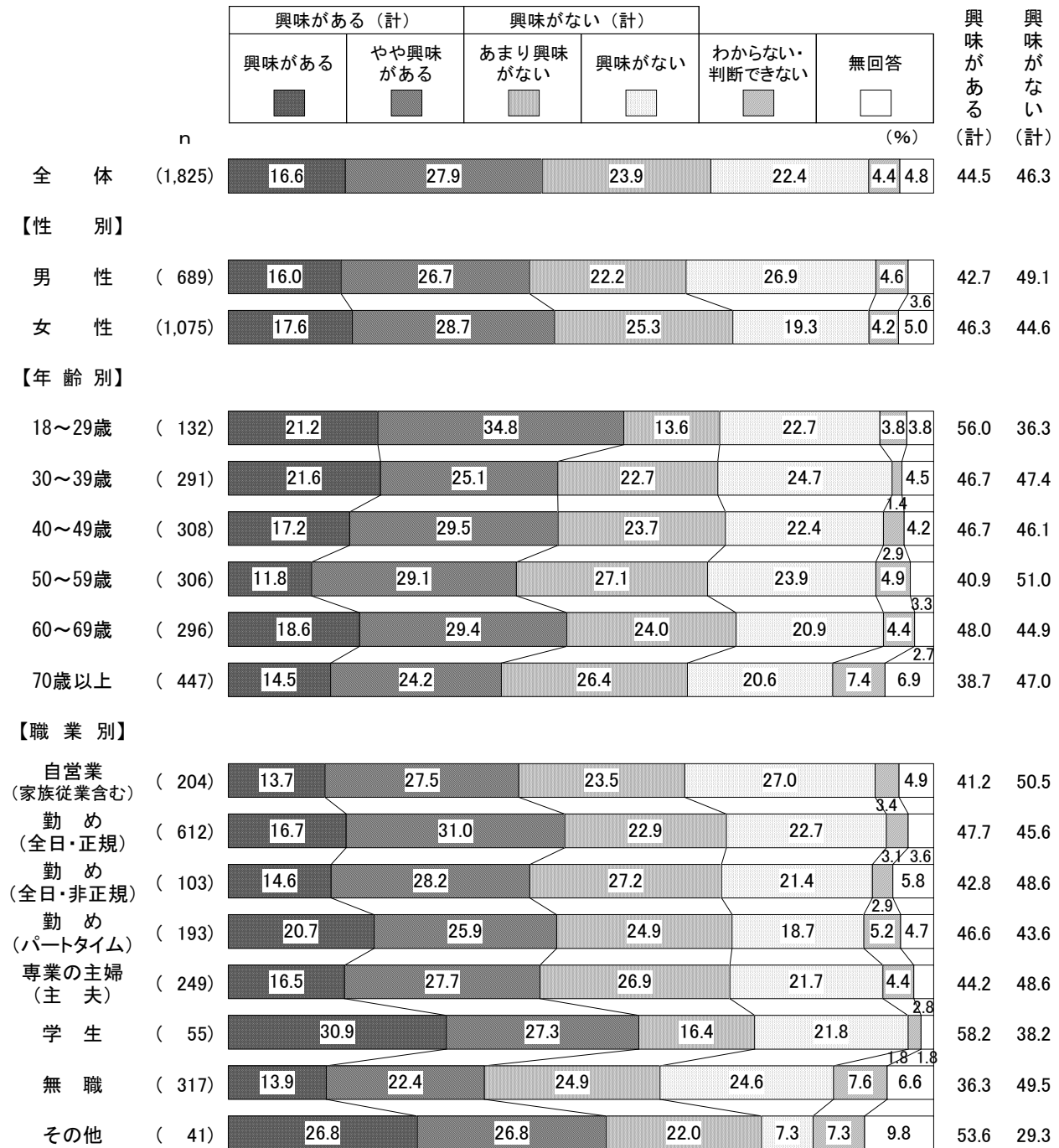
n	興味がある(計)		興味がない(計)		わからない・判断できない (%)	無回答 (%)	興味がある(計) (%)	興味がない(計) (%)
	興味がある	やや興味がある	あまり興味がない	興味がない				
令和元年度 (1,825)	16.6	27.9	23.9	22.4	4.4	4.8	44.5	46.3
平成30年度 (1,841)	17.8	29.6	23.1	19.2	8.3	2.0	47.4	42.3

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、『興味がある（計）』は女性（46.3%）が男性（42.7%）より3.6ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『興味がある（計）』は18～29歳（56.0%）で5割半ばと高くなっている。一方、『興味がない（計）』は50～59歳（51.0%）で5割を超えて高くなっている。

職業別でみると、『興味がある（計）』は学生（58.2%）で6割近くと高くなっている。一方、『興味がない（計）』は自営業（家族従業員含む）（50.5%）と無職（49.5%）で約5割と高くなっている。



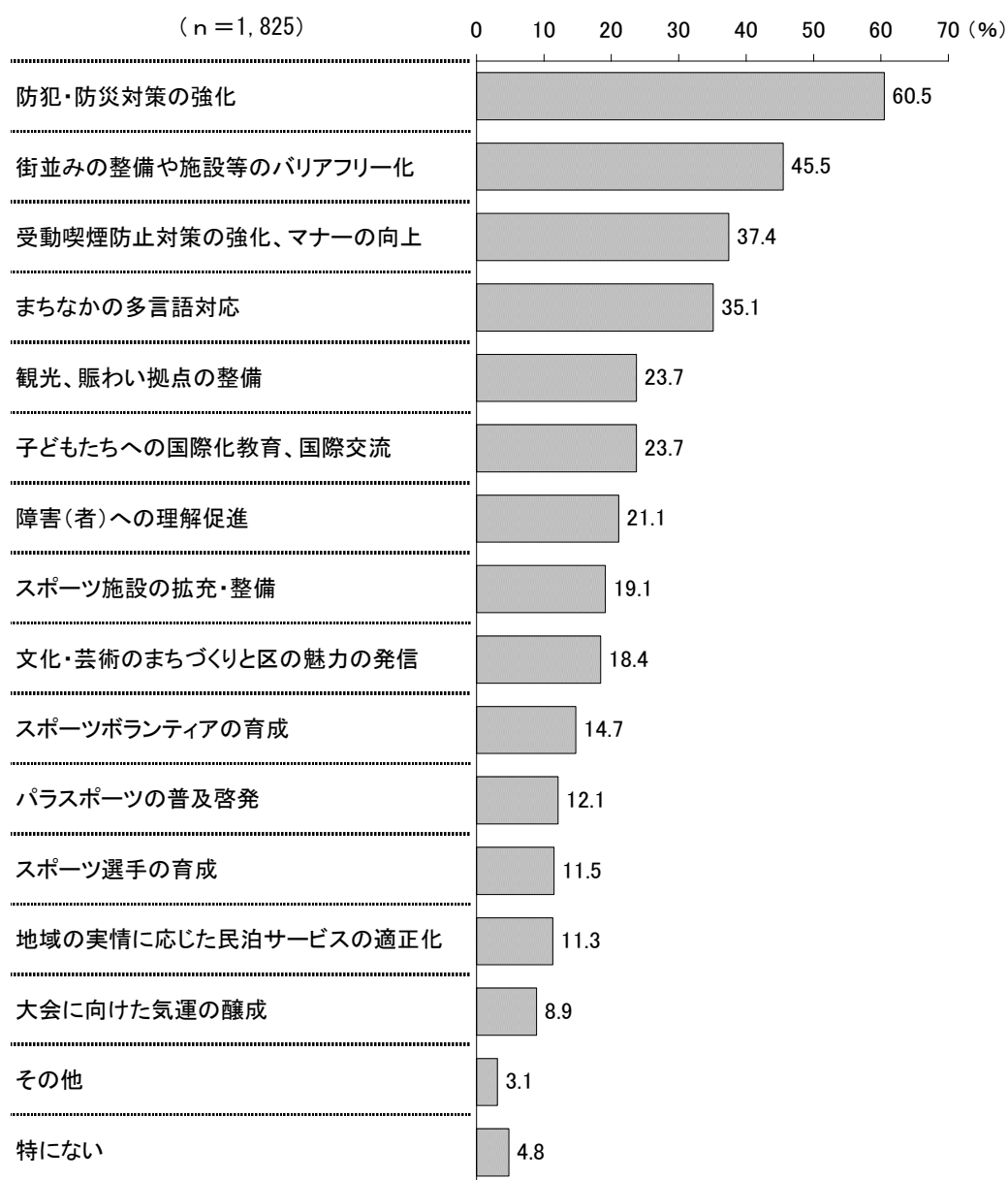
7. 東京 2020 オリンピック・パラリンピックについて

(1) 東京 2020 大会へ向けて区が力を入れるべきこと

問28 あなたは、東京2020大会へ向けて、区は何に力を入れるべきと考えますか。

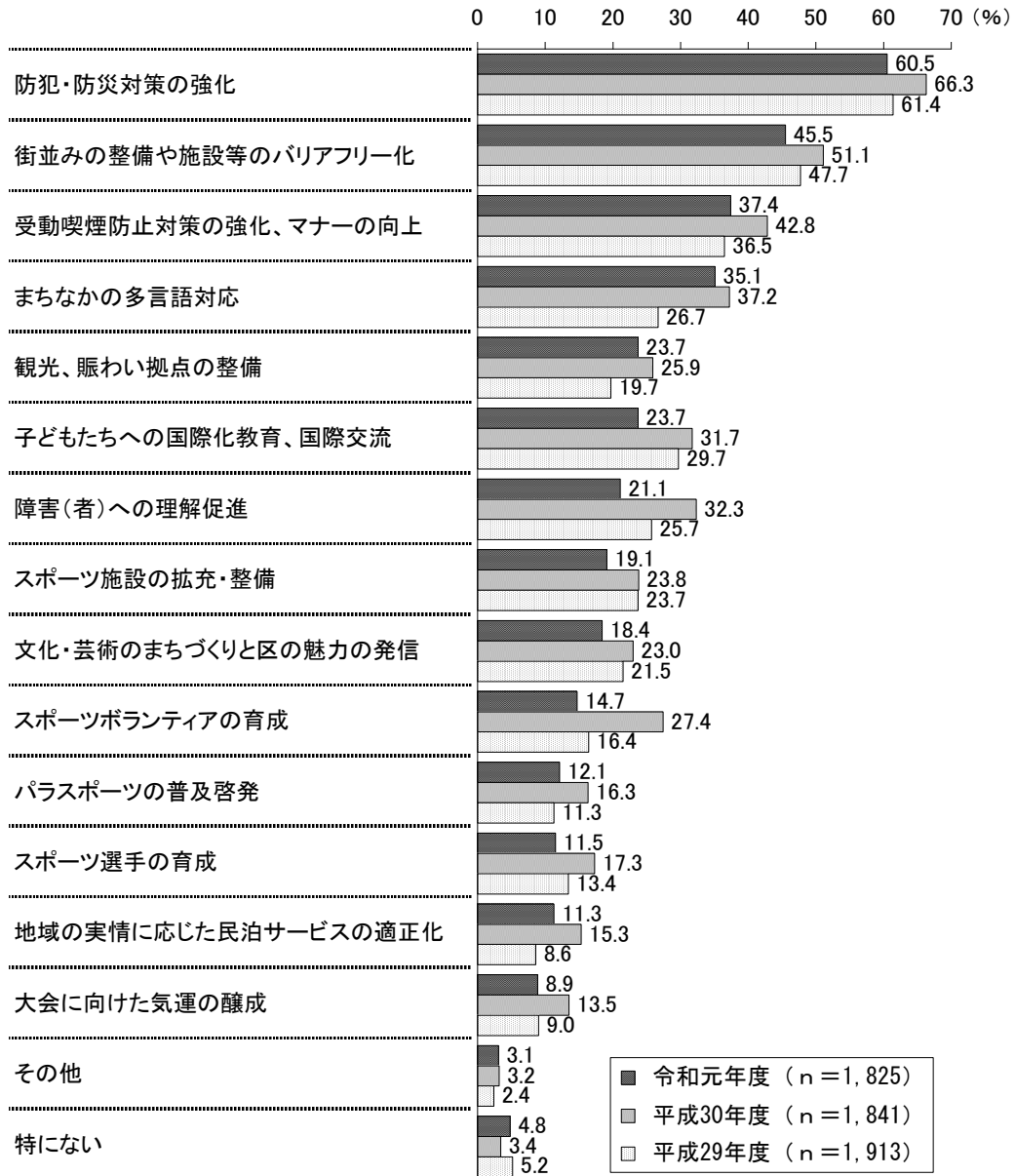
(いくつでも○)

東京2020大会へ向けて、区は何に力を入れるべきか聞いたところ、「防犯・防災対策の強化」(60.5%)が約6割で最も高く、次いで「街並みの整備や施設等のバリアフリー化」(45.5%)、「受動喫煙防止対策の強化、マナーの向上」(37.4%)、「まちなかの多言語対応」(35.1%)となっている。



【経年比較】

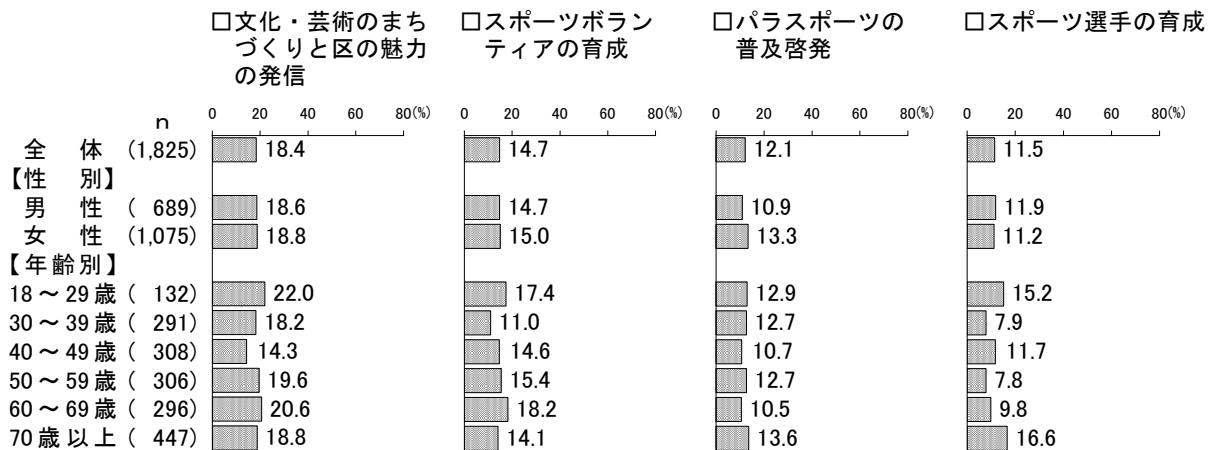
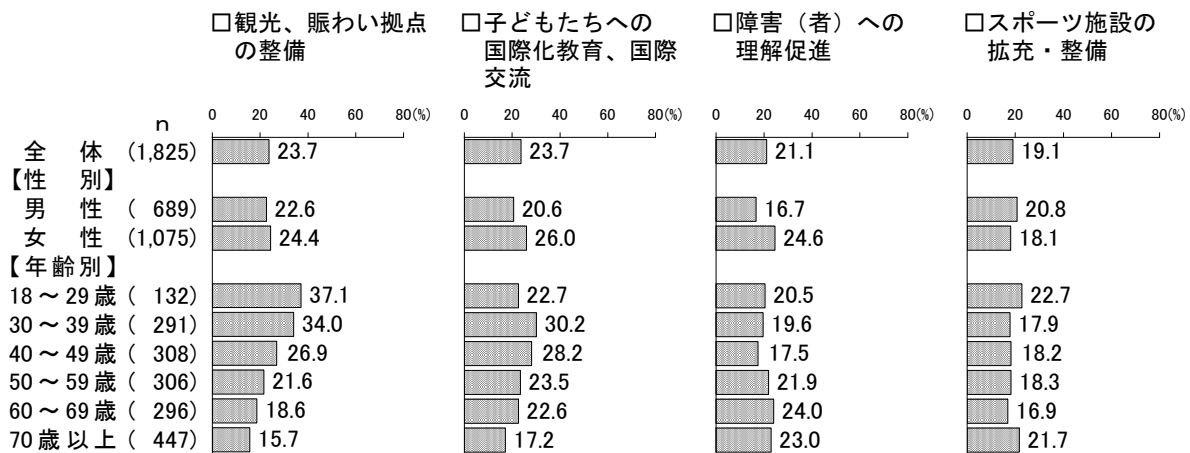
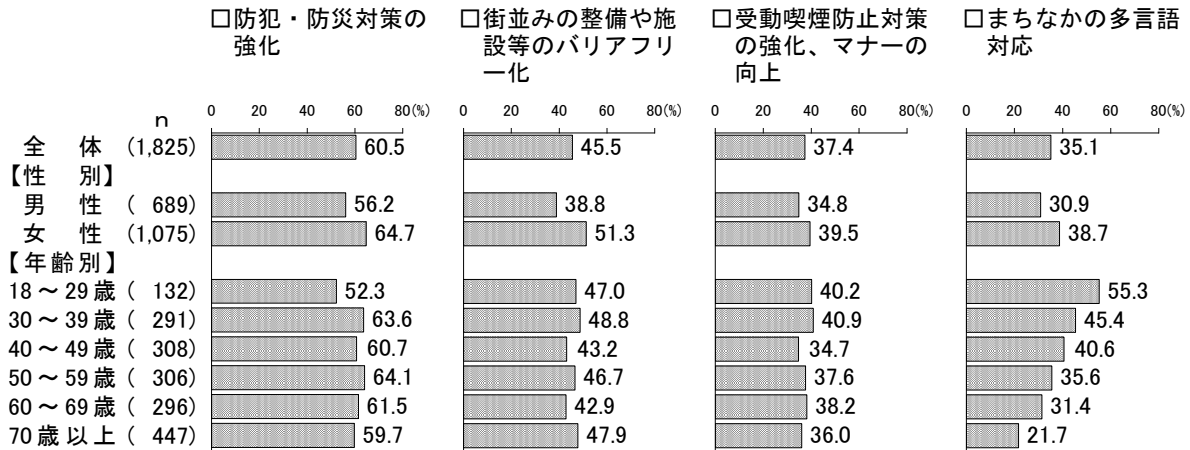
過去の調査結果と比較すると、「スポーツボランティアの育成」は平成30年度より12.7ポイント、「障害（者）への理解促進」は平成30年度より11.2ポイント、「子どもたちへの国際化教育、国際交流」は平成30年度より8.0ポイント、それぞれ減少している。



【性別、年齢別】（上位12項目）

性別でみると、「街並みの整備や施設等のバリアフリー化」は女性（51.3%）が男性（38.8%）より12.5ポイント、「防犯・防災対策の強化」は女性（64.7%）が男性（56.2%）より8.5ポイント、それぞれ高くなっている。

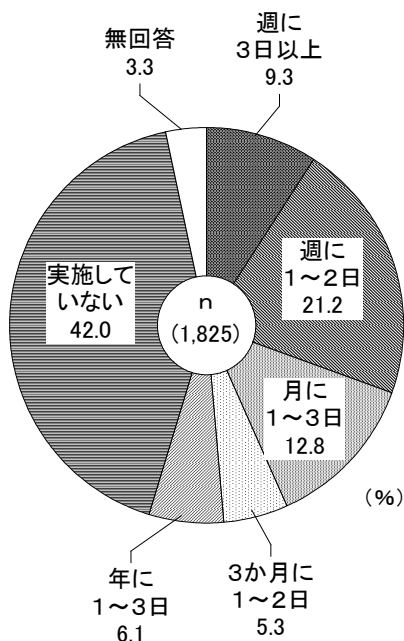
年齢別でみると、「防犯・防災対策の強化」は50～59歳（64.1%）で6割半ばと高くなっている。「まちなかの多言語対応」は年齢が低くなるにつれて割合が高く、18～29歳（55.3%）で5割半ばと高くなっている。



(2) スポーツの実施頻度

問29 あなた自身は、どの程度スポーツを実施していますか。(1つに○)

スポーツの実施頻度を聞いたところ、「週に3日以上」(9.3%)、「週に1～2日」(21.2%)、「月に1～3日」(12.8%)を合わせた『月1日以上実施している(計)』(43.3%)は4割を超えている。「3か月に1～2日」(5.3%)と「年に1～3日」(6.1%)はともに1割未満となっている。一方、「実施していない」(42.0%)は4割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成30年度と比べて大きな違いはみられない。

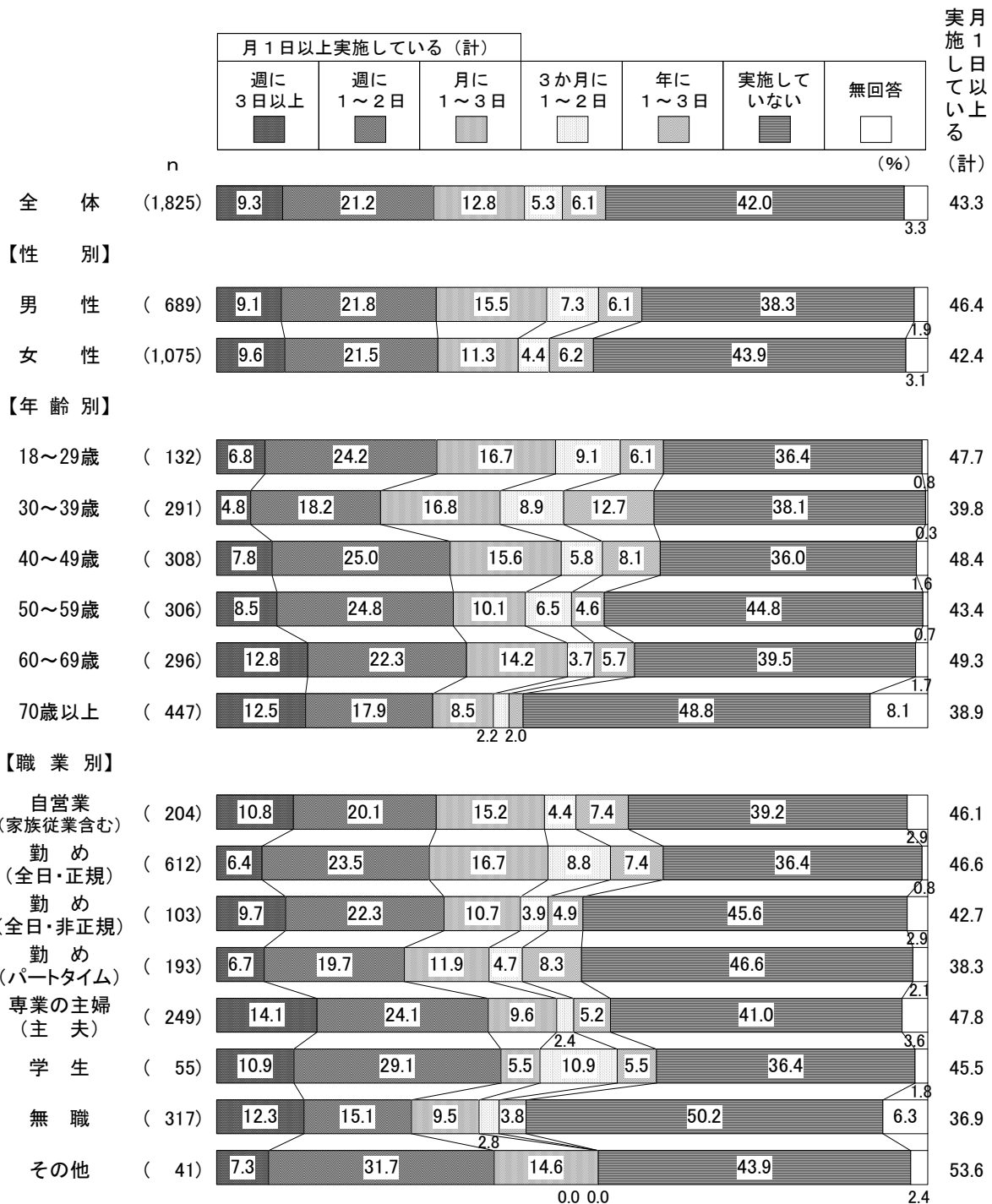
n	月1日以上実施している(計)							実月 施1 し日 で以 上 る (計)
	週に 3日以上	週に 1～2日	月に 1～3日	3か月に 1～2日	年に 1～3日	実施して いない	無回答	
令和元年度 (1,825)	9.3	21.2	12.8	5.3	6.1	42.0	3.3	43.3
平成30年度 (1,841)	9.4	22.1	11.9	5.8	6.0	41.7	3.3	43.4

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、『月1日以上実施している（計）』は男性（46.4%）が女性（42.4%）より4.0ポイント高くなっている。一方、「実施していない」は女性（43.9%）が男性（38.3%）より5.6ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『月1日以上実施している（計）』は60～69歳（49.3%）で約5割と高くなっている。一方、「実施していない」は70歳以上（48.8%）で5割近くと高くなっている。

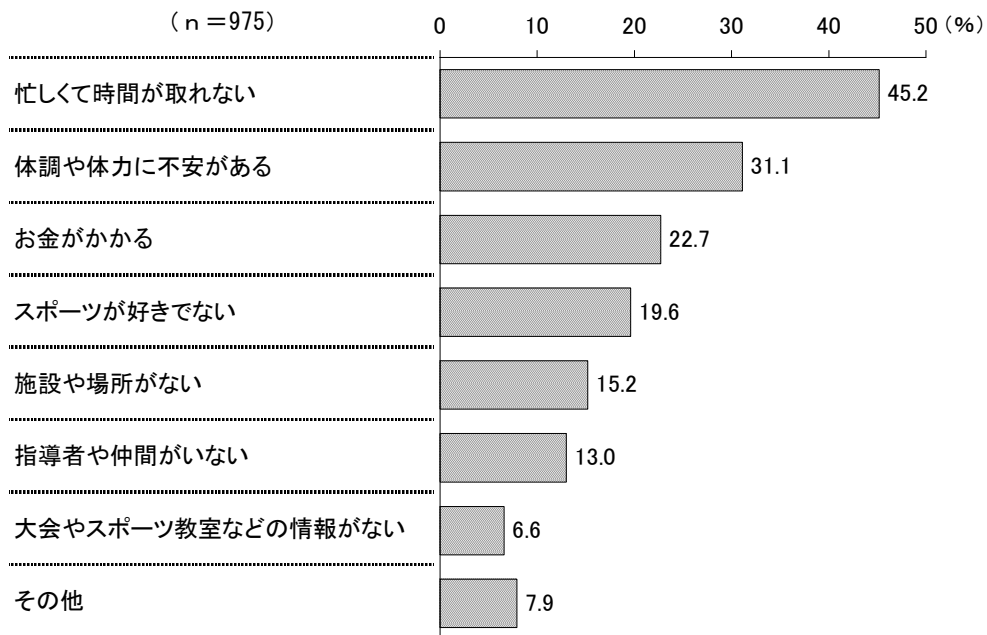
職業別でみると、『月1日以上実施している（計）』は専業主婦（主夫）（47.8%）と勤め（全日・正規）（46.6%）で5割近くと高くなっている。一方、「実施していない」は無職（50.2%）で5割と高くなっている。



(3) スポーツをしない理由

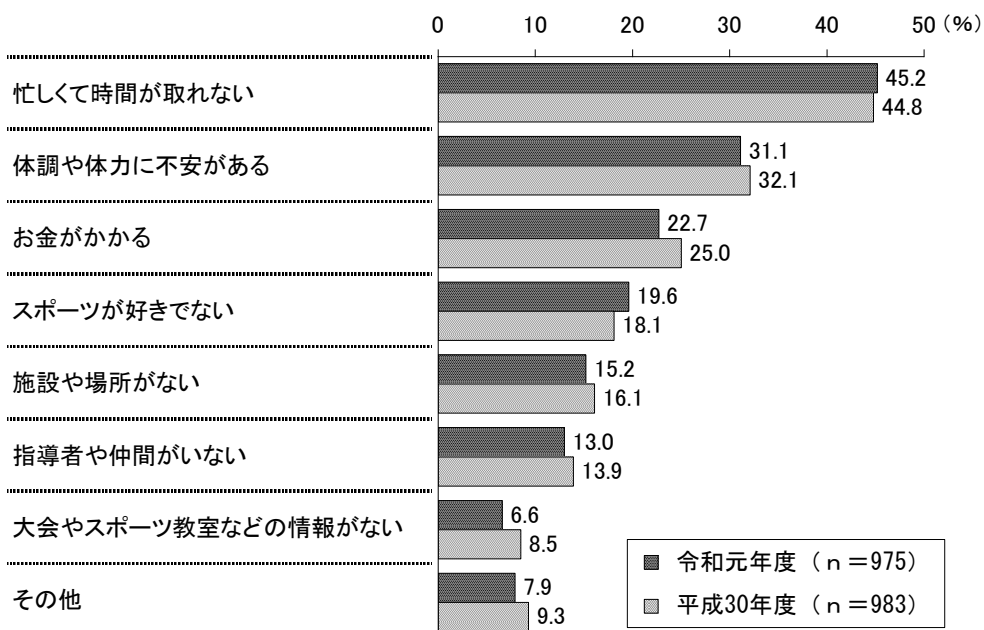
《問29で、「3か月に1～2日」「年に1～3日」「実施していない」とお答えの方におたずねします》
 問29-1 あまりスポーツを実施しない理由は何ですか。(いくつでも○)

スポーツの実施頻度で、「3か月に1～2日」「年に1～3日」「実施していない」と答えた方に、あまりスポーツを実施しない理由を聞いたところ、「忙しくて時間が取れない」(45.2%)が4割半ばで最も高く、次いで「体調や体力に不安がある」(31.1%)、「お金がかかる」(22.7%)、「スポーツが好きでない」(19.6%)となっている。



【経年比較】

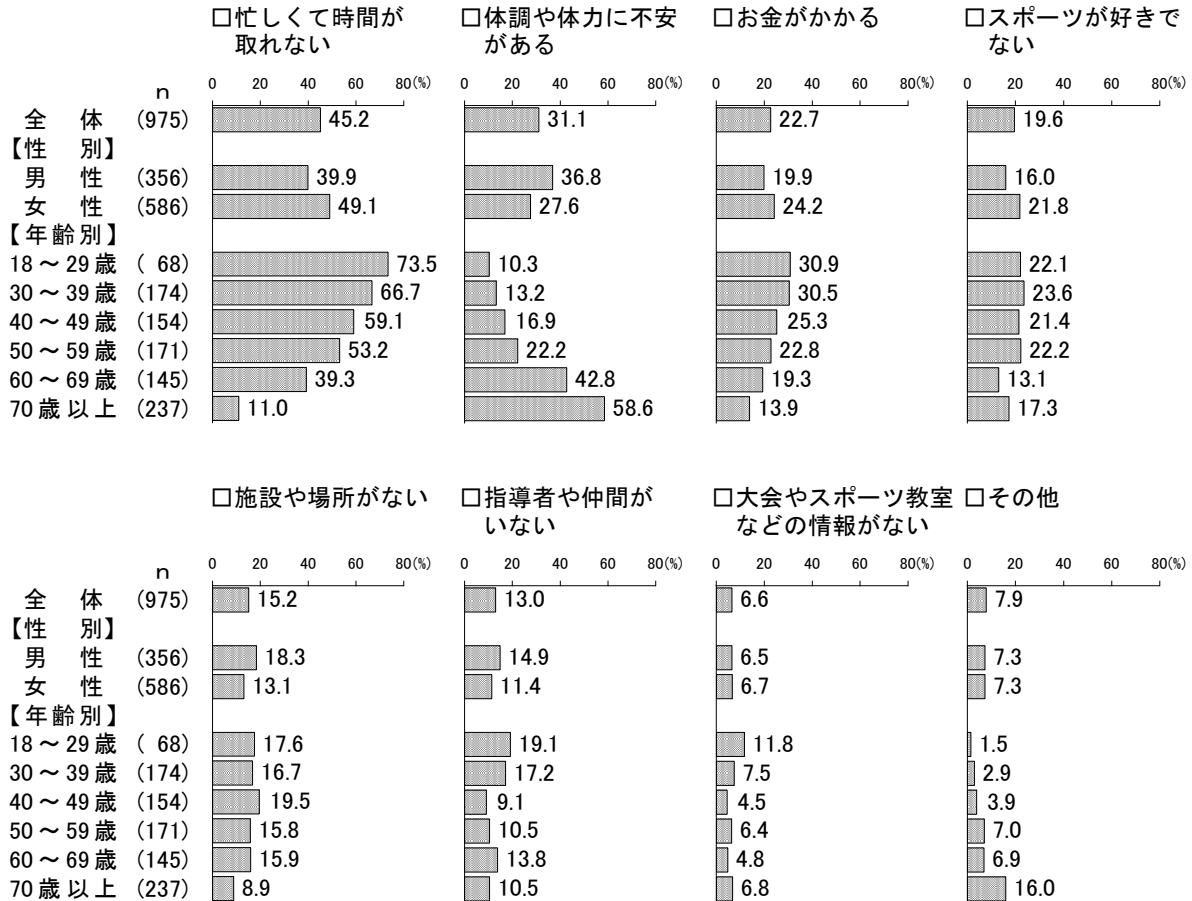
過去の調査結果と比較すると、平成30年度と比べて大きな違いはみられない。



【性別、年齢別】

性別で見ると、「忙しくて時間が取れない」は女性（49.1%）が男性（39.9%）より9.2ポイント高くなっている。一方、「体調や体力に不安がある」は男性（36.8%）が女性（27.6%）より9.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「忙しくて時間が取れない」は年齢が低くなるにつれて割合が高く、18～29歳（73.5%）で7割を超えて高くなっている。「体調や体力に不安がある」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（58.6%）で6割近くと高くなっている。

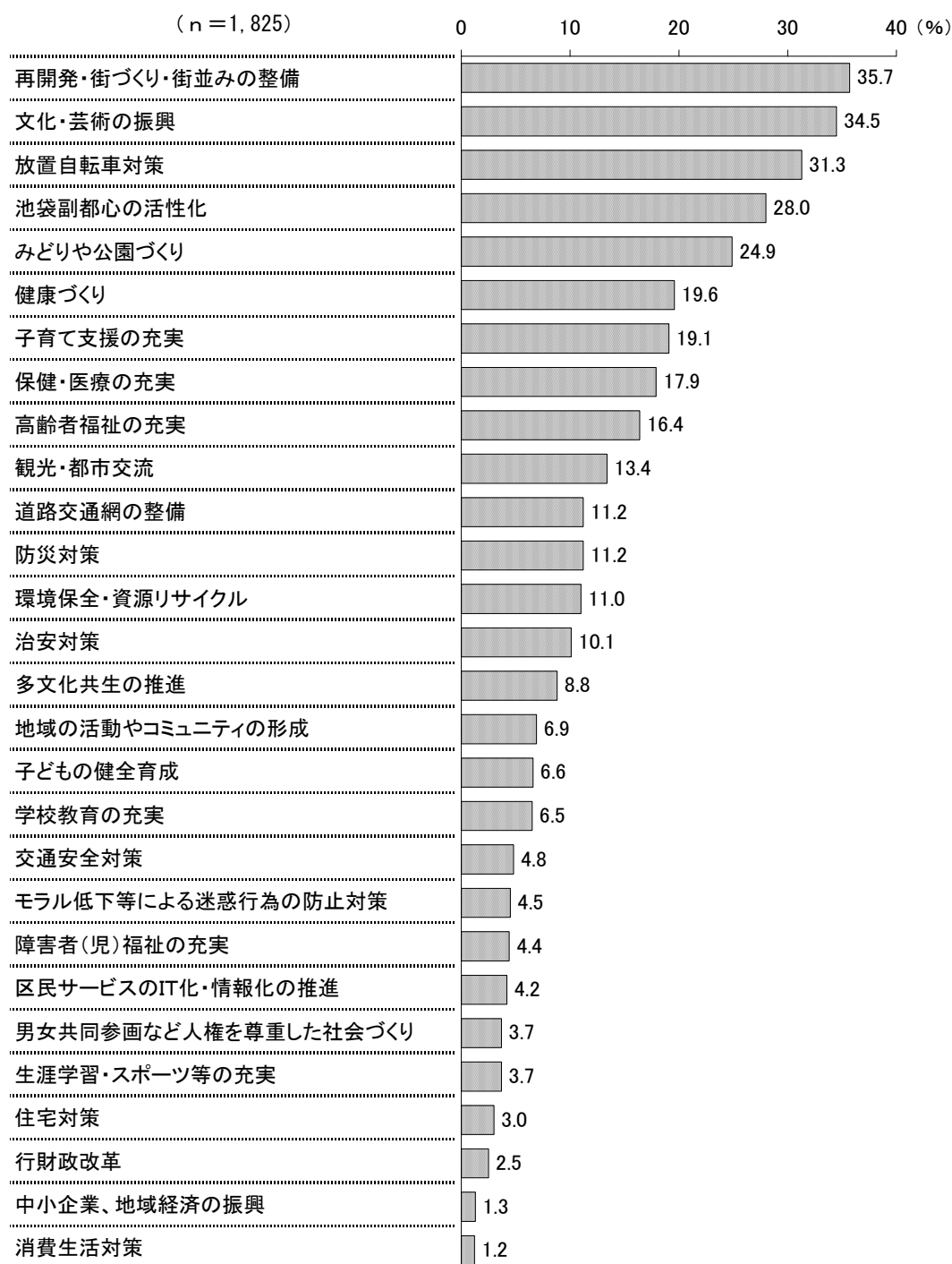


8. 区政全般への要望

(1) 現在、区が力を入れていると思う施策

問30 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。
(○はそれぞれ5つまで)

現在、区が力を入れていると思う施策を聞いたところ、「再開発・街づくり・街並みの整備」(35.7%)と「文化・芸術の振興」(34.5%)がともに3割半ばで高く、次いで「放置自転車対策」(31.3%)、「池袋副都心の活性化」(28.0%)、「みどりや公園づくり」(24.9%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、上位10項目の中で、平成30年度より順位が高くなったものは、「再開発・街づくり・街並みの整備」、「文化・芸術の振興」、「池袋副都心の活性化」、「健康づくり」、「保健・医療の充実」、「観光・都市交流」の6項目となっている。

一方、上位10項目の中で、平成30年度より順位が低くなったものは、「放置自転車対策」、「みどりや公園づくり」、「子育て支援の充実」、「高齢者福祉の充実」の4項目となっている。

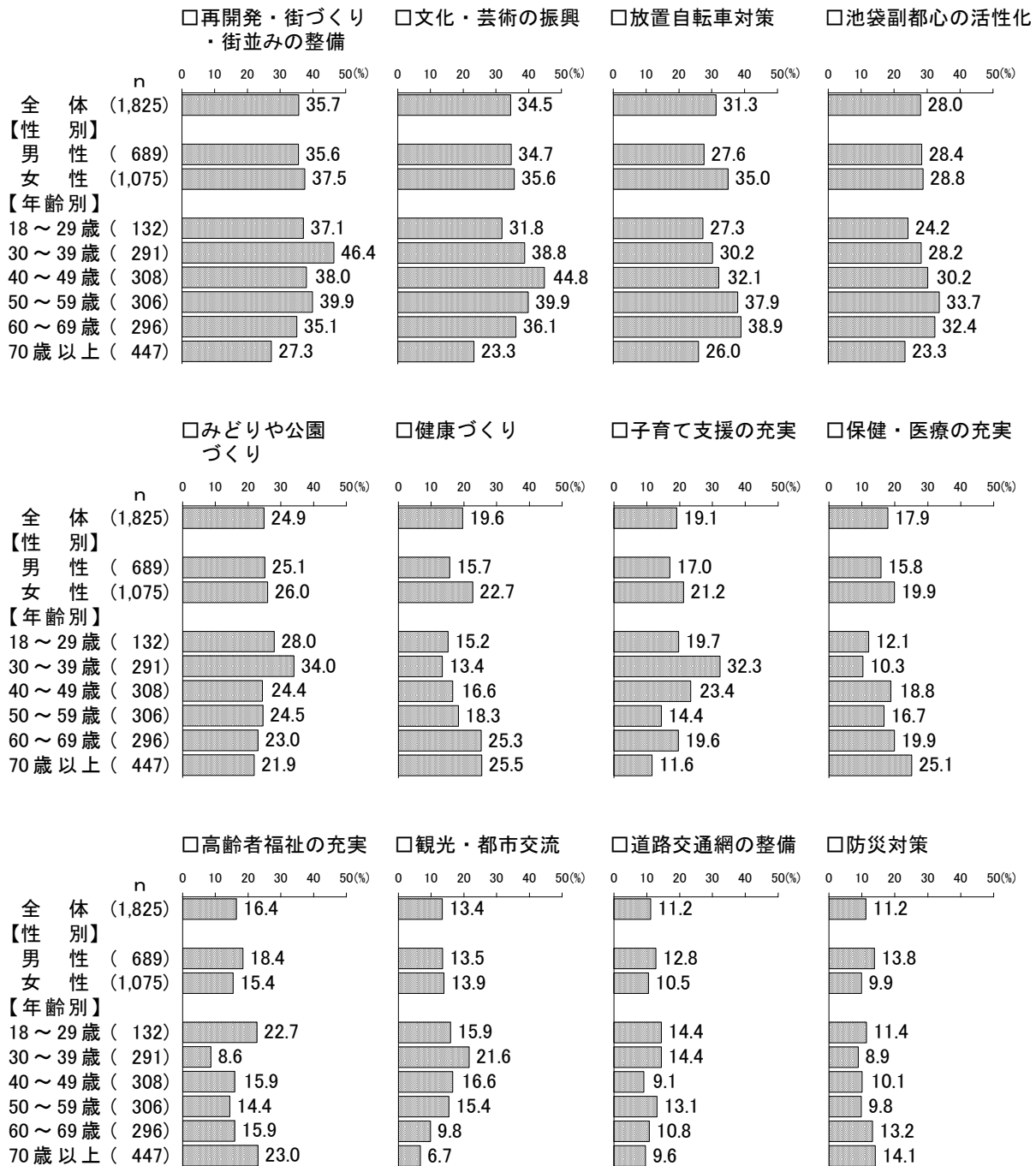
<令和元年度>			順位比較	<平成30年度>	
順位		%		順位	%
1	再開発・街づくり・街並みの整備	35.7	←	2	31.2
2	文化・芸術の振興	34.5	←	4	28.3
3	放置自転車対策	31.3	←	1	37.3
4	池袋副都心の活性化	28.0	←	5	23.5
5	みどりや公園づくり	24.9	←	3	28.4
6	健康づくり	19.6	←	7	20.9
7	子育て支援の充実	19.1	←	6	21.5
8	保健・医療の充実	17.9	←	9	17.2
9	高齢者福祉の充実	16.4	←	8	18.7
10	観光・都市交流	13.4	←	13	11.1
11	道路交通網の整備	11.2	←	10	13.7
12	防災対策	11.2	←	12	11.4
13	環境保全・資源リサイクル	11.0	←	11	13.0
14	治安対策	10.1	←	15	9.8
15	多文化共生の推進	8.8	←	14	10.2
16	地域の活動やコミュニティの形成	6.9	←	17	6.1
17	子どもの健全育成	6.6	←	19	5.6
18	学校教育の充実	6.5	←	16	6.6
19	交通安全対策	4.8	←	23	4.0
20	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	4.5	←	20	5.6
21	障害者（児）福祉の充実	4.4	←	22	4.2
22	区民サービスのIT化・情報化の推進	4.2	←	18	6.0
23	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	3.7	←	26	2.6
24	生涯学習・スポーツ等の充実	3.7	←	21	4.7
25	住宅対策	3.0	←	24	3.5
26	行財政改革	2.5	←	25	3.0
27	中小企業、地域経済の振興	1.3	←	27	2.3
28	消費生活対策	1.2	←	28	1.8

※「多文化共生の推進」は、平成30年度調査では「国際化の推進」となっていた

【性別、年齢別】（上位12項目）

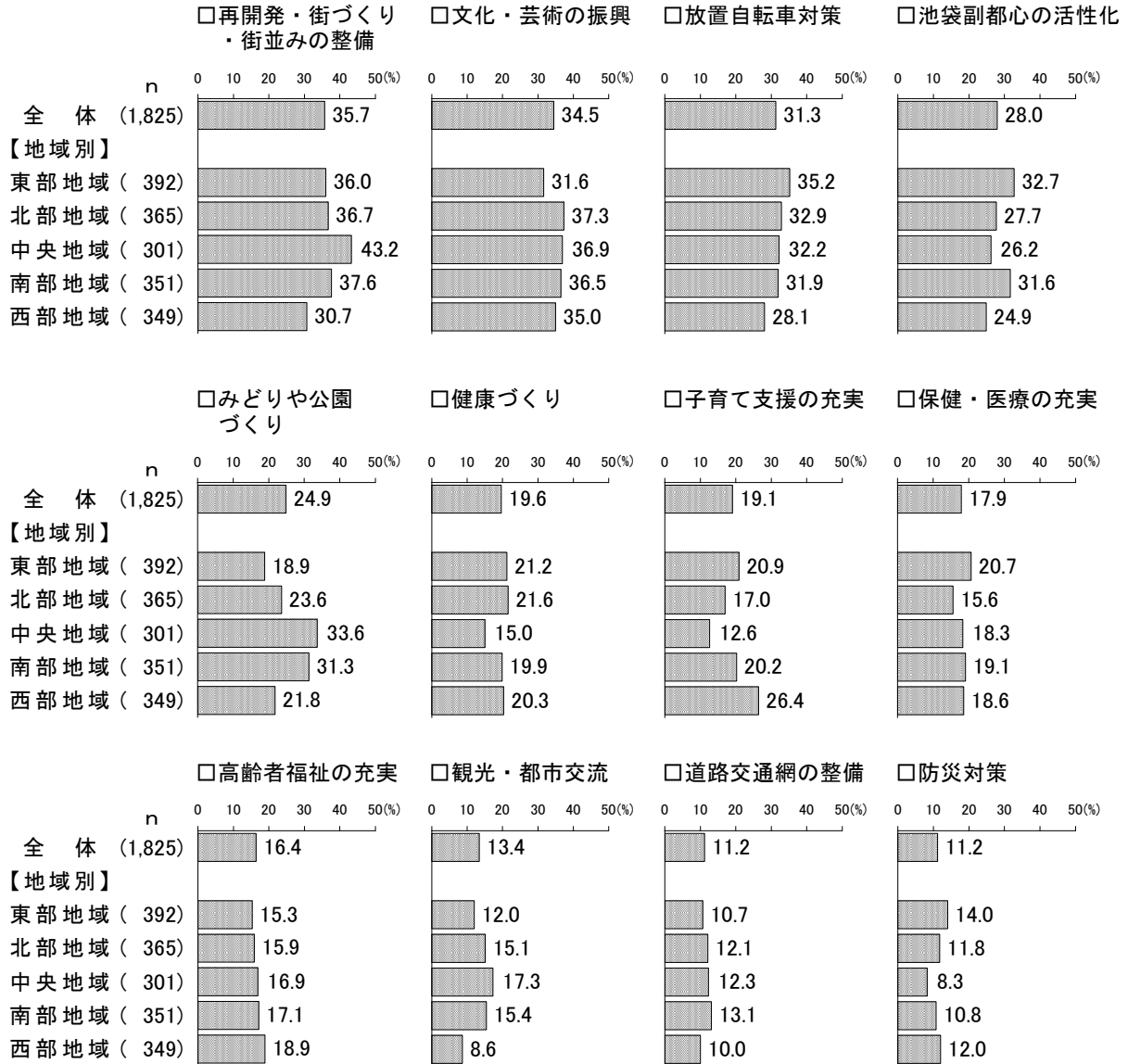
性別でみると、「放置自転車対策」は女性（35.0%）が男性（27.6%）より7.4ポイント、「健康づくり」は女性（22.7%）が男性（15.7%）より7.0ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「防災対策」は男性（13.8%）が女性（9.9%）より3.9ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「再開発・街づくり・街並みの整備」は30～39歳（46.4%）で4割半ばと高くなっている。「文化・芸術の振興」は40～49歳（44.8%）で4割半ばと高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

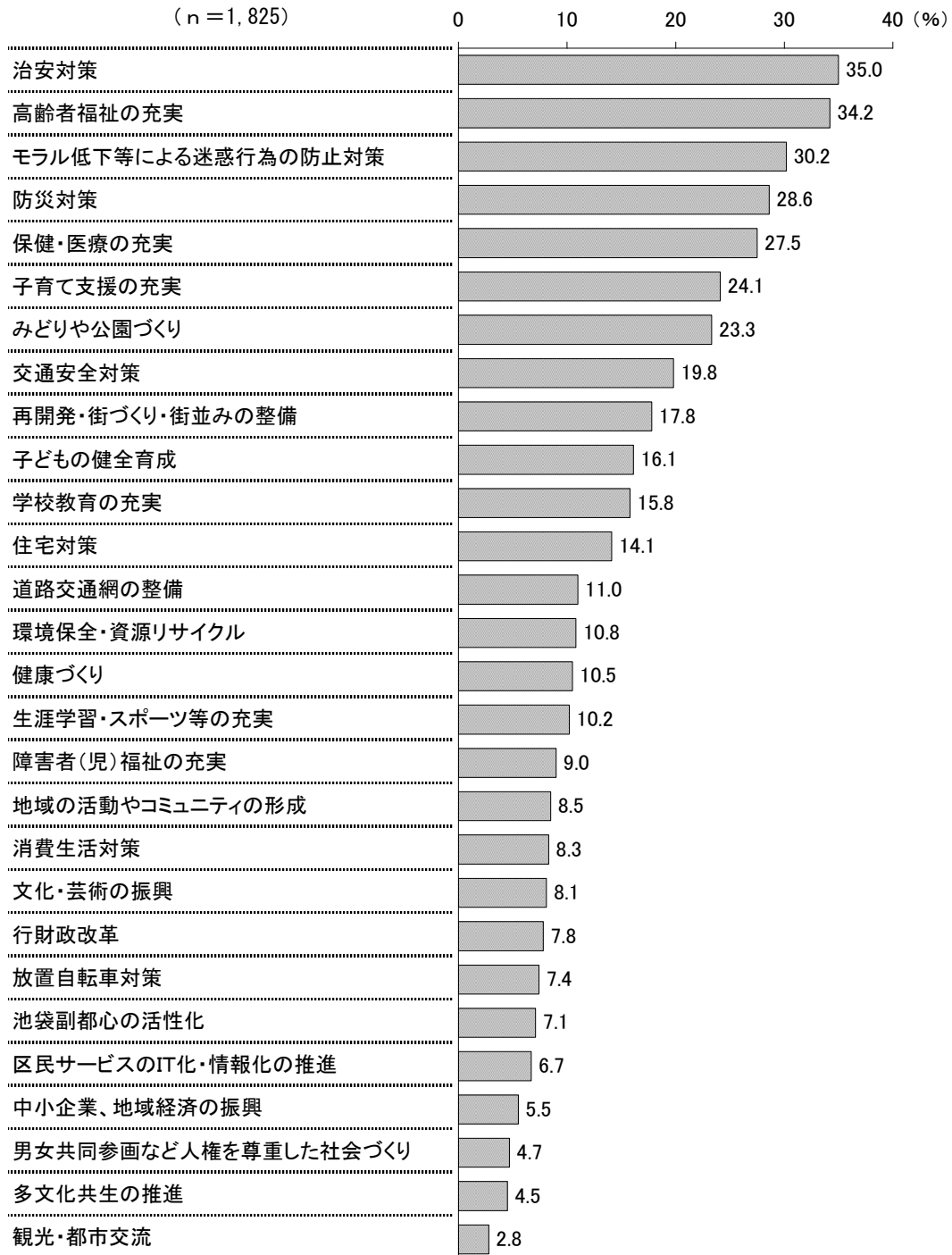
地域別でみると、「再開発・街づくり・街並みの整備」は中央地域（43.2%）で4割を超えて高くなっている。「池袋副都心の活性化」は東部地域（32.7%）と南部地域（31.6%）で3割を超えて高くなっている。「みどりや公園づくり」は中央地域（33.6%）と南部地域（31.3%）で3割を超えて高くなっている。



(2) 特に力を入れてほしいと思う施策

問30 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。
(○はそれぞれ5つまで)

特に力を入れてほしいと思う施策を聞いたところ、「治安対策」(35.0%)と「高齢者福祉の充実」(34.2%)がともに3割半ばで高く、次いで「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」(30.2%)、「防災対策」(28.6%)、「保健・医療の充実」(27.5%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、上位10項目の中で、平成30年度より順位が高くなったものは、「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」、「保健・医療の充実」、「交通安全対策化」の3項目となっている。

一方、上位10項目の中で、平成30年度より順位が低くなったものは、「防災対策」、「みどりや公園づくり」、「再開発・街づくり・街並みの整備」、「子どもの健全育成」の4項目となっている。

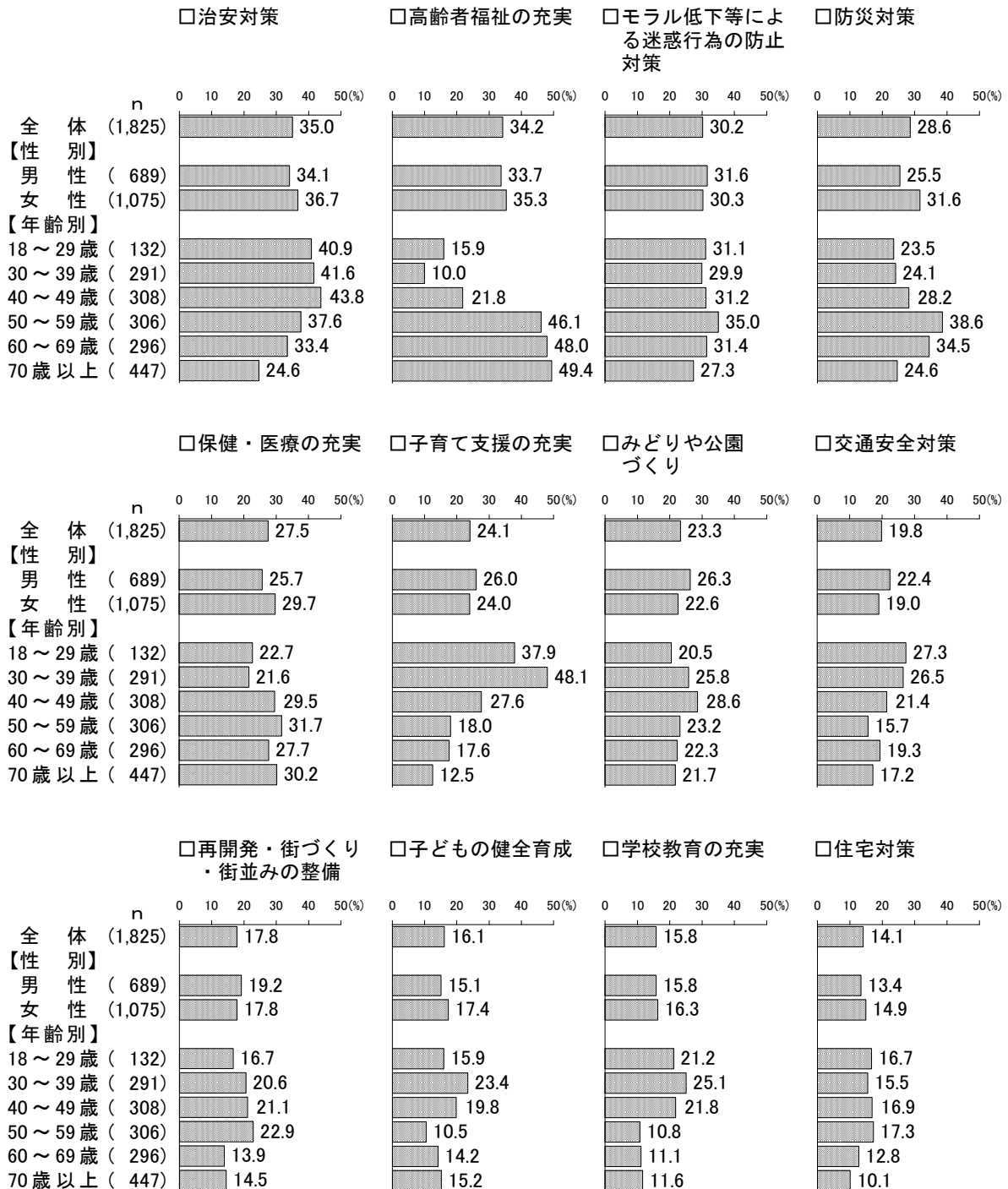
<令和元年度>			順位比較	<平成30年度>	
順位		%		順位	%
1	治安対策	35.0	←---	1	41.0
2	高齢者福祉の充実	34.2	←---	2	33.5
3	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	30.2	↖	4	31.2
4	防災対策	28.6	↖	3	31.9
5	保健・医療の充実	27.5	↖	7	24.9
6	子育て支援の充実	24.1	←---	6	25.2
7	みどりや公園づくり	23.3	↖	5	29.9
8	交通安全対策	19.8	↖	16	9.9
9	再開発・街づくり・街並みの整備	17.8	↖	8	19.0
10	子どもの健全育成	16.1	↖	9	17.7
11	学校教育の充実	15.8	↖	10	16.4
12	住宅対策	14.1	←---	12	13.5
13	道路交通網の整備	11.0	↖	18	9.3
14	環境保全・資源リサイクル	10.8	↖	19	9.2
15	健康づくり	10.5	↖	11	14.0
16	生涯学習・スポーツ等の充実	10.2	↖	13	10.8
17	障害者（児）福祉の充実	9.0	↖	15	10.2
18	地域の活動やコミュニティの形成	8.5	↖	20	9.1
19	消費生活対策	8.3	↖	25	5.4
20	文化・芸術の振興	8.1	↖	22	7.4
21	行財政改革	7.8	↖	17	9.5
22	放置自転車対策	7.4	↖	23	6.9
23	池袋副都心の活性化	7.1	↖	14	10.4
24	区民サービスのIT化・情報化の推進	6.7	←---	24	5.9
25	中小企業、地域経済の振興	5.5	↖	21	7.9
26	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	4.7	↖	27	3.6
27	多文化共生の推進	4.5	↖	26	4.7
28	観光・都市交流	2.8	←---	28	3.0

※「多文化共生の推進」は、平成30年度調査では「国際化の推進」となっていた

【性別、年齢別】（上位12項目）

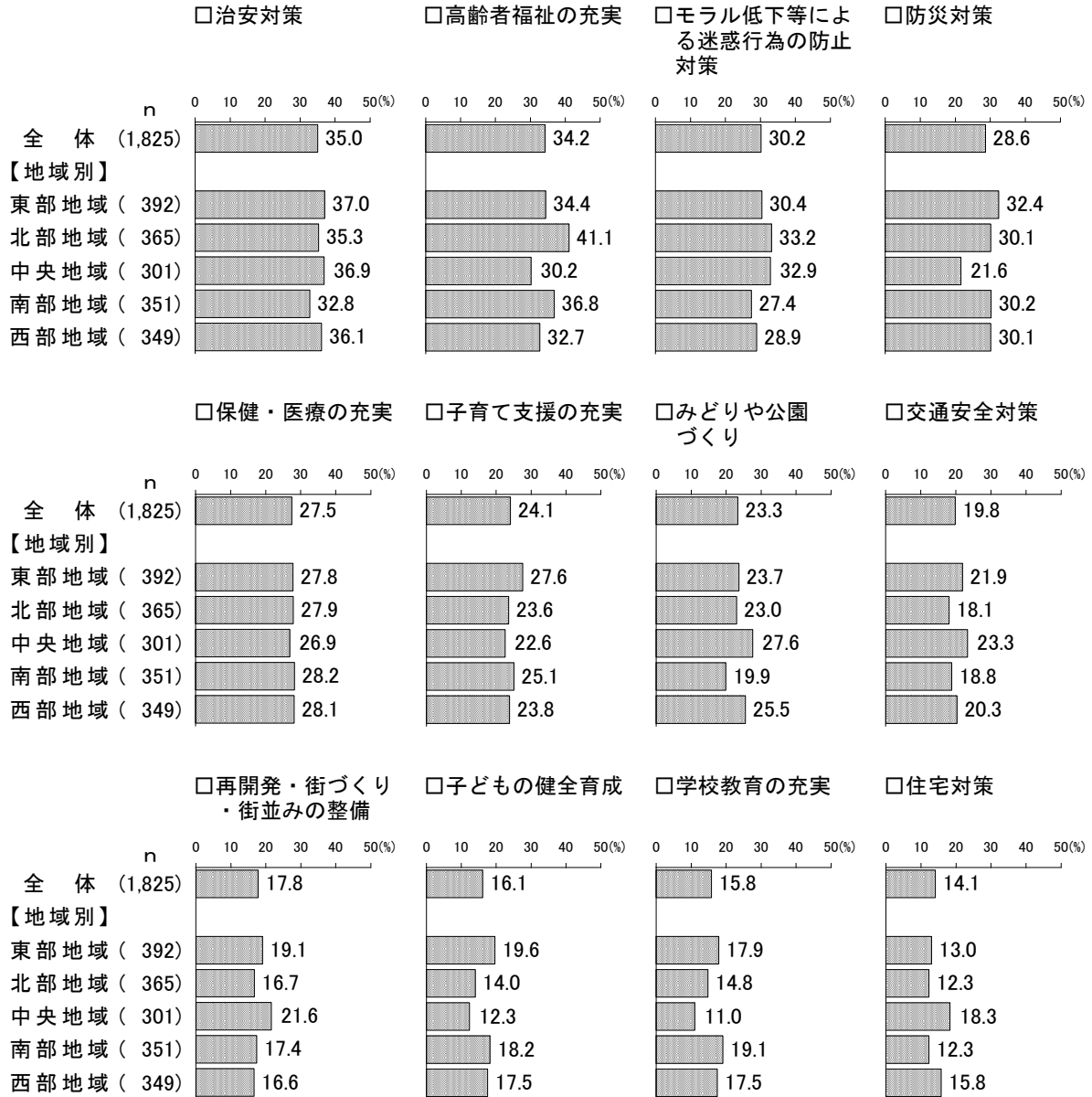
性別で見ると、「防災対策」は女性（31.6%）が男性（25.5%）より6.1ポイント高くなっている。一方、「みどりや公園づくり」は男性（26.3%）が女性（22.6%）より3.7ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「治安対策」は18～29歳（40.9%）、30～39歳（41.6%）、40～49歳（43.8%）で4割台と高くなっている。「高齢者福祉の充実」は50～59歳（46.1%）、60～69歳（48.0%）、70歳以上（49.4%）で4割台と高くなっている。「子育て支援の充実」は30～39歳（48.1%）で5割近くと高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

地域別でみると、「高齢者福祉の充実」は北部地域（41.1%）で4割を超えて高くなっている。「子育て支援の充実」は東部地域（27.6%）で3割近くと高くなっている。「みどりや公園づくり」は中央地域（27.6%）で3割近くと高くなっている。



(3) 総合分析

「現在、区が力を入れていると思う施策（現在の評価）」と「特に力を入れてほしいと思う施策（今後の優先度）」の調査結果を下記により数値化し、この2つの評価を軸として、総合分析を行った。また、前回調査（平成30年度）と比較するため、●が今回調査、○が前回調査とし、前回から今回への推移を矢印で表した。

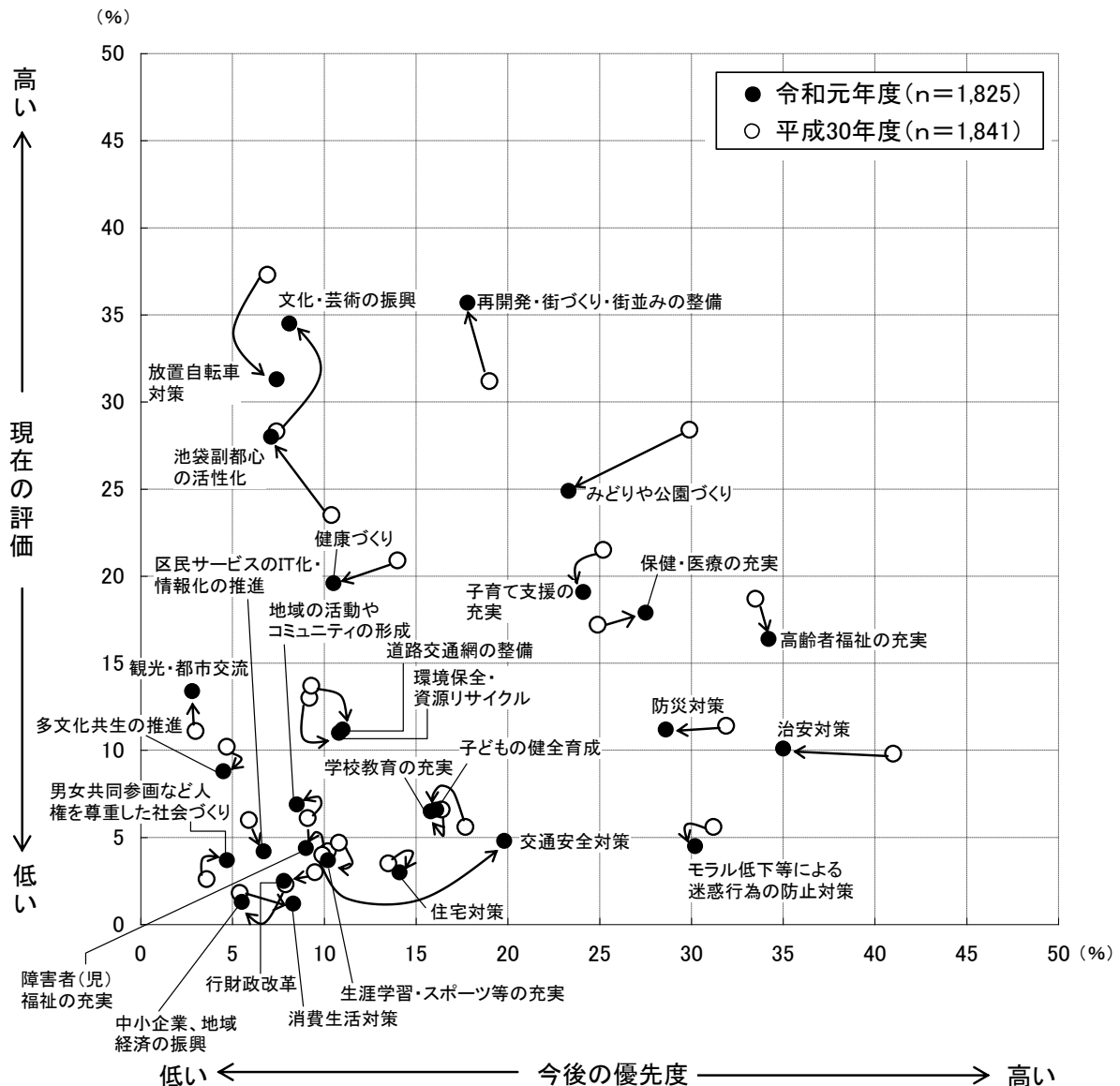
【数値化の方法】

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

- 現在の評価
各項目の回答割合 (%)
- 今後の優先度
各項目の回答割合 (%)

このグラフで右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」となり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

現在の評価は低い、今後の優先度は高い項目は、優先度が高い順に「治安対策」、「高齢者福祉の充実」、「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」、「防災対策」、「保健・医療の充実」となっている。



9. 自由意見

最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

これからの豊島区のまちづくりに対する自由意見の整理結果は以下のとおりである。698人の方から回答を得られた。回答内容によって複数に分けた意見もあるため、全体の意見数は937件となっている。意見の分類は、問6：地域の生活環境の評価と今後の優先度の項目に沿って行った。

分類項目	件数
① 参画・協働	24
② 平和・人権	60
③ 福祉	58
④ 健康・保健	21
⑤ 子育て	62
⑥ 教育	25
⑦ みどり・環境	145
⑧ 都市再生・交通	184
⑨ 防災・治安	121
⑩ 商工・観光	20
⑪ 文化	49
⑫ 区政について	112
⑬ その他	22
⑭ 本調査について	34
合 計	937

Ⅲ 調查票

協働のまちづくりに関する区民意識調査

－ 調査ご協力をお願い －

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
豊島区では、一人ひとりの区民の皆さまをはじめ、町会や自治会、NPO、学校など、地域の多様な主体の参加と協働の仕組みづくりに取り組んでいます。

この調査は、日常生活のなかでお感じになっている地域の生活環境、区の政策等について、広くご意見・ご要望をおうかがいし、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民の皆さまとの協働の仕組みづくり等の基礎として、活かしていくために実施するものです。

これからの豊島区をつくるのは、ほかでもない、区民の皆さま一人ひとりのまちづくりへの参加、そして協働であると思います。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

令和元年6月

豊島区長 高野之夫

《ご記入にあたって》

1. この調査は、区内に2年以上お住まいの18歳以上の方から無作為に選ばせていただいた5,000人の方を対象として実施するものです。
2. 同封のアンケートへのご回答は、原則として封筒のあて名のご本人様が行ってください。（ご本人様の回答が困難な場合には、ご家族様にご相談いただいても結構です。）
3. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
4. 質問で、○をつける選択肢の番号を「1つに○」「○は3つまで」「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」を選んだ場合や自由回答には、具体的な内容をご記入ください。
5. 回答の内容は、全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。また、郵送に使用した皆さまの個人情報も、他の目的に流用することはありません。お考えになっていることや、お感じになっていることをお答えください。

◎ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

7月5日（金）までに 郵便ポストにご投函ください。

なお、返信用封筒にはバーコードがついていますが、これは返送先（区）の郵便番号を示すもので、個人を特定するものではありません。

記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。

【連絡先】 豊島区 政策経営部 企画課 企画調整グループ

【電話】 03-4566-2511（直通）

【FAX】 03-3980-5093

協働のまちづくりに関する区民意識調査 調査票

I. 豊島区の印象について

1. 住み心地ごこち

問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地ごこちはどうか。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|------------------|----------|
| 1. 住み良い | 3. どちらかといえば住みにくい | 5. わからない |
| 2. どちらかといえば住み良い | 4. 住みにくい | |

問2 以前と比べて住み心地ごこちに変化はありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 以前より住み良くなった | 3. 変わらない |
| 2. 以前より住みにくくなった | 4. わからない |

《問2で、「1. 以前より住み良くなった」または「2. 以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします》

問2-1 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。代表的なことについて1つお答えください。(自由回答)

2. 居住の経緯

問3 あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 1. ずっと住んでいる (一時的に豊島区を離れた人も含む) | 2. 他の地域からきた |
|-------------------------------|-------------|

《問3で、「2. 他の地域からきた」とお答えの方におたずねします》

問3-1 転入するにあたって、豊島区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた |
| 2. 最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった |
| 3. 転居先が豊島区内に決まっていた (会社の寮や社宅が豊島区内だった、同居をはじめめる家族の住宅が豊島区内にあった、親などが決めた、子どもの頃に引っ越してきたなど) |

《問3-1で、「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

問3-2 住む場所として豊島区を選んだ理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 買い物など日常生活に便利だから | 9. 治安が良いから |
| 2. 通勤・通学に便利だから | 10. 防災面で安全だから |
| 3. 出産や子育て環境が良いから | 11. 公共施設が充実しているから |
| 4. 教育環境が良いから | 12. 街並みや街の雰囲気が良いから |
| 5. 文化的な環境が良いから | 13. 豊島区またはその地域のイメージが良かったから |
| 6. 医療・福祉・介護が充実しているから | 14. 気に入った物件が豊島区内だったから |
| 7. 住環境が良いから | 15. 物価が安いから |
| 8. 自然環境が良いから | 16. その他 () |

3. 定住意向

問4 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

1. いつまでも住み続けたいと思っている
2. 当分住み続けたいと思っている
3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある
4. 他の地域・区市町村に転居したいと思っている
5. わからない

《問4で、「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

問4-1 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 地域になじみがあるから | 13. 子どもの教育のため、住む必要があるから |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地だから | 14. 教育環境が良いから |
| 3. 今の住まいが気に入っているから | 15. 文化的な環境が良いから |
| 4. 持ち家だから | 16. 医療・福祉・介護が充実しているから |
| 5. 親や子どもと一緒に(近く)に住んでいるから | 17. 住環境が良いから |
| 6. 親戚が近くに住んでいるから | 18. 家賃が適当だから |
| 7. 友人・知人が近くに住んでいるから | 19. 物価が安いから |
| 8. 近所づきあいがうまくいっているから | 20. 自然環境が良いから |
| 9. 買い物など日常生活に便利だから | 21. 治安が良いから |
| 10. 通勤・通学に便利だから | 22. 防災面で安全だから |
| 11. 仕事の関係上、住む必要があるから | 23. 公共施設が充実しているから |
| 12. 出産や子育て環境が良いから | 24. その他 () |

《問4で、「3」または「4」とお答えの方におたずねします》

問4-2 転居せざるをえない、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1. 地域になじみがないから | 15. 出産や子育て環境が良くないから |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地ではないから | 16. 子どもの教育のため、転居する必要があるから |
| 3. 今の住まいが気に入っていないから | 17. 教育環境が良くないから |
| 4. 持ち家に住みたいから | 18. 文化的な環境が良くないから |
| 5. 家が手狭になったから | 19. 医療・福祉・介護が充実していないから |
| 6. 親や子どもの近くに住みたいから | 20. 住環境が良くないから |
| 7. 親戚の近くに住みたいから | 21. 家賃が負担だから |
| 8. 友人・知人の近くに住みたいから | 22. 物価が高いから |
| 9. 結婚等で同居するから | 23. 自然環境が良くないから |
| 10. 近所づきあいがうまくいっていないから | 24. 治安が良くないから |
| 11. 買い物など日常生活に不便だから | 25. 防災面で不安だから |
| 12. 通勤・通学に不便だから | 26. 公共施設が充実していないから |
| 13. 仕事の関係上、転居する必要があるから | 27. 他の地域にも興味があるから |
| 14. 仕事・学校の関係で一時的に居住している
だけだから | 28. その他 () |

4. 地域への愛着

問5 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

- | | | |
|---------------|-----------------|--------------|
| 1. 愛着を感じている | 3. あまり愛着を感じていない | 5. どちらともいえない |
| 2. やや愛着を感じている | 4. 愛着を感じていない | |

II. 地域の生活環境の評価と今後の優先度について

問6 以下の設問は、地域の生活環境を11グループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿を表わしたものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。（「現在の評価」欄は、項目ごとに一つずつ○。「今後の優先度」欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目番号を記入。もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。）

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度 各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
① 参画・協働	1	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい	1	2	3	※1～4の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	2	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	3	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている	1	2	3	
	4	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	1	2	3	
② 平和・人権	5	外国人の持つ多様な価値観や文化が尊重されている	1	2	3	※5～11の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	6	地域で外国人との交流がある	1	2	3	
	7	地域社会において平和と人権が尊重されている	1	2	3	
	8	性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる	1	2	3	
	9	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）への理解が深まっている	1	2	3	
	10	配偶者等からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）に関する相談機関が周知されている	1	2	3	
③ 福祉	11	多様な性自認・性的指向の人々（いわゆる性的少数者）への理解が深まっている	1	2	3	※12～18の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	12	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	1	2	3	
	13	医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる	1	2	3	
	14	地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている	1	2	3	
	15	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる	1	2	3	
	16	障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい	1	2	3	
	17	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている	1	2	3	
	18	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度 各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
④健康・保健	19	がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある	1	2	3	※19～22の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	20	ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している	1	2	3	
	21	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	1	2	3	
	22	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	1	2	3	
⑤子育て	23	子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある	1	2	3	※23～27の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	24	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている	1	2	3	
	25	子どもの成長や安全・安心な生活が地域全体で支えられている	1	2	3	
	26	妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる	1	2	3	
	27	地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている	1	2	3	
⑥教育	28	学校教育を通して子どもに基礎的な学力が身についている	1	2	3	※28～36の中から3つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	29	学校教育を通して子どもに豊かな人間性が身についている	1	2	3	
	30	学校教育を通して子どもに運動・スポーツに親しむ習慣や、安全・安心への意識が身についている	1	2	3	
	31	信頼される実践力の高い教員が育成されている	1	2	3	
	32	家庭での教育に対する支援が充実している	1	2	3	
	33	学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている	1	2	3	
	34	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている	1	2	3	
	35	豊島区ならではの特色ある教育が進められている	1	2	3	
	36	幼稚園・保育園から小学校への接続に配慮した幼児教育が行われている	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	各グループの中で、今後優先的に 良くしていくべき と思う項目の番号 を選んでください。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
⑦ みどり・環境	37	みどりが豊かで、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある	1	2	3	※37～44の中から 3つ選んで、 番号を書いて ください。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
	38	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	1	2	3	
	39	CO2 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	1	2	3	
	40	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	1	2	3	
	41	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	1	2	3	
	42	騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない	1	2	3	
	43	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	1	2	3	
	44	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	1	2	3	
⑧ 都市再生・交通	45	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	1	2	3	※45～53の中から 3つ選んで、 番号を書いて ください。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>
	46	池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	47	駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	1	2	3	
	48	新庁舎をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	49	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	1	2	3	
	50	単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	1	2	3	
	51	鉄道・バス等の交通が便利である	1	2	3	
	52	身近な生活道路が安全・快適に通行できる	1	2	3	
	53	放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	各グループの中で、今後優先的に 良くしていくべき と思う項目の番号 を選んでください。 <input type="text"/>
⑨ 防災・治安	54	建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる	1	2	3	※54～60の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/>
	55	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	1	2	3	
	56	震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています	1	2	3	
	57	電柱のない道路が増えている	1	2	3	
	58	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	1	2	3	
	59	治安がよく、安心して暮らせる	1	2	3	
	60	交通事故が少ない	1	2	3	
⑩ 商工・観光	61	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている	1	2	3	※61～66の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/>
	62	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	1	2	3	
	63	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している	1	2	3	
	64	区内の観光スポットがにぎわっている	1	2	3	
	65	区内の観光情報が国内外にPRされている	1	2	3	
	66	区内へ訪れた国内外の人々に満足いただける受入環境が整っている	1	2	3	
⑪ 文化	67	多様な文化芸術活動が展開され、良質な文化芸術に接する機会が多い	1	2	3	※67～73の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/>
	68	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	1	2	3	
	69	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる	1	2	3	
	70	豊島区の文化芸術の魅力が国内外に発信されている	1	2	3	
	71	図書館や公開講座など、多様な生涯学習活動を選択する機会がある	1	2	3	
	72	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3	
	73	地域の中で自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている	1	2	3	

Ⅲ. 区の情報・区の政策等について

1. 区の情報・区政への参加について

問7 あなたは、これまで区に関する情報をどのような方法で入手していますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 新聞折り込みによる「広報としま」 | 9. 区の窓口や電話での問い合わせ |
| 2. 区内店舗や駅などで入手した「広報としま」 | 10. 区以外のインターネット・SNS |
| 3. 戸別配達による「広報としま」 | 11. 区以外の新聞・雑誌・テレビ報道 |
| 4. 「広報としま」以外の区のパフレットやチラシなど | 12. 町会などの回覧板 |
| 5. 区のホームページ | 13. 知人・家族から(口コミ) |
| 6. 区のメールマガジン・SNS・情報アプリ | 14. その他() |
| 7. 区のテレビ広報番組(ケーブルテレビ) | 15. 入手したことが無い |
| 8. 区の掲示板 | |

問8 以下のテーマの中で、あなたが欲しいと思う区の情報がありますか。(いくつでも○)

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. 参画・協働 | 5. 子育て | 9. 防災・治安 |
| 2. 平和・人権 | 6. 教育 | 10. 商工・観光 |
| 3. 福祉 | 7. みどり・環境 | 11. 文化 |
| 4. 健康・保健 | 8. 都市再生・交通 | 12. その他() |

問9 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 少しは関心がある | 4. 関心がない |

問10 あなたは、区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 反映されている | 3. あまり反映されていない |
| 2. 少しは反映されている | 4. 反映されていない |

問11 あなたは、区に意見を述べる機会や手段、方法に満足していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 満足している | 3. 少し不満である |
| 2. 少しは満足している | 4. 不満である |

2. 地域との関わりについて

問12 あなたは、日頃、地域の一員として、地域のために何か役立ちたいと思っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 思っている | 3. あまり思っていない |
| 2. 少しは思っている | 4. 思っていない |

問13 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 現在、参加している | 3. 関心はあるが、参加していない |
| 2. 以前、参加したことがある | 4. 関心がないので、参加していない |

3. 女性にやさしいまちづくりについて

問 14 豊島区は、女性が輝き、活躍する社会づくりを積極的に推進していくことで、すべての人にやさしく、暮らしやすいまちづくりにつながる、「女性にやさしいまちづくり」に取り組んでいます。女性にやさしく、暮らしやすいと感じるまちに、大切だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 仕事と生活を両立しやすい環境整備
2. 女性の声を反映する仕組みづくり
3. 見守りや支え合いなど地域力の向上
4. 安心して子どもを産み育てられる環境整備
5. 子育てや介護施策・サービスの充実
6. 子育てや働きながら住み続けられる住まいの充実
7. 女性の健康に関する施策・サービスの充実
8. 女性の起業・創業・就労の支援
9. 文化やスポーツなど多様なニーズに対応した施設・サービスの充実
10. その他 ()

4. セーフコミュニティについて

問 15 豊島区は東京で初めて2012年11月、世界保健機関(WHO)が推奨する「セーフコミュニティ」の国際認証を取得しました。(2018年2月再認証取得)セーフコミュニティとは、けがや事故など日常生活のなかで健康を阻害する要因を予防することで、生活の安全と健康の質を高めていくまちづくり活動のことです。

あなたは、このセーフコミュニティ活動について知っていますか(1つに〇)

1. 考え方や活動内容を知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、考え方や活動内容は知らない
3. はじめて聞いた

問 16 交通事故が発生した場所や注意すべき地点を知っていることで、事故防止につなげることができます。お住まいの周辺で、交通事故発生場所、危ないと思われる場所があることをご存じですか。(1つに〇)

1. 複数の具体的な場所を知っていて、注意している
2. 一つは具体的な場所を知っていて、注意している
3. 事故の発生場所を聞いたことはあるが、具体的な場所までは知らない
4. 事故の発生状況については、あまり関心を持っていなかった

問 17 自転車は便利な乗り物ですが、一つ間違えば大きな事故につながります。最近、あなたのお住まいの地域で、道路交通法で決められている自転車の運転ルールは守られていると感じていますか。(1つに〇)

1. よく守られていると思う
2. だいたい守られていると思う
3. どちらともいえない
4. あまり守られていないと思う
5. ほとんど守られていないと思う

問 18 豊島区では、環境浄化団体や警察と合同で、定期的に環境浄化パトロール活動を実施しています。あなたは、池袋駅周辺（繁華街）の治安についてどのように感じますか。（1つに○）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. とても安心感がある | 4. やや不安感がある |
| 2. やや安心感がある | 5. とても不安感がある |
| 3. どちらともいえない | |

問 19 地震の大きな揺れにより、家具や本棚、冷蔵庫、テレビなどが転倒して、けがをすることが想定されます。あなたは、（あなたの家庭では、）どのような対策をとっていますか。（いくつでも○）

- | |
|---|
| 1. 家具や本棚などを固定し、転倒を防止している |
| 2. テレビや冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している |
| 3. 転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている |
| 4. 食器棚や本棚の中のものが飛び出さないように工夫している |
| 5. 窓ガラスが割れて飛散ないようにしている（強化ガラス、フィルムを貼るなど） |
| 6. 特に対策はしていない |

問 20 外出中に、大規模な地震が発生し、公共交通機関の運行が停止した場合、あなたはどうしますか。（1つに○）

- | |
|---------------------------------|
| 1. 安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる |
| 2. 駅やバス停などにむかい公共交通機関の運行再開を待つ |
| 3. 家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する |

問 21 あなたは、最近1年間に、区や町会等が実施する防災訓練や避難訓練に参加したことがありますか。（1つに○）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 参加したことがある |
| 2. 自分は参加したことはないが、家族が参加したことがある |
| 3. 訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない |
| 4. 身近な地域で参加できる訓練がない |
| 5. 訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない） |

問 22 区ではお住まいの地域ごとに、震災時などの一時的な避難場所として、小・中学校などを「救援センター」として指定しています。あなたは、「救援センター」について知っていますか。

（1つに○）

- | |
|--|
| 1. 自分が避難する「救援センター」はどこか知っている |
| 2. 「救援センター」があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない |
| 3. 「救援センター」という名前を聞いたことがない |

問 23 子どもや高齢者、配偶者などへの虐待・暴力を早期発見・防止することや認知症の方への早期対応をするためには、私たち一人ひとりが理解を深めていくことが大切です。あなたは、以下について、心配な状況を発見した際の通告・通報制度、連絡・相談先などについて知っていますか。
(それぞれ該当する番号1つに○)

	ある程度具体的に知っている	部分的には知っている	あまり知らない	ほとんど知らない
(1) 高齢者虐待 〔主な通告、相談先〕 ・区の高齢者総合相談センター(地域包括支援センター) ・区の高齢者福祉課、警察など	1	2	3	4
(2) 児童虐待 〔主な通告、相談先〕 ・区立子ども家庭支援センター ・児童相談所、警察など	1	2	3	4
(3) DV (ドメスティック・バイオレンス) (配偶者やパートナーへの暴力) 〔主な通告、相談先〕 ・区立男女平等推進センター ・区の子育て支援課、警察など	1	2	3	4
(4) 障害者虐待 〔主な通告、相談先〕 ・区の障害者虐待防止センター(心身障害者福祉センター) ・区の障害福祉課、警察など	1	2	3	4
(5) 認知症の方について 〔主な相談先〕 ・区の高齢者総合相談センター(地域包括支援センター) ・区の高齢者福祉課、警察など	1	2	3	4

5. 高齢者にやさしいまちづくりについて

問 24 豊島区は、高齢になっても住み慣れた地域でいつまでも住み続けられるよう、「高齢者にやさしいまちづくり」に取り組んでいきます。

あなたは、豊島区は高齢者が暮らしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

1. そう思う	3. あまりそう思わない
2. ある程度そう思う	4. 思わない

《問 24 で、「1. そう思う」または「2. ある程度そう思う」とお答えの方におたずねします》

問 24-1 高齢者が暮らしやすいまちだと思う理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 買い物など日常生活に便利だから	9. 家賃が適当だから
2. 電車やバスなどが充実しているから	10. 物価が安いから
3. 地域コミュニティが活発だから	11. 自然環境が良いから
4. 公園や歩道の整備が進んでいるから	12. 治安が良いから
5. 文化的な環境が良いから	13. 防災面で安全だから
6. 医療が充実しているから	14. 公共施設が充実しているから
7. 福祉・介護が充実しているから	15. 情報発信が充実しているから
8. 住環境が良いから	16. その他 ()

《問 24 で、「3. あまりそう思わない」または「4. 思わない」とお答えの方におたずねします》

問 24-2 高齢者が暮らしやすいまちだと思わない理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 買い物など日常生活に不便だから	9. 家賃が負担だから
2. 電車やバスなどが充実していないから	10. 物価が高いから
3. 地域コミュニティが活発でないから	11. 自然環境が良くないから
4. 公園や歩道の整備が進んでいないから	12. 治安が良くないから
5. 文化的な環境が良くないから	13. 防災面で不安だから
6. 医療が充実していないから	14. 公共施設が充実していないから
7. 福祉・介護が充実していないから	15. 情報発信が充実していないから
8. 住環境が良くないから	16. その他 ()

問 25 高齢になっても住み続けられるまちづくりにおいて、大切だと思うことは何ですか。

(○は3つまで)

1. 公園や歩道などの屋外環境が安全で整備されていること
2. 治安がよいこと
3. 電車・バス・タクシーなどの交通機関が充実していること
4. 住まいに関するサービスが充実していること
5. 地域活動や地域との交流が充実していること
6. 余暇を楽しむ文化事業、スポーツ施設、学習施設などが充実していること
7. 子どもや若者世代など、多様な世代との交流の場があること
8. 起業や就労、ボランティアなどの社会活動の場が充実していること
9. 高齢者向けの情報発信や相談窓口が充実していること
10. 医療・福祉・介護サービスが利用しやすく、充実していること
11. 災害発生時などの緊急時対策が十分であること
12. その他 ()

6. 東アジア文化都市について

「東アジア文化都市」とは、2014年から始まった文化庁による国家プロジェクトです。日中韓3か国で、毎年各国1都市を選定し、文化・芸術分野での相互交流を行います。

これにより、東アジアの多様な文化を世界により強く発信し、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を推進することにより、開催都市が継続的に発展することを目指します。

問 26 豊島区は、日中韓3か国による文化交流事業「東アジア文化都市」の2019年国内都市に決定し、現在様々な事業を展開しております。

あなたは、区が2019年「東アジア文化都市」を実施していることを知っていますか。

(1つに○)

1. 知っている

3. 言葉も聞いたことがない

2. 言葉は聞いたことがある

《問26で、「1. 知っている」または「2. 言葉は聞いたことがある」とお答えの方におたずねします》

問 26-1 あなたは、2019年「東アジア文化都市」として実施された何らかの事業について、これまで鑑賞・参加されたことがありますか。(1つに○)

1. 鑑賞・参加したことがある

3. わからない・判断できない

2. 鑑賞・参加したことがない

問 27 あなたは、中国、韓国の文化に興味関心がありますか。(1つに○)

1. 興味がある

4. 興味がない

2. やや興味がある

5. わからない・判断できない

3. あまり興味がない

7. 東京 2020 オリンピック・パラリンピックについて

問 28 あなたは、東京 2020 大会へ向けて、区は何に力を入れるべきと考えますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. スポーツ選手の育成 | 9. まちなかの多言語対応 |
| 2. スポーツボランティアの育成 | 10. 防犯・防災対策の強化 |
| 3. パラスポーツの普及啓発 | 11. 受動喫煙防止対策の強化、マナーの向上 |
| 4. スポーツ施設の拡充・整備 | 12. 地域の実情に応じた民泊サービスの適正化 |
| 5. 大会に向けた気運の醸成 | 13. 子どもたちへの国際化教育、国際交流 |
| 6. 文化・芸術のまちづくりと区の魅力の発信 | 14. 障害(者)への理解促進 |
| 7. 街並みの整備や施設等のバリアフリー化 | 15. その他() |
| 8. 観光、賑わい拠点の整備 | 16. 特にない |

問 29 あなた自身は、どの程度スポーツを実施していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 週に3日以上 | 4. 3か月に1~2日 |
| 2. 週に1~2日 | 5. 年に1~3日 |
| 3. 月に1~3日 | 6. 実施していない |

《問 29 で、「4」~「6」とお答えの方におたずねします》

問 29-1 あまりスポーツを実施しない理由は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 忙しくて時間が取れない | 5. 大会やスポーツ教室などの情報がない |
| 2. お金がかかる | 6. 体調や体力に不安がある |
| 3. 施設や場所がない | 7. スポーツが好きでない |
| 4. 指導者や仲間がない | 8. その他() |

8. 区政全般への要望

問 30 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。

(○はそれぞれ5つまで)

施 策	現在、区が力を入れていると思う施策 (5つまで)	特に力を入れてほしいと思う施策 (5つまで)
健康づくり	1	1
高齢者福祉の充実	2	2
障害者（児）福祉の充実	3	3
保健・医療の充実	4	4
子どもの健全育成	5	5
子育て支援の充実	6	6
学校教育の充実	7	7
地域の活動やコミュニティの形成	8	8
男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	9	9
みどりや公園づくり	10	10
環境保全・資源リサイクル	11	11
再開発・街づくり・街並みの整備	12	12
道路交通網の整備	13	13
住宅対策	14	14
交通安全対策	15	15
放置自転車対策	16	16
池袋副都心の活性化	17	17
中小企業、地域経済の振興	18	18
消費生活対策	19	19
防災対策	20	20
治安対策	21	21
モラル低下等による迷惑行為の防止対策	22	22
文化・芸術の振興	23	23
多文化共生の推進	24	24
観光・都市交流	25	25
生涯学習・スポーツ等の充実	26	26
区民サービスのIT化・情報化の推進	27	27
行財政改革	28	28

IV. あなたご自身のことについて（※統計的に分析するために使用します。）

① あなたの自認する性をお答えください。（1つに○）

1. 男 性 2. 女 性 3. () ※自認する性を記載してください。

② あなたの年齢について、お答えください。（1つに○）

1. 18～19歳	5. 35～39歳	9. 55～59歳	13. 75～79歳
2. 20～24歳	6. 40～44歳	10. 60～64歳	14. 80歳以上
3. 25～29歳	7. 45～49歳	11. 65～69歳	
4. 30～34歳	8. 50～54歳	12. 70～74歳	

③ あなたの職業について、お答えください。（1つに○）

1. 自営業（家族従業含む）	5. 専業の主婦（主夫）
2. 勤め（全日・正規）	6. 学 生
3. 勤め（全日・非正規）	7. 無 職
4. 勤め（パートタイム）	8. その他（ ）

④ あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。（1つに○）

1. 2年以上～3年未満	3. 5年以上～10年未満	5. 15年以上～20年未満
2. 3年以上～5年未満	4. 10年以上～15年未満	6. 20年以上

⑤ あなたが豊島区に住む前に住んでいた地域について、お答えください。（1つに○）

1. 生まれてからずっと豊島区に住んでいる	6. 練馬区	11. 神奈川県
2. 新宿区	7. その他の特別区	12. その他の関東
3. 文京区	8. 東京都の市町村	13. その他の国内
4. 北区	9. 埼玉県	14. 外国
5. 板橋区	10. 千葉県	

⑥ あなたのお住まいの町名について、お答えください。（町名の番号に○印を付け、（ ）内に何丁目かお書きください。）

記入例 ① 駒込（ 2 ）丁目

1. 駒 込（ ）丁目	8. 南池袋（ ）丁目	15. 南長崎（ ）丁目
2. 巢 鴨（ ）丁目	9. 西池袋（ ）丁目	16. 長 崎（ ）丁目
3. 西巢鴨（ ）丁目	10. 池 袋（ ）丁目	17. 千 早（ ）丁目
4. 北大塚（ ）丁目	11. 池袋本町（ ）丁目	18. 要 町（ ）丁目
5. 南大塚（ ）丁目	12. 雑司が谷（ ）丁目	19. 高 松（ ）丁目
6. 上池袋（ ）丁目	13. 高 田（ ）丁目	20. 千 川（ ）丁目
7. 東池袋（ ）丁目	14. 目 白（ ）丁目	

⑦ あなたの世帯の構成について、お答えください。(1つに○)

1. 単身者	3. 親と子	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 三世代	()

《⑦で、「3. 親と子」または「4. 三世代」とお答えの方におたずねします》

⑧ あなたの家族に中学生以下のお子さんは、何人いらっしゃいますか。(1つに○)

1. いない	2. 1 人	3. 2 人	4. 3人以上
--------	--------	--------	---------

⑨ あなたのお住まいの形態について、お答えください。(1つに○)

1. 一戸建て	3. 集合住宅 (賃貸)	5. その他
2. 集合住宅 (分譲)	4. 社宅・官舎、寮	()

⑩ あなたの世帯の年収 (税込) について、差し支えなければ、お答えください。(1つに○)

1. 200万円未満	5. 800万円～1,000万円未満
2. 200万円～400万円未満	6. 1,000万円～1,500万円未満
3. 400万円～600万円未満	7. 1,500万円以上
4. 600万円～800万円未満	

最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて **7月5日(金)** までにお近くの郵便ポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)



協働のまちづくりに関する区民意識調査 報告書

令和元（2019）年 11 月発行
（令和元年 6 月実施）

調査主体 豊島区 政策経営部 企画課
〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1
電話 03-3981-1111（代表）

調査実施 株式会社エスピー研
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-20
電話 03-3239-0071（代表）